METAL ARMOR

DRAGONAR

SPECIAL EDITION

Newtype 8月号 別冊

NEWTYPE 100% COLLECTION



NEWTYPE 100% COLLECTION 6 機甲戦記ドラグナー 角川書店



雑誌07010—8/20

ニュータイプ100%コレクション6機甲戦記ドラグナー 昭和62年8月20日発行
発行人・角川春樹 編集人・井川浩 〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 ザテレビジョン編集部☎03-265-1431

定価980円 角川書店

HARUKI KADOKAWA PRESENTS

NEWTYPE 100% COLLECTION—6

METAL ARMOR DRAGONAR

●PUBLISHER
TSUGUHIKO KADOKAWA

●MANAGING EDITOR
HIROSHI IKAWA

●EDITORIAL DIRECTOR
SHINOBU"JUNCK"KUWAHARA

●CONTRIBUTING EDITORS
AKIO ARANO HIROYUKI YONEMASU
TOSHIKO HONDA KOICHI INOUE

●ART ASSOCIATES
SAWAKO TAKANO HIROKO TAJIMA
YOSHIKI KINBARA TADAHIRO KAZUMI
YOSHIKAZU MOTO

●EDITORIAL OPERATION
KOICHI IZAWA SHINGO UEDA
KOICHIRO ITO TAMAE TOKUMARU
YUKIHIRO ABE SUSUMU MAGAMI
KENJI OZAWA

●BUSINESS ASSOCIATES
HIDEAKI KIGA FUMIYUKI KAKIZAWA

●PUBLICITY
MAKIKO YAMATSU

●ART DIRECTOR
TETSUYA ASAKURA

●ASSOCIATE EDITOR
SHINSUKE NAKAJIMA

●SERIES EDITOR
RYOETSU SATO



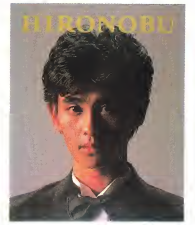
Z GUNDAM MECHANICAL EDITION VOL.1



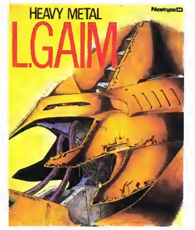
Z GUNDAM CHARACTER EDITION VOL.1



Z GUNDAM MECHANICAL EDITION VOL.2



HIRONOBU NOMURA 100%



HEAVY METAL L.GAIM

Newtype 8月号 別冊

METAL ARMOR

DRAGONAR

SPECIAL EDITION

NEWTYPE 100% COLLECTION

NEWTYPE 100% COLLECTION 6

機甲戦記ドラグナー

角川書店

雑誌07010—8/20

ニュータイプ100%コレクション⑥機甲戦記ドラグナー 昭和62年8月20日発行
発行人・角川春樹 編集人・井川浩 〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 ニュータイプ編集部☎03-265-1620

定価980円 角川書店

P O S T C A R D

40円の切手を
はって下さい

102-

東京都千代田区九段北
2-3-2 アスカビル内
ニュータイプ編集部
機甲戦記ドラグナー係行

住所 〒

名前 男・女 歳

学年・職業 TEL

キリトリセン

NEWTYPE 100% COLLECTION

DRAGONAR 愛読者アンケート 別冊 機甲戦記ドラグナー

1.あなたはこの「別冊ドラグナー」をどこで知りましたか？

A.ニュータイプで　B.広告で　C.雑誌の書評で（　　　）
D. 書店で見つけて　E.その他（　　　）

2.あなたは「機甲戦記ドラグナー」の記事が角川書店の月刊ニュータイプに連載されていることを知っていましたか？

A.知っていた　B.はじめて知った

3.あなたは「別冊ドラグナー」の②をどんな内容にしてほしいと思いますか？

4.「100%シリーズ」で今後出版してほしい作品がありましたらお書きください

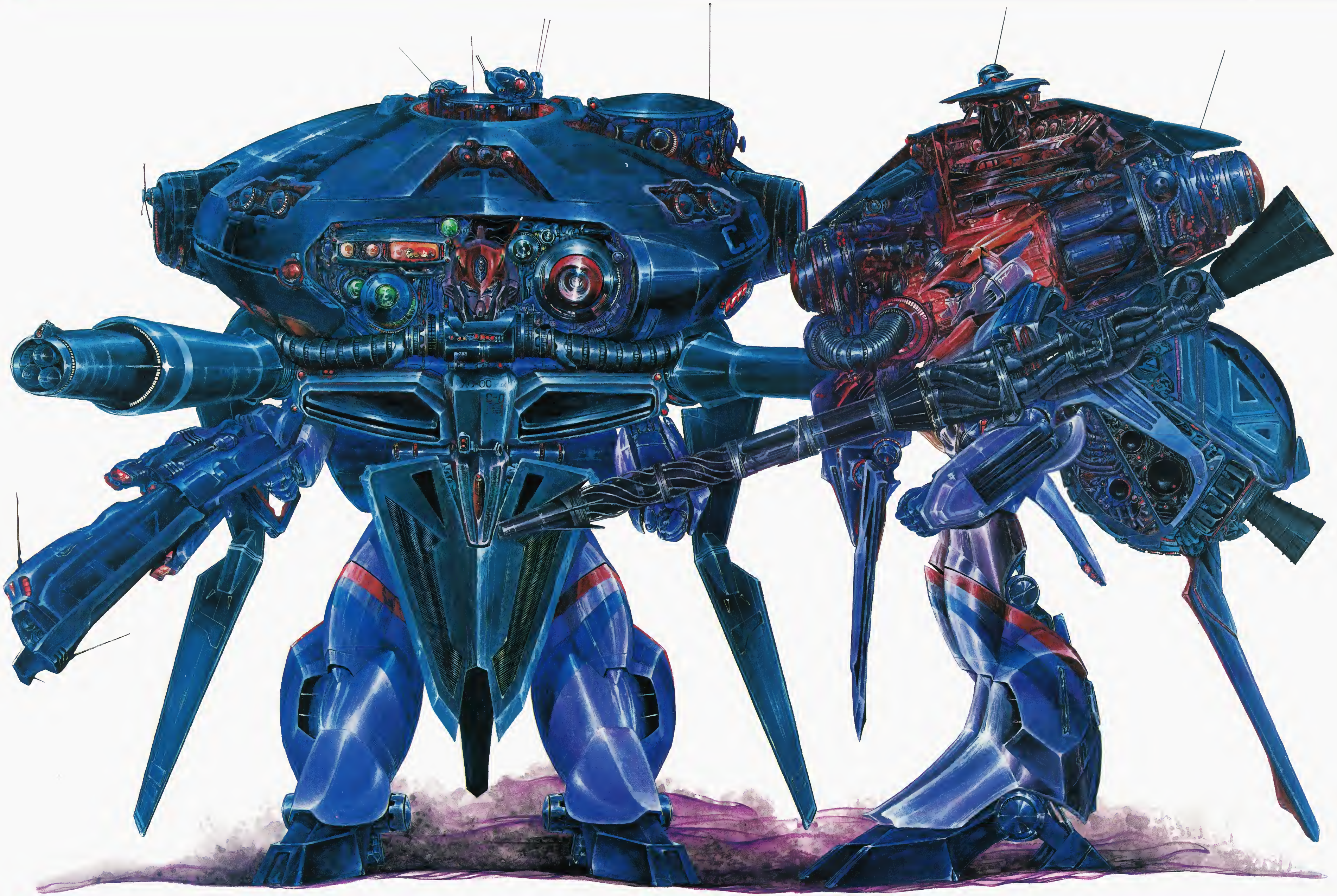
5.この本に関する感想をお書きください

＊ご協力ありがとうございました アンケートにお答えいただいた方のなかから抽選で200名の方に、ニュータイプ特製・大張正己描き下ろし「機甲戦記ドラグナー」テレホンカードをさしあげます
（昭和62年9月20日締切り。発表は発送をもってかえさせていただきます）

キリトリセン


METAL ARMOR
DRAGONAR
SPECIAL EDITION


METAL ARMOR
DRAGONAR
Nice to meet you.



illustrated by FUMITOSHI TSUCHIYA

Contents

COVER ILLUSTRATION 大張正己
〝D-1カスタムタイプ〟
COVER DESIGN 朝倉哲也
　協力 南町奉行所

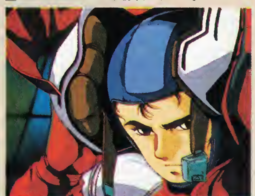
DRAGONAR Opening Film



1 出撃の時は来たれり！ 格納庫の中で、今まさに命を吹きこまれんとするドラグナー‼



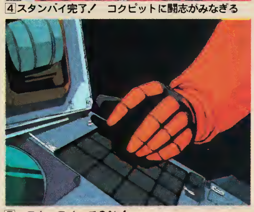
2 パイロットスーツに身を固めたケーンが……



3 今まさに戦士となる瞬間！



4 スタンバイ完了！ コクピットに闘志がみなぎる



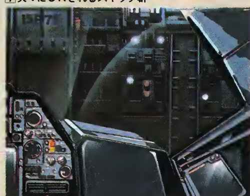
5 マスタースイッチON！



6 ファイトレバーON！ 各部動力伝達



7 次々にONされるスイッチ群



8 コンソールパネルに光が満ちていく



9 各部異常なし、出撃準備よし！ サインが点滅する



10 ケーンのバイザーに映し出される準備完了のサイン



11 ドラグナーは今、血の通ったメカに生まれ変わった



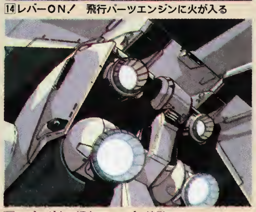
12 D－1が格納庫からせり上がり、その勇姿を現わす



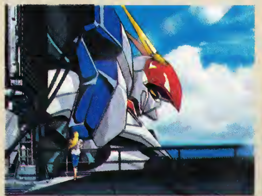
13 カタパルトセッティング完了



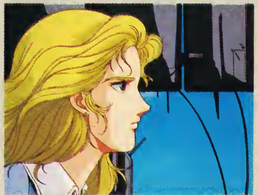
14 レバーON！ 飛行パーツエンジンに火が入る



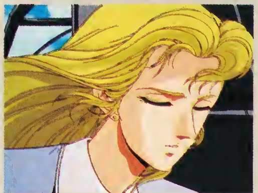
15 ノズルが白く輝き、エンジン始動



16 射出に備えてD－1が姿勢を整える



17 タラップに立ち、ケーンの出撃をリンダが見送る



18 髪をなびかせた一陣の風に閉じられた瞳は



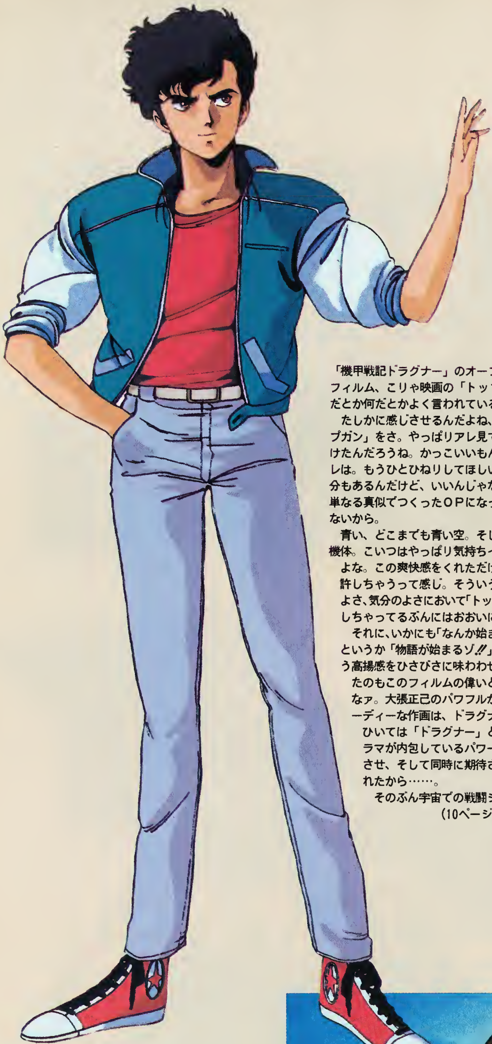
19 戦士の生還を待つ女の悲しみを帯びて開かれる



20 すべての準備が整い、射出を待つばかりのケーン



21 D－1出撃する！ ケーンの合図が今送られた



「機甲戦記ドラグナー」のオープニングフィルム、こりゃ映画の「トップガン」だとか何だとかよく言われている。

たしかに感じさせるんだよね、「トッププガン」をさ。やっぱりアレ見て影響受けたんだろうね。かっこいいもんな、アレは。もうひとひねりしてほしいって気分もあるんだけど、いいんじゃないの、単なる真似でつくったＯＰになってはいないから。

青い、どこまでも青い空。そして白い機体。こいつはやっぱり気持ちイイんだよな。この爽快感をくれただけでもう許しちゃうって感じ。そういうカッコよさ、気分のよさにおいて「トップガン」しちゃってるぶんにはおおいに結構。

それに、いかにも「なんか始まるぞ！」というか「物語が始まるゾ‼」っていう高揚感をひさびさに味わわせてくれたのもこのフィルムの偉いとこだよなァ。大張正己のパワフルかつスピーディーな作画は、ドラグナーが、ひいては「ドラグナー」というドラマが内包しているパワーを予感させ、そして同時に期待させてくれたから……。

そのぶん宇宙での戦闘シーンは、

（10ページに続く）



22 誘導員の高々と振り上げられた右手が……



23 振り下ろされる！　D－1発進‼



24 飛行パーツエンジンのメーンノズルに点火！



25 白い軌跡を残し、D－1がカタパルトを滑走



26 そして戦場へと舞い上がる



27 大胆に、そして繊細に…この臨場感がたまらない



28 同じく、D－2、D－3も空へとはばたく



29 走れよケーン！　太陽に届くまで



30 そうだ、お前には仲間がいる



31 タップとライト。彼らもまた戦いの間を駆ける



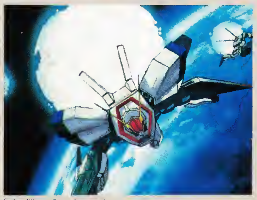
32 ローズ、ダイアン、リンダのヒロイン３人組。戦火は女たちにも平等にふり注いでくる



33 それぞれの胸に去来するさまざまな思い……



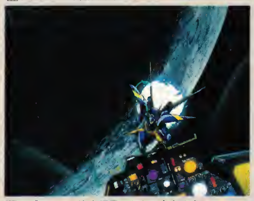
34 舞台は宇宙へ。3つの光点が猛スピードで近づく



35 3機のドラグナーがその形を鮮明にする



36 ドラグナーの猛攻をかわして飛ぶ1機のMAが……



37 しだいにその姿を視界のなかに大きくする



38 コクピットにズームイン。マイヨ登場



39「ギガノスの蒼き鷹」の異名をとる親衛隊のエース。その鋭い鷹の目が獲物を追う



40 そのパイロットスーツが……



41 MAファルゲンの青い機体にオーバーラップ



42 ファルゲン、後退しながら……



43 ミサイル発射！ 標的はドラグナー



44 D―1に襲いかかるミサイルの群れ！



45 爆発の閃光のなかをかろうじてかいくぐる



46 D―3もまた、激しいミサイル攻撃をかわして進む



激しくて、カッコいいにもかかわらず、すこーし残念に感じてしまった。もっと青い空を翔んでいるドラグナーの雄姿を見ていたかった…ってね。

ところで、このオープニングの空の青、青さってのは、なんとなくケーンたちをイメージさせるだろ？ 彼らの未熟で、蒼いがゆえの美しさ、気持ちのよさを表わしてるんだろう。ダイナミックに翔ぶドラグナーも、ケーンたちの自由奔放さ、若さを感じさせてくれるのダ。うーん、やっぱスゴイOPだ!!

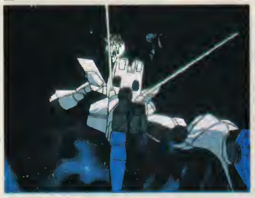
DRAGONAR Opening Film


60 後を追って急上昇していくD―2


56 3機の砲火一閃!


52 己の目前にいる巨大な敵を撃て!


47 死線を越えて、白い機体が戦場に舞う!


61 さらに続くD―3


57 急上昇を開始するD―1


53 目標捕捉! レールガンを持つ右腕がしなる


48 MAダイン、地獄の追撃! その悪魔の形相


62 3つの流星が暗黒の宇宙空間を行く


58 そのスピードをぐんぐん上げていく


54 標的に狙いを定めたレールガンの銃口


49 ケーンの怒りの目が敵機を捕らえる


63 3機のドラグナーがカットイン


59 なおも急上昇するD―1


50 D―1反撃のとき! そのもてるエネルギーを全力噴射して全身に殺気をみなぎらす。白い機体は闘魂と化した



64 それぞれのパイロットも登場! 英字ロゴもバシッとキマって、ここにOPフィルムはファイナルを迎える


55 D兵器、そろいぶみ!


51 レールガンを構える! 黒い輝きに怒りをこめる

DRAGONARS CHRONICLE 2087

1987年の僕たちは、2087年のドラグナーに出会うため心の扉をひらく。そこに広がる2087年の風景は、忘れられなくなるぐらいの青い空で僕たちを迎える。空を駆る白い騎士を見ろ、あれは2087年の少年たちの夢…蒼空が朱に移り変わるころまで2087年は夢に染まる

ドラグナー1型機

最新鋭のメタル・アーマーで、それまでのメタル・アーマーとは一線を画す性能をもっている。主な武器はレールガン、レーザーソード、そして肩部ユニットにマウントされた手榴弾である。連合軍の最高機密兵器として輸送されているところをギガノス軍に襲われ、思わぬことからケーンの愛機となってしまったかわいそうな奴。ギガノス製で、開発したのはギガノス軍に所属していたリンダの父、ラング・プラート博士なのだ。基本的構造はD－2、D－3と共通



ライト・ニューマン（左）

お調子3人組のなかで、わずかながら、唯一知性の輝きがうかがえるのがライト君。一応貴族の生まれなので、そのせいかもね。家族関係に何らかのコンプレックスあり？

タップ・オセアノ（中）

とっても家族思いなのがタップ。何しろ仕送りまでしちゃうんだから……。気のいいやつなんだけど、ローズにいち早くチェックを入れてしまうとは、すみに置けねえよなぁ

ケーン・ワカバ（右）

お軽い3人組のリーダー格。アストロノーツアカデミーの落ちこぼれだったが、ふとした偶然からドラグナーに搭乗することに。けっこうマジなところもあったりして!?

発端 The beginning

俺の名前はケーン・ワカバ。スペースコロニー〝アルカード〟に母さんと2人、17歳まで住んでいた。母さんの名前はアオイ・ワカバ。ちょっと気が強いけど、頭のきれる優れ者のキャリアウーマンで、〝アルカード〟の入国管理センターで働いていたんだ。ちょっとカッコイイ母さんなんだぜ。

コロニー〝アルカード〟は中立エリアだから、戦争とはあまり縁がない。だけど、月に樹立されたギガノス政権がギガノス帝国の独立を宣言、地球諸国に対して宣戦したことから各地で戦争が起こりはじめたんだ。ギガノスのやつら、ムチャクチャなんだよな……。

俺はといえば、その日もアストロノーツアカデミーの授業をしっかりエスケープして、仲間たちとダベリながら連合軍の情勢を無線で傍受しちゃってたんだ。どーも、この戦争、連合軍には分が悪すぎるようだぜ。何つったって、最新の科学技術力を誇るギガノスとじゃあ、勝ち目はないよな。

そして事件は起こった。そのとき、無線から聞きおぼえのある声が流れて…母さんの声だ。どうやら連合軍の難民輸送船のアルカード入港を追って、ギガノスの巡洋艦2隻がむりやりこの平和なコロニーに突っ込もうとしているらしい。

俺は仲間のタップとライトを連れて、母さんのいる宇宙港に向かうべく、軍用のジープを拝借したってわけ。でも、街にはもうギガノスの上陸バイク部隊のやつらがいっぱい侵入していて、アセったねホント。どうやらギガノスのやつら、何かを追ってきたらしい。追いつめられ銃で撃たれたその男と出会ったのは、数分後だった。

男は、俺たちに小さなグリーンの包みを託して死んだ。何のディスクカードか知らないが、トップシークレットとはおだやかじゃないね。俺たちの手にカードが渡ったと知ったギガノス軍の追っ手をふりきって、停泊中の輸送船（アイダホ）の中で見つけたもの……それが、このカードの主、今回の事件の発端となったD兵器だった。



illustrated by MASAMI OHBARI

俺たち3人組が、ギガノスの上陸部隊のおかげで、人けのない〝アルカード〟の街中で出会ったひとりの男…。それがギガノスのスパイだったなんて、とんだところに居合わせちまったもんだぜ。

銃で撃たれたその男から受け取ったディスクカードをねらって、上陸部隊のやつらに追いかけられ、宇宙港に入ってきていたアイダホの格納庫へと追い込まれた俺たちは、そこでとんでもないものを見つけちまったんだ。

D兵器…。暗い格納庫の中に、ひっそりとたたずむ巨大なロボット見たこともない形のメタル・アーマーにオドロキながらも、俺たちはそれぞれにドラグナー1型機、2型機、3型機に乗り込んだ。さっきの男から受け取ったディスクで始動を始めたドラグナーは輸送船を追いかけてきたギガノス軍の上陸部隊を、いとも簡単に蹴散らした。スゴイ！その強さに俺たちは、ただがむしゃらに戦った。アストロノーツアカデミーで習ったシミュレーションじゃない、本物のメタル・アーマーに乗った実戦は、俺たちを奮い立たせた。

後退するかに見えたギガノス軍。実はギガノスの月面基地から〝アルカード〟に向かってマスドライバー（岩塊を射出するスピードや重量によって照準・破壊力を操作することができる設備。本来は月面での資源開発の際、岩塊廃棄やマスキャッチャーへの資源移動に使われるものを、兵器として使用している）が発射されていた。〝アルカード〟に残っている母さんを助けようとした俺の前で〝アルカード〟は爆発。爆風で吹き飛ばされた俺たちはアイダホに収容された…そしてリンダ、君は俺と出会ったんだ。君のスミレ色の瞳で俺に笑いかけてくれるために、さ。



illustrated by KENICHI OHNUKI

リンダ・プラート

ブロンドの髪をなびかせた美しき少女を見初めた瞬間、そこに生まれたのは、淡い恋の予感……。彼女の兄はギガノスのエースパイロット、父はギガノス侵攻のきっかけとなったメタル・アーマー開発者。運命に耐える寂しげな瞳と、強い意志にケーンはひかれていく。

出会い
Boy meets girl



illustrated by
OSAMU TSURUYAMA

ローズ・パテントン（左）

ケーンたちといっしょにアイダホに乗って戦いの旅路を歩んできた少女。早々とタップとステディーな関係になってしまったようだが。うー、もったいないよー！普通っぽいとこ、なにげないとこが彼女の魅力なのだ。

ジャック（タップの上）

マーチン一家の長男。まだ10歳だけど、兄貴だもん、あきれるくらい元気です。トレードマークのアポロキャップも誇らしく、2人の子分を連れてアイダホ艦内を飛び回る姿が目に浮かぶようじゃありませんか。

ダニー（下）

マーチンさんの次男坊です。ソバカスいっぱいの顔が、いかにも「やんちゃそうな外人の子供っ！」という雰囲気でなかなかかあいい。3人兄弟の真ん中はえてして目だたないものだが、彼は立派にアピールしてます。

ダイアン・ランス（右）

アイダホに乗っていた避難民のひとりなんだけど実はD兵器にかかわる重要なキャラクターらしい。しかし、そんなことははっきりいってどうでもいい。いやー、これからはなんつってもおねーサマ、アダルトな女性がオイしいの‼ コラ、ライト‼ 肩の手をのけんかい！



illustrated by
OSAMU TSURUYAMA



illustrated by
KENICHI OHNUKI

ベティ

ジャックもダニーも元気だけど、お元気ってことでは誰にもひけは取りませんですのがこのベティちゃんでい！こういう子は絶対に将来、すっげー美人になっちゃったりするもんなんだから、甘くみてはいかんぞ。

挑戦

A challenge

ドラグナーのパイロットとして、それぞれのメーンコンピュータに登録されてしまった俺たちは、登録解除ができる連合軍総司令部に到着する日まで、地球連合軍戦士として戦うことになった。とはいっても、しょせんシロートの俺たち…教官役のダグラスさんやベン・ルーニー軍曹にビッシビシしごかれるはめになっちゃって、も、泣けちゃうぜ。

そんなふうに戦闘訓練に明け暮れる俺たちにとって、マイヨ・プラートの存在は、実戦の恐怖を痛感させるものだった。ギガノスの蒼き鷹…なんて呼ばれてるらしいけど、あいつのファルゲンはムラサキじゃん！ あっと、マイヨに聞こえたらヤバイかな!?

しかし、戦争とはいえ、俺にはやっぱり許せない男だ。たとえマイヨがリンダの兄貴だろうと、俺はぜーったいアイツを許さない！ あのとき——そうだ、連合軍の先輩だったギニール少尉が俺たちの目の前でマイヨに討たれたとき…。そしてギガノスの廃棄衛星で出会った軍人チェホフを、事もなげに撃ち殺したプラクティーズ隊のやつら…。忘れようとしても忘れられない悲しい思い出があるかぎり、たとえこの戦争が終結を迎えたとしても、心からマイヨを許すことなんてできないんじゃないかなぁ。

正直いって、マイヨが連合軍将校にバケてノーラットの連合軍総司令部へやってきたことから、リンダが奴の妹だとみんなの前で告白したときには、どうしていいのかわからなかった。だけど、だからといって大好きなリンダを嫌いになれるはず、ないじゃん。

それに彼女が、誰よりも苦しんでいるのは俺がよーっく知ってる。

ギガノス軍を裏切り死んだフリまでして地球に逃げのびた父と、狂信的にギルトール元帥を支持する兄と、行方不明の母。どうやら俺もリンダも、よっぽど親には恵まれていないらしい。とはいえ、親父さんが生きていたと知ったときのリンダ、ほんとにうれしそうだったな。リンダの笑顔のためなら何だってできちゃう気がしたね。ヘヘッ！



illustrated by KENICHI OHNUKI
HIROAKI GOHDA
MASAMI OHBARI

マイヨ・プラート

落ち着き、自信にあふれた物腰、あくまでも怜悧なる双眸、そして華麗なる戦歴……ギガノスの蒼き鷹という呼び名は自分にこそふさわしい……とひとりで耽美しちゃってるわけではないけれど、まさにそういった賛美に足る男だったのだ、彼は。ドラグナーにかかわるまでは！ 負けは込むわ、気がかりな妹はドラグナーのパイロットと関係がありそうだわで、彼の苦悩は深いものがありそう。これで終わってしまう男ではないと信じたい。マイヨの逆襲をみせろっ‼

DRAGONARS CHRONICLE 2087

プラクティーズ隊

マイヨ・プラート直属のエリート部隊で、メンバーはウェルナー・フリッツ、ダン・クリューガー、カール・ゲイナーの３人。プライドが高く、また実際には実力もそれなりにあるのだろうが、対ドラグナー戦ではケーンたちにハズされっぱなしで今イチ活躍できないのがツラい。エリートの理屈は落ちこぼれの本能にはかなわないのか？ 専用メタル・アーマーのゲルフに搭乗する。準備考段階では少年隊と呼ばれていた

戦闘用ポッドとファルゲン

月面開発用機械から発展したメタル・アーマーの投入は、宇宙戦においてギガノス軍の圧倒的な優位をもたらした。旧式で、ろくに格闘戦のできない戦闘用ポッドではメタル・アーマーに対抗できるはずもなかったのだ。４話において、アイダホ所属の軍人ギニール少尉はマイヨのファルゲンに戦闘用ポッドで立ち向かうが、撃墜されてしまった。しかし、この出来事がわずかであれ、何かをケーンたちに与えたのは事実だ

DRAGONARS CHRONICLE 2087

D兵器 Top secret

コクピット

真ん中にドーンと備わっているのが３Ｄマルチモニター（メーンモニター）だ。メーンカメラの映像をメモリーされたデータによる補正や、適切な遠近感を加えたうえで投影するものだ。また、各種情報も表示される。その下がメーンコンソール。ま、これは普通の飛行機のものに近い。その両脇と下方にセットされているのはホログラフディスプレイで、コンピュータからの情報を表示するものだ。コンピュータのバックアップがなければメタル・アーマーによる戦闘は不可能だから、きわめて重要だ。操縦桿とフットペダルはマニュアルで説明したとおりだ。シートの両脇にあるのはサブモニターで、メーンモニターではカバーしきれない位置の映像や、各種情報を表示する。もちろん情報の切り替えはコンピュータの判断とパイロットの操作とのどちらでも可能だ。コクピットの上部には小型のモニターとスピーカーがついている。まずモニターだが、これは通信用のものだ。ま、通信には不要だといえば不要なものかもしれないが、ここからきれーなおねーさんが「がんばってくださいね♡」とニッコリ囁いてくれればパイロットもやる気を出すのではないだろうか。そういう意味では最もたいせつな装置である!? スピーカーは通信用のものではなく、外部音声を伝えるためのもの（通信機はヘルメットに内蔵されているのだ）。シートの後部にはエアが充塡されている。これはパイロットにかかるＧを緩和するため。そしてシートの下にあるのが生命維持装置だ。パイロットがパイロットスーツを着用していない場合はコクピットは完全シールド化される。

万が一の場合に欠かせないのが救命ポットだ。通信機、非常用食料、薬品、信号弾、発煙筒、酸素マスクなどが装備されている。だが、宇宙での戦闘時にこいつのお世話になるような状況では生還の確率はきわめて低い……



illustrated by MORIFUMI NAKA
MASAMI OZONE

メタル・アーマー操縦マニュアル

●ドラグナー1

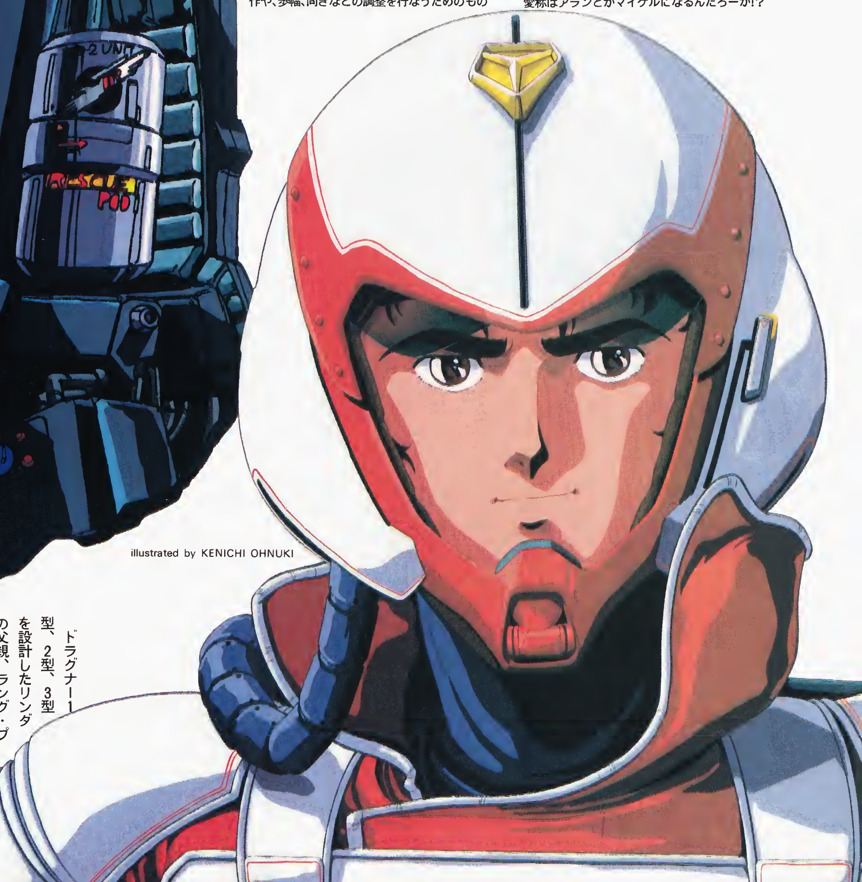
ドラグナーのパイロットは登録制になっており、おいそれと誰でも乗るというわけにはいかないのだ。一度パイロットが登録されてしまえば、プログラムを解除しない限り他の人間が操縦することは不可能である（これはドラグナー１～３共通のシステムになっている）。ケーンたちがドラグナーのパイロットをやっているのもむろんそのためだ。ドラグナーを操縦するには、まず音声による登録ナンバーを入力し、コンピュータ（D—１のものはクララという愛称がついている）を起動させる。次にサブモニター横のキーボードを操縦し、コクピット各部の機能を作動させる（この時点でモニターや各計器類は情報をパイロットに供給しはじめる）。コンソール右側のレバーで操作モードを選択し（飛行するなら飛行するための操作をできるよう切り替えるのダ！）、発進準備完了。スロットルを開くと、ドラグナーは大空に飛翔するというわけだ。当然のことながら、ドラグナーの各動作はプログラミングされており、パイロットが基本的な動きを決定すると、後は可能な限り適切な動きを選択して実行する（じゃなきゃメタル・アーマーは動かせねえゼ）。なお、操縦桿はマニピュレーターとバーニア、フラップの切り替え式だ。またフットペダルは歩行時の前進、後退、停止の操作や、歩幅、向きなどの調整を行なうためのもの

●ドラグナー2

ドラグナー１～３のコクピットは同じ基本構造をもったプロトタイプであることからか、同一のものである。ただしレーダー、センサー類を搭載した３には、専用のコンソールパネルとモニターが追加されている。操縦系統は合理化されており、かなりの操作は音声入力で可能だと思われる

●ドラグナー3

ドラグナー１～３の操縦用対話型コンピュータにはそれぞれニックネーム（なんてものなんだろうかねぇ!?）がついていて、ドラグナー２のはソニア、ドラグナー３のものはマギーの名で呼ばれている(!?)。やっぱり火線をともにくぐり抜ける仲、熊五郎とか政吉などという、いかにも「野郎！」という感じのむさ苦しい名前より、美しい女性の名前をつけたいと思うのは人情である。当然対話の声も女性の声になっている。これでパイロットが女性だったら、やっぱ渋い男性の声が設定され、愛称はアランとかマイケルになるんだろーか!?



illustrated by KENICHI OHNUKI

ドラグナー１型、２型、３型を設計したリンダの父親、ラング・プラート博士と俺たちが出会ったのはずいぶんたってからだったよ。まったく俺ぁ、おどろいたね。リンダの親父さんってのが、あんなにひょーきんで明るいジーサン、あばばは、オッサンだとは。

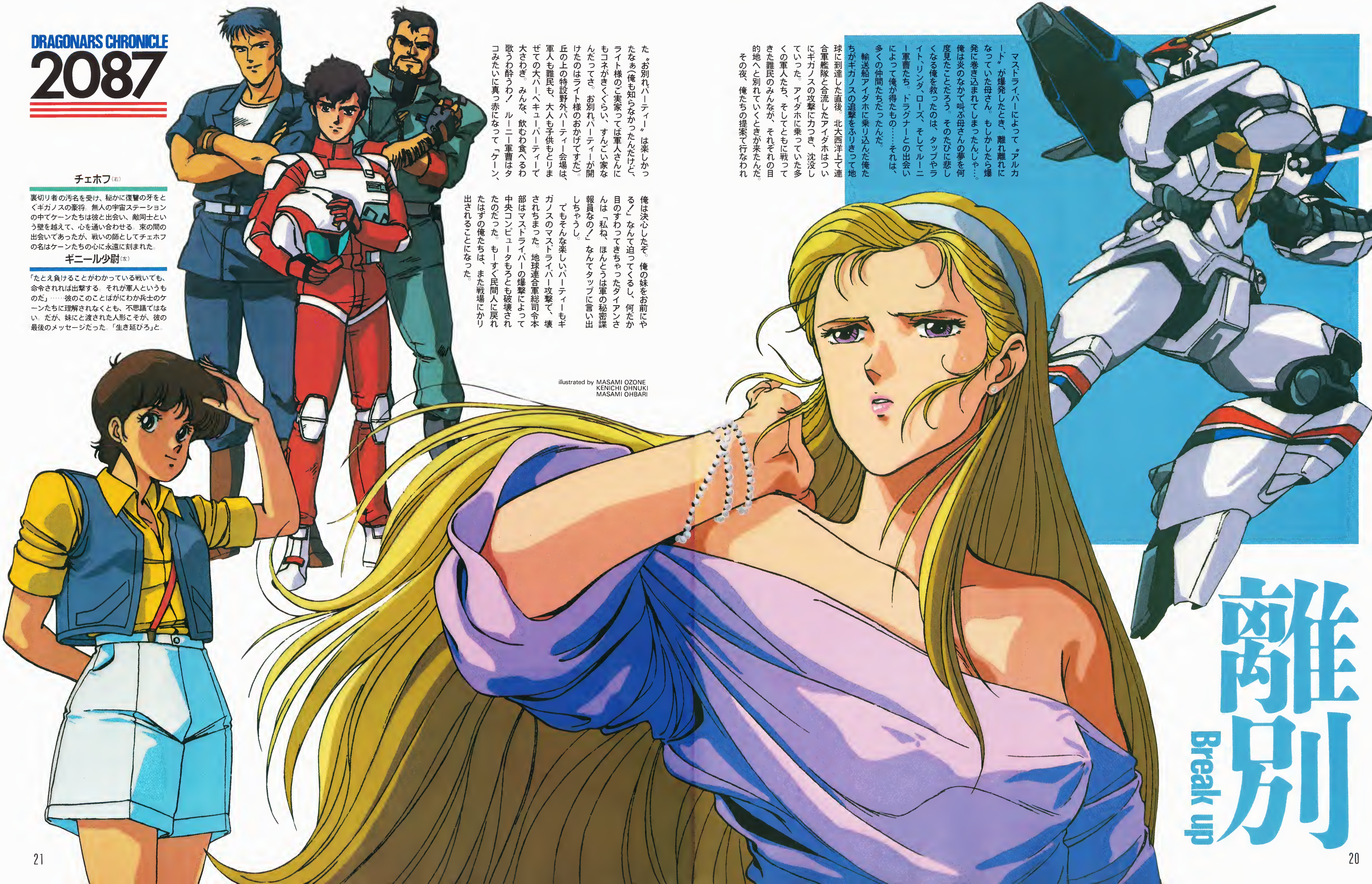
ドラグナー量産のため、中国の重慶に向かった俺たちだったが、その間にもファルゲンやプラクティーズをはじめとするギガノス軍の攻撃はやむことはなかった。なかでもアセッたのは、リンダたちと別行動をとっていたころに攻撃をしかけてきたギガノスの潜水艦クルーズピートだ。

実は無人の長距離巡航魚雷だった、クルーズピートから発射された多数の魚雷のおかげで、連合軍艦隊は大打撃を受けたんだ。まったくヒドイ目にあったぜ。このときはじめて使用したのが試作飛行用パーツだったが、ギガノス軍のやつらにひとあわふかせてやれたのが、せめてもの救いだったな。

そのすぐ後…俺たち3人組とアストロノーツアカデミーで同級生だったビル・ブライアンが捕虜として空母アクアポリスにやってきたんだ。実はそのころ、いちばん近い補給基地ではマイヨとプラクティーズ隊が物資補給に来るであろうドラグナーを狙って罠をしかけていた。その罠に気づいたビルは俺たちに教えようとして、ひとりファルゲンの前にランチャーだけで向かっていっちまったんだ。怒るファルゲンの銃を受けて死んでいったビル。俺もタップもライトも、みんなほんとうにお前のことが大好きだった。4人でアカデミーの女子寮のバスルームをのぞきに行ったとき、まっ先にかけこんだお前だったのに…眼鏡が湯気でくもっていたなんてツイてなかったよな。今度生まれてくるときは、またお前と同級生になれるかな。

DRAGONARS CHRONICLE
2087

離別 Break up



マスドライバーによって〝アルカード〟が爆発したとき、離れ離れになっていた母さん。もしかしたら爆発に巻き込まれてしまったんじゃ…。俺は炎のなかで叫ぶ母さんの夢を何度見たことだろう。そのたびに悲しくなる俺を救ったのは、タップやライト、リンダ、ローズ、そしてルーニー軍曹たち。ドラグナーとの出会いによって俺が得たもの……それは、多くの仲間たちだったんだ。

輸送船アイダホに乗り込んだ俺たちがギガノスの追撃をふりきって地球に到達した直後。北大西洋上で連合軍艦隊と合流したアイダホはついにギガノスの攻撃に力つき、沈没していった。アイダホに乗っていた多くの軍人たち、そしてともに戦ってきた難民のみんなが、それぞれの目的地へと別れていくときが来たんだ。

その夜、俺たちの提案で行なわれた〝お別れパーティー〟は楽しかったなぁ(俺も知らなかったんだけど、ライト様のご実家ってば軍人さんにもコネがきくぐらい、すんごい家なんだってさ。お別れパーティーが開けたのはライト様のおかげですだ)。丘の上の特設野外パーティー会場は、軍人も難民も、大人も子供もとりまぜての大バーベキューパーティーで大さわぎ。みんな、飲むわ食べるわ歌うわ酔うわ! ルーニー軍曹はタコみたいに真っ赤になって「ケーン、俺は決心したぞ。俺の妹をお前にやる!」なんて迫ってくるし、何だか目のすわってきちゃったダイアンさんは「私ね、ほんとうは軍の秘密諜報員なの!」なんてタップに言い出しちゃうし。

でもそんな楽しいパーティーもギガノスのマスドライバー攻撃で、壊されちまった。地球連合軍総司令本部はマスドライバーの爆撃によって中央コンピュータもろとも破壊されたのだった。もーすぐ民間人に戻れたはずの俺たちは、また戦場にかり出されることになった。

illustrated by MASAMI OZONE
KENICHI OHNUKI
MASAMI OHBARI

チェホフ(右)

裏切り者の汚名を受け、秘かに復讐の牙をとぐギガノスの豪将。無人の宇宙ステーションの中でケーンたちは彼と出会い、敵同士という壁を越えて、心を通い合わせる。束の間の出会いであったが、戦いの師としてチェホフの名はケーンたちの心に永遠に刻まれた。

ギニール少尉(左)

「たとえ負けることがわかっている戦いでも、命令されれば出撃する。それが軍人というものだ」……彼のこのことばがにわか兵士のケーンたちに理解されなくとも、不思議ではない。だが、妹にと渡された人形こそが、彼の最後のメッセージだった。「生き延びろ」と。

DRAGONARS CHRONICLE 2087

予感 In my heart's

ドラグナー奪回のため必死に攻撃をしかけてきたマイヨだったが、俺たちが中国へ向かう途中、南方戦線に左遷されてしまったらしい。マイヨを神様みたいに思ってたプラクティーズ隊の連中も、さぞかし俺たちを恨んでんだろうなー。あーやだやだ。戦争なんて俺キライだよー。

俺の父親、ジム・オースチン少将が突然やってきたのは、クラフトユニットを装備した俺たちが戦闘訓練に励んでいたころだった。連合軍第1海洋戦域軍代表としてドラグナーの性能を確認するために来たなんて言っているけど、父親らしいことなにひとつせず俺と母さんを捨てていっちまったくせに、よくのーのーと俺の前に顔を出せたもんだぜ。やっぱし話の合わない親父だったけど、母さんが無事だったらしいという情報だけは、アリガタくいただいた。俺ってやっぱり、ツッパリ兄ちゃんなんだな。どーも素直になりたくなくって…。

中国へ向かう途中、立ち寄った日本では、母さんの田舎のある津軽にバッチャンに会いに行った。母さんが無事だと聞いて、バッチャン泣いてたっけ。ギガノス軍の地球侵略はずいぶん進んでいて、津軽海峡には竜飛岬に設置されたギガノスの要塞によって、機雷がばらまかれていた。俺たちはドラグナーを駆って敵要塞の攻撃に出撃。バッチャンのアドバイスによって、青函トンネルを使いギガノスの地下要塞を爆破した。バッチャンに別れを告げて空母に帰ってきた俺は、ダイアンさんからマイヨ・プラートが会見を求めていると聞かされた。どうしてもついて来るとせがむリンダといっしょに、俺たちはマイヨの待つ京都へと向かうことになったんだ。ところがどっこい、あのヤローめ。ちゃっかりギガノスの諜報員たちに待ち伏せされちまった。そのとき、背後の竹林から突如出現したD-3に助けられなかったら、間違いなくリンダともどもギガノスに捕まってたな。ライト殿に感謝感謝！

で、今俺たちは、ここ重慶の工場でドラグナーのカスタムタイプができあがるのを待っている。

量産型ドラグナーのためにバラされちまったドラグナーが、ラング・プラート博士の助人によって、さらにパワーアップするんだ。ドラグーンの登場で戦力アップした地球連合軍は、戦争の終結に向かって、一気に勝負をかける。ギルトールの出現によって軌道の狂った宇宙開拓史は、修正されるんだ。そのときこそきっと、リンダにステディリングを贈ろう。



illustrated by
KENICHI OHNUKI



illustrated by HIROAKI GOHDA

ドラグナー1

ドラグナー3機のなかでも、最も高い戦闘能力を誇るD-1。クラフトユニット装着によって、その戦闘力の活躍の舞台を高く、空中にまで広げることができるようになった。大空を切り裂く白色のXウイングに新たな命が燃えるD-1の勇姿！　これによってギガノスのメタル・アーマーと対等の戦力を手に入れたD兵器は、戦局を新しい展開に導く原動力となれるであろうか？

ドラグナー2（右）

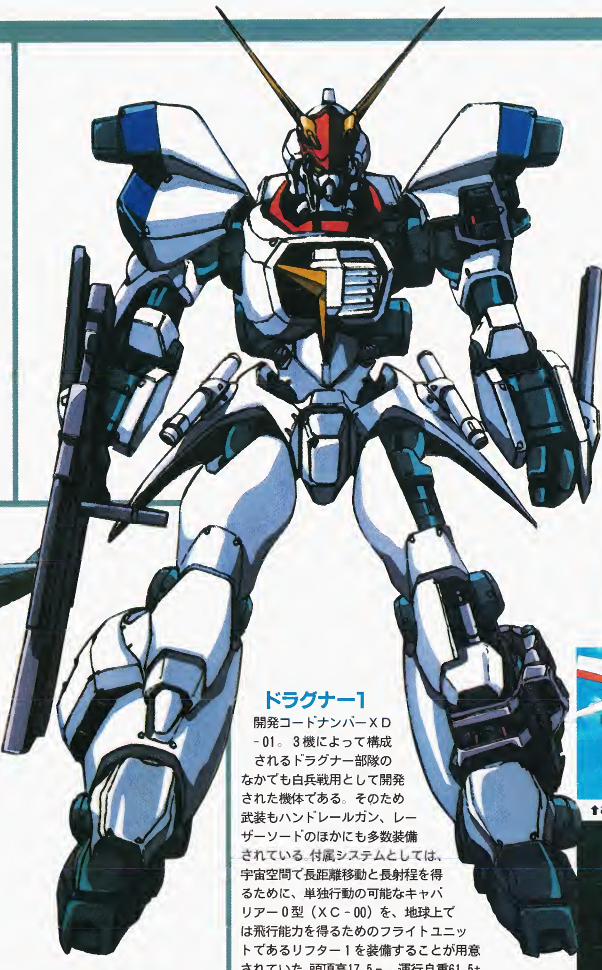
D-2のクラフトユニットは「空飛ぶ燃料タンク」としての機能をもっている。機動性が重視されるD-1、D-3が戦闘中に燃料を使い果たしてしまっても、D-2が帰りの分を補給してくれる仕組みだ。クラフトユニットもそれぞれのロボットの機能に応じて設計され、戦闘能力を高めている。

ドラグナー3（中央）

スピード性を重視したD-3のクラフトユニットは、空気抵抗を極力おさえたデザインになっている。これにより、D-3は他の2機よりも素早く動くことが可能となりリレーダー専用機としての機能をさらに大きく広げることができるようになった。飛行距離5000kmを誇るD-3は、いかなる場所でも敵をいち早くキャッチする。

メタル・アーマー列伝

TV放映されたフィルムでのメタル・アーマーの勇姿を、大張正己、合田弘章、西井正典…3人の若手人気アニメーターによる描き下ろしセルイラストとあわせて楽しんでください。このコーナーには特に「機甲戦記ドラグナー」2クールまで（第1話～第26話）に登場した印象深いメタル・アーマーを選んでみました。君は、どのMAがお気に入りかな!?



ドラグナー1

開発コードナンバーXD－01。3機によって構成されるドラグナー部隊のなかでも白兵戦用として開発された機体である。そのため武装もハンドレールガン、レーザーソードのほかにも多数装備されている。付属システムとしては、宇宙空間で長距離移動と長射程を得るために、単独行動の可能なキャバリアー0型（XC－00）を、地球上では飛行能力を得るためのフライトユニットであるリフター1を装備することが用意されていた。頭頂高17.5m　運行自重61.5t



↑あらゆるメタル・アーマーの中で最も俊敏！



↑装備された武器の数もMAの中で一番多い



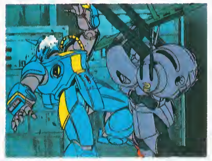
↑MA同士の格闘戦に最適である



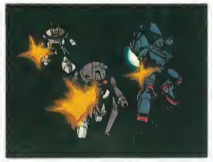
↑キャバリアー装着時の姿も期待を集めた



↑D－1の横顔。その端正な面とシンプルなボディーマーキングが美しい



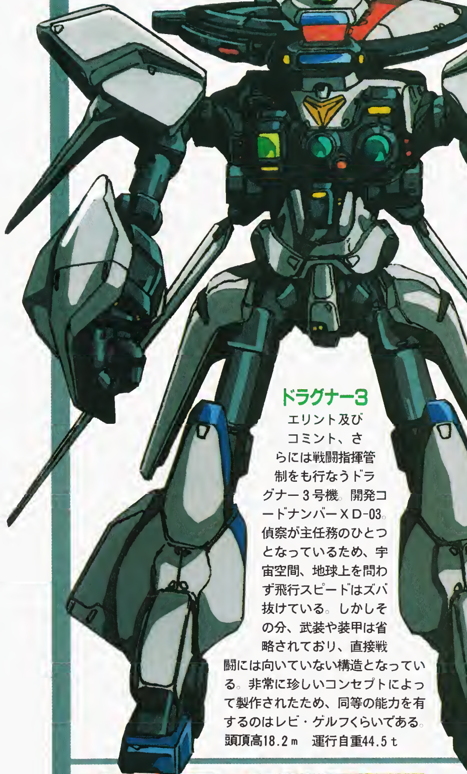
↑第7話、ゲルフになぐりかかるD－2



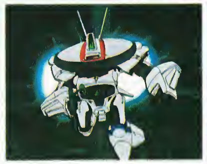
↑第5話より。3機そろうとカッコイイ！

DRAGONAR-1

DRAGONAR-3



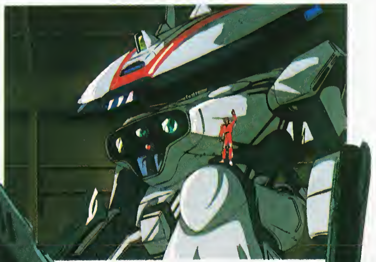




↑頭部デザインのおもしろさが注目される



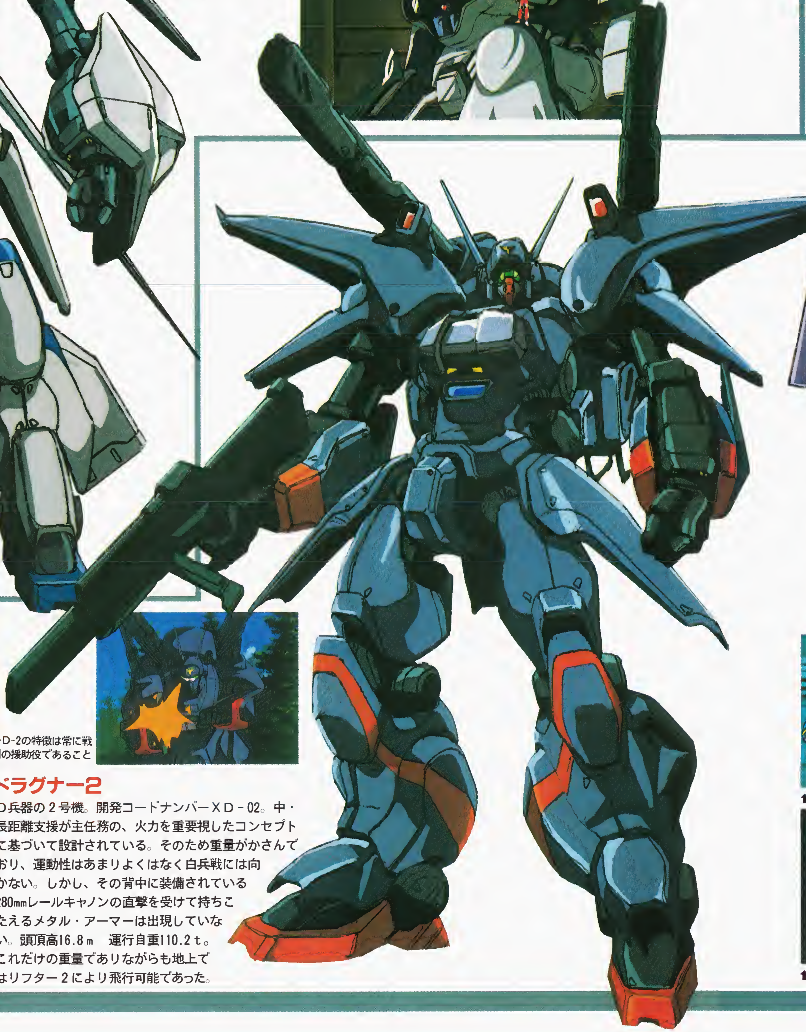
↑D－3のコンピュータはマギーちゃん♡



↑➡それまではあまり、派手な格闘戦での見せ場のなかったD－3。だが第9話では堂々主役を務めた。アイダホを捕らえたキガノスの宇宙中継基地のコンピュータに、D－3のマギーちゃんを侵入させ混乱させた

ドラグナー3

エリント及びコミント、さらには戦闘指揮管制をも行なうドラグナー3号機。開発コードナンバーXD-03。偵察が主任務のひとつとなっているため、宇宙空間、地球上を問わず飛行スピードはズバ抜けている。しかしその分、武装や装甲は省略されており、直接戦闘には向いていない構造となっている。非常に珍しいコンセプトによって製作されたため、同等の能力を有するのはレビ・ゲルフくらいである。頭頂高18.2m　運行自重44.5t





↑重量感あふれるボディーデザイン。パイロットの性格がうかがえるようだ

➡D-2の特徴は常に戦闘の援助役であること

ドラグナー2

D兵器の2号機。開発コードナンバーXD－02。中・長距離支援が主任務の、火力を重要視したコンセプトに基づいて設計されている。そのため重量がかさんでおり、運動性はあまりよくはなく白兵戦には向かない。しかし、その背中に装備されている280mmレールキャノンの直撃を受けて持ちこたえるメタル・アーマーは出現していない。頭頂高16.8m　運行自重110.2t。これだけの重量でありながらも地上ではリフター2により飛行可能であった。

DRAGONAR-2

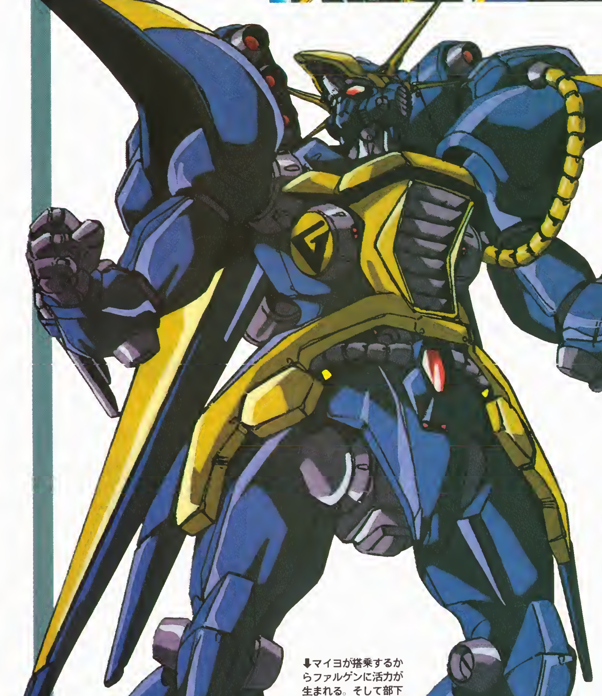




⬅⬇シモールA型パッシブ装甲をもつファルゲン。この装甲はファルゲンのほかに、プラクティーズのゲルフのみがもっている



⬆ファルゲンのカッコよさはポーズのとり方とボディーカラーにあるだろう



FALGUEN

ファルゲン

メタル・アーマーの設計・開発では第一人者であるラング・プラート博士が、息子のマイヨのためにカスタムメードした、最高の性能をもつ機種。その秘密は火力、推力、重量などトータルバランスの設定が最良の状態であることと、装甲がシモールA型パッシブ装甲といわれる可逆性弾性金属（形状を変化させることができる）が用いられているからである。マイヨがこの機体で沈めた連合軍艦艇は数知れず、ギガノスの象徴のように思われている。識別コードナンバーXFMA—09。頭頂高17.9m　軍行自重66.1t

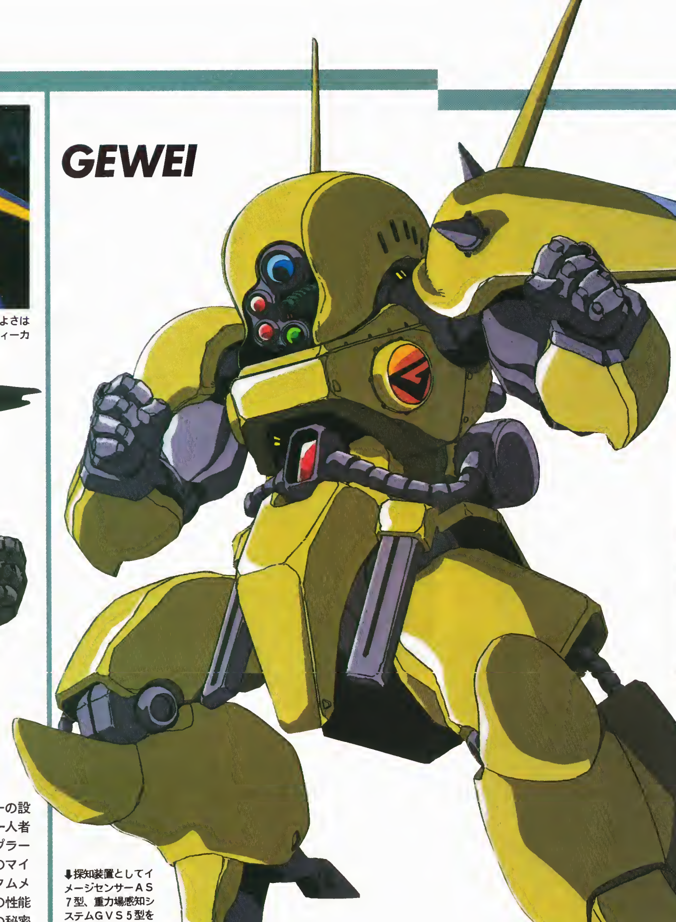
⬇マイヨが搭乗するからファルゲンに活力が生まれる。そして部下も信頼をよせるのだ



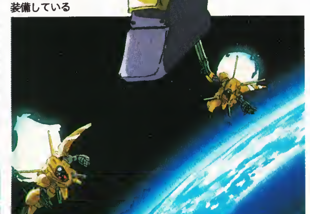


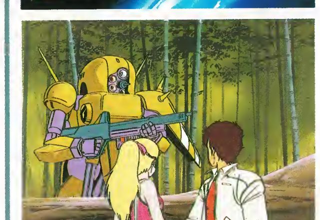
⬆スピードと破壊力も他のMAより優れている

GEWEI



⬇探知装置としてイメージセンサーAS7型、重力場感知システムGVS5型を装備している





⬆京都でダインの待ち伏せをくらうケーンとリンダ、そしてマイヨ

ゲバイ

識別コードナンバーAMA—03B。ダインと同時期に使用されていた、ギガノス軍の初期量産型メタル・アーマー。ダインと比較すると、出力系と武装については若干見劣りするが、センサーシステムについては、より優れたものを搭載しているという強みをもつ。外観は、メタル・ワーカーの血を強く引いており、また非人間的なイメージがかなり見受けられる。しかし、その安さは、ギガノス軍にとっては多大な魅力であった。頭頂高16.1m　運行自重147.4t

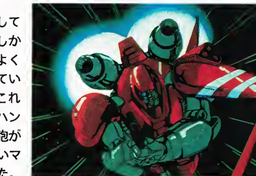
➡基本構造としてはまだまだメタル・ワーカーに近いダインはMA第1号機ダヌルの2番手として登場



ダイン

開戦当時から、メタル・アーマーとしては、すでに旧式に属していた機種。しかしそのぶん量産は楽で、下級兵士がよく搭乗していた。連合軍が当初使用していた戦闘用ポッドを相手にするには、これで十分だったのである。基本武装はハンドレールガンと、2連装の25㎜機関砲が2門だけで、このほかには、せいぜいマルチディスチャージャー程度であった。すでに連合軍量産型メタル・アーマーであるドラグーンよりも能力的には下であり、もうほとんど使用されることはあるまい。頭頂高17.3m　運行自重57.1t。装甲も一世代前のものである。

⬇識別コードナンバーFMA—04A、ダイン





⬆ダインの頭部には探知装置がある。イメージセンサーAS3型、重力場感知システムGVS5型



⬅格闘戦時には、ダインの本領が発揮される。装甲はステライド合成装甲＋対センサーC



⬆通常はロケット弾のみ使用しているが、その他も発射可



⬆2連25㎜機関砲の携行弾数は720発！



⬆基本武装として50㎜ハンドレールガン、マルチディスチャージャーをもっている



DEINS



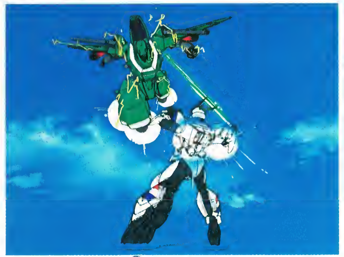
⬆装甲はステライド合成装甲＋対センサーC



⬆ゲルドーラ、ガンドーラとも原型はドーラ



⬆分離体のみ、ドーラとしての姿は、またひとつ新しいロボットの型を生んだといえる



⬆識別コードナンバーAMA-06A。ゲルドーラは頭頂高10.4m。ゲルファーはウォータージェットをもつ



DOLLA

ドーラ

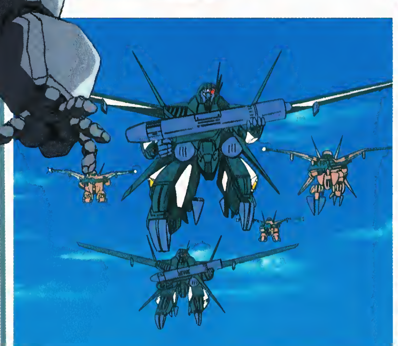
ガンドーラと、マリン・メタル・アーマーのゲルドーラの共通上部パーツとして使用されているドーラ。これを単体でメタル・アーマーと呼称するかどうかは、見解のわかれるところではあるが、その汎用性の高さについての評価は一致している。しかし残念ながら、長時間飛行するだけのペイロードは保有していないため、ベースとなるガンツァーなどが破壊されてしまうと機動力を完全に喪失してしまうのである。なお、武装はガンドーラ時とゲルドーラ時とで若干変更することも可能なようである。



DAWZEHN

ダウツェン

ギガノス軍がシュワルグと同時に開発した、大気圏内戦闘専用のメタル・アーマー。しかしこちらは重攻撃タイプであり、空戦よりも対地攻撃性能を重視した設計となっている。そのため絶えず空戦用のシュワルグとコンビネーションを組んで運用しなければ、その本領を発揮することはできない。この機も高速飛行時には脚部を収納しているが、陸戦も考慮されているため、装甲などもしっかりしたものを使用している。

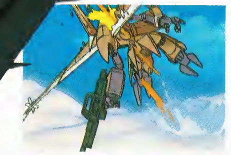


⬆飛行編隊を見せるダウツェンとシュワルグ

⬆連係プレーならダウツェンにおまかせ！ギガノスの科学力が生んだ最新メカニズムとは皮肉である



⬆頭上のセンサーがポイント



⬆翼のねもとを撃ち抜かれるシュワルグ！

シュワルグ

地球上の戦闘においては、連合軍は多大な航空戦力を保有しており、それに悩まされつづけたギガノス軍は、廉価版のフライトユニットとボディーが一体成型された大気圏内戦闘専用のメタル・アーマー２機種を設計した。このシュワルグはそのうちの軽戦闘用タイプで、極端に軽量化が計られている。特に脚部は高速移動時には格納されてしまうため、ほとんどアーマーのないおざなりなものにされてしまった。

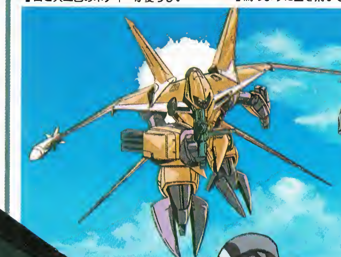
ダウツェンと連合軍に攻撃をしかける。



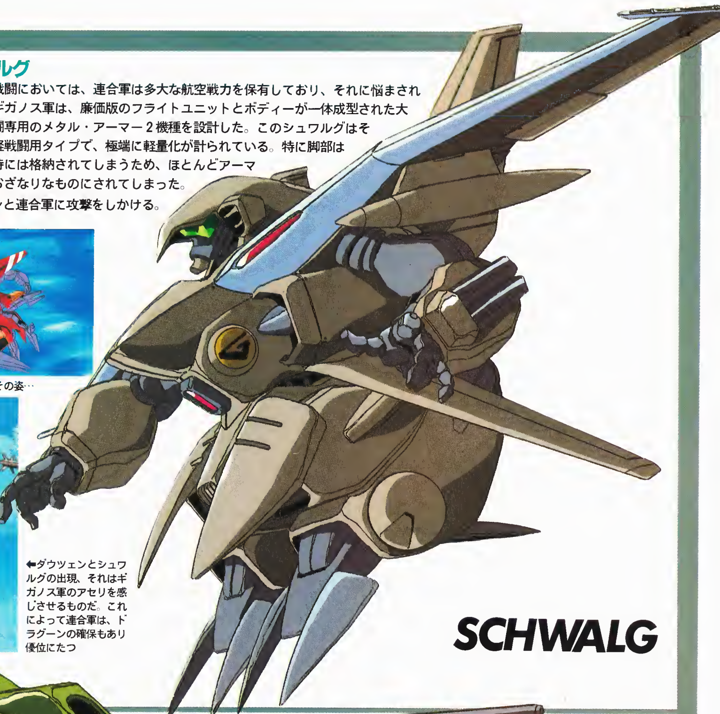
⬆白と黄土色のボディーが愛らしい…



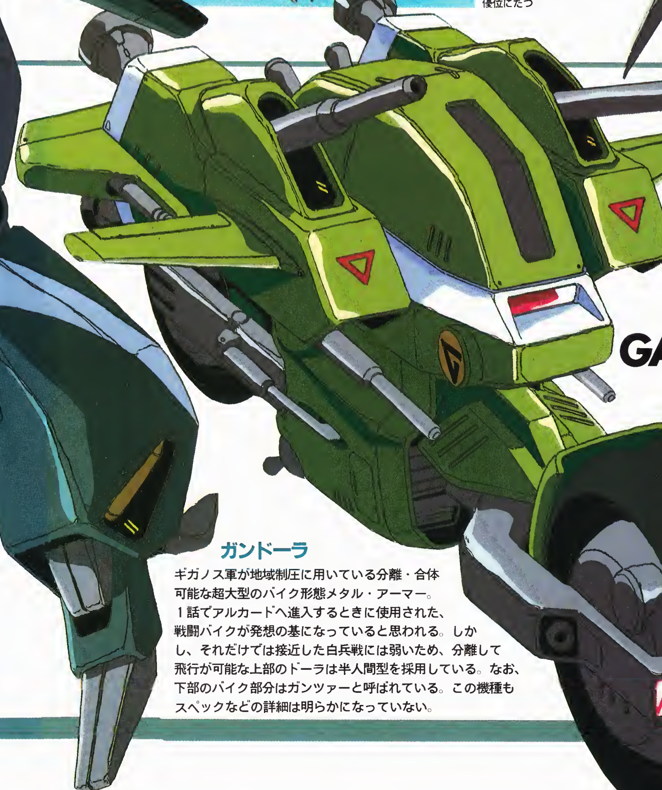
⬆鳥のように空を飛ぶその姿…



⬅ダウツェンとシュワルグの出現、それはギガノス軍のアセリを感じさせるものだ。これによって連合軍は、ドラグーンの確保もあり優位にたつ



SCHWALG



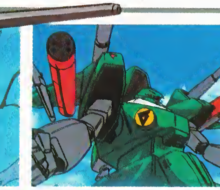
GAN-DOLLA

ガンドーラ

ギガノス軍が地域制圧に用いている分離・合体可能な超大型のバイク形態メタル・アーマー。１話でアルカードへ進入するときに使用された、戦闘バイクが発想の基になっていると思われる。しかし、それだけでは接近した白兵戦には弱いため、分離して飛行が可能な上部のドーラは半人間型を採用している。なお、下部のバイク部分はガンツァーと呼ばれている。この機種もスペックなどの詳細は明らかになっていない。



⬆これはシドイ！



⬆ガンドーラ、ゲルドーラ、ドーラは多機能



⬆D-1に突っ込む、けなげなガンドーラ



⬆識別コードナンバーAMA-06B、ガンドーラは全高8.5〜13.2m

Fashion Freak DRAGONAR

ギカノス軍と地球連合軍の戦いの中ではオシャレもままならない！　というわけで、ドラグナーの出演者たちにドーンとドレスアップして登場してもらった。しかも女の子たちには特別にキャミソール姿もご披露願っちゃったもんだから、ケーンたちがおこるおこる!!

イラスト／大貫健一　ラフ画／羽原信義　コーディネート／本田登志子



デートファッションは、2人のバランスが大事。ムードをそろえるのも、あえて逆にするのも両方いい

土曜の宵……午後5時30分からといったら、そりゃデートしかないに決まっている。こんな時間に、毎週毎週家（ふね）にいるようでは情けない。ぜひ、彼／彼女とデートしていただきたいものである。というワケで、ドラグナーのレギュラー陣がデートに出かける場合のファッションを考えてみた。

❶は、まぁ、年齢相応のファッションだが……コメントは避けよう。かたや❷のマイヨは、ヘアメークアーチストかブルータス少年かというぐらいファッショナブルだ。オーバーアウターとスパッツふうパンツの組み合わせが似合うのは、やせている人だけ。長身でスリムなマイヨなら、必ずキザで、人と違った着こなしができるハズだ。

❸のケーンは今いちばん流行っているサイクルファッション。ある程度鍛えた体で自信たっぷりに着ていれば、ホントにカッコイイぞ。対して、❹リンダはロマンチックで少女らしい服装、ほとんどオリーブお嬢さま。いつもの銀行員みたいな格好も悪くないけど、たまにはこのくらいキュートで少女的（ロリータ）なリンダが見たいものだ。❺タップのような体型の人は実はコンチが決まるのだぞ。❻ローズはいつもボー・ガルソン（おとこのこみたい）なパンツスタイルなので、逆にシックなタイトスカートで。シンプルでも高級な素材のブラウスで、粋なオシャレを。❼❽のダイアンとライトは、ほとんどギャングとキャリアガールの不倫!?　ポロをエレガントにまとめるダイアンはさすが情報将校。シック＆グッド・ルッキング。❽のギャングスターのようなハットと背広は、体型よりも物腰や雰囲気で似合う似合わないが分かれます。洒落者を気取ろう。



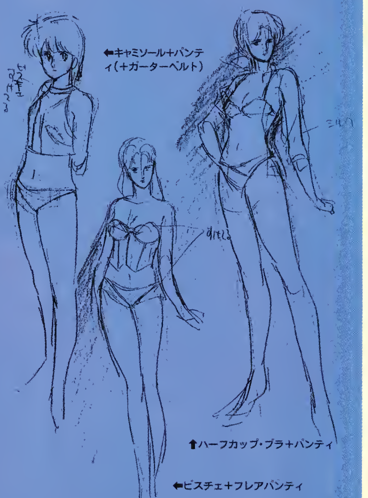
←ポロ＋パンツ＋ローファでも、スカーフなどの小物でシックなダイアン

↓これはかなりおススメのデートファッションなのだ

←キミが日焼けしていない場合はあきらめて

女の子だけの秘密の時間に話す事と着てるものが知りたいって？ 聞かないほうがイイと思うけどな

女の子だけの秘密の時間に、話してる事とか着ているものが知りたいって？　聞かないほうがイイと思うけどな、ウフフ♡　泊まりに行って夜中なんとなくしゃべってるんなら、格好はナイトウェアか部屋着で、他愛もない話題に決まってるけど、土曜の宵に私たち３人が集まって、どんな話をしていると思う？　女の子しか入れない世界なんだから、知ったってムダ……そうね、格好だけならちょっと教えちゃおうかな。それはネ……。
❶リンダって、ホントは15歳なんだって知ってたかしら？　過去のいきさつのせいもあって、いつも年齢より老けたシャレッ気のない服装をしてるけど、10代（ティーン）の女の子だもの、かわいらしくてイロっぽい下着をつけたいときだってあるの。白いビスチェは後ろはコンテッサ（編み上げ）になっていて、アウターとしてチラッと見せても大丈夫。チューリップ型カップで、シンプルなのにすごくキュートでしょう？　フレアパンティは同様のハイレグものよりずっと足が動かしやすくて実用的。リンダのこんな姿、ケーンが見る日はいつのことになるでしょうね。❷ローズの着ているのは画期的なアメリカン・スリーブのキャミソール。コットン素材だけど、シースルー部分もあってヘルシー＆セクシー。これなら完全にアウターとして着れるわ。シースルーのパンティとガーターベルトはローズにはちょっと早いかな？　（ダイアン談）
❸ダイアンさんはワイヤー入りのハーフカップ・ブラジャーとＶレグパンティ。上にシルクのシャツブラウスをはおって、大人の魅力してます。デザインじたいはシンプルだけど、Ｖレグ型はグラマーかつタイトでないと決まらない下着。ダイアンさんなら女としての貫禄も十分、一番シンプルなインナーなのに、私たちより全然セクシーで、濃厚な大人の色香にクラクラしちゃいそう。うらやましいな。ところで私たちが着ている下着は、全部実際に手に入るんですよお（リンダ、ローズ談）



⬅キャミソール＋パンティ（＋ガーターベルト）

⬆ハーフカップ・ブラ＋パンティ

⬅ビスチェ＋フレアパンティ



キメればキメるほど変態に近づきそうなマイヨとプラクティーズの土曜の夜はコンサートしかない!!

マイヨ・プラートとプラクティーズ隊が過ごす、もうひとつの土曜の宵──軍務、研究や、さもなきゃ女性(マイヨの第1希望はもちろんリンダ)をエスコートする以外、マイヨのお出かけなんてあるのかね。コンサートに行って踊りまくるなんてするワケがないし、せいぜい格調高きクラシックの音楽会やオペラに出向くぐらいのものだろう。だがしかし、プラクティーズの3人はまだ若い。ロックミュージックに心ひかれる場合だってあるだろう。待てよ、でもあの3人のコトだ。人の演奏で楽しんでいるだけですむだろうか？　エリートであるわれわれが、人に踊らされているのはけしからん、などといって自分たちで超先鋭的バンドをつくっちゃったりして。そうなれば当然マイヨ・プラートが黙っているはずがない。というぐあいで、ザ・プラクティーズfuturingマイヨの編成を考えてみた。若干アナクロ(⁉)感覚の持ち主である彼らは、当然アメリカン・ポップスというより、UK(イギリス) チャートふうに装うに違いない。まず❹マイヨ。ビートニクスのズート服よりもっと昔の、ほとんどジェームズ・ブラウンののりのブレザー・スタイルだが、ヘアはいつもどおり。これで襟足を結べば、最近ギョーカイ人によくある髪形になる。あとは手にハデハデ指輪をたくさんつければ完璧だ。❷ウェルナーのスタイルは、'70年代のヒッピー・ムーブメントのころの組み合わせをアーム・ウォーマーで現代的に処理したコーディネート。いやらし〜い雰囲気にするのがミソだ。❸カールは、いちおう最もコンテンポラリーなフレンチ・アイビー（顔つきのせいで今イチそう見えないが)。❶ダンはひと昔前によくいたハード・ゲイのパンク。髪を坊主(スキンヘッド)またはそれに近いものにすると本物っぽくなるので、ダンならそのままでOK。



←プラクティーズの制服より似合うのがコワイ…

⬆美形じゃないと、ハッキリいってバカ

←ボーダーのTシャツがオシャレ



DRAGON AR-1 Special Collection

おおっ!!あれは何だ?あの空を舞う鋼鉄の巨神は、いったい何だ!?――ケーン・ワカバとの出会いから、突如地球連合軍の救世主となった奇跡のメタル・アーマー、ドラグナー1型機。ここでは、人気アニメーターによるD-1の勇姿を様々な角度から描きコレクションした。いつか君だけのD-1も加えてみてね



YOSHIYUKI SADAMOTO

映画「王立宇宙軍」で作画監督をつとめた貞本さんは、自称あまのじゃく青年。

「周りの人からは頭の固いヘンクツじーさん……と言われますが、自分では見た目よりも若いと思います。まあ、ヘンなところにこだわる頑固なところもありますけどね」

今回のイラストも、そこかしこにこだわりが見えている。

「実際にドラグナーを描いたのははじめてです。立体として現実にドラグナーが存在したら、きっとこんなカンジじゃないかと思いました。戦車や兵器を意識して、合金や鉄の質感を出したんです。腰の部分などは車のアレンジで、ちょっと遊んでます」

●貞本義行(さだもと　よしゆき)
昭和37年1月29日　山口県に生まれる。A型。

YORIHISA UCHIDA

18禁OVA「リヨン伝説フレア」や、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」や「ガンダムZZ」のメカ作監など、個性あふれる作品を手がけつづける内田さん。「機甲戦記ドラグナー」でもメカ作監として参加している。周りからは怒らせると怖い人…と言われるが、実は案外ネアカでラブリィな青年である。現在「フレア」に続く内田総監督作品に着手しているので大忙し。

今回のイラストは、ロボットのシャープな動きが感じられる。内田バージョンとしてディテールアップされたドラグナーからは、今にも飛びかかって来るような錯覚を覚える。スタジオMAXのドンである。

●内田順久(うちだ　よりひさ)
昭和35年3月5日生まれ。アニメーターとしての初仕事は「ダルタニアス」の動画、初原画は「ザブングル」。

NOBUYOSHI HABARA

TVアニメーション「マシンロボ　クロノスの大逆襲」のキャラクターデザインで知られる羽原さん。「超獣機神ダンクーガ」やOVA「レディウス」など多くの葦プロダクション制作作品を手がけている。ニュータイプでは「マシンロボ」のヒロイン、レイナ・ストールの生みの父として〝はばらパパ〟と呼ばれているが、本人はキャラクターよりもメカのほうが好きだという。今回のイラストはフェニックスのイメージでドラグナー1を描いてくれた。

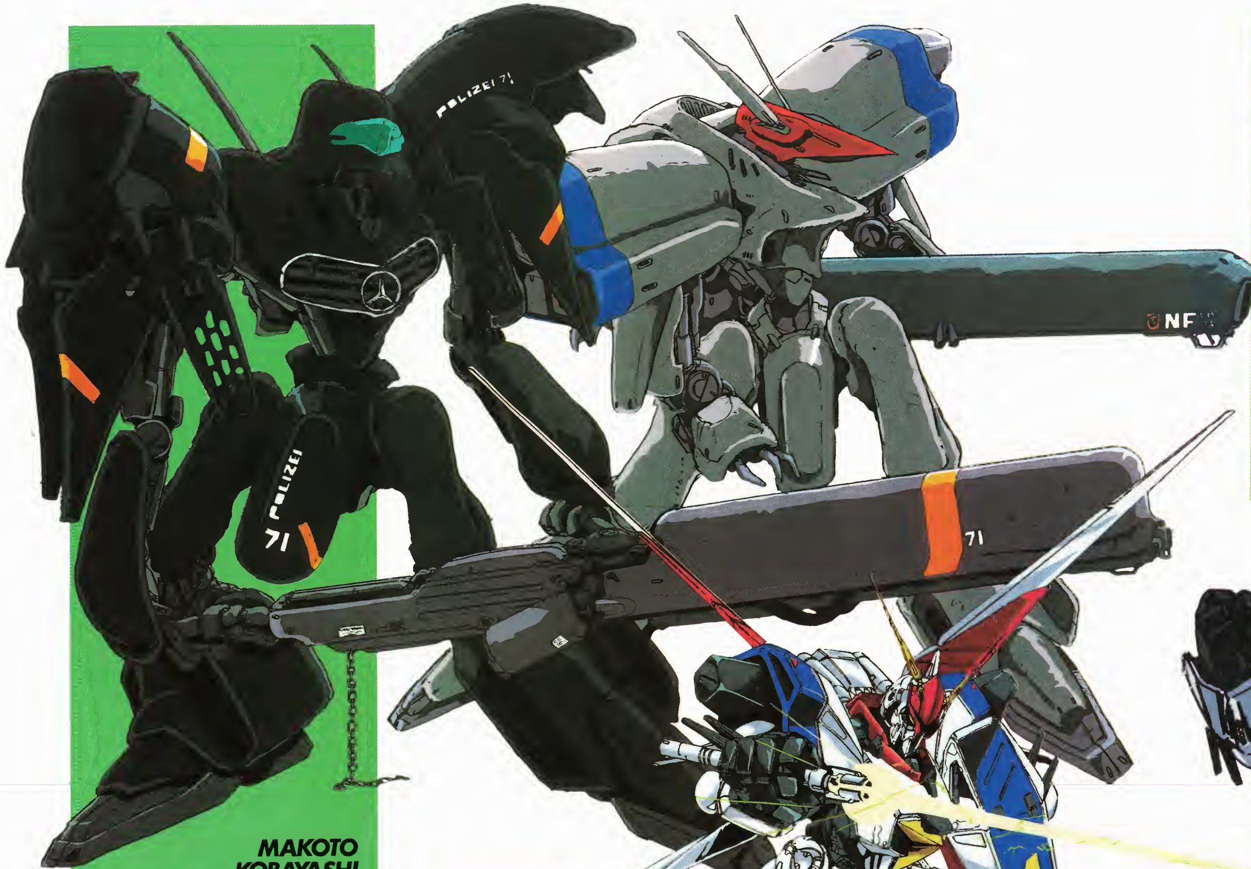
「やはり、普通の描き方じゃつまらないと思ったものですから。で、考えた末にこうしてしまいました。ちょっとすてきなD-1でしょ」

●羽原信義(はばら　のぶよし)
昭和38年6月21日　広島県に生まれる。「マシンロボ　クロノスの大逆襲」やOVA「超獣機神ダンクーガ／ゴッド・ブレス・ダンクーガ」のキャラデザ&作監をつとめた。B型。

NORIO SHIOYAMA

ドラグナーの本編にも、原画として参加されている塩山先生。アニメーターとしてたけでなくイラストレーターとしてもファンの多い塩山先生は、お人柄のよさとやさしげなまなざしをもったステキなおじさまです。「太陽の牙ダグラム」や「機甲界ガリアン」など、多くのサンライズ作品を手がけてこられたベテランアニメーター。でも、だからといって古い感覚の人……というわけじゃなくて、常に新しい描き方を研究されているんです。大張さんの絵の描き方も勉強されているとか。やはり塩山先生はスゴイ!

●塩山紀生(しおやま　のりお)
昭和15年3月28日生まれ。AB型。41年ハテナプロダクション入社。デビュー作は「ハリスの旋風」。OHプロ、タツノコプロを経て現在に至る。代表作「ボトムズ」ほか。



MAKOTO KOBAYASHI

「ガンダムＺＺ」のメカデザイナー、またモデラーとしてフジ・サンケイグループの「夢工場」に参加するなど、多才さがさまざまな分野から注目されている小林誠さん。「いったい、いつこんなにたくさんの仕事をしてるんだろう？」というファンの声が聞こえてきそうですね。今回のドラグナーのイラストも、みごとにコバヤシしています。「これは軍警（ＭＰ）用のドラグナーのつもり……なーんちゃって。銃はほとんどスマートガンそのまんま。レーザーガンという設定なので、放電用のチェーンがついてますね。自動車と同じですよ。足にカバーがついているのも、絶縁用です」と語る小林さん。そのエナージティックな行動力は、そのままデザインにも反映されています。

●小林誠（こばやし　まこと）
昭和35年７月13日生まれ。Ａ型。



KENJI KANAMORI

現在東京アニメーター学院で講師をしているというアニメーター金森さんは、講師のかたわら「機甲戦記ドラグナー」の原画や某エロマンガ誌にマンガを描いたりしている、おいそが氏。月刊ＯＵＴ（みのり書房）の「機甲戦記ドラグナー」のページでは毎回のようにセルイラストの原画を描いているので、知らない人は読んでみませう。今回のイラストは「大河原さんのデザインどおりのものじゃつまらないので、僕ふうにアレンジしてみました。大河原さんのデザインぽくないといっても大張くんのようなカンジじゃないところを見てほしいですね。」

●金森賢二（かなもり　けんじ）
昭和39年８月21日生まれ。ＡＢ型。「バイファム」が初原画。



KOHICHI USAMI

「機動戦士ガンダムＺＺ」や劇場用「ガンダム」のキャラクターデザインやメカニック作監などでファンの多い北爪宏幸、大森英敏の主宰する作画スタジオ「アトリエ戯雅」。ここに所属する宇佐見さんは、黒い服を好む体格の非常によろしいお兄さんです。実は昔、小樽近海でイカ釣り船に乗っていたとか…オホーツクのタラ釣り漁船で甲板を磨いていたとかいうウワサがある（ただのウワサだってば！）。そのせいか、アニメーターとは思えぬ筋肉をもつ宇佐見さんのボーリングをする姿は、とてもことばでは表わせないぐらいパワフルだ。スプリットとスペアばかり出すので、〝惜しい男〟と呼ばれている。「機甲戦記ドラグナー」では原画として参加している。

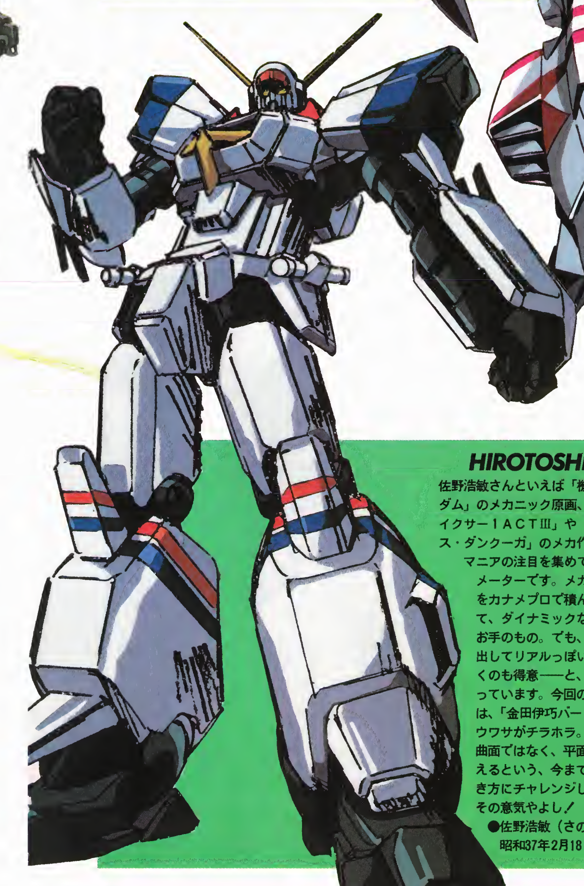
●宇佐見皓一（うさみ　こういち）
昭和34年３月24日生まれ。Ａ型。昔、漁に出ていたというのは本当らしい。



TAKAHIRO YAMADA

「マシンロボ　クロノスの大逆襲」のメカデザインや「ぶっちぎりバトルハッカーズ」のメカデザインを手がけてきた山田さん。今回のイラストはビシビシにビスを打ったドラグナー１型。手の形や全体の雰囲気は、どことなくジャイアントロボを思わせます。「やはり昔の特撮ものは思い出深いものがありますね。仮面ライダーやマグマ大使、キカイダーなどがすごく好きでした。作曲家の渡辺宙明さんの曲がまた、燃えるんですよね。だから『クロノス』の主題歌を渡辺さんにやっていただけると聞いたときは、ほんとうにうれしかったんですよ」

●山田高裕（やまだ　たかひろ）
昭和37年９月12日生まれ。Ｏ型。「ダンクーガ」でデビュー。



HIROTOSHI SANO

佐野浩敏さんといえば「機動戦士Ｚガンダム」のメカニック原画、また「戦え！イクサー１ＡＣＴⅢ」や「ゴッド・ブレス・ダンクーガ」のメカ作画監督としてマニアの注目を集めている若手アニメーターです。メカの原画の基礎をカナメプロで積んだこともあって、ダイナミックなデフォルメはお手のもの。でも、曲面の量感を出してリアルっぽいロボットを描くのも得意――と、２つの面をもっています。今回のドラグナー１は、「金田伊巧バージョン」というウワサがチラホラ。ドラグナーを曲面ではなく、平面の構成でとらえるという、今までになかった描き方にチャレンジしてくれました。その意気やよし！

●佐野浩敏（さの　ひろとし）
昭和37年2月18日生まれ。Ａ型。

DRAGONAR-1
Special Collection

DRAGONAR-1 Special Collection



MAMORU KONOE

てえぇ~~~い！何つうドラグナーを描いておるのじゃ、おのれは！この大バカものっ!!なんて言わないでネ。昔なつかしの（いや、別に今でも探せば見つかるんだけど）超合金、ドラグナー１型機…ううっ、今発売したら何となく売れてしまうような気がする…。大人向け（というかマニア受けやね）に、フルメタルのフィギュアで合体なんかするやつが出たら…う~ん、やっぱし買っちゃうかなあ。自称特撮マニアの近衛先生は、「Ｚガンダム」のオープニングをお手伝いしてたり、18禁マンガをお手伝いしていたりする、よくわからなひ、若手アニメーター。

●近衛真守（このえ　まもる）
昭和39年11月５日生まれ。Ａ型。「プロジェクトＡ子」で初原画。「超獣機神ダンクーガ」作監など。



KOHJI ITOH

「プロジェクトＡ子」で有名なスタジオグラビトンに所属する伊藤さん。グラビトンには伊藤さんをはじめ、西島克彦さん、合田弘章さん、庵野秀明さんなど、現在９人の実力派アニメーターがひしめいている…とか。「不思議の国のアリス」や「光の伝説」の原画を手がけた伊藤さんは、盆栽いじりが趣味だという（おじんくさいぞっと）。「さかだちはできませんけれど、合田くんいじめは得意です」という伊藤さんは、１児のパパです。

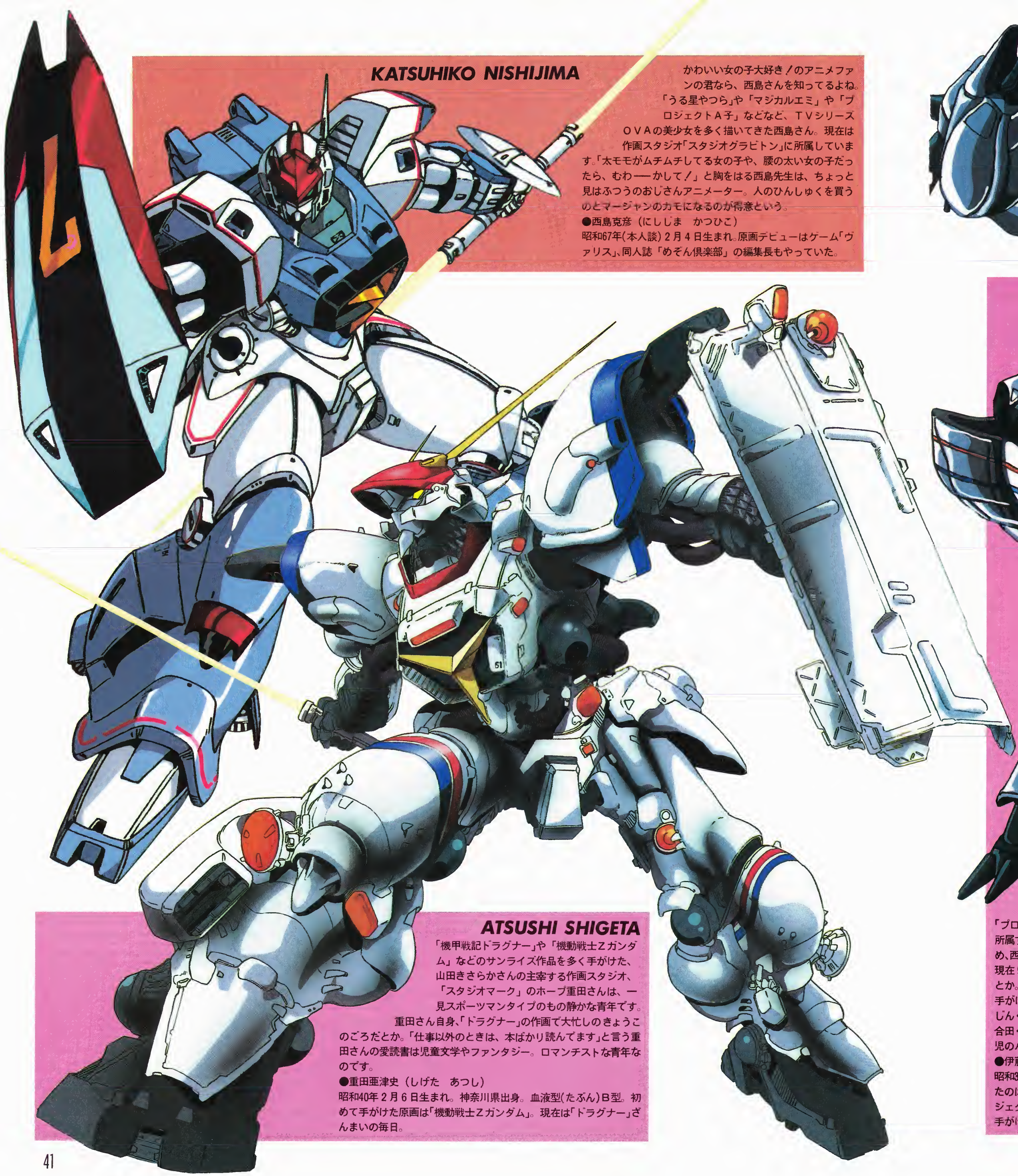
●伊藤浩二（いとう　こうじ）
昭和37年２月７日生まれ。Ｂ型。初めて動画を描いたのは合作アニメ「ナランヒート」、初原画は「プロジェクトＡ子」。ＴＶシリーズ「らんぽう」の原画も手がけている。



YU TADAKA

上の近衛さんもでき上がりを見たとき驚いちゃったのですが、ただかさんのもなかなかです。うう~む、ラブリィというか何というか。やはり特撮ファンのただかさんは、ただ今修業中の若手アニメーター。このイラストは「人生を見つめなおすための旅に出る前に描き上げました」というものです。えっ!?ただかさん、他の仕事はどーすんのよ、あれっ、ただかさん！ただかさ~ん!!というわけで、旅に出てしまったただかさんはしばらく帰っていらっしゃらないそうです…。グス。

●ただかゆう
昭和47年１月１日東京都生まれ。Ｂ型。「イクサー1ACTⅢ」の原画でデビュー。メカ物が好きで、18禁マンガも描いていたらしい。



KATSUHIKO NISHIJIMA

かわいい女の子大好き！のアニメファンの君なら、西島さんを知ってるよね。「うる星やつら」や「マジカルエミ」や「プロジェクトＡ子」などなど、ＴＶシリーズＯＶＡの美少女を多く描いてきた西島さん。現在は作画スタジオ「スタジオグラビトン」に所属しています。「太モモがムチムチしてる女の子や、腰の太い女の子だったら、むわ──かして！」と胸をはる西島先生は、ちょっと見はふつうのおじさんアニメーター。人のひんしゅくを買うのとマージャンのカモになるのが得意という。

●西島克彦（にしじま　かつひこ）
昭和67年（本人談）２月４日生まれ。原画デビューはゲーム「ヴァリス」、同人誌「めぞん倶楽部」の編集長もやっていた。

ATSUSHI SHIGETA

「機甲戦記ドラグナー」や「機動戦士Ｚガンダム」などのサンライズ作品を多く手がけた、山田きさらかさんの主宰する作画スタジオ、「スタジオマーク」のホープ重田さんは、一見スポーツマンタイプのもの静かな青年です。重田さん自身、「ドラグナー」の作画で大忙しのきょうこのごろだとか。「仕事以外のときは、本ばかり読んでます」と言う重田さんの愛読書は児童文学やファンタジー。ロマンチストな青年なのです。

●重田亜津史（しげた　あつし）
昭和40年２月６日生まれ。神奈川県出身。血液型（たぶん）Ｂ型。初めて手がけた原画は「機動戦士Ｚガンダム」。現在は「ドラグナー」ざんまいの毎日。

DRAGONAR-1
Special Collection



RYUJI SHIROMAE

アニメーター大張正己氏の後輩で、大張氏をしたって上京。大張氏の舎弟と名乗っている。最近はその私生活から「ヒモとかジゴロとか呼ばれてるんです。大張さんたちは美味しい男とか言いますけど」と本人は言っている。どーゆーことかというと、月５万円以下の収入で、なぜかリッチな生活がおくれてしまう、その生活姿勢にわけがありそうだ。しかも、下宿住まいのチョンガーが猫まで飼っている…たしかに不思議な存在である。ちなみに猫の名前は、ハルカちゃん。「めぞん一刻」の五代くんと響子さんの子供の名前から、いただいたそうだ。みなさんご存知のことと思うが、アニメーターのほとんどは、やはり貧ボーである。しかし彼らは「迷走王ボーダー」のように、誇りをもって生活していると、ここに加えておく。

●城前龍治（しろまえ　りゅうじ）
昭和40年１月19日広島県生まれ。



MASAMI OZONE

「機動戦士ガンダムＺＺ」のときにはＮＴの描き下ろしイラストでよくお世話になった、アトリエ戯雅の小曽根さん。実は中学・高校時代は、現在冬眠中のアニメ月刊誌「アニメック」の読者ページに、よく投稿していたという。アトリエ戯雅にわたなべぢゅんいち氏がいるせーか（どーかよくわからないけど）最近、変装ごっこというか、特殊メークごっこが流行っていて、小曽根さん自身は「浅香唯ちゃんの髪型をまねたりしています。今、唯ちゃんのファンなもんですから」と言う。あれれ!?河合その子のファンじゃなかったの？「河合その子はＣＤを集めてるだけです」。う～～～ん、流行に敏感な人…。

●小曽根正美（おぞね　まさみ）
昭和41年12月５日生まれ。Ａ型（たぶん）。初動画は「ペルシャ」、初原画は「レイズナー」。



HIDETOSHI OHMORI

かつてはビーボォー、現在はアトリエ戯雅で活躍しているアニメーターの大森英敏さん。ビデオ版「エルガイム」の作画監督から「プロゴルファー猿」まで、その画風は広いですね。メカ描写にも定評があり、「ダンバイン」のオーラバトラーはファンを狂喜させました。また来年３月公開の映画版・新ガンダムのメカ作画監督にも決定。張り切っているきょうこのごろの大森さんです。独特の動きを重視した線で描いてくれたＤ－１はいかがです？

●大森英敏（おおもり　ひでとし）
昭和34年11月５日生まれ。AB型。アニメーターとして、また「ファウファウ物語」や「リーンの翼」（角川文庫）などのイラストレーターとしても評価が高まっています。これからの活躍にも期待しましょう！



KENICHI OHNUKI

「機甲戦記ドラグナー」のキャラクターデザイン、ＯＶＡ「ＭＤガイスト」の作画監督などでファンの多い大貫さんは、作画スタジオ南町奉行所に所属するアニメーター。「機動戦士Ｚガンダム」や「ダーティペア」の作監などサンライズ作品も多く手がけている。最近はＯＶＡ「ダンガイオー」の作画監督、「風と木の詩」の原画、「ガルフォース２」、「妖刀伝２」の作画監督など非常に多くの仕事に追われている。昔、自動車関係の会社に就職したことがあることから、大貫氏のドライブテクニックには定評がある。もうすぐ新車を購入するとか…。キャラだけでなくメカイラストもほんとうは得意（あ、バラしちゃった）。

●大貫健一（おおぬき　けんいち）
昭和36年３月22日生まれ。Ｏ型。原画を初めて手がけたのは「怪物くん」。



MORIFUMI NAKA

アトリエ戯雅の若手アニメーター仲盛文（なかもリアヤじゃなくて、ナカもりふみと読むのだ）さんは、「バブルガム・クライシス」のメカ作監などでファンの多い美青年。本人はバイクに乗るのが大好きで、よくレースにも出ているとか。でも、そのわりによく事故っちゃうんだ。メカを動かすときも、あまりデフォルメしたりパースをつけたりしない仲さん。影のつけ方ではなく、線や面でメカの量感を表現しようとしているようだ。ところで、このＤ－１がもっているライフルは、アザルトナイフをテープで銃身にくくりつけたもの！

●仲盛文（なか　もりふみ）
昭和36年７月１日生まれ。沖縄県出身。Ｂ型。

DRAGONAR-1 Special Collection



MASANORI NISHII

作画スタジオ「南町奉行所」の西井さんは最近元気がありません。でも、根っから明るい性格なので、「やさしい男」と呼ばれています。人畜無害の西井さんは、「なんかいーことないかな——っ？」と窓から外をながめては、タメイキするきょうこのごろ。「機甲戦記ドラグナー」の原画や初の３Ｄアニメーション VHDディスク「デッドヒート」の原画など、メカアクションが得意の西井さんは、ニュータイプの連載記事「ドラグナー世界のメカニック戦史」のイラストも手がけています。

●西井正典（にしい　まさのり）
昭和38年３月18日生まれ。滋賀県出身。血液型Ｂ型。現在ＯＶＡ「ダンガイオー」「レディウス」「ガルフォース２」の原画に追われる毎日。

HIDEAKI ANNO

「ナウシカ」の巨神兵や「オネアミスの翼・王立宇宙軍」の空戦シーンの原画マンとして有名な庵野秀明さん。メカニック描写が得意……なんて、ありふれたことばでは片づけられない、「とにかくスゴイものをどんどん描いちゃうよ」アニメーターなのです。今回のドラグナー１のイラストにも、庵野さんらしいロボット、メカニックに対するこだわりを感じます。Ｐ36の貞本義行さんのドラグナーは、戦車のキャブレターなどが描いてありますが、庵野さんのＤ—１も装甲の取り付け方や関節の処理がマニアック！　ふっとんだ右腕の破片も、細かい細かい。「大河原さんのメカは描きやすい」と語ります。

●庵野秀明（あんの　ひであき）
昭和35年５月22日生まれ。山口県出身。Ａ型。

SHIN MATSUO

知ってる人は知っている…彼の名前は松尾慎。またの名をマーカー松尾というんだよ♡現在はOVA「レディウス」、や「マドックス」そして「ウルトラマン」の仕事がいっぱいつまっていて、眠る時間も惜しいとか。「趣味のビデオ鑑賞やテニスもできなくて悲しい日々です」という松尾さんですが、ゲームだけはやめられない。最近は「アルカノイド２」に凝ってらっしゃるとか…。でも、どんなに忙しくても大丈夫！「僕の得技は３日間寝ずに、仕事ができるということですね」と明るくおっしゃいました。

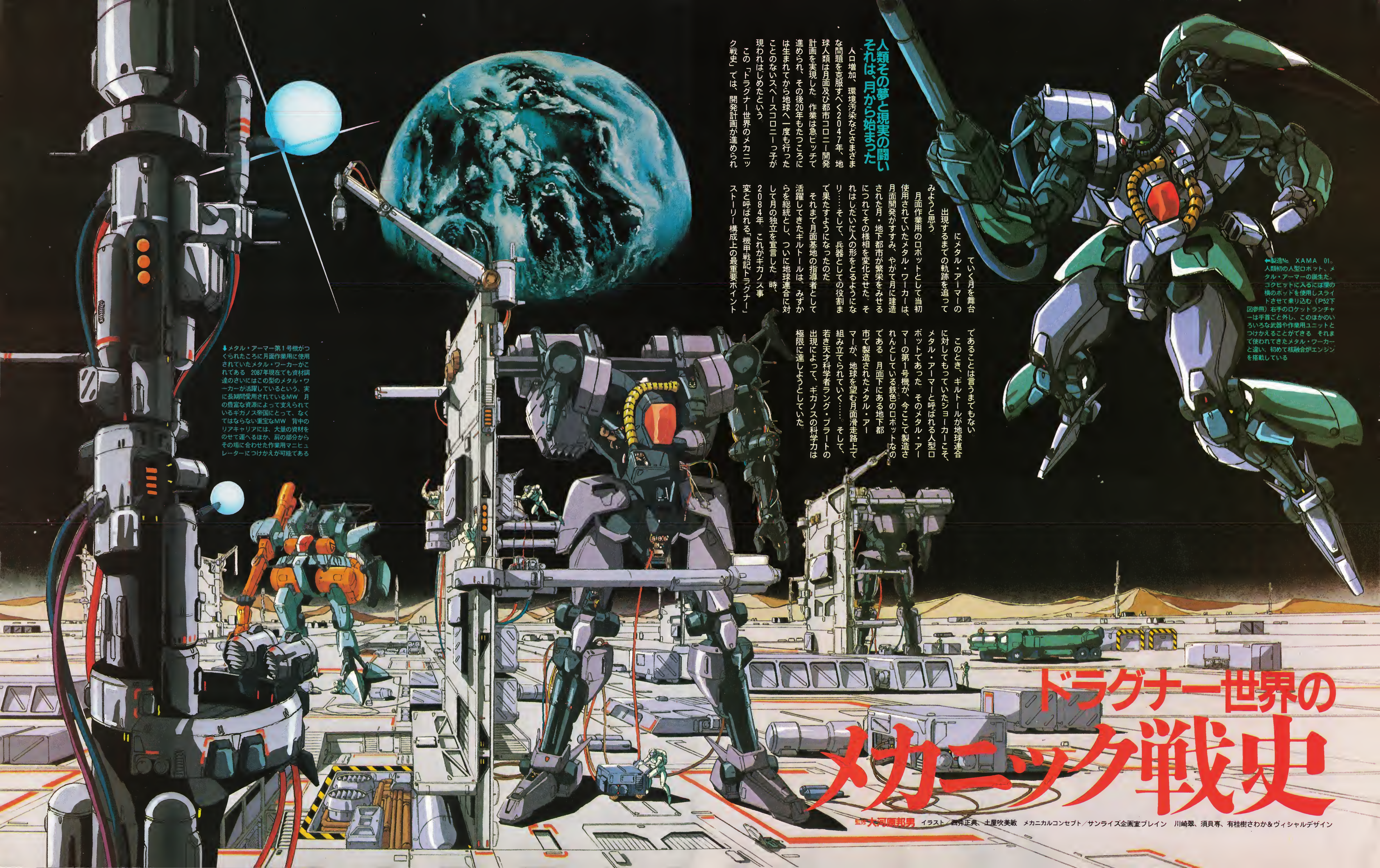
●松尾慎（まつお　しん）
昭和39年９月25日生まれ。血液型Ｏ型。アニメーターとしての初めての仕事は、劇場用「ドラえもん・魔界大冒険」、初原画は「重戦機エルガイム」、現在新スタジオ設立に燃えている。

HIROAKI GOHDA

「マシンロボ　クロノスの大逆襲」のガルディお兄さまじゃないけれど、ロングでストレートヘアの合田さんは一見するとカッコイイ兄ちゃんです。最近は年末発売予定のＯＶＡ「マドックス」の作画監督が決まって大忙しの日々。そのせいか、最近は何に凝ってらっしゃいますか？とお聞きしたところ、「肩です…！」とマジメに答えられてしまいました。今回のドラグナーイラストは「マシンロボ」の主人公ロム兄ちゃんバージョン。つうことは肩に乗っているウサちゃんはレイナ!?　思わず彩色もロム兄ちゃんしてしまいましたとさ。

●合田弘章（ごうだ　ひろあき）
昭和40年３月24日生まれ。Ｏ型。アニメーターとしての初めての仕事は、「テクノボイジャー」の動画。初原画は「六神合体ゴッドマーズ」。

おことわり●業者の方が造型化する際にはＮＴ編集部までご一報ください



ドラグナー世界のメカニック戦史

監修 大河原邦男　イラスト／西井正典、土屋吹美敏　メカニカルコンセプト／サンライズ企画室ブレイン　川崎翠、須貝専、有桂樹さわか&ヴィシャルデザイン

人類その夢と現実の闘い それは、月から始まった

人口増加、環境汚染などさまざまな問題を克服すべく2047年、地球人類は月面及び都市コロニー開発計画を実現した。作業は急ピッチで進められ、その後20年もたつころには生まれてから地球へ一度も行ったことのないスペースコロニーっ子が現われはじめたという。

この「ドラグナー世界のメカニック戦史」では、開発計画が進められていく月を舞台にメタル・アーマーの出現するまでの軌跡を追ってみようと思う。

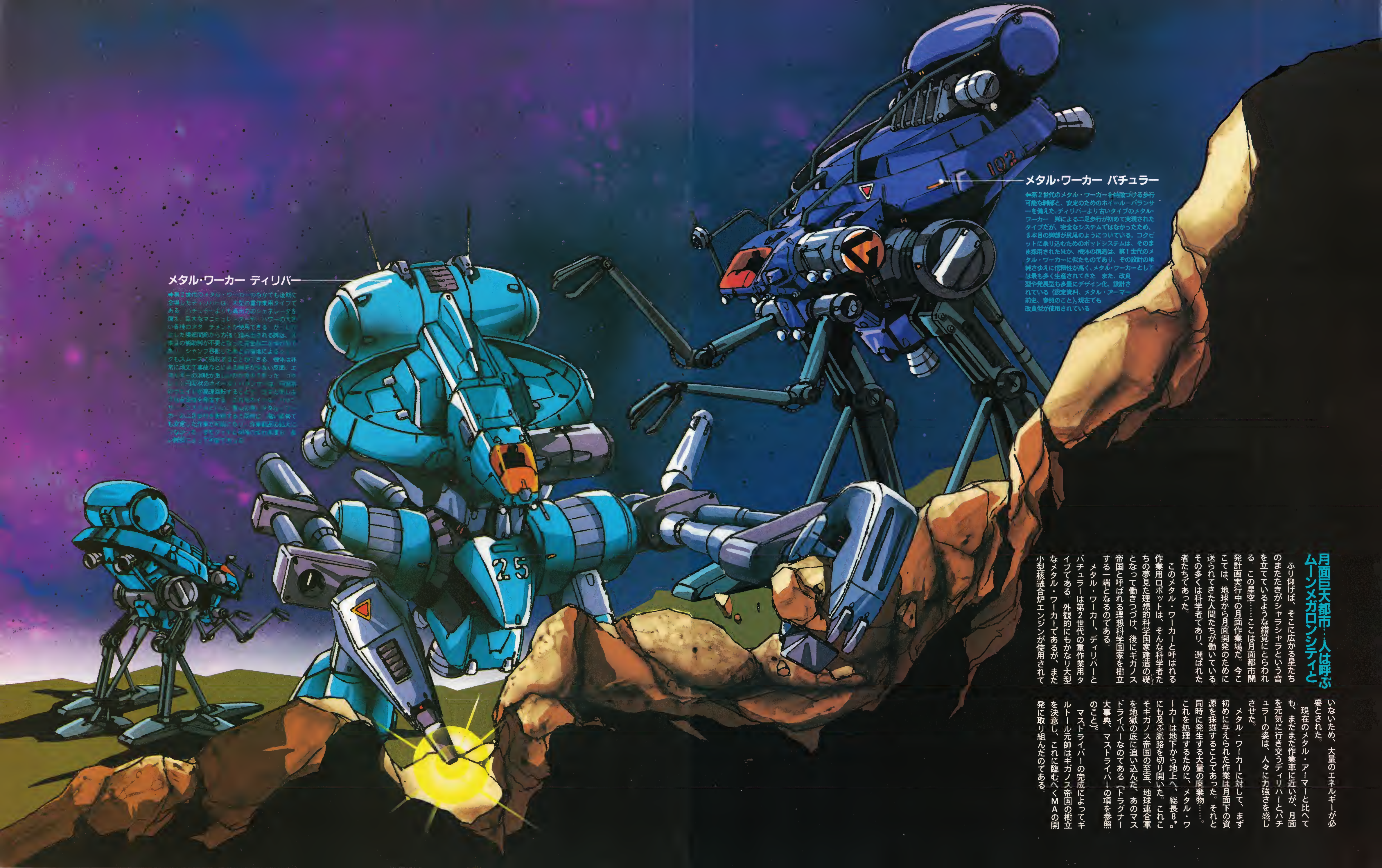
月面作業用のロボットとして当初使用されていたメタル・ワーカーは、月面開発がすすみ、やがて月に建造された月・地下都市が繁栄をみせるにつれてその様相を変化させた。それはしだいに人の形をとるようになり……そして、兵器としての役割まで果たすようになったのだ。

それまで月面基地の指導者として活躍してきたギルトールは、みずからを総統とし、ついに地球連合に対して月の独立を宣言した。時、2084年。これがギガノス事変と呼ばれる「機甲戦記ドラグナー」ストーリー構成上の最重要ポイントであることは言うまでもない。

このとき、ギルトールが地球連合に対してもっていたジョーカーこそ、メタル・アーマーと呼ばれる人型ロボットであった。そのメタル・アーマーの第1号機が、今ここで製造されんとしている鉄色のロボットなのである。月面下にある地下都市で製造されたメタル・アーマーが、地球を望む月面滑走路上で組み立てられていく……。そして、若き天才科学者ラング・プラートの出現によって、ギガノスの科学力は極限に達しようとしていた。

⬇メタル・アーマー第1号機がつくられたころに月面作業用に使用されていたメタル・ワーカーがこれである　2087年現在でも資材調達のさいにはこの型のメタル・ワーカーが活躍しているという、実に長期間愛用されているMW　月の豊富な資源によって支えられているギガノス帝国にとって、なくてはならない重宝なMW　背中のリアキャリアには、大量の資材をのせて運べるほか、肩の部分からその場に合わせた作業用マニピュレーターにつけかえが可能である

⬅製造No. XAMA 01。人類初の人型ロボット、メタル・アーマーの誕生だ。コクピットに入るには腰の横のポッドを使用しスライドさせて乗り込む（P52下図参照）右手のロケットランチャーは手首ごと外し、このほかのいろいろな武器や作業用ユニットとつけかえることができる　それまで使われてきたメタル・ワーカーと違い、初めて核融合炉エンジンを搭載している



メタル・ワーカー　ディリバー

➡第2世代のメタル・ワーカーのなかでも後期に登場したディリバーは、大型の重作業用タイプである。バチュラーよりも高出力のジェネレータを備え、巨大なマニピュレーターや、パワーのでかい各種のアタッチメントが使用できる。[illegible]した膝部関節から力強く踏み出される脚は、[illegible]本目の補助脚が不要となった[illegible] シャンプ移動した[illegible]地による[illegible]クもスムーズに吸収することができる。機体は非常に頑丈で事故などによる[illegible]反面、エネルギーの消耗が激し[illegible] 円周状のホイー[illegible]高速回転することで[illegible] [illegible]

メタル・ワーカー　バチュラー

⬅第2世代のメタル・ワーカーを特徴づける歩行可能な脚部と、安定のためのホイール・バランサーを備えた、ディリバーより古いタイプのメタル・ワーカー。脚による二足歩行が初めて実現されたタイプだが、完全なシステムではなかったため、3本目の脚部が尻尾のようについている。コクピットに乗り込むためのポッドシステムは、そのまま採用されたほか、機体の構造は、第1世代のメタル・ワーカーに似たものであり、その設計の単純さゆえに信頼性が高く、メタル・ワーカーとしては最も多く生産されてきた。また、改良型や発展型も多量にデザイン化、設計されている（設定資料、メタル・アーマー前史、参照のこと）。現在でも改良型が使用されている

月面巨大都市…人は呼ぶ ムーンメガロンシティと

ふり仰げば、そこに広がる星たちのまたたきがシャラシャラという音を立てているような錯覚にとらわれる。この星空……ここは月面都市開発計画実行中の月面作業場だ。今ここでは、地球から月面開発のために送られてきた人間たちが働いている。その多くは科学者であり、選ばれた者たちであった。

このメタル・ワーカーと呼ばれる作業用ロボットは、そんな科学者たちの夢見た理想的科学国家建造の礎となって働きつづけ、後にギガノス帝国と呼ばれる理想科学国家を樹立する一端となるのである。

メタル・ワーカー、ディリバーとバチュラーは第2世代の重作業用タイプである。外観的にもかなり大型なメタル・ワーカーであるが、まだ小型核融合炉エンジンが使用されていないため、大量のエネルギーが必要とされた。

現在のメタル・アーマーと比べても、まだまだ作業車に近いが、月面を元気に行き交うディリハーとバチュラーの姿は、人々に力強さを感じさせた。

メタル・ワーカーに対して、まず初めに与えられた作業は月面下の資源を採掘することであった。それと同時に発生する大量の廃棄物……。これを処理するために、メタル・ワーカーは地下から地上へ、総長8キロにも及ぶ脈路を切り開いた。これこそギガノス帝国の至宝、地球連合軍を地獄の底に追い込んだ、あのマスドライバーなのである（ドラグナー大事典、マスドライバーの項を参照のこと）。

マスドライバーの完成によってギルトール元帥はギガノス帝国の樹立を決意し、これに臨むべくMAの開発に取り組んだのである。

メタル・アーマーの原点はポッドシステム！

月面資源開発の第一歩となった作業用ロボットは、まだまだメタル・ワーカーにも遠いものだった　しかし、ポッドシステムやマニピュレーターなど、その形を変化させずに後に受け継がれている部分を見落としてはならない

前ページで紹介したメタル・ワーカーはもとより、ドラウ、ゲバイ、ダインやD兵器に至るまでのメタル・アーマーのコクピットを思い出してほしい　これらのコクピットは、すべて統一されているのがその外観からわかるだろう　かつて、地球からやってきた人間たちとともに、クレーターだらけの月面を自在に駆けまわり開拓していったマシンたち　その姿は2087年をはるか超えたとしても、本質を変えることにはならないのだ

純粋な戦争兵器として生まれてきたメタル・アーマー　その悲しく冷たい仮面の下には、ポッドシステムという機械の心臓部があった

ポッド内から乗員を押し出すエアシートは、内部に充満された圧搾空気を調節して、シート自体が着地のショックをやわらげてくれる　ポッドの乗員は基本的に1名であるが、一時は2名搭乗型のポッド及びコクピットも研究されていたという　しかし、コンピュータのパイロット補佐能力の向上にともない、結局使われなくなってしまった

コクピットは電気式偏向ガラスで構成されていて、エアシートから押し出されてきたドライバーは視界の広さに驚くという　また、安全性も重視されている



月面作業ロボット

本体後部下面に化学燃料式バーニアスラスターのための推進剤タンクをもっている　基地から作業現場までの長距離の移動は、カンガルーのようにジャンプを繰り返して行なう　このジャンプ移動は、バーニアで離陸後、着地のショックのほとんどを巨大なランディング・サスペンションで吸収するので、従来に比べ推進剤の量を半分に減らすことができた　この推進剤タンク以外にも、後部にはいろいろな種類の装備や、他の基地へ運ぶ荷物などを取り付けることができるので非常に便利である

資源採掘ロボット

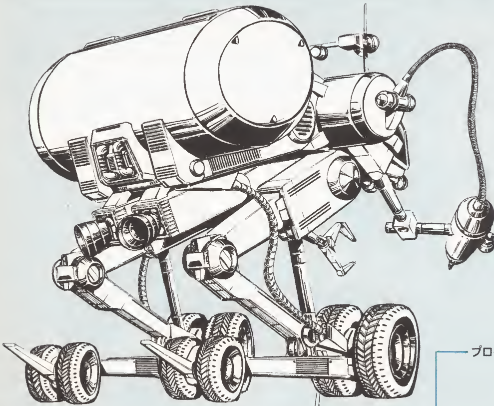
マ[illegible]本体は共通な機体であるが、マニピュレー[illegible]ーやレーザー削岩機やドーザーブレード・アタッチメントなど、いろんなパーツを交換することであらゆる種類の作業が行なえる　ポッドのすぐ後ろ、ポッドと同じような円筒のユニットの両側にマウントがあり、信号伝達用コネクターや電力を送るジャックとパーツ固定用のラッチ[illegible]ている　脚部は一見、足のように[illegible]るが、これ自体での歩行は不可[illegible]ジャンプのあとは、何回か[illegible]速度を落とし、走行用の[illegible]ーを使って移動する[illegible]スペンションの角度変更でジャンプ移動方向が変えられる

ドラグナー世界のメカニック戦史［設定資料集］

メタル・アーマー前史

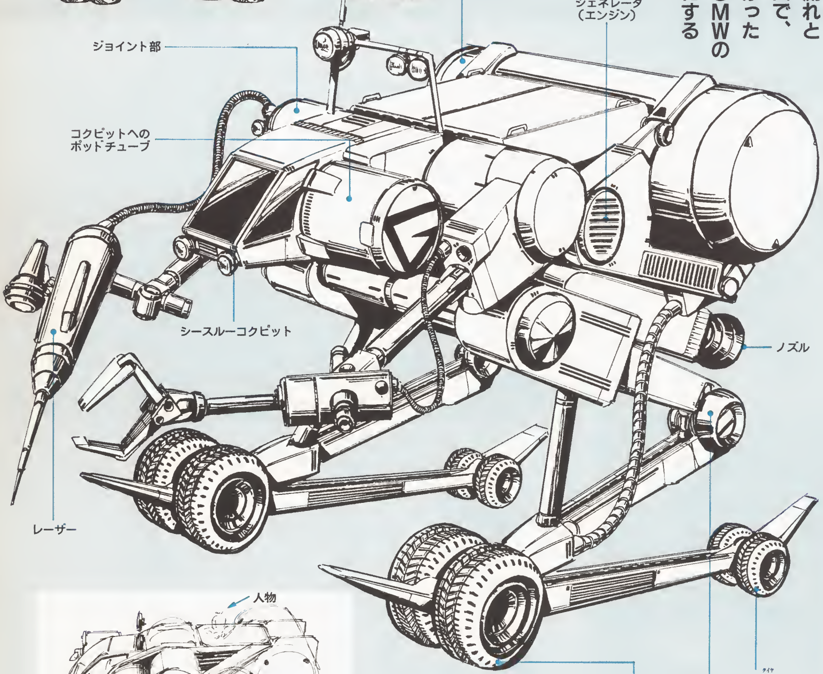
AC2047—2062

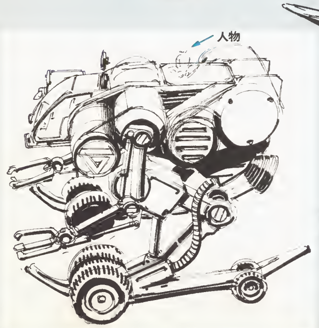
ごく普通の作業用ロボットが、その姿を時の流れとともに、すこしずつ変化させていく……。月面で、そして植民惑星で、人類の再生は果たされなかった夢と混合されていく。ここでは発展しつづけるMWの歴史とかたちを時代とともに追っていくことにする



作業用ロボット ヘイズ・1（アイン）

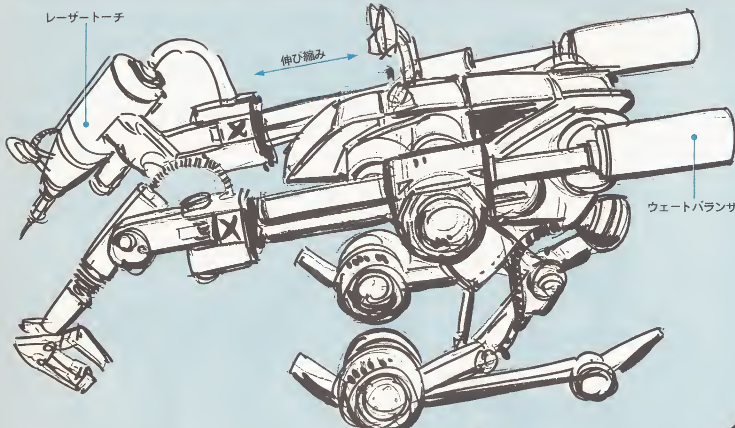
←西暦2047年ごろ、月面に植民が開始された時期に活躍していたMWヘイズ・1（アイン）。直接月面開発にかかわった科学者や技術者によって開発されたこの機体は、６分の１の重力しかもたない月面での作業に適応させるため、在来の地球製マシンとは異なった機動方式を採用している。後のメタル・アーマーに採用されていくことになった搭乗員保護機構〝ポッドシステム〟も、既にこの時点で開発されていた





マニピュレーターの応用

←左のラフスケッチが上のMWの元になった物(つまり準備稿）。現在、身の回りにある工事車両や建設機械をベースに、サンライズ企画室の協力スタッフ数人が寄り集まり、額に汗してない知恵を絞り出し描き出した20枚近いラフのなかから、使えそうなデザインの物を選び出してはリファインを繰り返すという作業を行なっていくと、このような物ができ上がってゆくのである。試験勉強にも似たこのような状態を、スタッフは地獄と呼んでいる

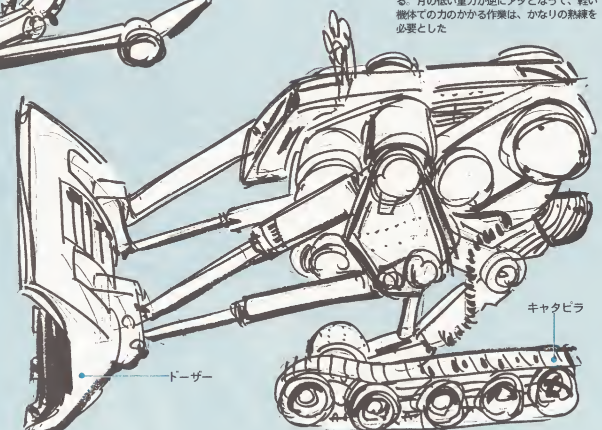


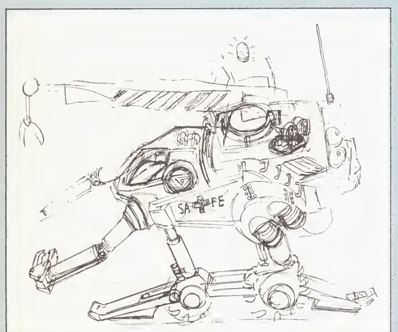
マルチアーム・タイプ

⬅この型のMWで最も多く見られる装備がこのタイプで、通常は建築資材の輸送や施工のために、両側ともアームが取り付けられる。さらにアームは、より細かい作業が可能な指を備えるマニピュレーター・タイプもあり、基礎工事から仕上げまで幅広く対応した。レーザートーチは、溶接だけでなくボルト穴の開口や、削岩作業にも使用が可能な多機能型である

ドーザー・タイプ

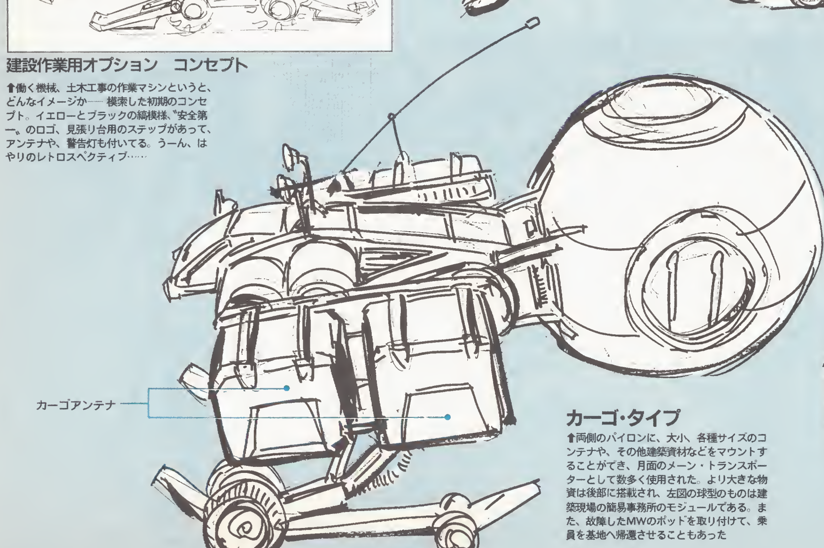
⬇このタイプも、月面開発の初期に多く見られたもので、荒れた月の台地をならし、開拓の基礎づくりに活躍した。巨大なドーザーは、伸縮可能な太いアームに取り付けられ、ドーザーのパワーに負けないように、タイヤはこのタイプ専用のキャタピラーに交換されている。月の低い重力が逆にアダとなって、軽い機体での力のかかる作業は、かなりの熟練を必要とした





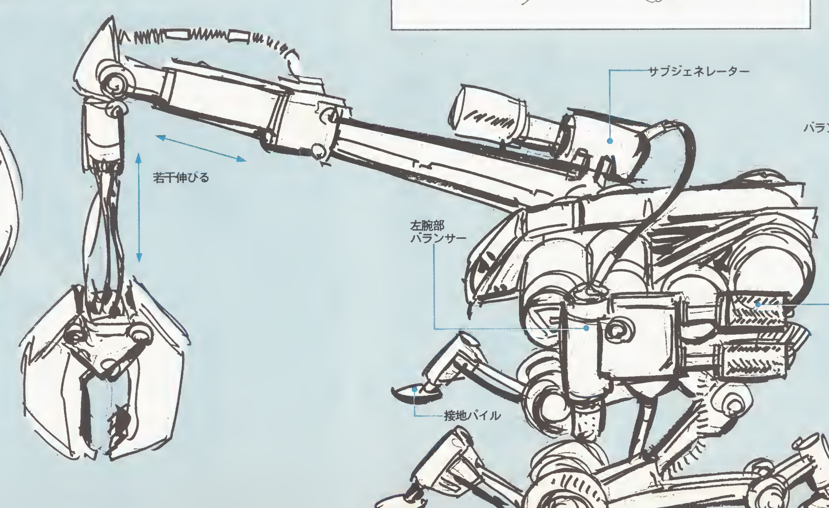
建設作業用オプション　コンセプト

⬆働く機械、土木工事の作業マシンというと、どんなイメージか―― 模索した初期のコンセプト。イエローとブラックの縞模様、〝安全第一〟のロゴ、見張り台用のステップがあって、アンテナや、警告灯も付いてる。うーん、はやりのレトロスペクティブ……



カーゴ・タイプ

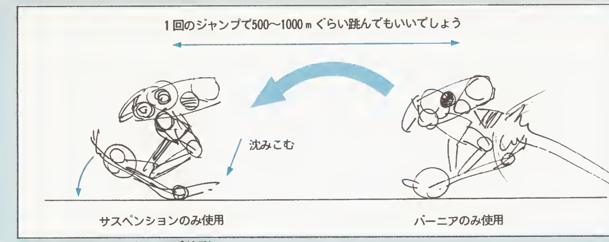
⬆両側のパイロンに、大小、各種サイズのコンテナや、その他建築資材などをマウントすることができ、月面のメーン・トランスポーターとして数多く使用された。より大きな物資は後部に搭載され、左図の球型のものは建築現場の簡易事務所のモジュールである。また、故障したMWのポッドを取り付けて、乗員を基地へ帰還させることもあった



クレーン・タイプ

⬅右側に巨大な作業用クレーン、左側はクレーンの反トルクにウェートバランサーが装備され、脚部には4か所、接地用のパイルがある。ドーザー・タイプで撤去できない重量物や危険物に対応して数台つくられた。

ボディーの基本形態はみないっしょだが、前後左右のウェートバランサーおよびクレーンの重量が他のタイプよりはるかに重くなってしまうため、脚部（特に関節部）には改良の必要がある

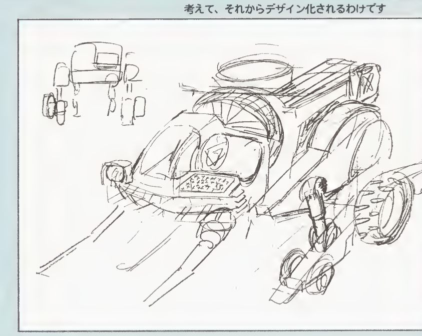


第1世代MWのジャンプ移動

⬆地球の6分の1という月の低い重力を効果的に利用した移動方法は、カンガルーのようなジャンプ移動であった。離陸のみバーニアで行ない、着陸は巨大なランディング・サスペンションでショックを吸収するため、貴重な推進剤の消費が少なくてすむ。1回のジャンプで跳ぶ距離は1〜5㎞であった。目的地で減速するには、何回かの小ジャンプで速度を落とし、その後はタイヤで移動する

第1世代MW　コンセプト・ラフ

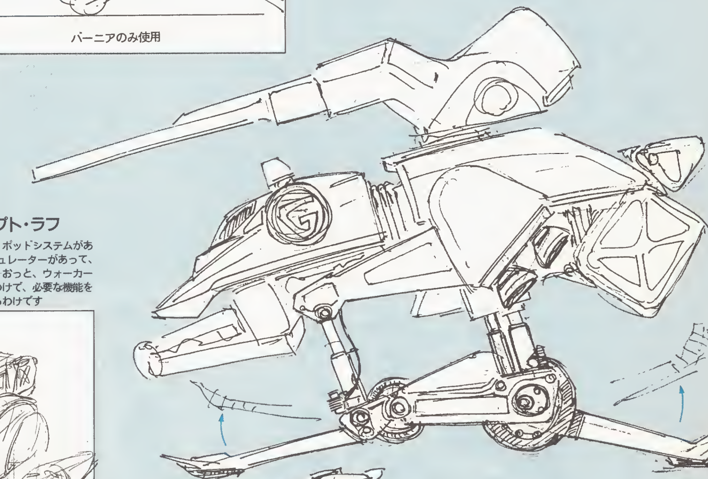
⬇こんなラフから始めるわけです。ポッドシステムがあって、キャノピーがあって、マニピュレーターがあって、脚があって、タイヤもついてて――おっと、ウォーカーマシンになってはまずい。というわけで、必要な機能を考えて、それからデザイン化されるわけです



ここに挙げたスケッチは、前頁のMWのアクションおよび、バリエーションの設定を行なったときのものである。

デザインの決定稿をつくっていく作業と、これらの作業は同時進行で行なわれていくため、デザインの異なるスケッチも存在する。

左頁中段のスケッチは、準備稿の、さらにその元となったラフスケッチ。4人のスタッフの間をたらい回しにされていくうちにできあがったもので〝ラクガキ〟ともいう。

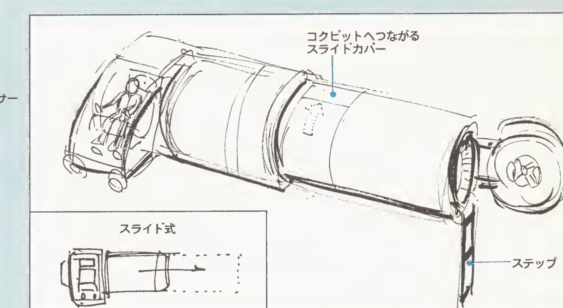




メタル・ワーカー(別タイプ)

⬆別のタイプのMW、砲塔がついているのは、後に戦闘用として使用されたら――という前提で。

ドラグナー の世界をつくりあげた大河原邦男氏のデザイン・ラインから離れないように、マスバランスなどを検討したラフです　コンセプトは、左図と共通



コクピット・ポッドシステム

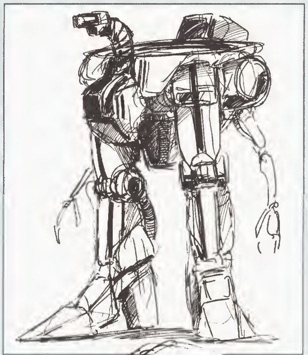
⬆メタル・ワーカー、および現在のメタル・アーマーに採用されているポッドシステムの構造概念図。すべてのMW、MAに共通な規格サイズなので、自分専用のポッドを所有し、仕事や任務に応じてマシンに移し換えて搭乗するパイロットもいた。機体にセット後、エアシートがふくらんで乗員は機体側のコクピットに押し出され、ポッド内のコンピュータや操縦・制御系が機体側とリンクして稼動状態となる。ポッドは完璧な密封度を誇り、緊急時でも乗員の生存性は高かった

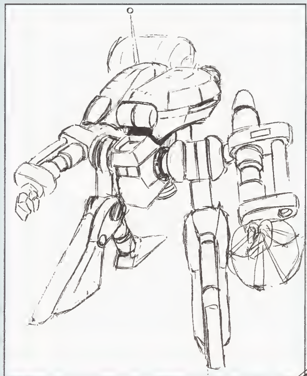
ここに登場するMWは、第２世代のマシンで、ジャンプによる移動だけでなく、脚を用いた歩行も可能になっている。MWとしての性能は、ほぼ完成されており、2065年に生産を打ち切られてからも補修されつつ、現在まだなお、月面各地で使用されている。

しかし、長距離の移動はいまだジャンプ方式に頼っており、スムーズな歩行機能の開発は次の世代へと受け継がれていく。

第2世代MW　コンセプト

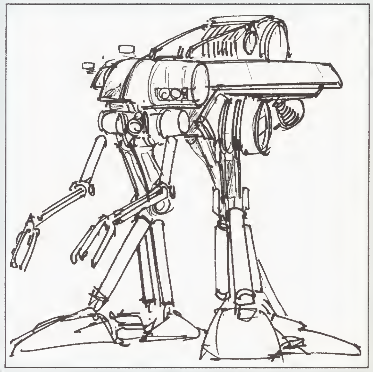
➡早大のワボットか、阪大の韋駄点か、はたまた変形合体ロボットのBパーツ!?　といった感じのラフ。この時代になって、脚、といえる形ができあがってきた！　このコンセプトがダイレクトにデザインされたわけです





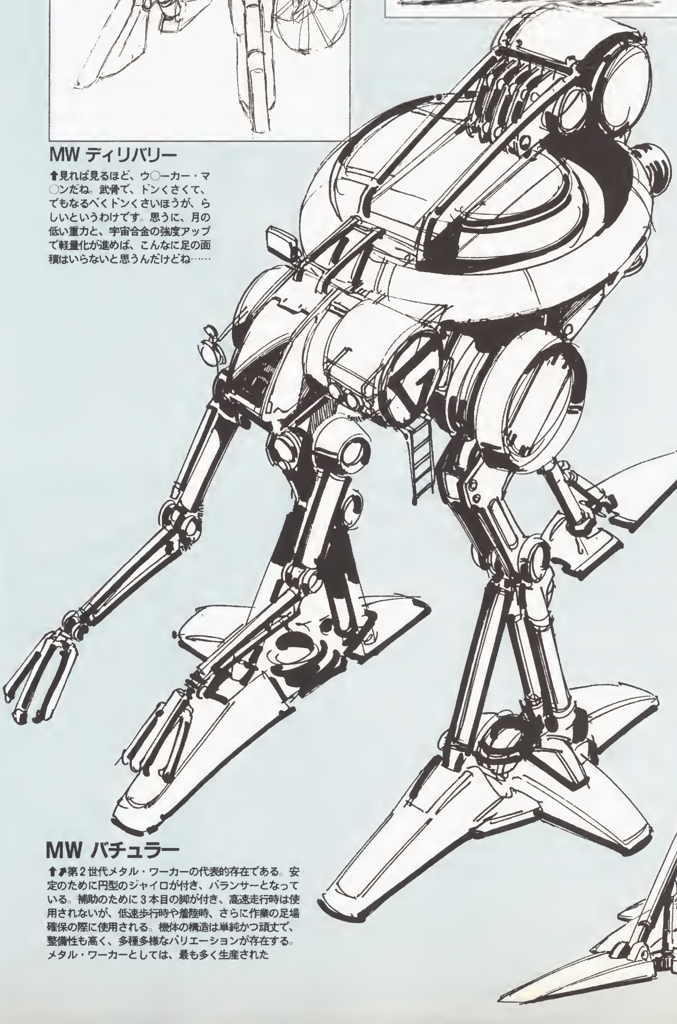
MW ディリバリー

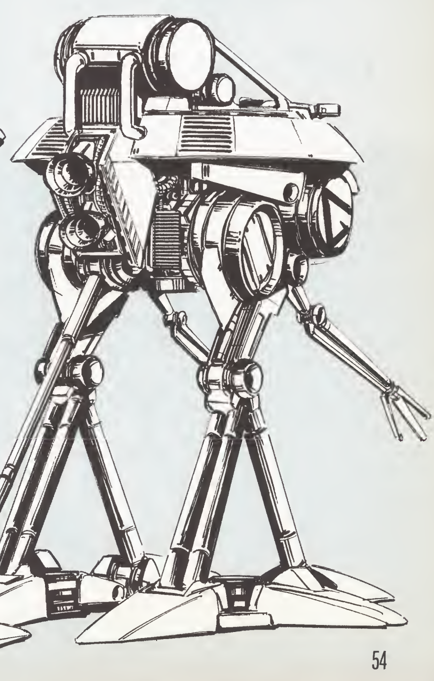
⬆見れば見るほど、ウ○ーカー・マ○ンだね。武骨で、ドンくさくて、でもなるべくドンくさいほうが、らしいというわけです。思うに、月の低い重力と、宇宙合金の強度アップで軽量化が進めば、こんなに足の面積はいらないと思うんだけどね……



MW バチュラー コンセプト

⬆第２世代MWについている安定用の円型のジャイロは、実は「ドラグナー」企画当初にあったメカで円筒型の形をした、今のキラウェイのようなのがあって、それからの引っぱりでこういうのをつけたわけです



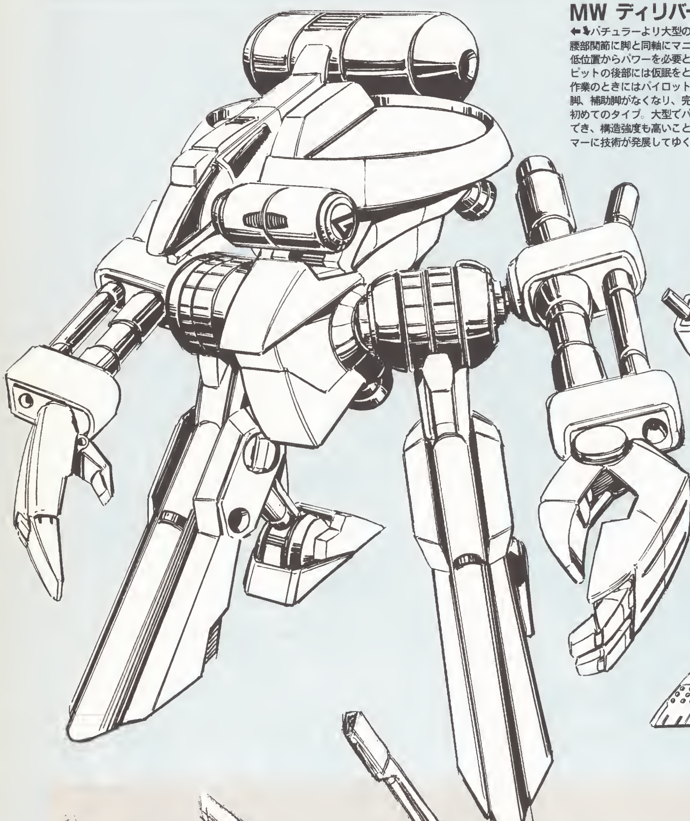


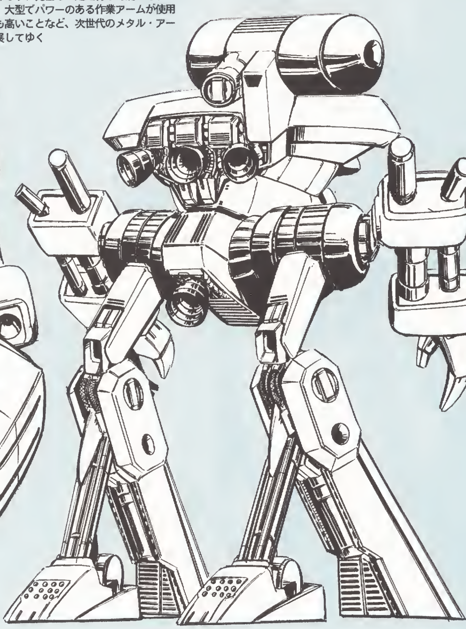
MW バチュラー

⬆↗第２世代メタル・ワーカーの代表的存在である。安定のために円型のジャイロが付き、バランサーとなっている。補助のために３本目の脚が付き、高速走行時は使用されないが、低速歩行時や着陸時、さらに作業の足場確保の際に使用される。機体の構造は単純かつ頑丈で、整備性も高く、多種多様なバリエーションが存在する。メタル・ワーカーとしては、最も多く生産された

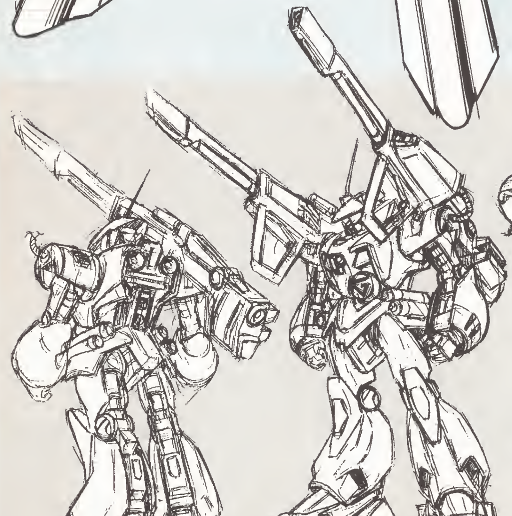
MW ディリバー

←↓バチュラーより大型の重作業用メタル・ワーカー。腰部関節に脚と同軸にマニピュレーターがマウントされ、低位置からパワーを必要とする作業も十分こなす。コクピットの後部には仮眠をとれるスペースがあり、長時間作業のときにはパイロットから好評であった。3本目の脚、補助脚がなくなり、完全な二足走行が可能となった初めてのタイプ。大型でパワーのある作業アームが使用でき、構造強度も高いことなど、次世代のメタル・アーマーに技術が発展してゆく

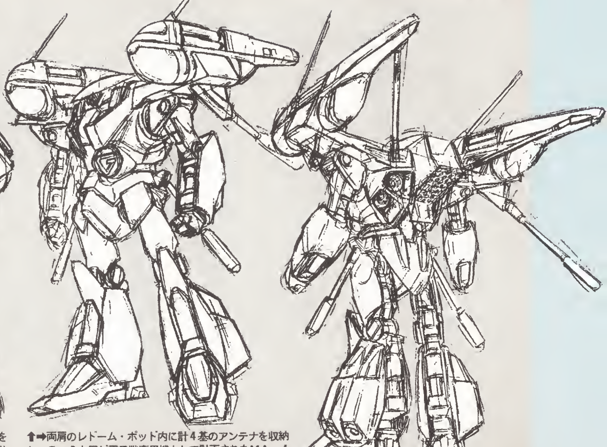




ドラグナー4型・5型



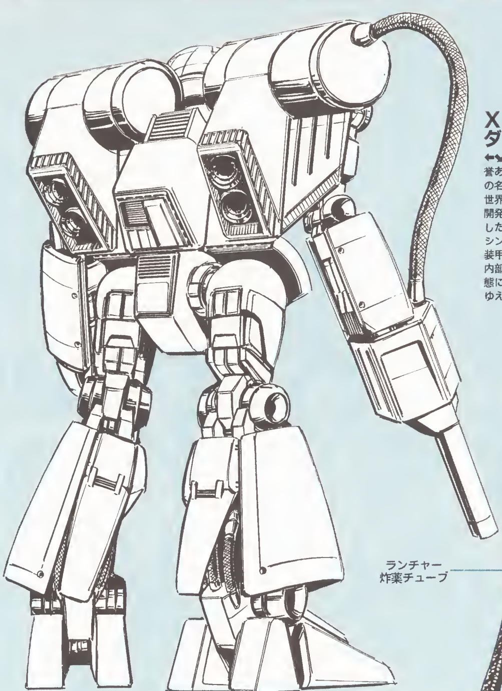
←↑D—2と比較検討されたタイプ。強力なレールガンを両肩に装備し、腰には4基のミサイルが半埋め込み式に装備されている。右のタイプと同様、計画のみで消えたMA



↑→両肩のレドーム・ポッド内に計4基のアンテナを収納し、D—3と同じ電子戦専用機として計画されたMA。4本の曳航ブーム、背面中央にソノブイ・ランチャーあり

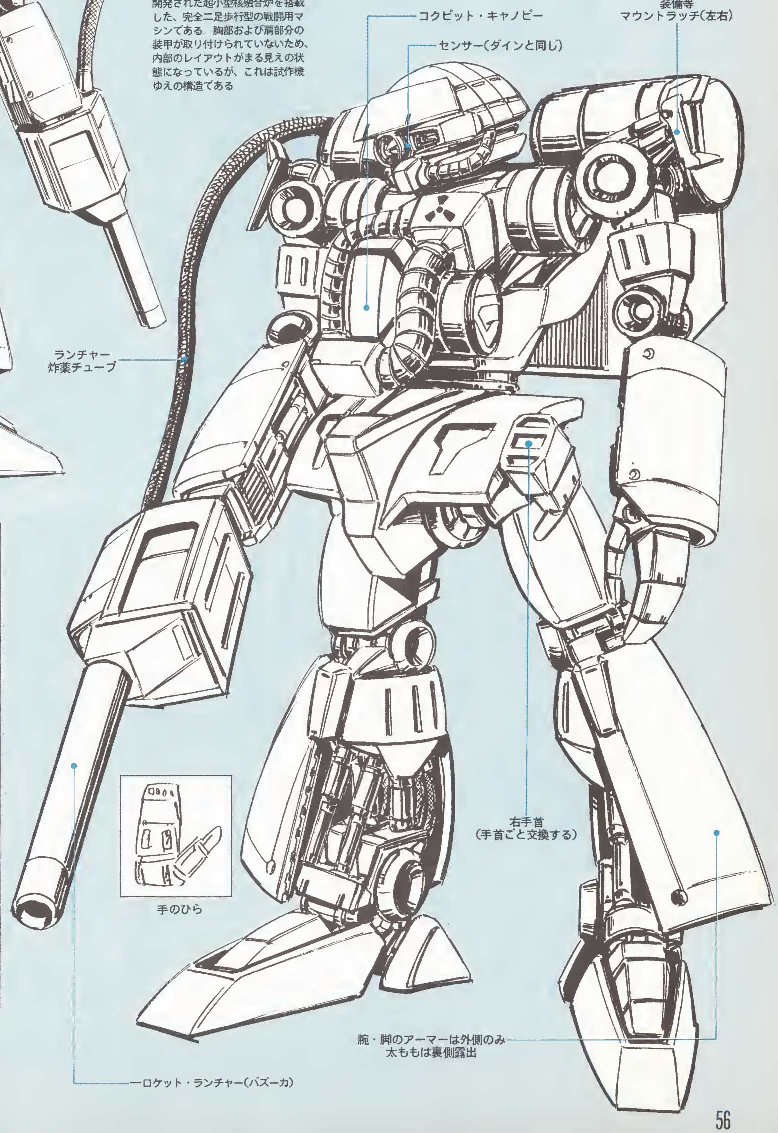
統一帝国ギガノス総統ギルトールの発案した〝ギルトール計画〟に基づいて、帝国一の科学者プラート博士の手によって試作型初代メタル・アーマーがつくり上げられた。

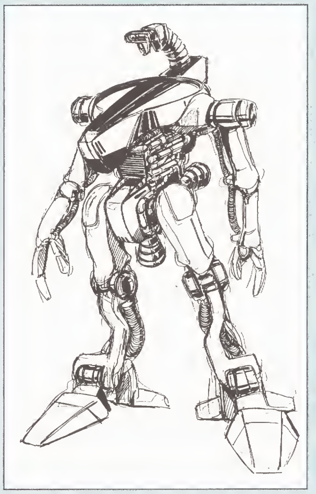
次頁のものと違い、最初から戦闘用として開発されたため、動力システムや材質など、新規に開発されたものを使用して軽量化を図っている。そのため、運動性に関してはこれまでのMWのレベルをはるかにしのぐ性能を発揮し、ギルトール計画は現実のものとなっていくのである。



XAMA-01
ダヌル

⬅↘研究試作No.XAMA—01、名誉あるメタル・アーマー第一号機の名称を与えられたこの機体は、世界で初めての実用化をめざして開発された超小型核融合炉を搭載した、完全二足歩行型の戦闘用マシンである。胸部および肩部分の装甲が取り付けられていないため、内部のレイアウトがまる見えの状態になっているが、これは試作機ゆえの構造である





これは没稿です…

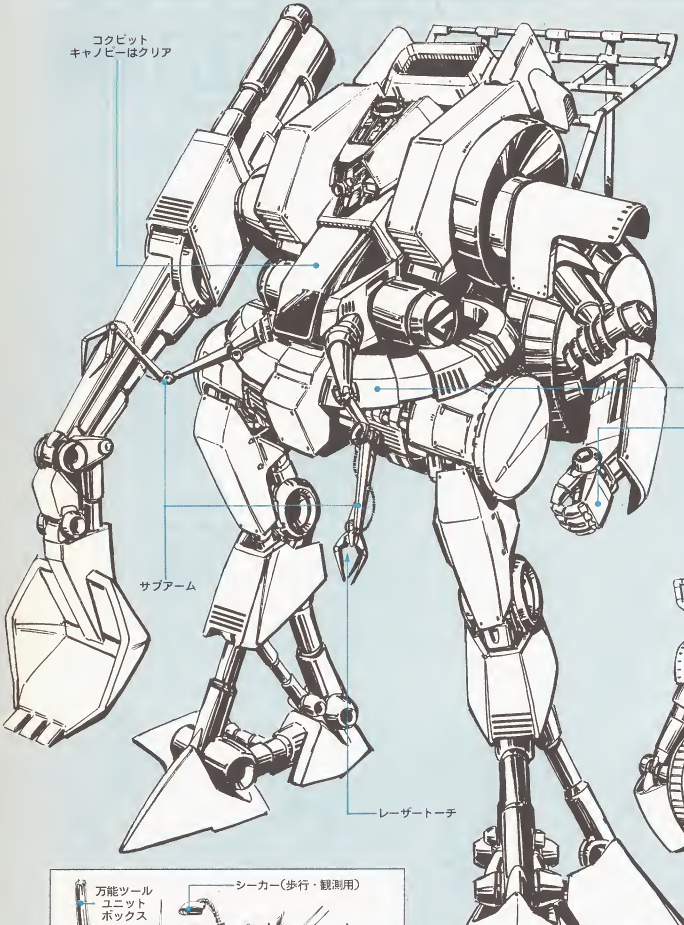
⬆これ、なんでしょうねぇ。たぶんメタル・アーマーのつもりだったんだけど……。新型のバイクのパーツを取り入れて組み上げてみたらこうなってしまいました。決してカッコ悪くはないんだけど、世界観が合わないから……没！

AC2072—TODAY

ギルトール計画の内示に基づき、メタル・アーマー開発のための基礎技術を研究する目的でつくられたのが、この完全二足歩行型メタル・ワーカーである。

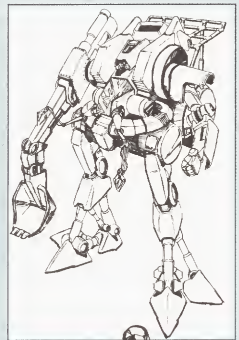
前世代まで疑似的であった歩行による移動手段は、この世代において主流となり、そのための長い脚部によって行なわれる姿勢の変換は、あらゆる地形での作業を可能にした。

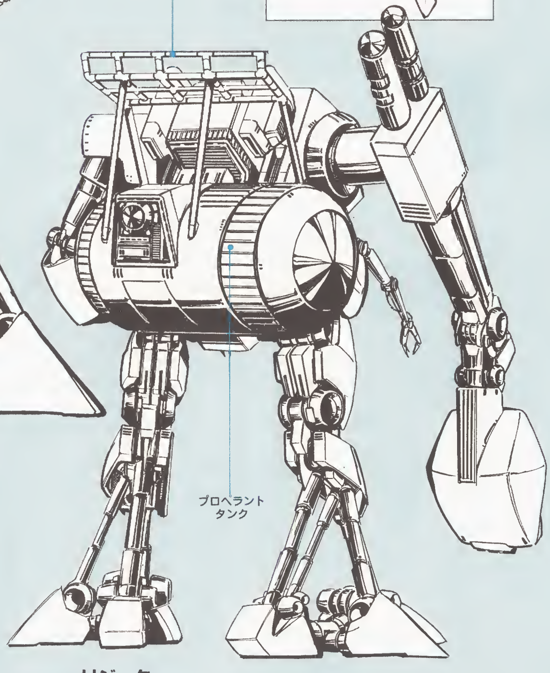
なお、このMWは、装甲を装着することで戦闘への参加も想定した設計になっている。

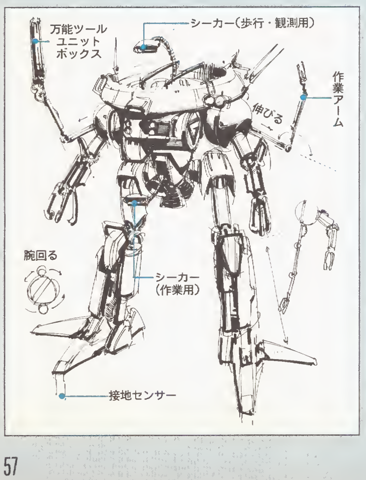


リジック・ラフ案

➡このメカはすんなりと決まった唯一のもの。やっぱ、人型は楽に決まる、とのたもうたのはスタッフのひとり。強烈なデジャブーを感じた人、黙っていようねー。われわれスタッフ一同も後で気が付いたんだよー。ウ○ーカーギャ○アってなあに？







メタル・ワーカー変形・ラフ案

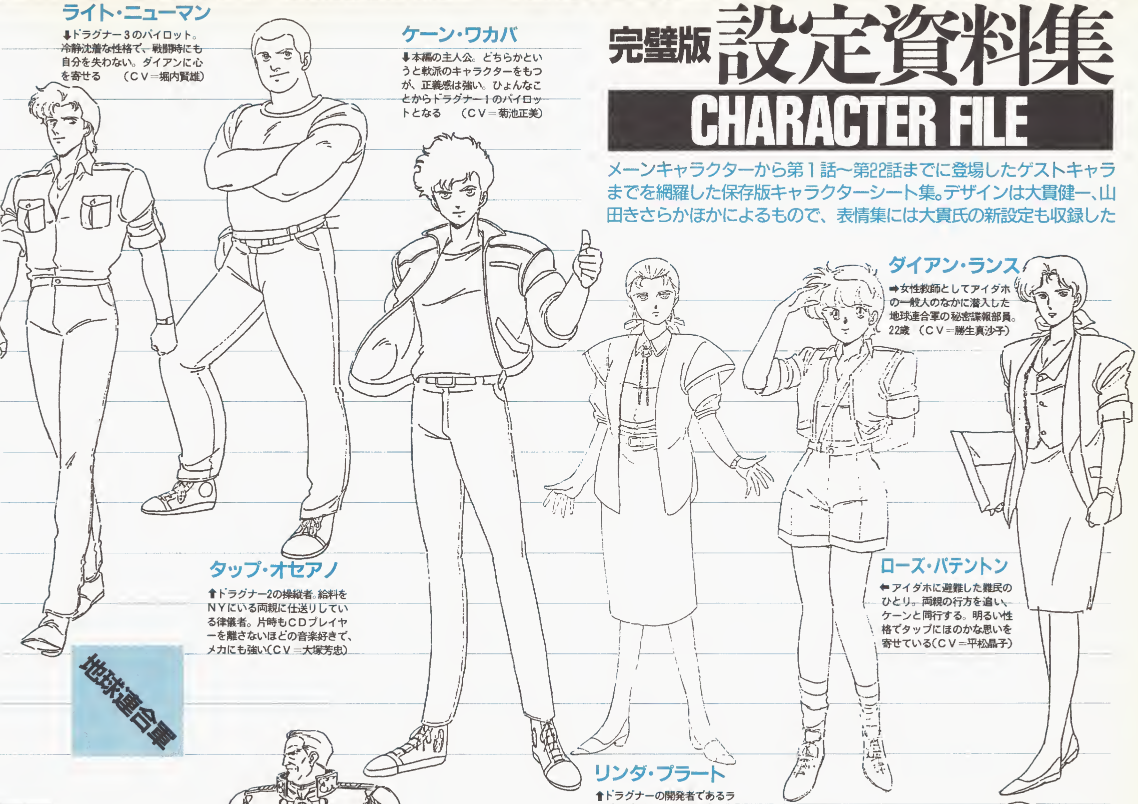
⬅うーん、これはすごい！　非常にメカニカルであるのだが、土木作業用につくられたというよりは大学の研究室でも歩いていそうなけはいがただようておる。……没かなあ　うんにゃ、そげなもったいねえことをするもんでねえ。これをいじるだ。外脱させるべえ。スタッフのひとりはお坊様でした

リジック

⬆最大にして最後のメタル・ワーカー。完全な二足歩行とデュアルマニピュレーターシステムを採用し、主腕部交換方式（肩部から先の腕ユニットが、交換できる）によって、あらゆる作業に対応できるマルチ能力を備えている。腹部に装備されたサブマニピュレーターは、レーザーを利用しての精密作業や、組み立て作業に用いるためのオプションである

完璧版 設定資料集
CHARACTER FILE

メーンキャラクターから第１話〜第22話までに登場したゲストキャラまでを網羅した保存版キャラクターシート集。デザインは大貫健一、山田きさらかほかによるもので、表情集には大貫氏の新設定も収録した



地球連合軍

ライト・ニューマン
⬇ドラグナー３のパイロット。冷静沈着な性格で、戦闘時にも自分を失わない。ダイアンに心を寄せる　（ＣＶ＝堀内賢雄）

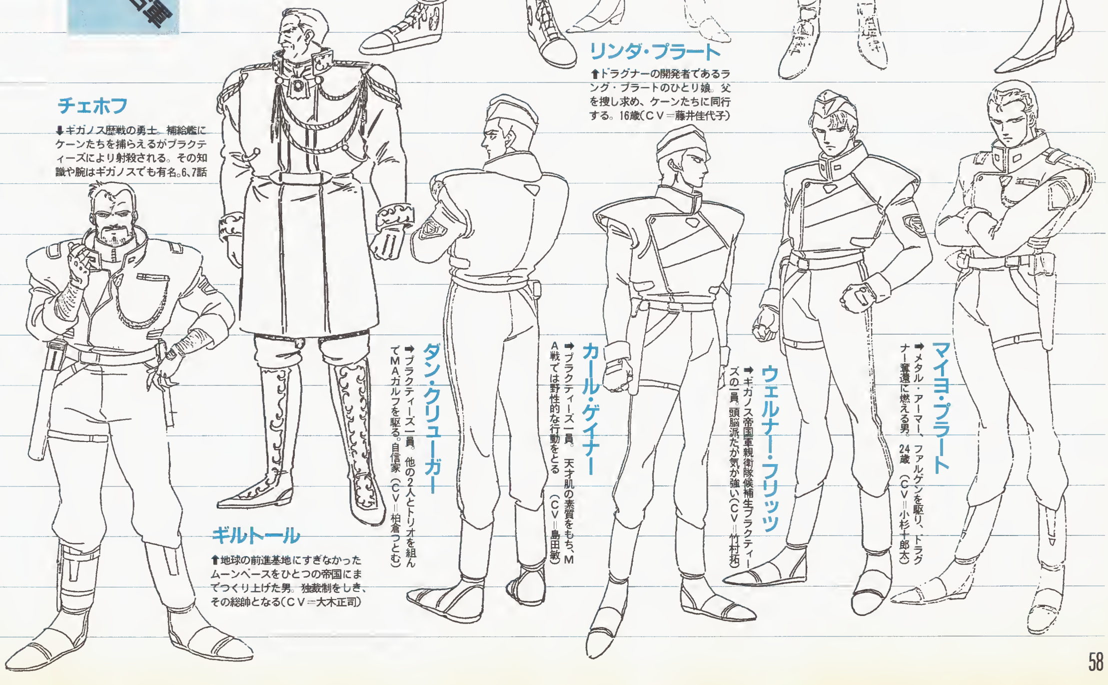
ケーン・ワカバ
⬇本編の主人公。どちらかというと軟派のキャラクターをもつが、正義感は強い。ひょんなことからドラグナー１のパイロットとなる　（ＣＶ＝菊池正美）

ダイアン・ランス
➡女性教師としてアイダホの一般人のなかに潜入した地球連合軍の秘密諜報部員。22歳　（ＣＶ＝勝生真沙子）

ローズ・パテントン
⬅アイダホに避難した難民のひとり。両親の行方を追い、ケーンと同行する。明るい性格でタップにほのかな思いを寄せている（ＣＶ＝平松晶子）

タップ・オセアノ
⬆ドラグナー2の操縦者。給料をＮＹにいる両親に仕送りしている律儀者。片時もＣＤプレイヤーを離さないほどの音楽好きで、メカにも強い（ＣＶ＝大塚芳忠）

リンダ・プラート
⬆ドラグナーの開発者であるラング・プラートのひとり娘。父を捜し求め、ケーンたちに同行する。16歳（ＣＶ＝藤井佳代子）



チェホフ
⬇ギガノス歴戦の勇士。補給艦にケーンたちを捕らえるがプラクティーズにより射殺される。その知識や腕はギガノスでも有名。6、7話

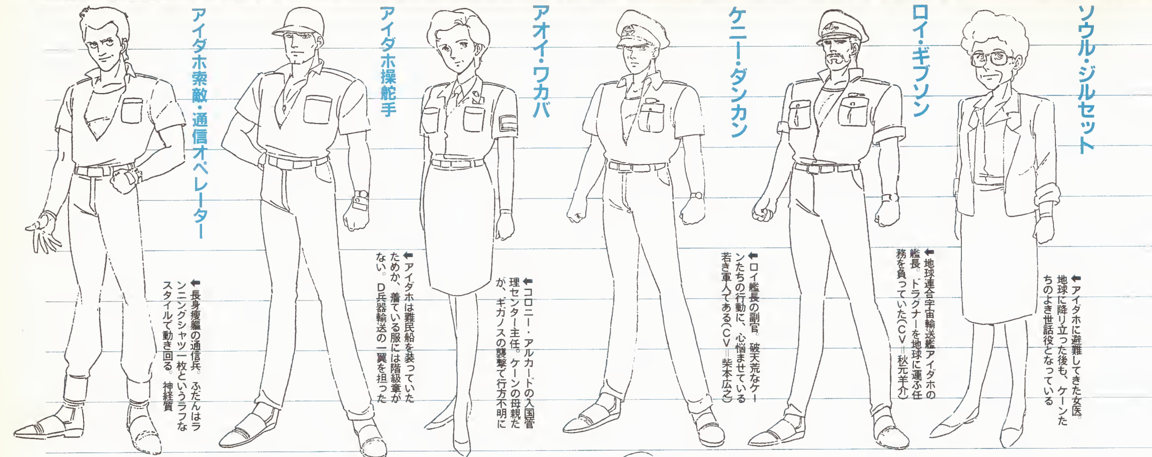
ギルトール
⬆地球の前進基地にすぎなかったムーンベースをひとつの帝国にまでつくり上げた男。独裁制をしき、その総帥となる（ＣＶ＝大木正司）

ダン・クリューガー
➡プラクティーズ一員。他の2人とトリオを組んでMAガルフを駆る。自信家（ＣＶ＝柏倉つとむ）

カール・ゲイナー
➡プラクティーズ一員。天才肌の素質をもち、MA戦では野性的な行動をとる　（ＣＶ＝島田敏）

ウェルナー・フリッツ
➡ギガノス帝国軍親衛隊候補生プラクティーズの一員。頭脳派だが気が強い（ＣＶ＝竹村拓）

マイヨ・プラート
➡メタル・アーマー、ファルゲンを駆り、ドラグナー奪還に燃える男。24歳　（ＣＶ＝小杉十郎太）



ソウル・ジルセット

⬅アイダホに避難してきた女医。地球に降り立った後も、ケーンたちのよき世話役となっている

ロイ・ギブソン

⬅地球連合宇宙輸送艦アイダホの艦長。ドラグナーを地球に運ぶ任務を負っていた（CV＝秋元羊介）

ケニー・ダンカン

⬅ロイ艦長の副官。破天荒なケーンたちの行動に、心悩ませている若き軍人である（CV＝柴本広之）

アオイ・ワカバ

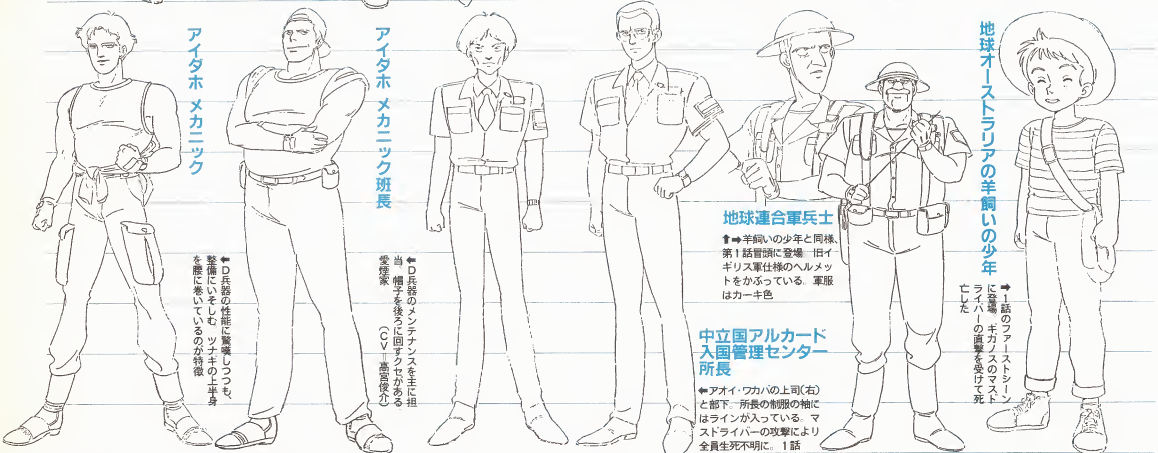
⬅コロニー・アルカードの入国管理センター主任。ケーンの母親だが、ギガノスの襲撃で行方不明に

アイダホ操舵手

⬅アイダホは難民船を装っていたためか、着ている服には階級章がない。D兵器輸送の一翼を担った

アイダホ索敵・通信オペレーター

⬅長身痩軀の通信兵。ふだんはランニングシャツ一枚というラフなスタイルで動き回る。神経質



地球オーストラリアの羊飼いの少年

➡1話のファーストシーンに登場。ギガノスのマスドライバーの直撃を受けて死亡した

地球連合軍兵士

⬆➡羊飼いの少年と同様、第1話冒頭に登場。旧イギリス軍仕様のヘルメットをかぶっている。軍服はカーキ色

中立国アルカード入国管理センター所長

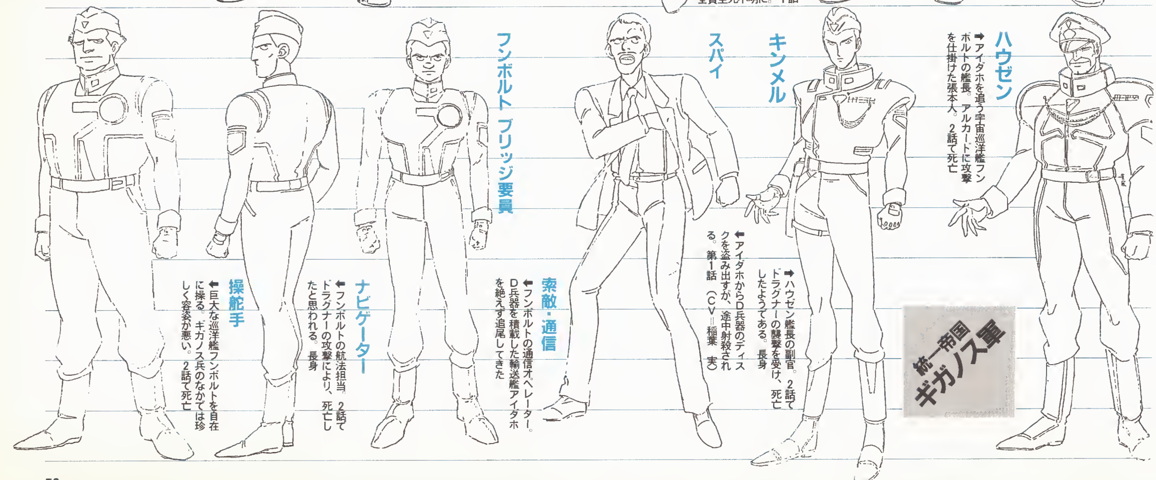
⬅アオイ・ワカバの上司（右）と部下。所長の制服の袖にはラインが入っている。マスドライバーの攻撃により全員生死不明に。1話

アイダホ メカニック班長

⬅D兵器のメンテナンスを主に担当。帽子を後ろに回すクセがある。愛煙家（CV＝高宮俊介）

アイダホ メカニック

⬅D兵器の性能に驚嘆しつつも、整備にいそしむ。ツナギの上半身を腰に巻いているのが特徴



統一帝国ギガノス軍

ハウゼン

➡アイダホを追う宇宙巡洋艦フンボルトの艦長。アルカードに攻撃を仕掛けた張本人。2話で死亡

キンメル

➡ハウゼン艦長の副官。2話でドラグナーの襲撃を受け、死亡したようである。長身

スパイ

⬅アイダホからD兵器のディスクを盗み出すが、途中射殺される。第1話（CV＝稲葉 実）

フンボルト ブリッジ要員

索敵・通信

⬅フンボルトの通信オペレーター。D兵器を積載した輸送艦アイダホを絶えず追尾してきた

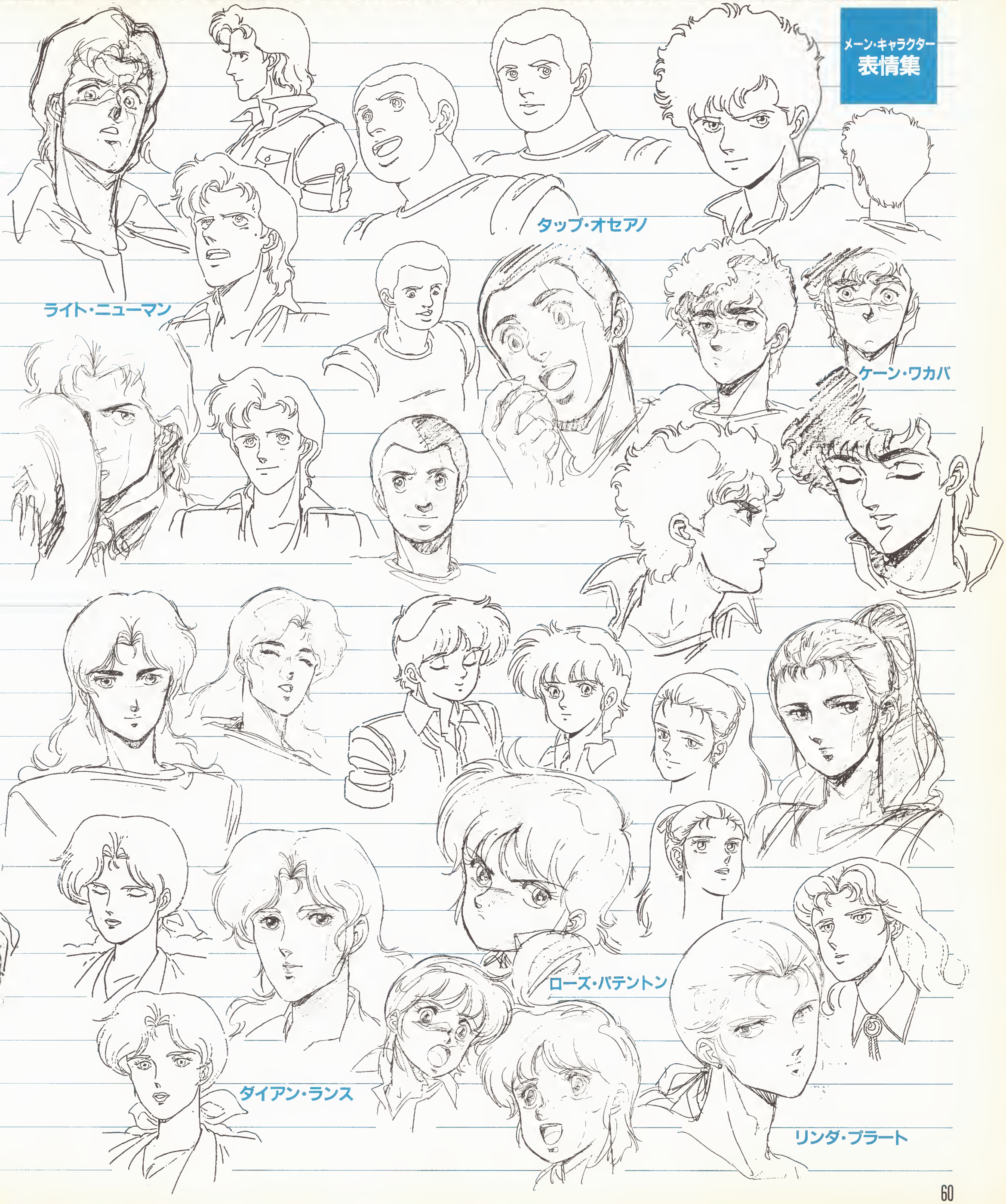
ナビゲーター

⬅フンボルトの航法担当。2話でドラグナーの攻撃により、死亡したと思われる。長身

操舵手

⬅巨大な巡洋艦フンボルトを自在に操る。ギガノス兵のなかでは珍しく容姿が悪い。2話で死亡

メーン・キャラクター表情集



機甲戦記ドラグナー制作関係者

言いたい放題

●**菊池正美**（ケーン・ワカバ役）

ケーンの自由奔放で、頭で考えるより先に手が出てしまうところが好きです。こいつの台詞で印象的なものっていうと、「たまげたか〜！」、これっきゃないですね。この台詞の後、スタジオ内には爆笑の渦が巻き起こりました。

●**大塚芳忠**（タップ・オセアノ役）

タップは明るくて、家族思いのいい奴です。気に入っている台詞は、病に倒れたローズに向かっていう「俺はどこにも行かない。ローズ、安心しろ。ここにいるからな」。彼の性格がよく出ていると思います。タップやケーン、ライトの３人がそれぞれ悩みながらも、戦いのなかでどう成長していくかをぜひ見守ってください。

●**小杉十郎太**（マイヨ・プラート役）

「ドラグナー」は台詞がすごく多いんですが、これは心理描写の細かさからくることなんでしょうね。お話に動きもあるので、見ていてワクワクするのではないでしょうか？　マイヨの「人生は美だ！」、この台詞が気に入っています。何しろクールな超二枚目ですから……。マイヨがこれから何をめざし、何のために、どんな方法で戦っていくのか僕自身とても楽しみにしています。皆さんもどうぞ応援してくださいね。

●**石塚運昇**（ナレーター）

毎度おなじみ「西暦2084年……」の石塚ですッ！冷静で深みのあるナレーションになるように気を遣っています。メカニックに対するキメの細かさには感心しましたね。

●**竹村拓**（ウェルナー・フリッツ役）

とにかく二枚目なんで気に入ってます。絵がきれいでＧＯＯＤなんですが、プラクティーズの活躍する場面がもっと欲しいなァ。もっと出番を!!

●**柏倉つとむ**（ダン・クリューガー役）

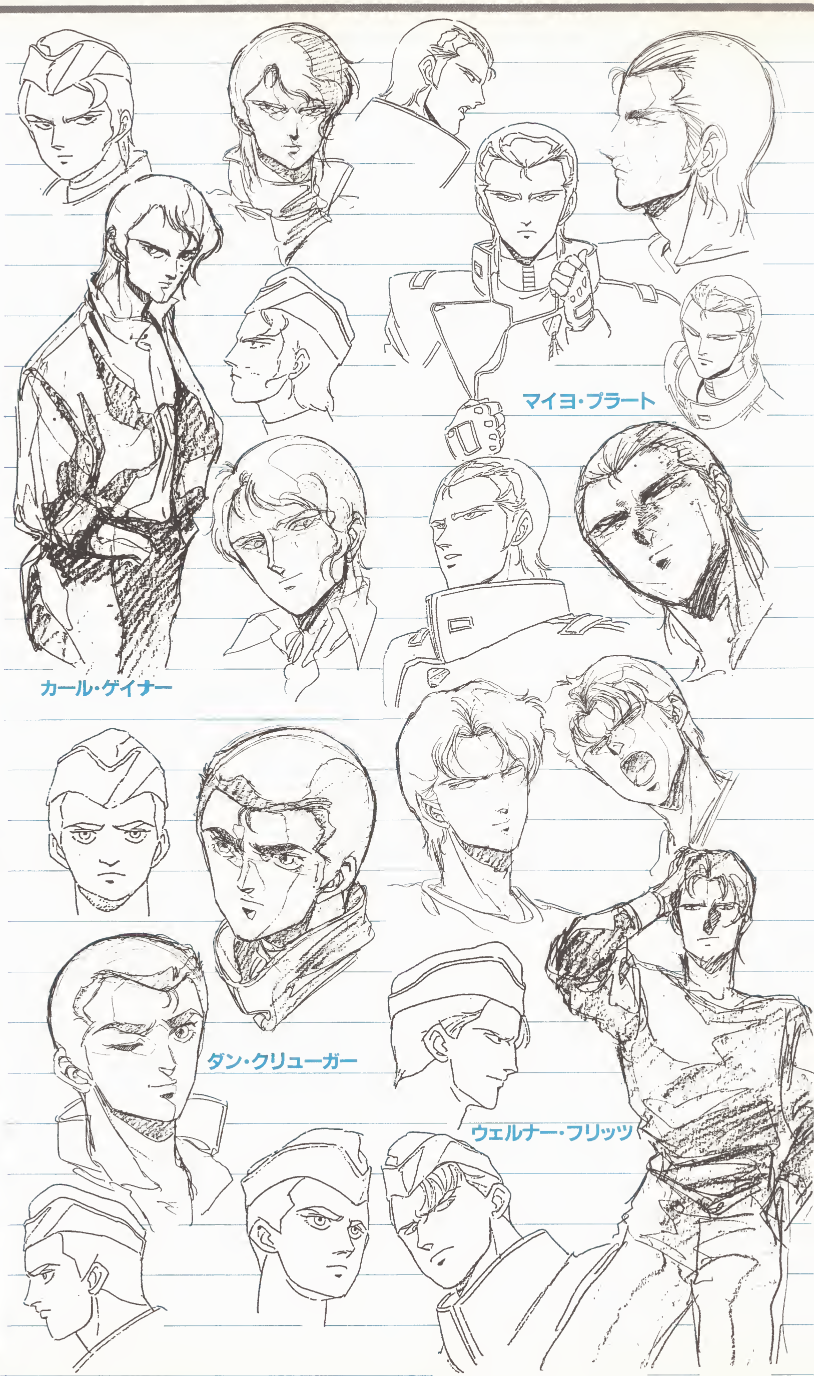
ダン。またの名をサンダーバード、またの名をコックさんという。プラート大尉殿を一途に思っているところがいいのです(アブナい)。純情です、彼は。シリーズ後半は皆さんの応援次第、盛り上がって長寿番組にしませう♪　個人的に感想も聞かせてほしいでーす♡

●**勝生真沙子**（ダイアン・ランス役）

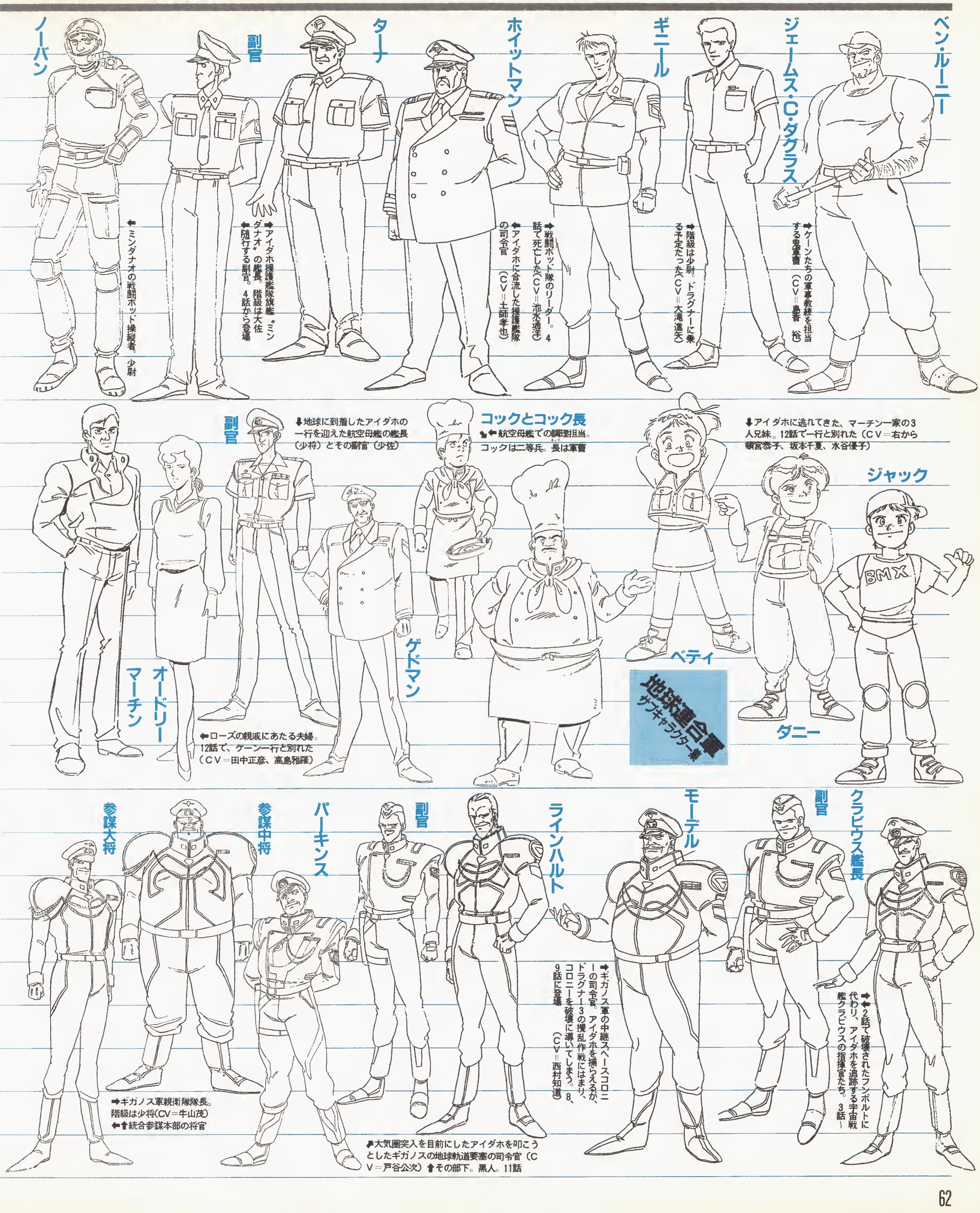
ダイアンは人に対する優しさや思いやりにあふれているところがとても好きです。それがうまく表現できていればいいのですが……。気に入っている台詞は「自分に正直なのが一番よ」かな？ケーン、タップ、ライトの３人の若者が、助け合いながら明るく生きていく姿はとても素敵ですネ。これからも「ドラグナー」を応援してください。



⬆こお〜んなにのけぞっちゃアブナイよ、ドラちゃん！



地球連合軍 サブキャラクター集



➡ケーンたちの軍事教練を担当する鬼軍曹（CV＝島香 裕）

➡階級は少尉。ドラグナーに乗る予定だった（CV＝大滝進矢）

➡戦闘ポッド隊のリーダー。4話で死亡した（CV＝池水通洋）

⬅アイダホに合流した援護艦隊の司令官（CV＝土師孝也）

➡アイダホ援護艦隊旗艦〝ミンダナオ〟の艦長。階級は大佐

⬅随行する副官。4話から登場

⬅ミンダナオの戦闘ポッド操縦者。少尉

⬇アイダホに逃れてきた、マーチン一家の3人兄妹。12話で一行と別れた（CV＝右から頓宮恭子、坂本千夏、水谷優子）

↘⬅航空母艦での調理担当。コックは二等兵。長（チーフ）は軍曹

⬇地球に到着したアイダホの一行を迎えた航空母艦の艦長（少将）とその副官（少佐）

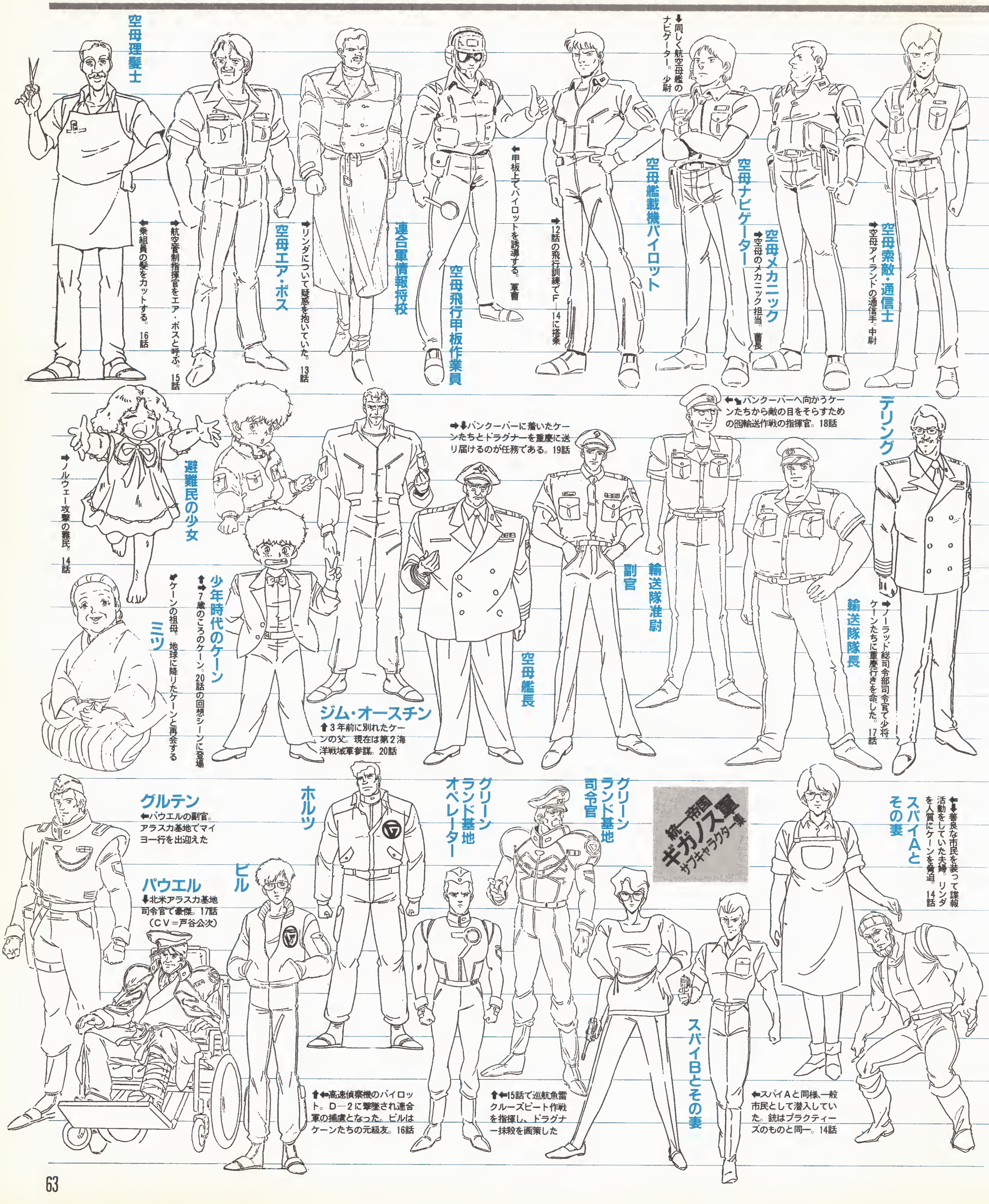
⬅ローズの親戚にあたる夫婦。12話で、ケーン一行と別れた（CV＝田中正彦、高島雅羅）

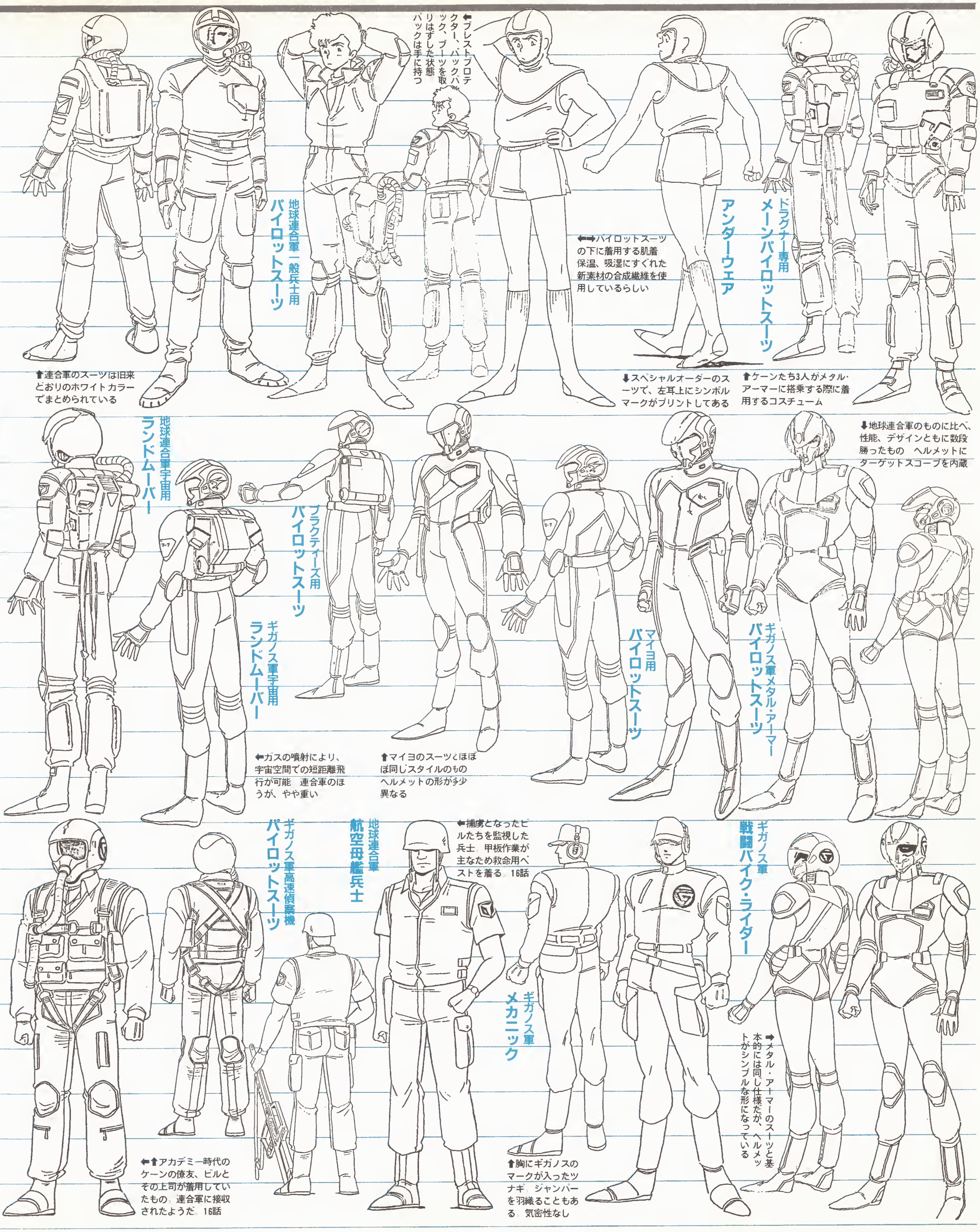
➡⬅2話で破壊されたフンボルトに代わり、アイダホを追跡する宇宙戦艦クラビウスの指揮官たち。3話～

➡ギガノス軍の中継スペースコロニーの司令官。アイダホを捕らえるが、ドラグナー3の攪乱作戦にはまり、コロニーを破壊に導いてしまう。8、9話に登場（CV＝西村知道）

↗大気圏突入を目前にしたアイダホを叩こうとしたギガノスの地球軌道要塞の司令官（CV＝戸谷公次）⬆その部下。黒人。11話

➡ギガノス軍親衛隊隊長。階級は少将（CV＝牛山茂）⬅⬆統合参謀本部の将官


統一帝国ギガノス軍
サブキャラクター集
空母理髪士
←乗組員の髪をカットする。16話
空母エア・ボス
➡航空管制指揮官をエア・ボスと呼ぶ。15話
連合軍情報将校
➡リンダについて疑惑を抱いていた。13話
空母飛行甲板作業員
←甲板上でパイロットを誘導する。軍曹
空母艦載機パイロット
➡12話の飛行訓練でF—14に搭乗
空母ナビゲーター
⬇同じく航空母艦のナビゲーター。少尉
空母メカニック
➡空母のメカニック担当。曹長
空母索敵・通信士
➡空母アイランドの通信手。中尉
避難民の少女
➡ノルウェー攻撃の難民。14話
少年時代のケーン
⬆➡7歳のころのケーン。20話の回想シーンに登場
ミツ
↙ケーンの祖母。地球に降りたケーンと再会する
ジム・オースチン
⬆3年前に別れたケーンの父。現在は第2海洋戦域軍参謀。20話
➡⬇バンクーバーに着いたケーンたちとドラグナーを重慶に送り届けるのが任務である。19話
空母艦長
副官
輸送隊准尉
←↘バンクーバーへ向かうケーンたちから敵の目をそらすための囮輸送作戦の指揮官。18話
デリング
➡ノーラッド総司令部司令官で少将。ケーンたちに重慶行きを命じた。17話
輸送隊隊長
グルテン
←パウエルの副官。アラスカ基地でマイヨー行を出迎えた
パウエル
⬇北米アラスカ基地司令官で豪傑。17話（CV＝戸谷公次）
ホルツ
ビル
⬆←高速偵察機のパイロット。D—2に撃墜され連合軍の捕虜となった。ビルはケーンたちの元級友。16話
グリーンランド基地オペレーター
グリーンランド基地司令官
⬆←15話で巡航魚雷クルーズピート作戦を指揮し、ドラグナー抹殺を画策した
スパイBとその妻
←スパイAと同様、一般市民として潜入していた。銃はプラクティーズのものと同一。14話
スパイAとその妻
←⬇善良な市民を装って諜報活動をしていた夫婦。リンダを人質にケーンを脅迫。14話


⬆連合軍のスーツは旧来どおりのホワイトカラーでまとめられている
地球連合軍一般兵士用 パイロットスーツ
⬅ブレストプロテクター、バックパック、ブーツを取りはずした状態 パックは手に持つ
⬅➡パイロットスーツの下に着用する肌着 保温、吸湿にすぐれた新素材の合成繊維を使用しているらしい
アンダーウェア
ドラグナー専用 メーンパイロットスーツ
⬇スペシャルオーダーのスーツで、左耳上にシンボルマークがプリントしてある
⬆ケーンたち3人がメタル・アーマーに搭乗する際に着用するコスチューム
⬇地球連合軍のものに比べ、性能、デザインともに数段勝ったもの ヘルメットにターゲットスコープを内蔵
地球連合軍宇宙用 ランドムーバー
プラクティーズ用 パイロットスーツ
ギガノス軍宇宙用 ランドムーバー
マイヨ用 パイロットスーツ
ギガノス軍メタル・アーマー パイロットスーツ
⬅ガスの噴射により、宇宙空間での短距離飛行が可能 連合軍のほうが、やや重い
⬆マイヨのスーツとほぼ同じスタイルのもの ヘルメットの形が多少異なる
ギガノス軍高速偵察機 パイロットスーツ
地球連合軍 航空母艦兵士
⬅捕虜となったビルたちを監視した兵士。甲板作業が主なため救命用ベストを着る。16話
ギガノス軍 戦闘バイク・ライダー
ギガノス軍 メカニック
➡メタル・アーマーのスーツと基本的には同じ仕様だが、ヘルメットがシンプルな形になっている
⬅⬆アカデミー時代のケーンの僚友、ビルとその上司が着用していたもの。連合軍に接収されたようだ。16話
⬆胸にギガノスのマークが入ったツナギ。ジャンパーを羽織ることもある。気密性なし

機甲戦記ドラグナー制作関係者

言いたい放題

●**平松晶子**(ローズ・パテントン役)

なかなか重い作品だと思っていたんですけど、もう少しするとだんだんギャグも増えてきます。ローズもしだいにノーテン……いやいや、子供っぽくなってきて、自分でいうのも何ですが、かわいいですネ⁉ マイヨさんが左遷されてしまってこれからどんなふうになるのかわかりませんが、今までにない斬新な展開を期待しています♡ ローズは私にとって初めての大役(⁉)。つたない演技ではありますが、「ドラグナー」ともども平松ローズを温かい目で応援してくださったらウレッPーです(ぴらまつ)。

●**宮田浩徳**(兵隊さん、アイダホの難民などなど……役)

現在、戦闘シーンでの犠牲者の叫び声（ウワーッ！ などのことネ）と格闘中デス。作品の性格上、登場人物が多く、どのような台詞をいただけるか毎回楽しみですね。事実上、この作品が私のデビュー作ということになります。未熟者ですが、「ドラグナー」とともに成長していきたいと思います。今後ともヨロシクお願いします。

●**島香裕**(ベン・ルーニー役)

今では俺より上官になってしまったケーン、タップ、ライトの３人組。しかし、まだ何となく頼りない。そこで、人生の先輩として奴らをビシバシ鍛えることにする……。だが、奴らからも学ぶところは大いにあるのだ。諸君、俺も頑張るぞ。応援してくれ！ というわけでベン役の島香です。ベンのカッコいい台詞といえば、８話の「戦争なんてあっちゃいけねえんだ。(リンダに)あんたの兄さんだって個人が憎くて戦争やってんじゃねえはずだ。みんな戦争始めた偉い奴らが悪いんだ。そして泣きをみるのはいつも決まって弱い者とくる」に尽きるのではないのでしょうか。

●**藤井佳代子**(リンダ・プラート役)

気に入っている台詞は「私は心に棘をもったまま生きています」です。「ドラグナー」のアフレコでいちばん楽しめるのは、やはり男の子３人トリオの息のあったはずれぶり(⁉)ですね。

●**島田敏**(カール・ゲイナー役)

カールの一本気なところ、好きですね。プラクティーズの活躍は未知数ですが、主人公３人組同様に応援してください。作品についてとは少し違うんですが、実際の100年後の世界がこんな殺伐としたものにならないことを祈っています。

●**大滝進矢**(ダグラス役)

大人（軍人）たちはマジに戦争に取り組んでいる。それを無視するかのようにケーンたちは自由に、勝手に行動し、いらだたせ、あきれさせ、ケムにまく。こんな図式が私は好きです。ダグラスは単純ですぐカッとなるが、部下への思いやりがあって優しい、いい奴です。あまり物わかりのいいおじさんにならないよう、適度にヒステリックに演じたいと思います。ダグラスは燃えています！



⬆第３話のマイヨ・プラートは、また屈辱を知らない



⬅連合軍制式のジャケットだが、ケーンだけはオシャレとして襟を立て、袖を折り返しており、またタップはCDプレイヤーを忍ばせたウエストバックを付けている

⬆ギガノスの服は基本的に肩パッドが入っており、よりスマートに見える。白のマフラーを羽織るのが特徴

⬇地球に降りたリンダたち３人のコスチュームは、17話より変更された。リンダはシンプルに、ローズはよりボーイッシュにデザインされている。ダイアンは秘密諜報部員の素姓を明かしたため、連合軍の軍服を着用していることもある

➡19話に登場したヒロイン３人の水着姿 リンダは三つ編をサイドに、ダイアンは髪をたらしている。ローズはちょっぴりハイレグ♡

コスチューム集

完璧版 設定資料集

MECHANIC FILE

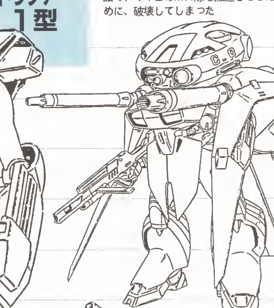
キャラクター集に続いてメカニックをまとめました。主役ロボット、D-1をはじめとするメカニックを、連合軍、ギガノス軍とりまぜてご紹介！大張正己描き下ろしオープニングバージョン設定も注目してネ

地球連合軍
ドラグナー1型

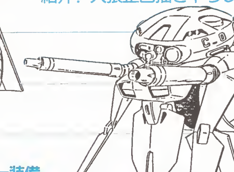


⬆主人公ケーン・ワカバが搭乗するメタル・アーマー。科学者ラング・プラートが設計、統一帝国ギガノスによって開発されたが、完成直後に地球連合軍が奪取した。接近・格闘戦では他のメタル・アーマーを圧倒する戦闘能力をもつが、その力もパイロットがケーンであることから、まだ未知数といえる。コンピュータの愛称はクララ

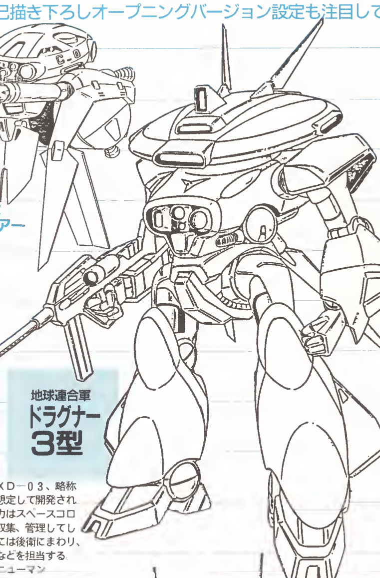
⬇ドラグナーに装着される重火器強化ユニット。宇宙戦用に開発されたもので、そのコードNo.はXC―00。10話で、マイヨのMA隊を撤退させるために、破壊してしまった



キャバリアー装備
ドラグナー1型

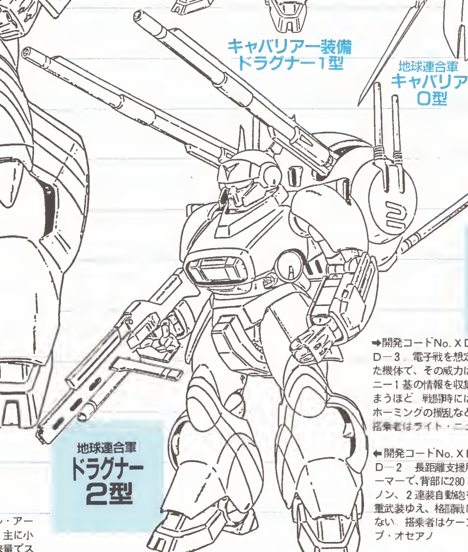


地球連合軍
キャバリアー
0型



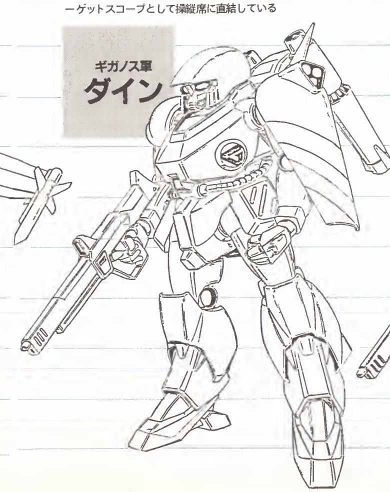
地球連合軍
ドラグナー
2型

⬅開発コードNo.XD―02、略称D―2。長距離支援用のメタル・アーマーで、背部に280ミリレールキャノン、2連装自動砲を装備している。重武装ゆえ、格闘戦にはあまり向かない。搭乗者はケーンの僚友、タップ・オセアノ



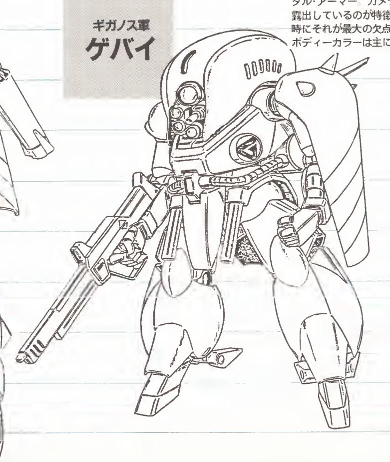
地球連合軍
ドラグナー
3型

➡開発コードNo.XD―03、略称D―3。電子戦を想定して開発された機体で、その威力はスペースコロニー1基の情報を収集、管理してしまうほど。戦闘時には後衛にまわり、ホーミングの攪乱などを担当する。搭乗者はライト・ニューマン



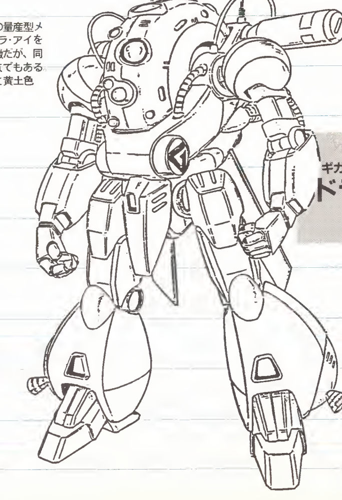
ギガノス軍
ダイン

⬇統一帝国ギガノスの開発した量産型メタル・アーマー。接近・格闘戦用につくられた機体で、主に小隊のリーダーが使用する。ドラグナーより軽量でスピーディーだが、現在では旧型機である。右眼はターゲットスコープとして操縦席に直結している



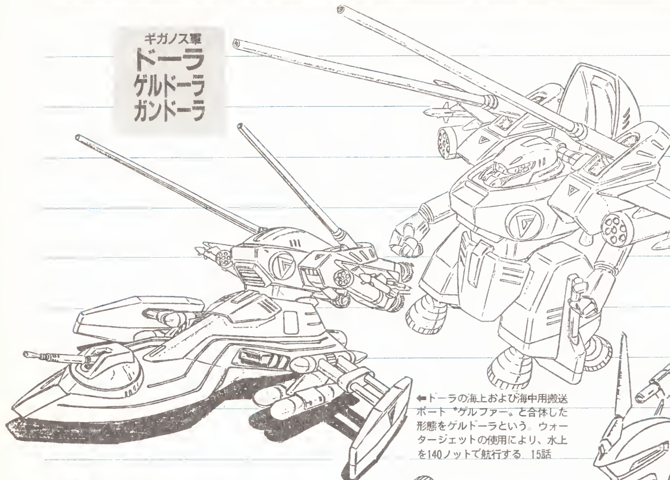
ギガノス軍
ゲバイ

⬇統一帝国ギガノスの量産型メタル・アーマー。カメラ・アイを露出しているのが特徴だが、同時にそれが最大の欠点でもある。ボディーカラーは主に黄土色

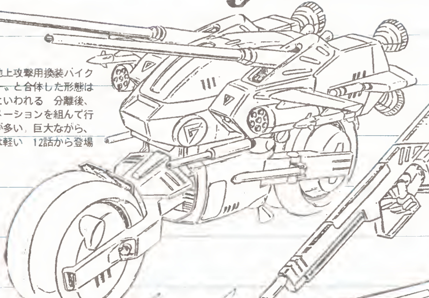


ギガノス軍
ドラウ

⬇メタル・アーマーのなかでも最も初期に開発された機体で、機動性、武装ともにまだ充実していない。いわば戦闘ポッドに足を付けた、といえる程度のシロモノである

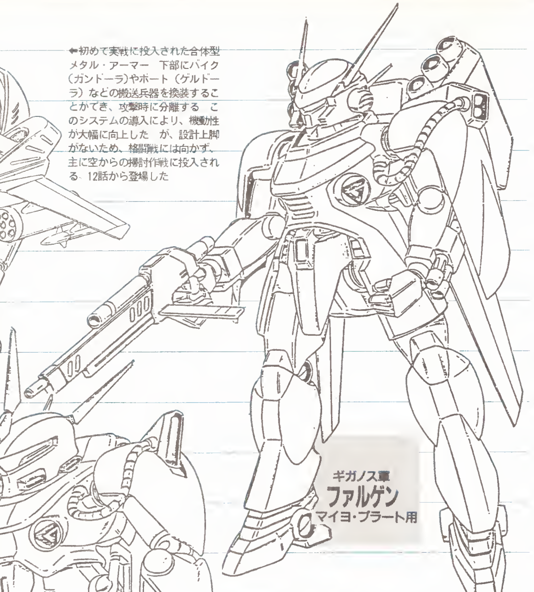


ギガノス軍
ドーラ
ゲルドーラ
ガンドーラ



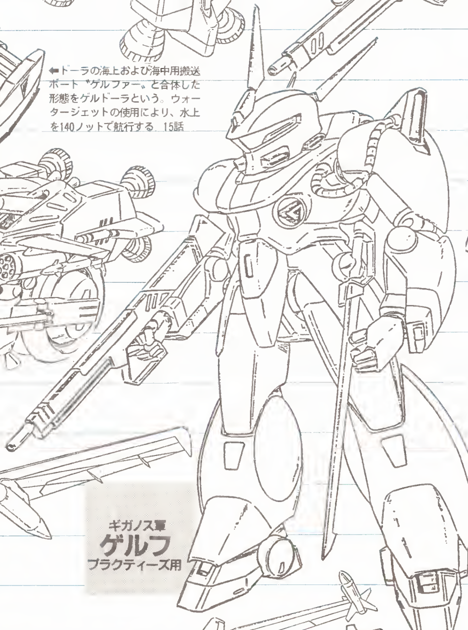
⬅初めて実戦に投入された合体型メタル・アーマー。下部にバイク（ガンドーラ）やボート（ゲルドーラ）などの搬送兵器を換装することができ、攻撃時に分離する。このシステムの導入により、機動性が大幅に向上したが、設計上脚がないため、格闘戦には向かず、主に空からの掃討作戦に投入される。12話から登場した

⬅ドーラの海上および海中用搬送ボート〝ゲルファー〟と合体した形態をゲルドーラという。ウォータージェットの使用により、水上を140ノットで航行する。15話



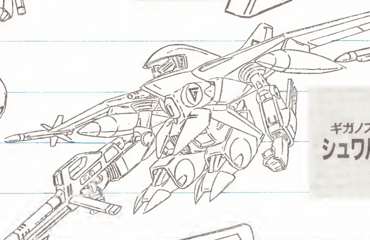
➡ドーラの地上攻撃用換装バイク〝ガンツァー〟と合体した形態はガンドーラといわれる。分離後、連携フォーメーションを組んで行動することが多い。巨大ながら、その排気音は軽い。12話から登場

ギガノス軍
ファルゲン
マイヨ・プラート用



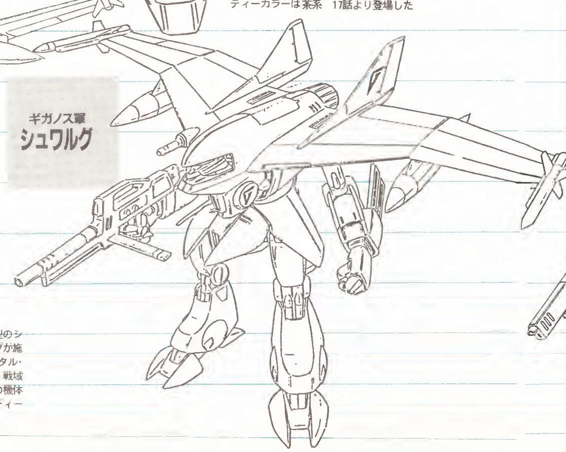
⬆〝ギガノスの蒼き鷹〟の異名をとるマイヨ・プラートが搭乗するメタル・アーマー。D兵器の開発寸前に完成されたプロトタイプで、ギガノスの所有するMAのなかでは最高の性能を誇る。マイヨはこの機を駆り、ドラグナーを追うが、ケーンたちの破天荒な攻撃により失敗を繰り返している。が、まだその機体には、D兵器にはない秘密のパワーが隠されているのだ。識別コードNo.はXFMA―09。ボディーカラーはブルーパープル

ギガノス軍
ゲルフ
プラクティーズ用

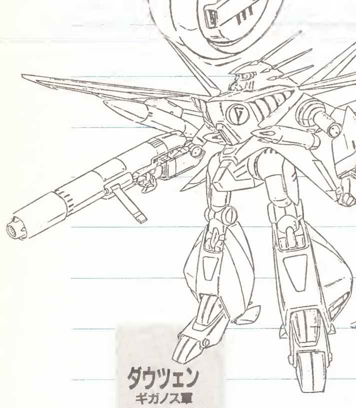


⬅マイヨが教官を務めるギガノス士官学校の士官候補生、ウェルナー・フリッツ、ダン・クリューガー、カール・ゲイナーの3人で構成される〝プラクティーズ〟が搭乗するメタル・アーマー。ファルゲンに次ぐ高性能機で、親衛隊機としての特徴が色濃く出たデザインに仕上げられている。系列線上にヤクト・ゲルフ、レビ・ゲルフが存在する。識別コードNo.YFMA―08A

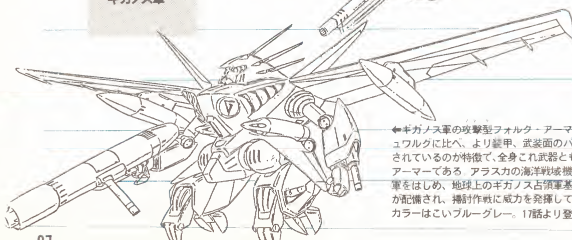
ギガノス軍
シュワルグ



⬇統一帝国ギガノスが開発した軽装タイプのメタル・アーマー。高速飛行時には脚部を折り曲げ、空気抵抗を少なくする体型をとることから、ファイティング・フォルグ・アーマーとも呼ばれている。地球上での戦闘を目的にしているため、フライトユニットがダイレクトに取り付けられているのが特徴で、高い機動性を発揮する。ボディーカラーは茶系。17話より登場した



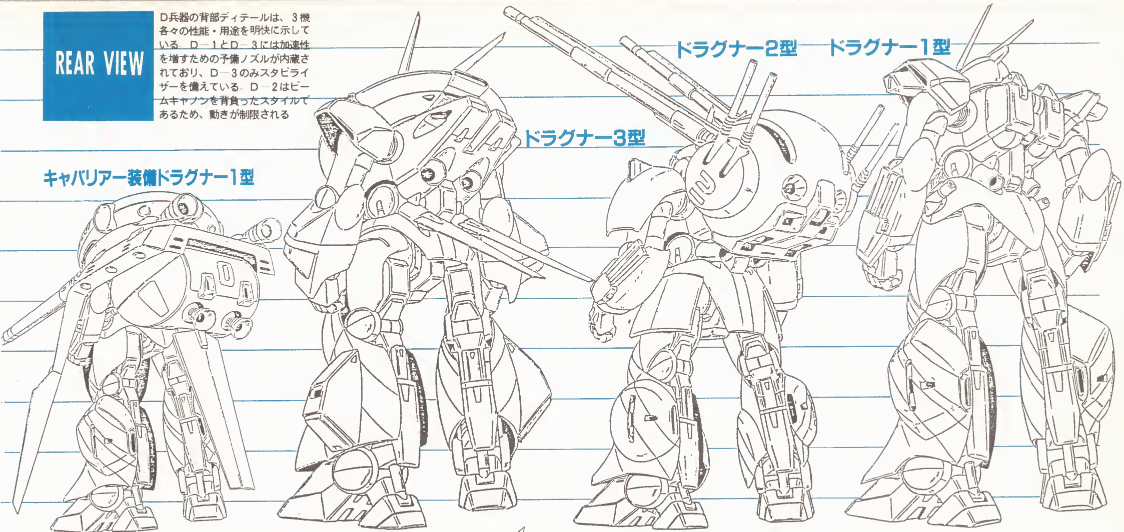
ダウツェン
ギガノス軍



⬅ギガノス軍の攻撃型フォルク・アーマー。軽戦型のシュワルグに比べ、より装甲、武装面のパワーアップが施されているのが特徴で、全身これ武器ともいえるメタル・アーマーである。アラスカの海洋戦域機動軍第404戦域軍をはじめ、地球上のギガノス占領軍基地に多くの機体が配備され、掃討作戦に威力を発揮している。ボディーカラーはこいブルーグレー。17話より登場した

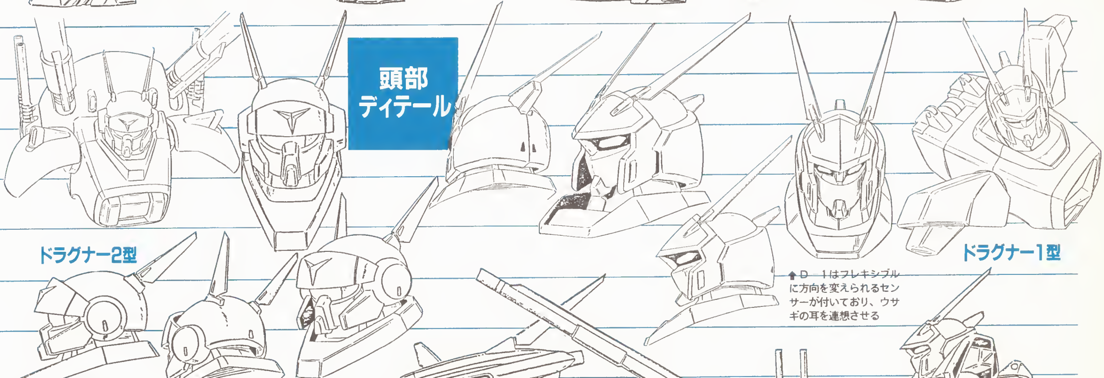
REAR VIEW

D兵器の背部ディテールは、３機各々の性能・用途を明快に示している。Ｄ－１とＤ－３には加速性を増すための予備ノズルが内蔵されており、Ｄ－３のみスタビライザーを備えている。Ｄ－２はビームキャノンを背負ったスタイルであるため、動きが制限される



キャバリアー装備ドラグナー1型　ドラグナー3型　ドラグナー2型　ドラグナー1型

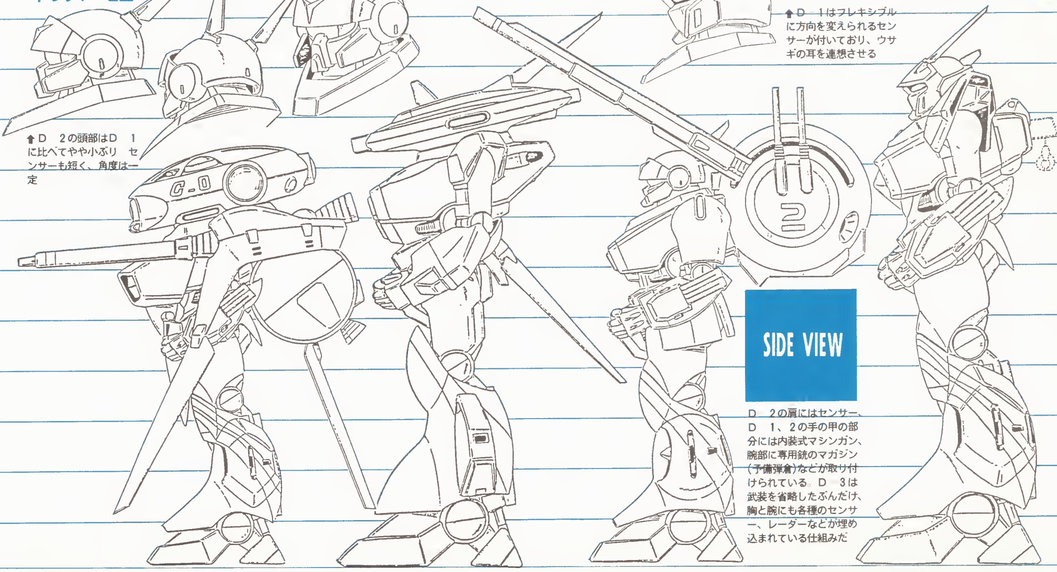
頭部ディテール



ドラグナー2型　ドラグナー1型

↑Ｄ　１はフレキシブルに方向を変えられるセンサーが付いており、ウサギの耳を連想させる

↑Ｄ　２の頭部はＤ　１に比べてやや小ぶり　センサーも短く、角度は一定



SIDE VIEW

Ｄ　２の肩にはセンサー、Ｄ　１、２の手の甲の部分には内装式マシンガン、腕部に専用銃のマガジン（予備弾倉）などが取り付けられている。Ｄ　３は武装を省略したぶんだけ、胸と腕にも各種のセンサー、レーダーなどが埋め込まれている仕組みだ

機甲戦記ドラグナー制作関係者

言いたい放題

●鎌田秀美（文芸）

シナリオとコンテのスケジュール管理をやってます。ライターの方はほとんどが「ガンダム」の方なので、それほど苦労はないですよ。「ドラグナー」は1本だけ書いたんですけど、8稿までいって結局ボツになりました。また下積み生活です。

●松永良和（設定）

コンテに沿ってメカと美術の舞台設定をするのが僕の仕事です。この作品はどちらかというとやりにくいんですね。実際の地名が出てくるし、空母なども現用に近いものが出てくるので、資料集めとか大変なんですよ。でも「ドラグナー」は、現代ふうにアレンジされた「マジンガーZ」のつもりでつくってます。

●市万田俊也（制作進行）

進行というのは演出と原動画をつなぐパイプ役で、みんなに仕事をさせるのが仕事なんです。最初は演出志望だったんですが、最近では進行のほうがおもしろくなってきましたね。

●小林真一郎（制作進行）

この作品は比較的スケジュールが楽なので、今のところそれほどキツいということはないです。あんまり時間のない作品をやってると、自分が今何をやってるのかわからなくなるでしょう。それじゃつまらないですからね。

●山崎恭子（色指定補佐）

リテイク部分の仕上げと兼業でやってます。スケジュールの遅れのしわ寄せが真っ先にくるのでつらいですけど。お気に入りのメカはD-3です。

●内藤孝一（原画）

原画になってからずっとメカばっかりです。この間はドラグナー飛行メカの戦闘シーンをやりましたが、現用戦闘機に近いイメージにしてくれといわれて、「トップガン」を参考にしたりしました。ロボットの熱血ヒーローものがやりたいですね。

●森悦史（動画チェック）

あがってきた動画の動きをチェックして、リテイクを出すか、自分で描き直すのが仕事です。遊びの延長上みたいな感じで楽しくやってますが、こういうアクションの多いのは、ちょっとやりにくいですね。

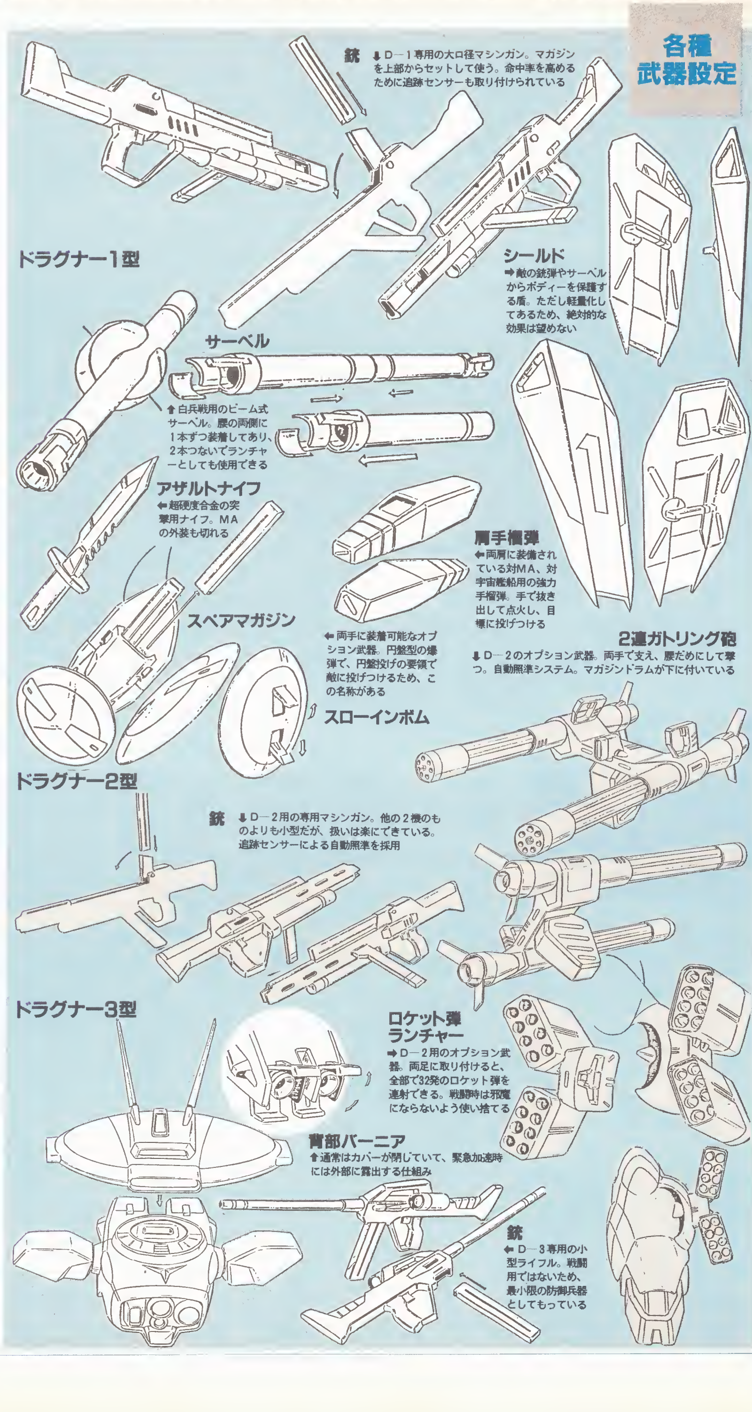
●松野悦子（動画）

メカの速い動きのものはこれが初めてです。こういう線の多いメカが出てくる作品は、枚数がなかなか上がらないのが悩みのタネです。今はもう限られたスケジュールのなかで描きもれのないようにするのが精いっぱいです。



⬆逆光がまぶしいレイアウト。センスが光る

各種武器設定



フライトユニット装備

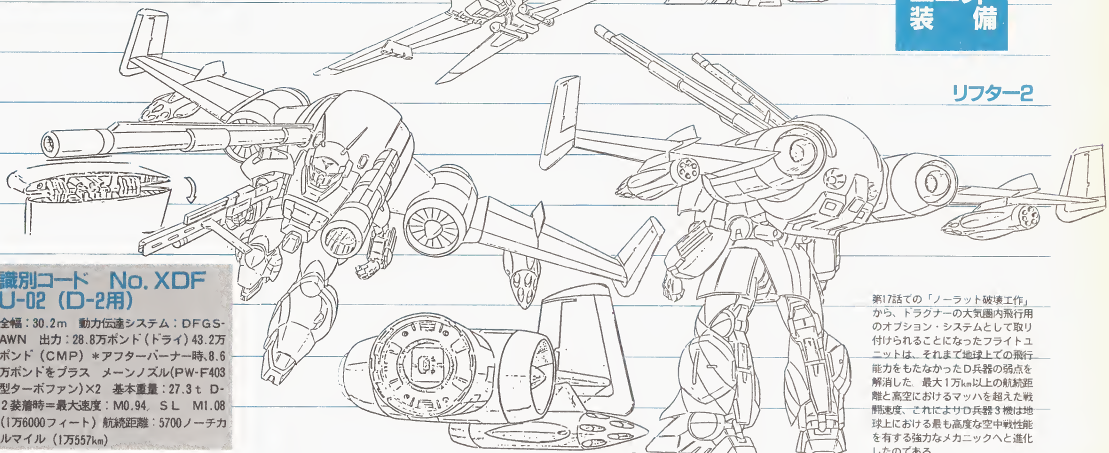
リフター1



識別コード No. XDF U-01（D-1用）

全幅：25.6m　動力伝達システム：DFGS-AFN　出力：21万ポンド（ドライ）33.6万ポンド（CMP）＊アフターバーナー時、15万ポンドをプラス　メーンノズル×2　姿勢制御ノズル×4　基本重量：19.7ｔ　D-1装着時＝最大速度：M0.94　ＳＬ（海面高度）M1.19（3万2000フィート）航続距離：2650ノーチカルマイル（4908km）

リフター2



識別コード No. XDF U-02（D-2用）

全幅：30.2m　動力伝達システム：DFGS-AWN　出力：28.8万ポンド（ドライ）43.2万ポンド（CMP）＊アフターバーナー時 8.6万ポンドをプラス　メーンノズル(PW-F403型ターボファン)×2　基本重量：27.3ｔ　D-2装着時＝最大速度：M0.94　ＳＬ　M1.08（1万6000フィート）航続距離：5700ノーチカルマイル（1万557km）

第17話での「ノーラット破壊工作」から、ドラグナーの大気圏内飛行用のオプション・システムとして取り付けられることになったフライトユニットは、それまで地球上での飛行能力をもたなかったD兵器の弱点を解消した。最大1万km以上の航続距離と高空におけるマッハを超えた戦闘速度、これによりD兵器3機は地球上における最も高度な空中戦性能を有する強力なメカニックへと進化したのである

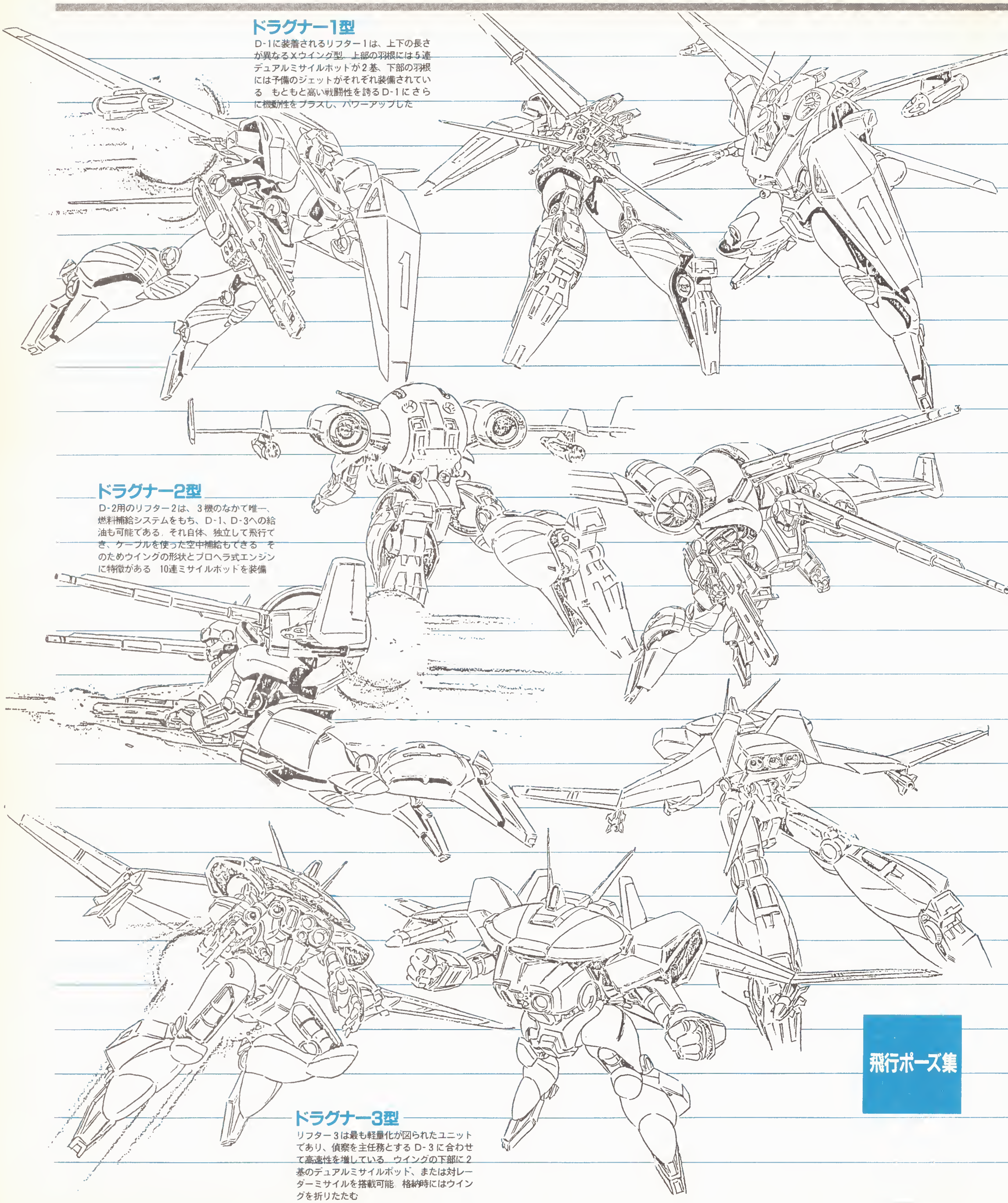
リフター3



識別コード No. XDF U-03（D-3用）

全幅：25.6m　動力伝達システム：DFGS-AFN　出力：19.2万ポンド（ドライ）36万ポンド（CMP）＊アフターバーナー時 8.2万ポンドをプラス　メーンノズル×3　姿勢制御ノズル×2　基本重量：17.2t　D-3装着時＝最大速度：M0.95　ＳＬ　M1.31（3万6000フィート）　航続距離：2700ノーチカルマイル（5001km）

飛行ポーズ集



ドラグナー1型

D-1に装着されるリフター1は、上下の長さが異なるXウイング型。上部の羽根には5連デュアルミサイルホットが2基、下部の羽根には予備のジェットがそれぞれ装備されている。もともと高い戦闘性を誇るD-1にさらに機動性をプラスし、パワーアップした

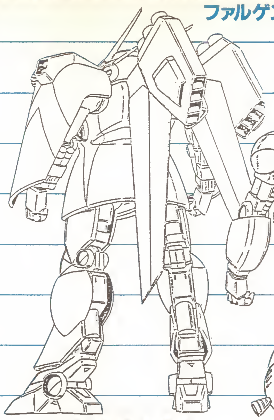
ドラグナー2型

D-2用のリフター2は、3機のなかで唯一、燃料補給システムをもち、D-1、D-3への給油も可能である。それ自体、独立して飛行でき、ケーブルを使った空中補給もできる。そのためウイングの形状とプロヘラ式エンジンに特徴がある。10連ミサイルボットを装備

ドラグナー3型

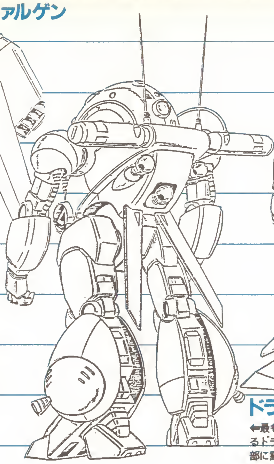
リフター3は最も軽量化が図られたユニットであり、偵察を主任務とするD-3に合わせて高速性を増している。ウイングの下部に2基のデュアルミサイルポッド、または対レーダーミサイルを搭載可能。格納時にはウイングを折りたたむ

REAR VIEW



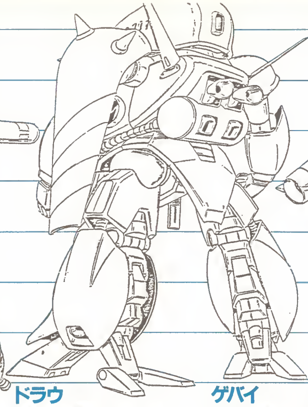
ファルゲン

⬆D兵器への前段階にある高性能MA。大型化されたスタビライザー、強力なミサイルポッド、そして耳の後ろにある後方用センサーなど、充実した機能を有する



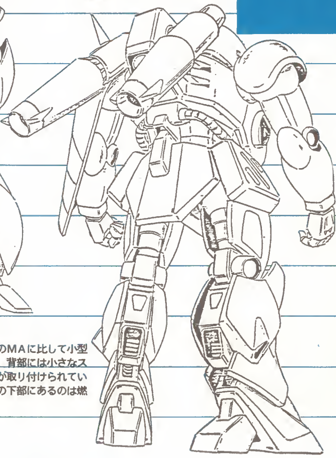
ドラウ

⬅最も初期に開発されたMAであるドラウは、まだ燃料タンクが外部に露出する形で取り付けられていた。腰から伸びる2枚の羽根のようなものはスタビライザー



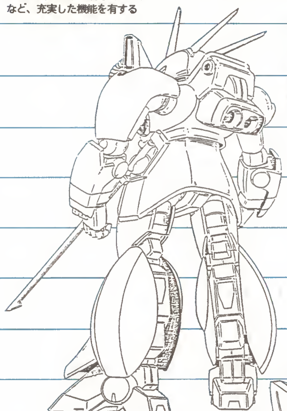
ゲバイ

⬆ゲバイは他のMAに比して小型化されており、背部には小さなスタビライザーが取り付けられている。バーニアの下部にあるのは燃料タンク



ダイン

⬇D兵器登場前のギガノス軍量産MAであるダインは、背部にオプションのミサイルポッドを取り付け可能。シールドはセンサー付き

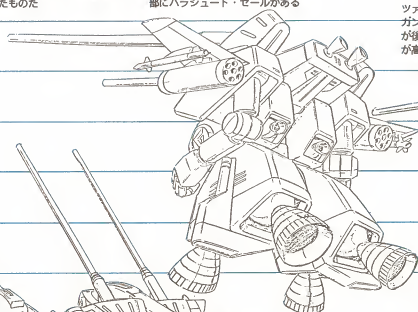


ゲルフ

⬅プラクティーズ専用MAのゲルフは、ファルゲンで成功した後方用センサーやエンジンなどの利点を、小型・軽量化された機体に応用したものだ

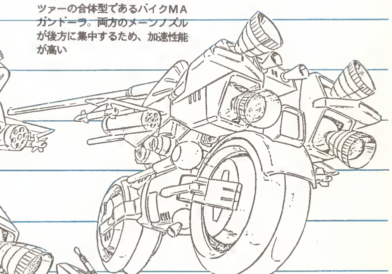
ドーラ

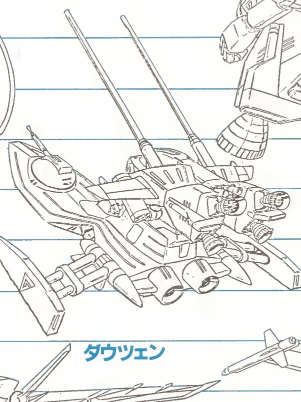
⬇腰の部分にエンジンとノズルを備えた、上半身のみのMA。したがって下半身(脚)であるガンツァーを失うと機動力は半減する。背部にパラシュート・セールがある



ガンドーラ

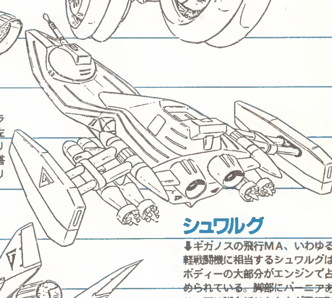
⬇MAドーラと戦闘バイク、ガンツァーの合体型であるバイクMAガンドーラ。両方のメーンノズルが後方に集中するため、加速性能が高い





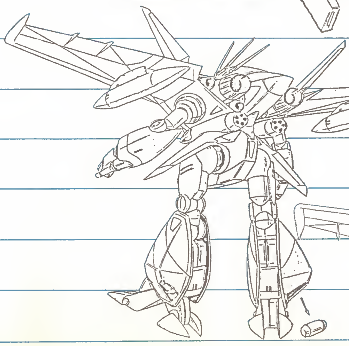
ゲルドーラ

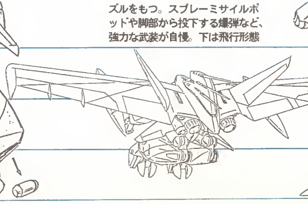
➡MAドーラと高速戦闘ボート、ゲルファーの合体型。水上での戦闘時には、上部は強力なトーチカとなり、下部は安定した走行性を発揮する。高速時にはやや浮上して走る



ゲルファー

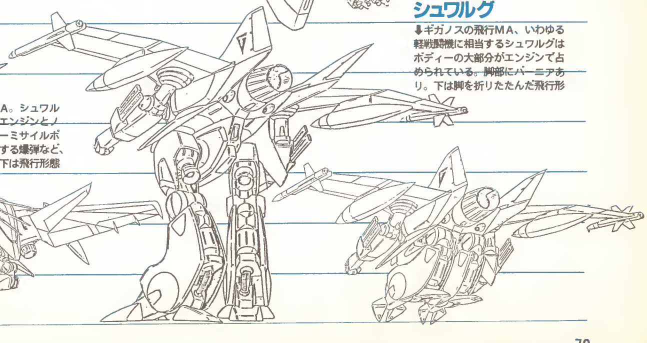
➡水上戦闘用MAゲルドーラの下部になる戦闘ボート。左右に波切り用のボードを張り出し、翼の下に魚雷などを搭載できる。それ自体、かなりの高速で走行する





ダウツェン

⬅重攻撃型の飛行MA。シュワルグと同じく、大型のエンジンとノズルをもつ。スプレーミサイルポッドや脚部から投下する爆弾など、強力な武装が自慢。下は飛行形態



シュワルグ

⬇ギガノスの飛行MA、いわゆる軽戦闘機に相当するシュワルグはボディーの大部分がエンジンで占められている。脚部にバーニアあり。下は脚を折りたたんだ飛行形

機甲戦記ドラグナー制作関係者

言いたい放題

●**吉井孝幸**（プロデューサー）

かつての「ガンダム」のような作品を、というのが企画の発端ですね。あの作品がもっていた娯楽性と、サンライズの伝統のリアルロボット路線とを組み合わせたような作品にしたいと思っていたんです。ただ、今のところまだ硬さが取れていない部分があるので、これからはロボットアクションという要素をもっと前面に押し出していこうと思ってます。

●**遠藤裕一**（作画監督）

初めてのロボットものでとまどってますが、自分流にやるしかないと思ってます。作画のうえで監督から注意されている点は、キャラをはずませてくれということですね。斜に構えたような芝居をさせないで、明るく元気に、と。

●**服部憲知**（作画監督）

いちばん好きなキャラはケーンです。明るくて素直で表情も豊かでしょ。声優さんも合っていると思いますし。作画上で苦労するのは、やはりキャラの表情や芝居ですね。特に若いキャラのストレートな面と抑えている面とを描き分けられたらいいなと思います。

●**篠幸裕**（演出）

僕自身「ガンダム」にはそれほど縁がなかったので、この作品をやるうえでしばられるということは特にないですね 今はもう、「スゴい」と思わせる作品をつくりたいというだけです。新しい感覚で、とか背のびせずに、自分のもっている力でできる範囲をしっかりやっていきたいと思います。

●**福田満夫**（演出）

こういうメカもので苦労するのは、主人公を通して何を言いたいのかという点なんですが、今のところもうひとつはっきりとつかめてないんです自分なりの「ドラグナー」をもってないと演出ってできませんからね。今までで気に入っているのは、17話でリンダがケーンにすがって泣くシーンです。感情を爆発させたことがなかったでしょ。

●**日高政光**（演出）

初めての演出作品なので、試行錯誤の連続です。1本につき1回は新しい試みをやってみようというのが今の目標ですね。いろいろと失敗もつきませんが、ダビング後のラッシュを道に落っことしてなくしかけたときは、血の気が引きました。

●**富田民幸**（制作デスク）

制作スケジュール全体の管理が僕の仕事です。進行が処理しきれないようなトラブルが起きたときが僕の出番なんですが、今のところないですね。多少、波乱がないと盛り上がらない仕事です。

●**河本昇悟**（制作進行）

テレビシリーズの進行は初めてなので、ちょっとキツいですね。でも、自分の名前がテレビに流れるのはやはり感激でした。

●**前とも子**（色指定）

メカモノは初めてなので、実際に放映されたものに比べていろいろと反省させられますね。

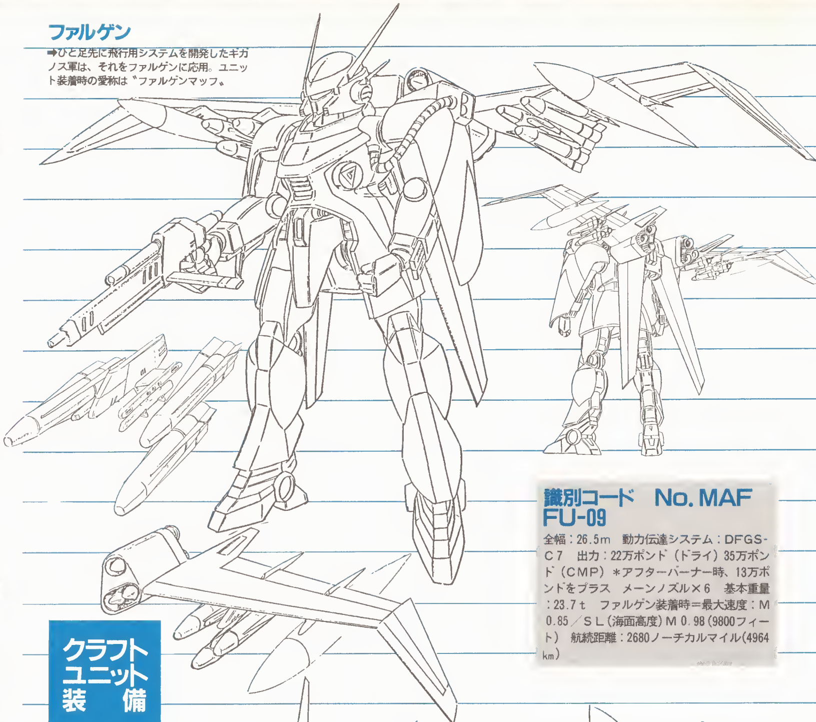


⬆アオリ顔のD兵器。D—3だけが何となくなさけなひ顔…

クラフトユニット装備

ファルゲン

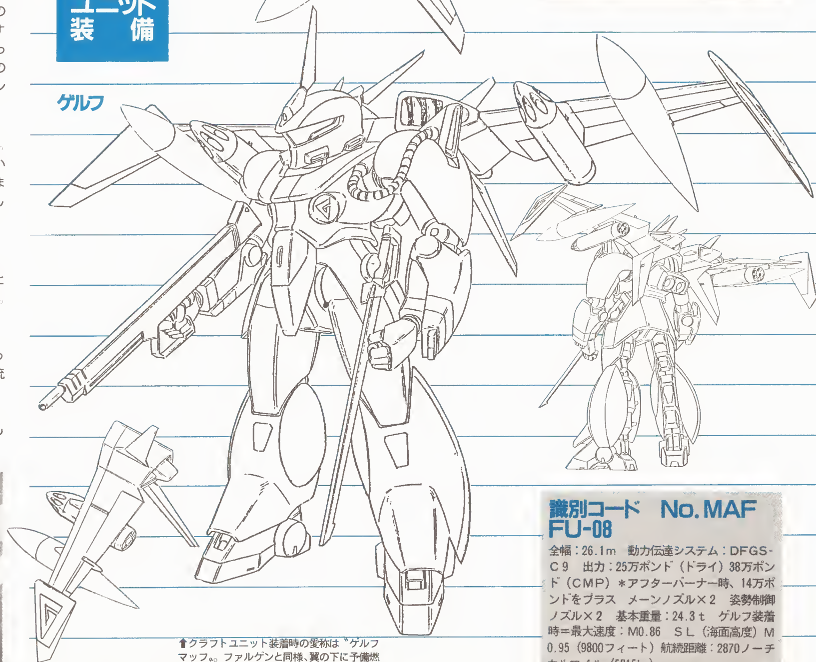
➡ひと足先に飛行用システムを開発したギガノス軍は、それをファルゲンに応用。ユニット装着時の愛称は〝ファルゲンマッフ〟



識別コード　No. MAF FU-09

全幅：26.5m　動力伝達システム：DFGS-C7　出力：22万ポンド（ドライ）35万ポンド（CMP）＊アフターバーナー時、13万ポンドをプラス　メーンノズル×6　基本重量：23.7t　ファルゲン装着時＝最大速度：M0.85／SL（海面高度）M0.98（9800フィート）　航続距離：2680ノーチカルマイル（4964km）

ゲルフ



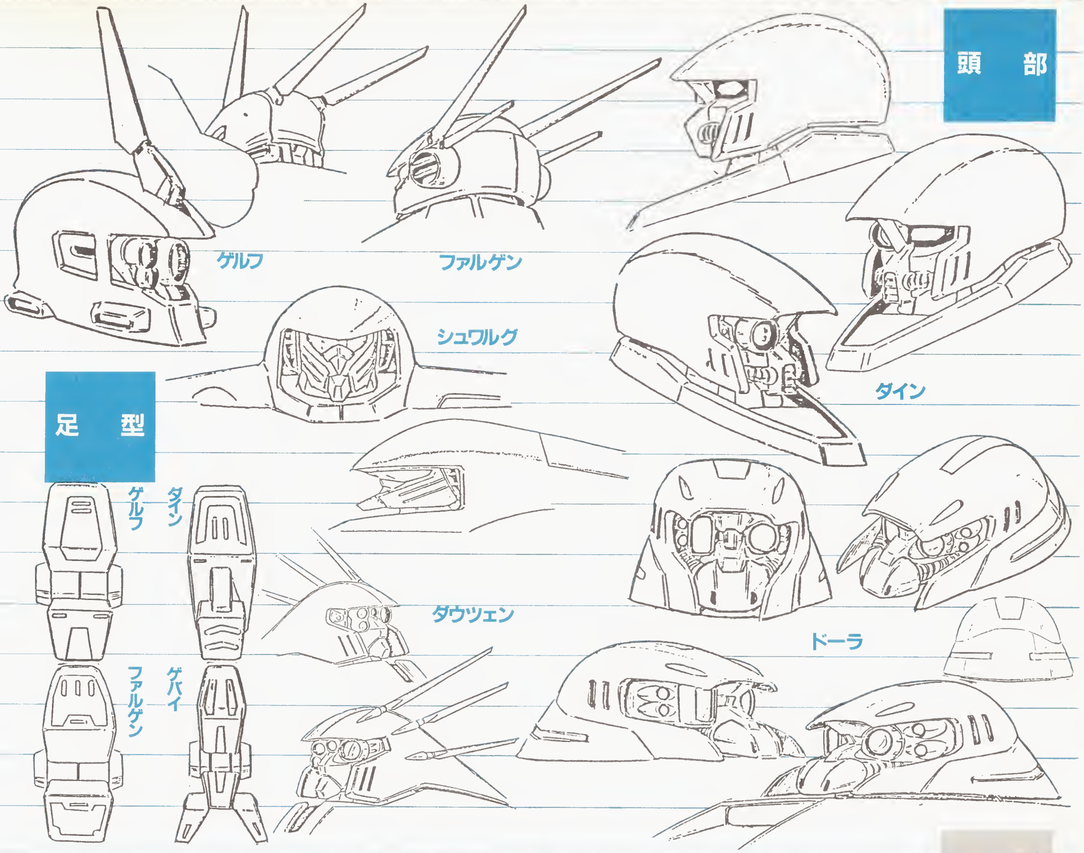
⬆クラフトユニット装着時の愛称は〝ゲルフマッフ〟。ファルゲンと同様、翼の下に予備燃料タンクやミサイル、ポッドなどを付ける

識別コード　No. MAF FU-08

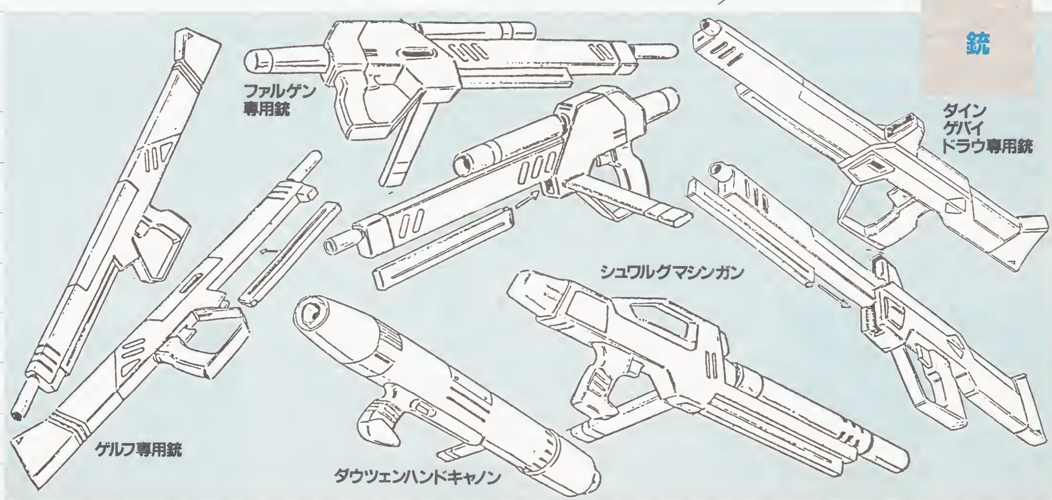
全幅：26.1m　動力伝達システム：DFGS-C9　出力：25万ポンド（ドライ）38万ポンド（CMP）＊アフターバーナー時、14万ポンドをプラス　メーンノズル×2　姿勢制御ノズル×2　基本重量：24.3t　ゲルフ装着時＝最大速度：M0.86　SL（海面高度）M0.95（9800フィート）航続距離：2870ノーチカルマイル（5315km）

頭部

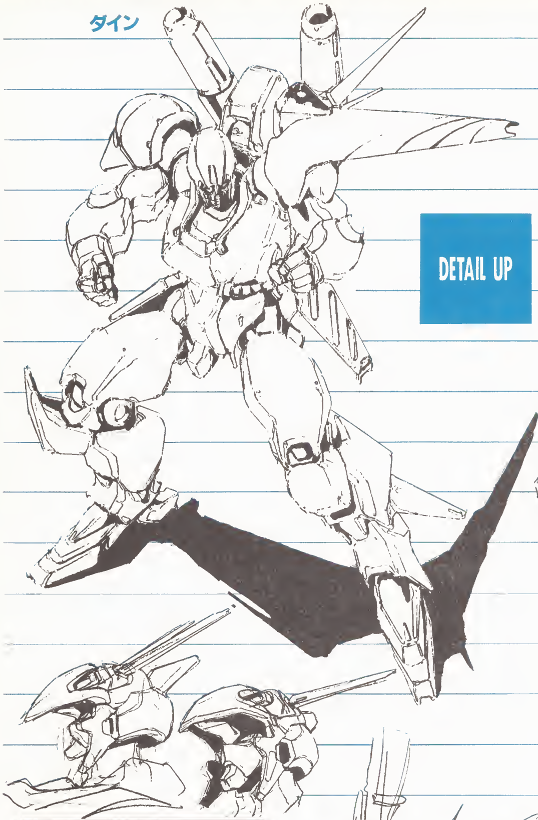
足型


頭部
ゲルフ
ファルゲン
シュワルグ
ダイン
ダウツェン
ドーラ
足型
ゲルフ
ダイン
ファルゲン
ゲバイ

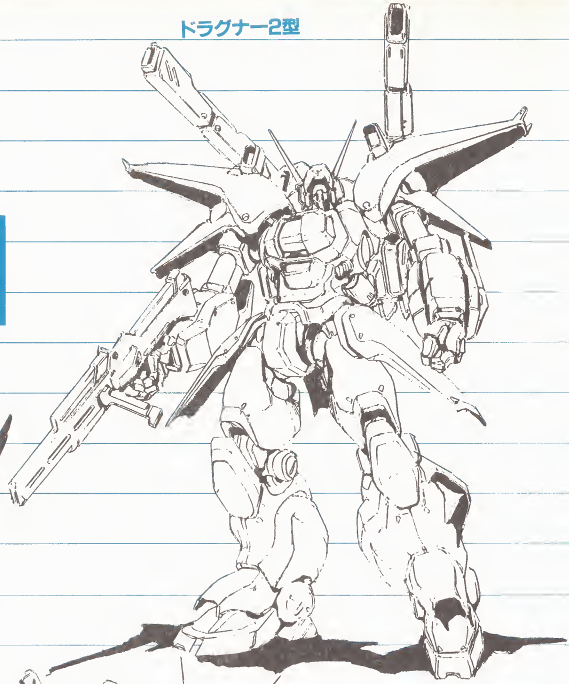
銃


銃
ファルゲン専用銃
ダイン
ゲバイ
ドラウ専用銃
シュワルグマシンガン
ゲルフ専用銃
ダウツェンハンドキャノン

ダイン

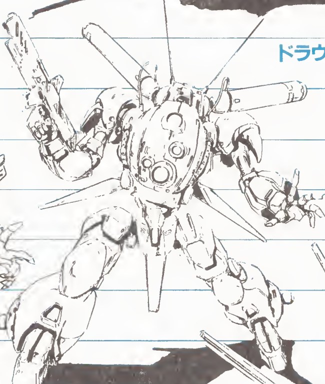


ドラグナー2型



DETAIL UP

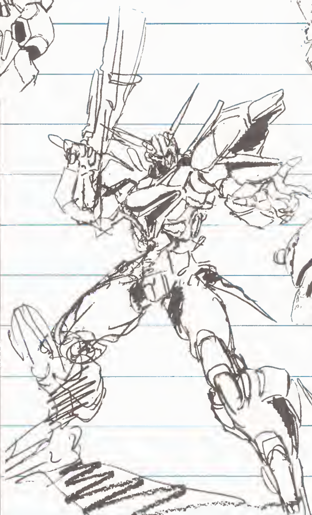
ドラウ



ドーラ





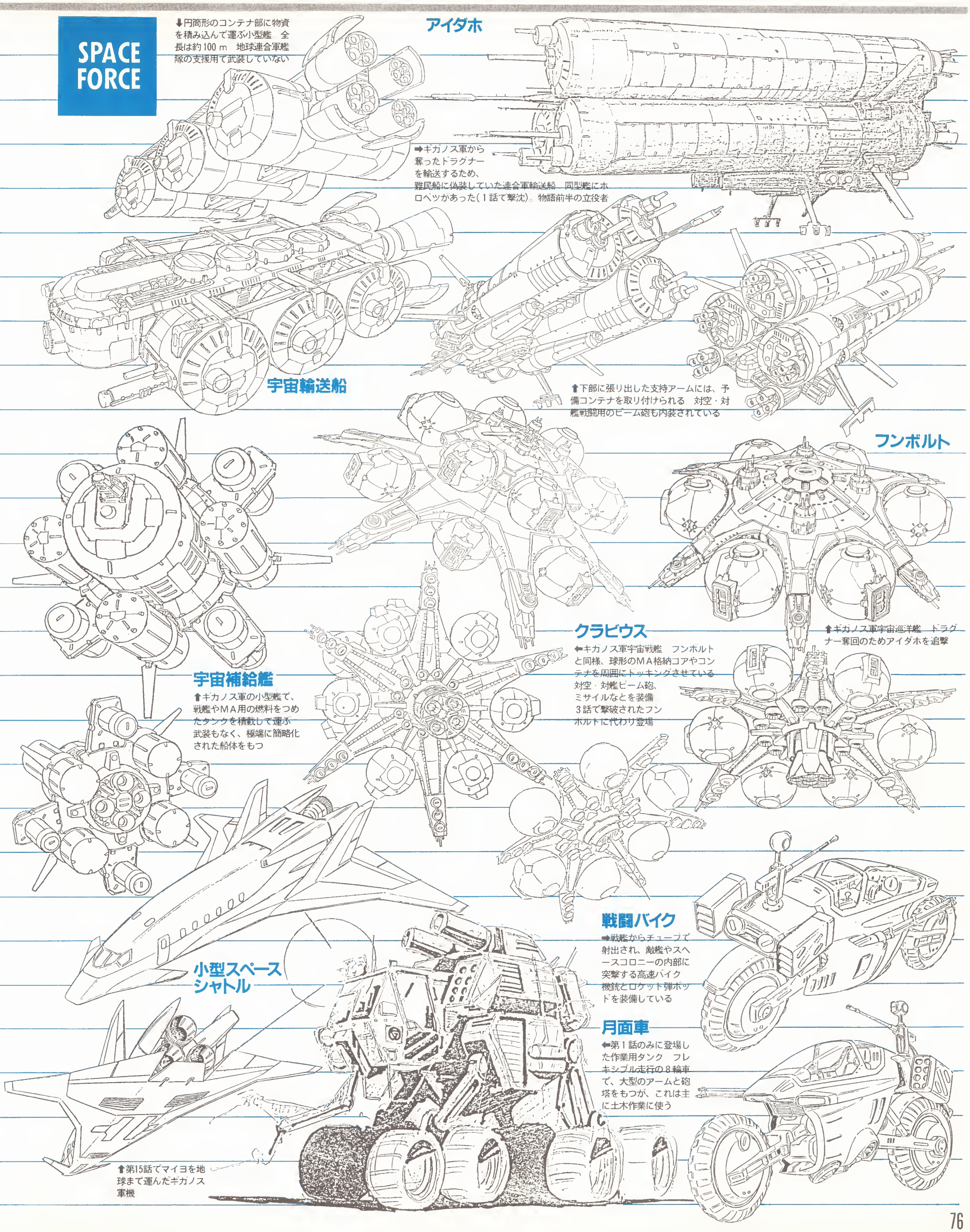


ドラグナー1型(ラフ)

ドラグナーOPバージョン

「ドラグナー」の1話〜26話までのオープニングは、アニメーター大張正己によるメカのディテールアップと画面のレイアウト、スピード感などが話題になり、ファンをとらえた。プラモデルを発売しているバンダイからは「D-1 OPバージョン」の頭部・肩部がキットとして発売され、1/72モデルもガレージキットとして夏以降発売が予定されているという（上図D-1の設定はキット製作用に描き下ろされ、バンダイ発行「B—クラブ」誌上にて発表されたもの)。このページの設定はすべて、OPバージョンとして大張正己の手によって描き下ろされたもので、画面をひきたてるうえでディテールアップするという、ひとつのアニメーション作画上の技法として見ていただきたい。しかしOPに登場したドラグナー1は〝あまりに大河原氏の設定と違う〟という理由から第14話以降、2カットのみD-1の頭部だけが描き変えられている。このように大張正己のディテールアップは、主に頭部、肩部、腰部に集中して行なわれている。これは実際にアニメーションを作画するうえで〝どう動かすべきか〟と〝どう見せるべきか〟を考えた大張正己の個性なのだ

SPACE FORCE



アイダホ

⬇円筒形のコンテナ部に物資を積み込んで運ぶ小型艦　全長は約100ｍ　地球連合軍艦隊の支援用で武装していない

➡ギガノス軍から奪ったドラグナーを輸送するため、難民船に偽装していた連合軍輸送船　同型艦にホロベッがあった(１話で撃沈)。物語前半の立役者

宇宙輸送船

⬆下部に張り出した支持アームには、予備コンテナを取り付けられる　対空・対艦戦闘用のビーム砲も内装されている

フンボルト

⬆ギガノス軍宇宙巡洋艦　ドラグナー奪回のためアイダホを追撃

クラビウス

⬅ギカノス軍宇宙戦艦　フンホルトと同様、球形のＭＡ格納コアやコンテナを周囲にドッキングさせている　対空・対艦ビーム砲、ミサイルなどを装備　３話で撃破されたフンホルトに代わり登場

宇宙補給艦

⬆ギカノス軍の小型艦で、戦艦やＭＡ用の燃料をつめたタンクを積載して運ぶ　武装もなく、極端に簡略化された船体をもつ

戦闘バイク

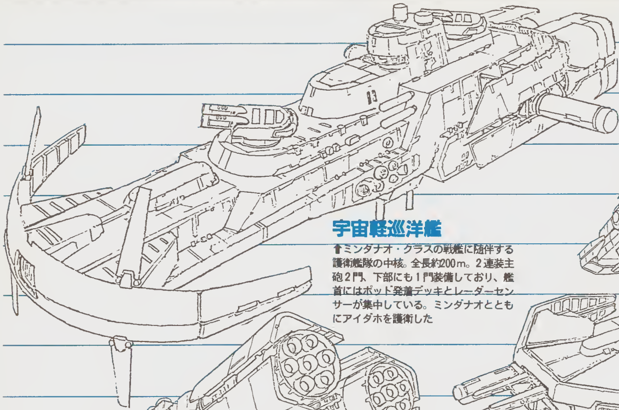
➡戦艦からチューブで射出され、敵艦やスペースコロニーの内部に突撃する高速バイク　機銃とロケット弾ポッドを装備している

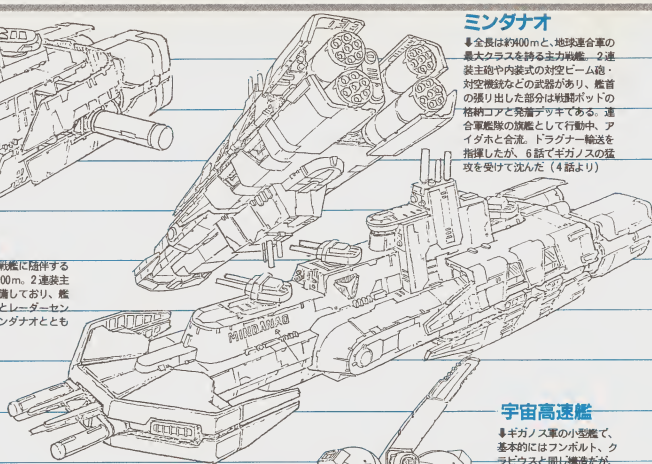
月面車

⬅第１話のみに登場した作業用タンク　フレキシブル走行の８輪車で、大型のアームと砲塔をもつが、これは主に土木作業に使う

小型スペースシャトル

⬆第15話でマイヨを地球まで運んだギガノス軍機



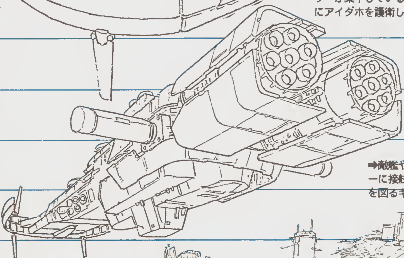


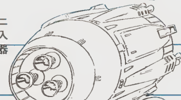
ミンダナオ

⬇全長は約400mと、地球連合軍の最大クラスを誇る主力戦艦。2連装主砲や内装式の対空ビーム砲・対空機銃などの武器があり、艦首の張り出した部分は戦闘ポッドの格納コアと発着デッキである。連合軍艦隊の旗艦として行動中、アイダホと合流。ドラグナー輸送を指揮したが、6話でギガノスの猛攻を受けて沈んだ（4話より）

宇宙軽巡洋艦

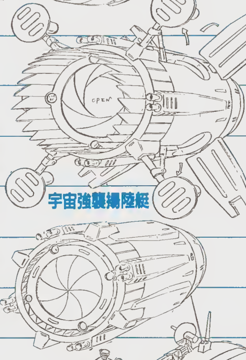
⬆ミンダナオ・クラスの戦艦に随伴する護衛艦隊の中核。全長約200m。2連装主砲2門、下部にも1門装備しており、艦首にはポッド発着デッキとレーダーセンサーが集中している。ミンダナオとともにアイダホを護衛した





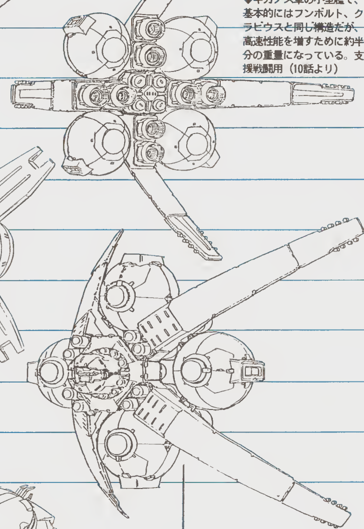
➡敵艦やスペースコロニーに接舷して内部に突入を図るギガノス軍の兵器

宇宙強襲揚陸艇



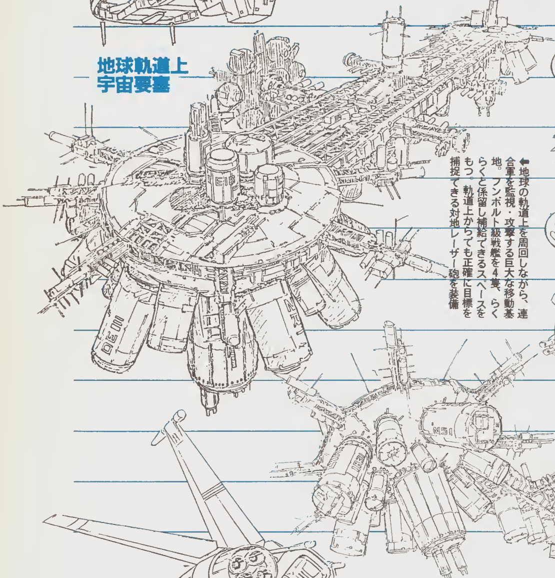
宇宙高速艦

⬇ギガノス軍の小型艦で、基本的にはフンボルト、クラビウスと同じ構造だが、高速性能を増すために約半分の重量になっている。支援戦闘用（10話より）

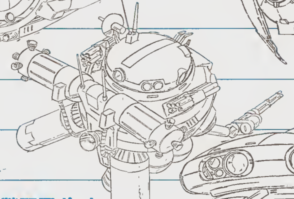


地球軌道上宇宙要塞

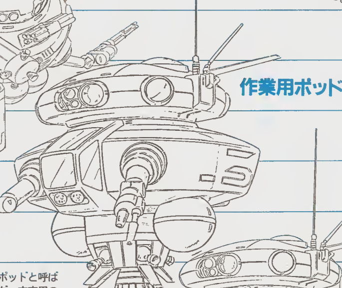
⬅地球の軌道上を周回しながら、連合軍を監視・攻撃する巨大な移動基地。フンボルト級戦艦を4隻、らくらくと係留し補給できるスペースをもつ。軌道上からでも正確に目標を捕捉できる対地レーザー砲を装備

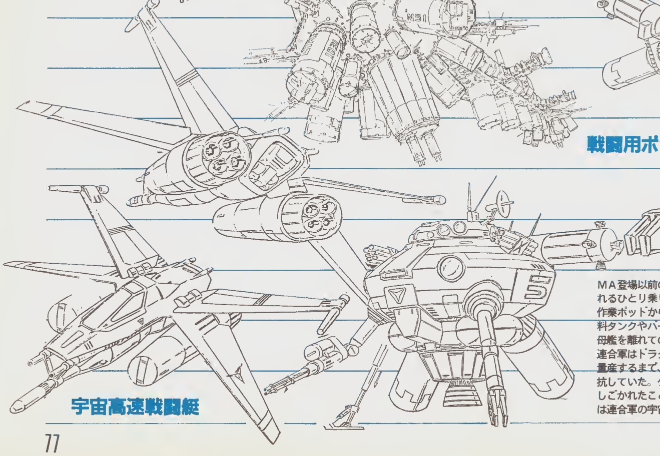


戦闘用ポッド

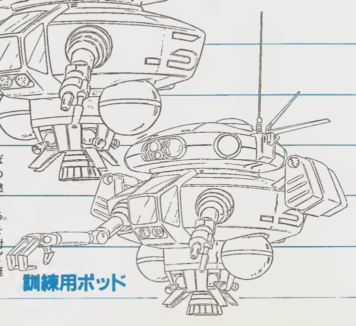


作業用ポッド





宇宙高速戦闘艇



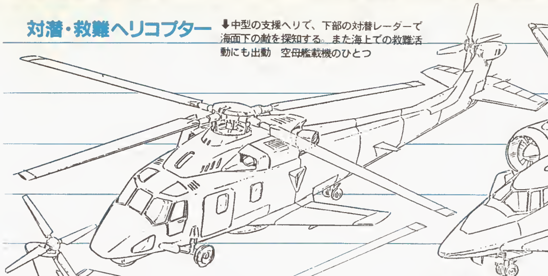
訓練用ポッド

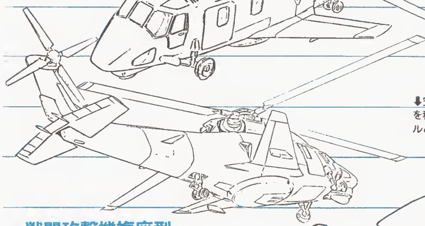
MA登場以前の宇宙兵器が、ポッドと呼ばれるひとり乗りの小型宇宙艇だ。宇宙用の作業ポッドから発展した戦闘ポッドは、燃料タンクやバーニア、機銃などを装備し、母艦を離れての長時間の活動が可能である。連合軍はドラグナーを基に、自軍でMAを量産するまで、これでギガノスのMAに対抗していた。ケーンたちも訓練用ポッドでしごかれたことがある。また、宇宙戦闘艇は連合軍の宇宙戦に活躍する高速メカ

地球連合軍 THE NAVY

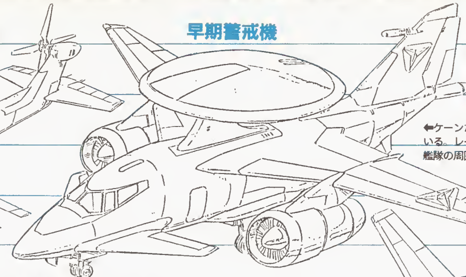
対潜・救難ヘリコプター

⬇中型の支援ヘリで、下部の対潜レーダーで海面下の敵を探知する。また海上での救難活動にも出動　空母艦載機のひとつ

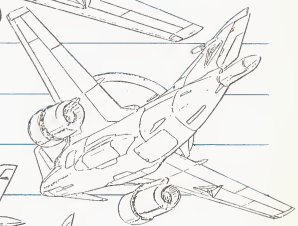




早期警戒機

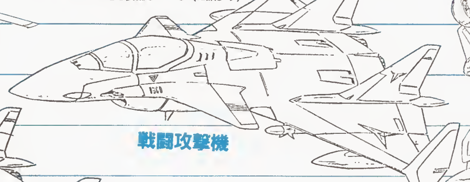


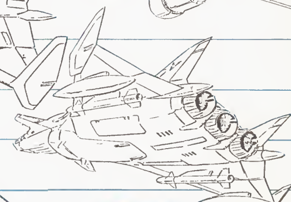
⬅ケーンたちが乗り込んだ空母に積載されている。レーダー・ドームと尾部のセンサーで艦隊の周囲を警戒するのが役目（12話）



戦闘攻撃機

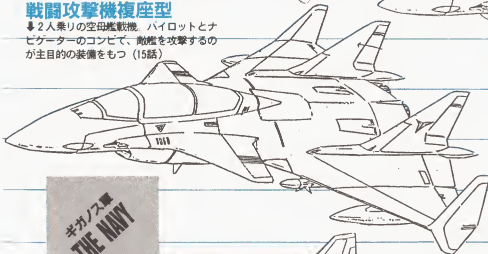
⬇空母艦載機で、３連ノズルの大型エンジンを積み、対空・対艦戦に威力を発揮。ミサイルとバルカン砲を装備している（12話より）





戦闘攻撃機複座型

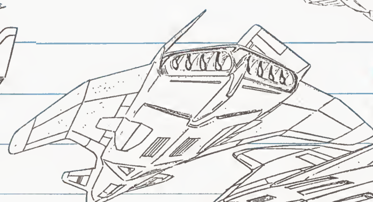
⬇２人乗りの空母艦載機。パイロットとナビゲーターのコンビで、敵艦を攻撃するのが主目的の装備をもつ（15話）

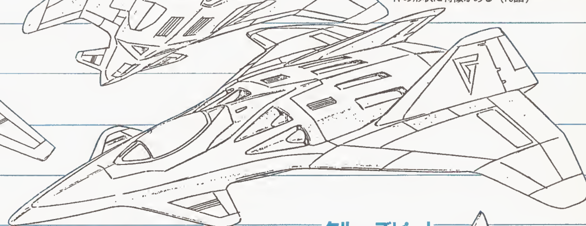


ギガノス軍 THE NAVY

高速偵察機

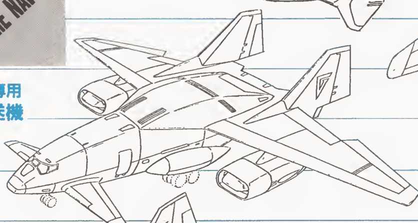
⬇地球におけるギガノス軍監視部隊の戦力。極端に省略された武装、空気抵抗を抑えた機体の形状に特徴がある（16話）

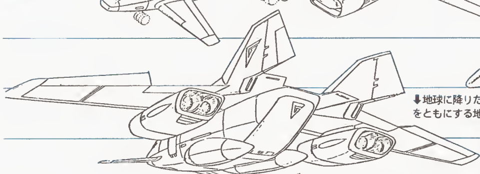




パウルス専用小型輸送機

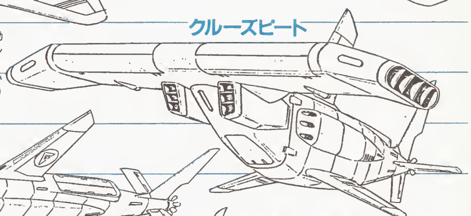
⬇地球に降りたマイヨ・プラートと行動をともにする地球部隊の指揮官、パウルスの移動に使われる。車イスでも支障のない昇降リフト付き(17話)

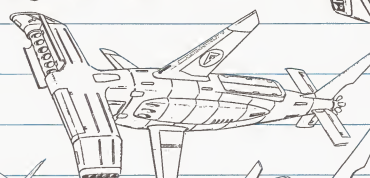




クルーズビート

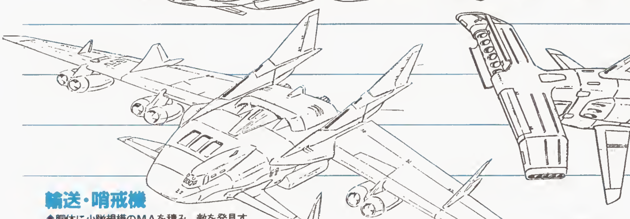
⬆潜水艦のように見えるが、大型の巡航魚雷。自動操縦で航行し、対空ミサイル、対艦ロケット弾などで敵を海中から攻撃する(15話)

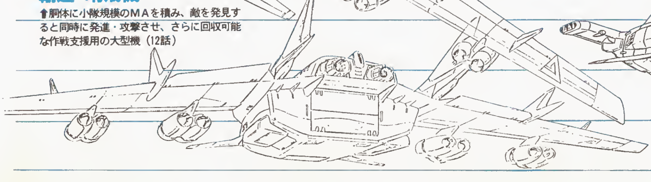




輸送・哨戒機

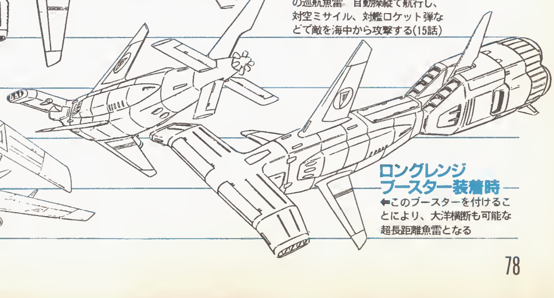
⬆胴体に小隊規模のＭＡを積み、敵を発見すると同時に発進・攻撃させ、さらに回収可能な作戦支援用の大型機（12話）





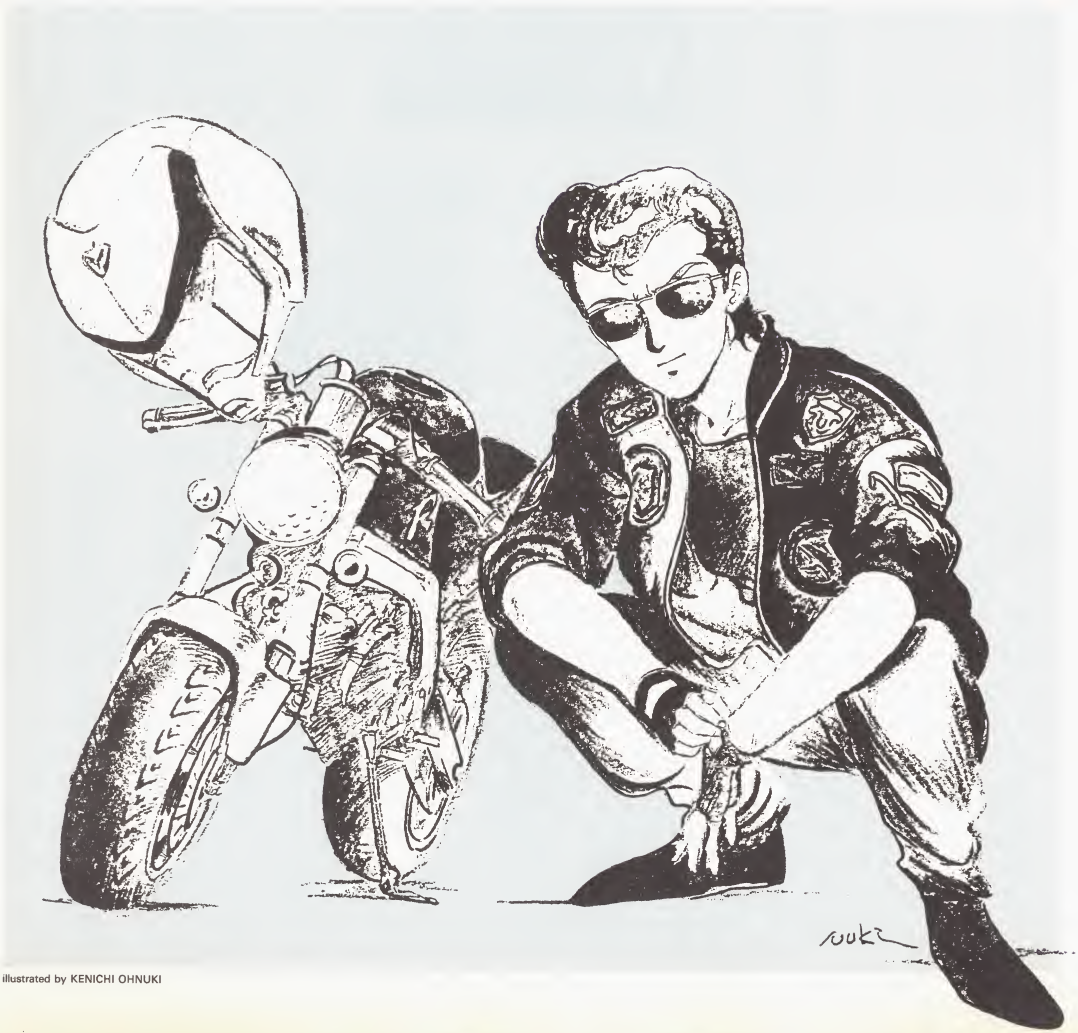
ロングレンジブースター装着時

⬅このブースターを付けることにより、大洋横断も可能な超長距離魚雷となる



ENCYCLOPEDIA of Dragonars World

FIRST EDITION



illustrated by KENICHI OHNUKI

【正しいドラグナー百科事典の読み方】 昭和62年3月7日から放映されたTVアニメーション「機甲戦記ドラグナー」という作品に関係する人物や事柄を、多方面にわたり分析、解説するためにこの事典はつくられました。この事典によって「ドラグナー」を一から勉強するという人は、きっと役立つことでしょう。もちろんこの事典は、「ドラグナー」の世界を中心に構成されているわけですが、内容や表現についてはむしろひとつの読み物として楽しんでいただけるように配慮しました。まだ「ドラグナー」を知らない人にでも、やさしく楽しく読んでいただけると思います。また、ファンのみなさんには、「ドラグナー」に関するひとつひとつの思い出をていねいに掘りおこすお手伝いをしてくれるものになるのが、この百科事典です。さらに、内容の充実をはかるため著述は各方面の「ドラグナー」記者数名の協力と、サンライズ企画室・井上幸一氏の惜しみない助力を得ました。この場をかり厚く御礼申し上げます。また、この事典を作成するにあたり、各界のさまざまな方々に放映された作品に関するご意見をうかがわさせていただきました。多謝！

この事典によって、あなたのなかのドラグナー世界が広がりをみせてくれることを祈ります。

あア

「あ」は「安」の草体
「ア」は「阿」の偏

アイダホ【IDAHO】「ドラグナー」の1クール、すなわち宇宙編における主要な移動機関。難民船に擬装されていたが、実は地球連合軍の輸送船で、連合軍が入手した、統一帝国ギガノス開発の秘密兵器ドラグナーをひそかに輸送することを目的としている。中立エリア、スペースコロニー・アルカードに寄港するが、秘密物資の輸送に気づいたギガノスは巡洋艦フンボルトをもってこれを追撃し、アルカードに対して武力を行使した。まったく、何の関係もないアルカードの住民こそいい迷惑であった。その後、ケーンたちを乗せ、ギガノス軍に執拗に追われつつもなんとか無事に地球にたどり着き、その使命を終えた。今は北欧の海底に眠っている。

アイドリング・パワー【IDRING P-OWER】 メタル・アーマーにおいては、即、戦闘に突入できる臨界状態を指す。(19話)

アイランド【ISLAND】 戦闘艦における艦橋の俗称。(13話〜)

アオイ・ワカバ【AOI WAKABA】 ケーンの母親。連合軍軍人だった夫ジム・オースチンと離婚後、女手ひとつで彼を育てていた。コロニー〝アルカード〟の入国管理官を務めていたが、ギガノスの突如の攻撃によって行方不明になってしまう。別にキャリアウーマンといった風体はなく、淡々と自分がやるべきことをやっているタイプの女性であった。こういう働く女性こそ美しいというに足る存在なのである。



あおもりけんろうじんだん【青森県老人団】 若葉ミツのいた青森県の人々。(22話)

あかいカケス【赤いカケス】 ケーンたちの親友だったビルの乗っていたギガノスの高高度高速偵察機の暗号名。(16話)

アクアポリス【AQUAPOLIS】 ノルウェー沖に沈んだアイダホの跡を継いで、ドラグナー輸送の任についた連合軍の戦闘空母。アイダホ着水地点から連合軍北欧司令部、さらにカナダのハドソン湾へと続く長旅の間、ギガノス軍の手からドラグナーを死守した。全長383メートル。現行の空母と比べて約1・5倍の兵力を搭載している。ギガノス勢力下の大西洋を横断するときには、クラウドタイプのフリゲート艦2隻、マードックタイプのエイジス艦2隻、さらにブルチェク、シェフィールド両艦が護衛についた。艦長はゲドマン少将。この作品が「トップガン」的なかっこよさをもち得たのは、この艦の存在があったことも大きな要因となっている。



アクアポリスりくせんたい【アクアポリス陸戦隊】 航空・海洋戦力が主である第5海洋戦域軍の、上陸および対陸戦用の部隊。カムチャッカ半島沖にあるギガノス軍補給基地を砕く際に登場した。(21話)

アザルトナイフ【ASSAULT KNIF-E】 レーザーソードのエネルギーが上がってしまったときなどに使用する白兵戦用の武器。ドラグナー1の場合、両脚のふくらはぎの後ろ側に装着されている。特殊鋼の刃によって、メタル・アーマーの装甲さえ切り裂くことが可能である。原始的ではあるが、効果的な装備だ。ただし、当然のことながらレーザーソードを受け止めるような器用な真似はできないので念のため。作業などにも使用できるようになっている。ただし、今のところほとんど使われている形跡はない。手榴弾の存在すら知らなかったケーンのことだから、ひょっとするとまだこんな装備があることすら気がついていない可能性もないではない。

アステロイドブレッド【ASTEROID BLEAD】 マスドライバーによって射出された岩石弾のこと。(1話)

アストロノーツ【ASTRONAUT】 直接的には宇宙飛行士などの意だが、「ドラグナー」では宇宙時代における、実際に宇宙的な理念をもった宇宙飛行士や各種技術者などを含めた宇宙で生活する人々を指しているらしい(!?)。

アストロノーツ養成学校【ASTRON-AUT ACADEMY】 あすの宇宙時代を担うための人材を養成すべく各コロニーごとに設立されている。入校するためにはまず身体検査も含めた試験にパスすることが必要である。もっとも、それほどその査定自体は厳しいものではない(ケーンたちが在籍していたのもうなずける)。むしろ、入学後の進級および卒業のほうが難しく、進級できるものは4割、卒業できるものとなると2割5分ほどである。やはり宇宙時代っつうくらいだから、日本の大学のように、入ったら後は遊んでいてもどんなアホでも卒業できるというわけにはいかないのだろう。宇宙の過酷な環境においては、学歴や肩書きは何の意味もなさない。実力や資質のないものへの仕打ちは、取り返しのつかない事故、そして死、なのだ。

アマゾンがたせんとうぼかん【アマゾン型戦闘母艦】 戦闘用ポッドを多数搭載している宇宙重巡洋艦。ドナウ型支援母艦よりも大型である。地球をめざすアイダホの護衛に2隻が登場。1隻は連合軍第3宇宙艦隊の旗艦で名称はバージニア。(3話〜)

アルカード【ARCARD】 旧国連によって2070年に建設されたスペースコロニーで、約5万の人々が住んでいた。全長2万3120メートル。内部の交通機関は主に車が使用されている。とはいっても、もちろん現在のようなガソリンエンジンを積んだものではない。いわゆる電気自動車が普及しており、これは出力、スピードともにガソリン車よりも劣るのだが、たかだか数十キロの全長しかないコロニー内ではそれでも十分に用を成すのである。地球連合とギガノスとの争いには政治的中立の立場を取っていたが、アイダホが立ち寄ったことからマスドライバーによって破壊される。ケーンたちが住んでいたのがここである。

アルカードうちゅうこうだいさんゲート【アルカード宇宙港第3ゲート】 アイダホが係留されていたところ。(1話)

イーグルしょうたい【イーグル小隊】 アイダホの随行艦、重巡洋艦アマゾンに所属する、キラウェアを中心とした戦闘機部隊。ノーバン少佐が率いる。

ECじっけんステーション【EC実験ステーション】 かつてのEC(ヨーロッパ共同体)によって設けられた研究・実験用宇宙ステーションである。この時代、すでに廃棄されていたが、クラビウスの爆発に巻き込まれて気を失ったケーンたちがたどりついた。彼らはそこで不当な責任を取らされてとばされていたギガノス軍人、チェホフと出会い、戦うが、しだいに打ち解けて戦いの心得をたたき込まれることになる。ケーンたちはこのステーションを、チェホフがプラクティーズによって射殺されてしまった後、彼の亡骸とともに宇宙に葬った。

イースヨー【YASYOR】 D兵器を中国の重慶まで運搬するために、アクアポリスに代わって登場した、連合軍第7海洋戦域軍の司令空母。最新型のため、アクアポリスよりも装備、設備とも充実しており、艦体も若干大きい。そのため、搭載している戦闘機の数も増え、戦力的にはかなり向上した。艦内にはプールがあり、(アクアポリスにあったかは不明)、ヒマを持て余していたリンダたちがよく水着スタイルを披露して、男どもの目を楽しませていた。なお、随伴艦はフリゲート艦3隻であった。(19話〜)

いちげきひっさつ【一撃必殺】 ケーンたちとマイヨが時を同じくして考えだした戦法。マイヨが考案したのは、密集隊形を取ってケーンたちを誘い、ぎりぎりまで引き付けてから一気に四方に散り、逆に敵を包囲して撃破するというもの。彼はこの戦法にアクティブ・パック・フロントというご立派な名前をつけた。一方ケーンたちの取った戦法は、マイヨ機のみを集中的に攻撃するというもの。囮としてキャバリアーを射出して敵にぶつけ、その隙に敵に攻撃を加えようとしたが、思わぬ反撃を食らったため、キャバリアーを撃って爆発さ

せ、敵がひるんだ隙をついて難を逃れた。

いちげきりだつのとっかんこうげき【一撃離脱の突貫攻撃】アイダホを大気圏直前で攻撃したギガノスの衛星軌道軍633部隊が使用した戦法。(11話)

イメージセンサー【IMAGE SENSOR】メタル・アーマーに搭載されている宇宙船用の3次元レーダー。肉眼では捕らえることのできない遠距離の敵をキャッチし、コンピュータが敵の外形を線画でモニターにトレースする。パイロットはそうして遠距離の敵機に対処することができる。敵に対する情報がある程度あれば、敵をコンピュータがイメージして対処、あるいはパイロットに情報を伝えてくれるシステムなのだ。

ウエストポーチ【WAIST PORCH】タップが腰につけていたものだが、ほとんど異次元ポケットと化している。入っていたものはチューインガム、栓抜き、マーカー、パチンコ、カセットテープその他たくさんであった。ちなみにこの中の安全ピンでケーンたちは拘禁室の扉を開けようとした。(2話)

ウェルナー・フリッツ【WELNAR FRITZ】マイヨ配下のプラクティーズ隊のひとり。階級は准尉。3人のなかでもとりわけ目つきが悪い、と設定書には書いてあるが、あの3人の目つき、顔つきを見ればそんなことは言わずとも明らかである。(CV=竹村拓)

うちゅうそうようカプセル【宇宙葬用カプセル】敵ながら、どこか気が合い、いろいろなことを教えてくれながらも、彼にとっては味方であるはずのプラクティーズ隊によって殺されてしまったチェホフを宇宙葬にふした際に使用していた、2メートル程度の小型カプセルのこと。(7話)

うちゅうちゅうけいきち【宇宙中継基地】月と地球との間を結ぶ地点でのギガノスの拠点。全長3万5766メートルという大きさを誇る。5つの宇宙艦隊を統合するラグランジュ軍の本部である。マイヨとリンダはここで再会をした。ただし、兄と妹としてではなく、敵と味方として。ドラグナーと別れ別れになったアイダホは、ここに拿捕されていたが、それを知ったケーンたちは、ギガノス軍を装って基地に侵入、みごとアイダホの乗員の救出に成功した。多数の浮遊砲台など、外からの攻撃に対しては完璧なまでの防御施設が整えられているが、それに対してケーンたちは、ドラグナー3によるコンピュータ攪乱と、内部からの爆破攻撃を加えたのである。たいそうな構えをしているわりには情けないという感は否めない。それにしても、確かにレーダーには膨大な数の敵艦隊が映ってはいたが、それが事実かどうかを疑おうとも、ましてや確認しようともしない基地、そして軍人とは一体なんなのであろうか(この基地にはモニターカメラや窓のひとつもないのだろうか……)。ちなみに、ドラグナー3によって取り出したこの基地のデータは、駐留人数(常駐職員987名　欠員32名)、戦力(大型巡洋艦4　巡洋艦18　駆逐艦18　中小艦艇32　その他艦艇32)、アイダホが拿捕されている位置、捕虜収容所の位置、基地内のパトロールのスケジュールなどである。

うちゅうひょうじゅんじ【宇宙標準時】昼夜の差がない宇宙空間や、コロニーや月などで統一した時間を設定したもの。たぶん、グリニッジ標準時あたりを使用していると思われる。(3話〜)

SS2のBきゅうしかく【SS2のB級資格】大気圏突入を目前に控えたアイダホは、船体とタンク(ドラグナーを運搬するためのペイロードユニット)の分離作業を行なう必要に迫られた。そのため、アイダホに乗り込んでいた民間人のなかから、技術者を募る。そのときに名乗り出た男のひとりが口にしたのがこの資格である。具体的にどのような資格なのか詳細は不明。

Aタイプひょうじゅんそうび【Aタイプ標準装備】ドラグナーの出撃時における、いちばん使用されている装備のこと。D-2、D-3はあまり多様なオプション兵器はもっていないが、D-1は白兵戦タイプのため、さまざまな標準装備がある。ちなみにこのAタイプとはハンドレールガン×1、レーザーソード×2、ショルダーボム×2、ハンドレールガン用予備マガジン×4、シールド×1などといったものであった。(4話〜)

えんまく【煙幕】ごく単純な目くらまし。チャフやフレアー弾と並用することが望ましい。

おおがたゆそうき【大型輸送機】ギガノス軍がメタル・アーマーや兵員を大気圏内で輸送するために使用している。後部に大型のハッチをもち、ここから局地戦用のガンドーラやゲルドーラをパラシュートで直接戦場へ降下させることもある。まれに哨戒任務に使用されることもある。(14話〜)

おおがわらくにお【大河原邦男】この人の名前を知らない者は、アニメ界には誰ひとりとしていないだろう。メカニカルデザイナーとして、イラストレーターとして大きな功績を生みつづけている。

おおぬきけんいち【大貫健一】言うに及ばぬ「ドラグナー」のキャラクターデザイナー。現在26歳独身、作画スタジオ南町奉行所の所属アニメーター。TVシリーズ「ダーティペア」の各話作監、OVA「戦国奇譚妖刀伝」のキャラデザ&作監、OVA「破邪大星ダンガイオー」のキャラ作監など多くの仕事をしている。

おおばりまさみ【大張正己】センセーショナルな作画でファンの多いアニメーター大張正己。特に今回の「ドラグナー」オープニングフィルムはベストオープニングとして日本のTVアニメ史に残るものである。本人いわく「自分では五分の出来、ほんとうは新OPでちゃんとしたものをやりたかったのですが、サンライズさんからお声がかからなかったのが残念です」。バンダイ発行のプラモデル誌「Bクラブ」をはじめ各プラモ誌、アニメ誌でも〝大張ブランド〟の作画が注目を集めている。



オートセンサー【AUTO SENSOR】量産型ドラグナーに装備されている、自動照準コントロールシステムのこと。連合軍には練度の低いパイロットしかいないため、少しでもその差を埋めるために装備された。しかし、しょせんはコンピュータまかせということであり、パターンを読まれてしまえば子供だましのものであった。ほとんどテレビゲーム感覚のものといえよう(26話〜)

おとめのはだよりえいびんなセンサー【乙女の肌より鋭敏なセンサー】ケーンたちに、メタル・アーマーのカメラに消火器の泡をつけられてしまったプラクティーズが、センサーのみで戦おうとしたときに叫んだことば。こーゆー大変すんばらしいセンサーがゲルフにはついているそうである。やっぱりそんなに感覚が鋭いと、感じ過ぎてしまって困ることもあるに違いない。しかし、今のところ戦闘中にゲルフが悶えだすというようなことは起こっていない。

おとりゆそうぶたい【囮輸送部隊】内陸にあるノーラッドから新空母イースヨーの待つ太平洋岸まで、ドラグナーを無事に輸送するために編成された2つの部隊。故意にギガノスの監視衛星に発見されるように大がかりな部隊を組んだが、あまりのワザとらしさと、ドラグナーの張りボテから熱反応がないことから、あっという間にマイヨによって看破されて、逆に利用されてしまった。(18話)

オペラグラス【OPERAGLASS】アイダホの食糧保存倉庫に忍びこむ際、キーナンバーを盗み見るためにタップがウエストポーチより取り出したもの。確か2話の時点では、こんな物は入っていなかったような気がするんだけれどなあ…。さすが異次元ポケット並み。(5話)

おまつり【お祭り】ギガノス軍宇宙中継基地で行なわれたモーデルの演説をケーンがこう呼んだ。ケーンたちには人がたくさん集まっていると、すべてお祭りに見えるらしい。彼らの物事に対する認識のあり方を知るうえで、非常に興味深いひと言であった。

おれというものがありながら【俺というものがありながら】マイヨのことを守ろうとしつづけるリンダを見て、マイヨが彼女の恋人に違いないと思い込んでしまったケーンのセリフ。早トチリというべきか、男の身勝手というべきか……若いってイイナァ。(17話)

オーレンスこう【オーレンス港】ドラグナー回収後、スカンジナビア半島の連合軍北欧司令部へ向かったアクアポリスが、途中で一刻も早く軍艦から降りたいと申し出ていた難民たちのために寄港したところ。さほど大きな港ではないが、一応空母クラスの艦船も停泊できる。(12話)

おわかれパーティー【お別れパーティー】連合軍北欧司令部にたどり着いたアイダホの乗組員が開いたパーティー。これは、リンダたち女性陣がケーンたちと別れることになったというのに、あまりにもあっけらかんとしていたために、今後の交際において危機感をもったライトが提案したものである。司令部の近くにあるバイキングの古城がその会場に選ばれ、軍人、民間人入り乱れてのパーティーは大いに盛り上がりを見せた。この古城は、ライトが子供のころに何回も来ていた場所である。惜別の情やアルコールの効果も手伝ってか、ここでベンやダイアンの思わぬ本音が聞けたりもした。だがその久々の開放感も、司令部を直撃したマスドライバーによって一気にかき消されてしまった。

か カ

「か」は「加」の草体
「カ」は「加」の偏

かいきゅう【階級】連合軍、ギガノス軍ともに階級は大将から三等兵まで17段階に分かれている(例外として元帥もある)。それを示す階級章であるが、連合軍のものは将官クラスが金地に2本線と星マークを0〜3個、佐官がただの2本線に星マーク1〜3個というようになっており、ギガノス軍のものは将官が鷹のマークに逆三角を0〜3個、佐官が縦線と逆三角1〜3個、尉官が月のマークと横線0〜3本などとなって示されている。しかしケーンたちにとっては何の意味もなさない。

かじかのやきもの【かじかの焼物】マイヨの呼び出しによって、京都へと出向いたケーンと、いっしょについていったリンダがみやげ屋で買ったもの。敵地に行ったというのに、ほとんど恋人気取りである。(23話)

かぞくのアルバム【家族のアルバム】タップがアルカードに置いてきてしまったもの。彼はこれを取りに行くんだ、と語って母の安否を確かめに行くケーンにつきあって、D-2でアイダホを飛び出していった。(2話)

ガナン【GANAN】グン・ジェムの率いる部隊で、ガンドーラを操っている男。大尉。4人の小隊長のうち、最初にドラグナー遊撃隊に攻撃を仕掛け、敗れて死んでいった哀れな男でもある。ヒョロリと背の高い男で、いつも口には釘をくわえていた。特徴としては、顔の真ん中に大きな横向きの切り傷の跡がある。(25話〜)



ガナンき【ガナン機】武装はガンドーラの出力をノーマルバージョンよりも20%ほどアップさせ、ハンドレールガンをライフルと呼んでも差しつかえないような長いものにもちかえさせたものである。比較的おとなしいチューンナップといえよう。(25話〜)

かりひこうようユニット【仮飛行用ユニット】次々と押し寄せるギガノスの飛行可能なメタル・アーマーに対し、とにもかくにもドラグナーを飛行させるために作製された外部装着型のユニット。D-1用のものしか存在しなかった。結局は応急品であり、10分程度の飛行能力しか有しておらず、また性能もギガノス軍が作製したクラフトユニットには遠く及ばないものであり、ゲルフのキック一発で翼を折られてしまった。(15話)

カール・ゲイナー【KARL GEINAR】プラクティーズ隊のひとり。19歳。チェホフに反逆罪を宣告して射殺した男。こいつも他の2人に負けず劣らず性格は悪そうである。

かんさいせんとうき【艦載戦闘機】アクアポリスに搭載されている連合軍制式艦載戦闘攻撃機。なぜか機種名がない。カワイソウである。形状はアメリカ空軍の新戦術戦闘機(ADVANCED TACTICAL FIGHTER)YF-22に酷似しており、可変後退翼は装備されていない。これは未来的に後退翼はほとんど見られなくなり、かわりに翼の揚力を変化させることによって、低速から超音速までをこなす機体設計が採用されるであろう、ということからである。複座タイプも15話に登場した。しかし、せっかくスティルス性を高めるために設計されたデザインなのだから、せめて二次元ノズルくらいにはしてほしかった。地上基地使用のものに着艦フックなどを装備させたものである。(14話〜)

ガンドーラ【GAN-DOLLA】ギガノスの合体型メタル・アーマー。通常は高機動戦闘バイクとして使われるが、上下に分離し、上部のドーラは空中・対地上戦用のメタル・アーマーに、下部のガンツァーは高速攻撃バイクになる。また、ドーラはボートと合体してゲルドーラとなる。

ギガノス【GUIGANOS】21世紀中盤、人類は月面の開発に着手し、これに成功した。そのなかで、月を属国と考える地球と、独自の民族意識のようなものを芽生えさせつつあった月の住民との間の意識の差は月の独立の気運を生むこととなる。そこに現われたのがギルトールである。彼は2084年、月の独立を宣言、統一帝国ギガノスを設立した。これをギガノス事変と言う。さらにギガノスは、地球連合軍に対して宣戦を布告することになる。ギガノスは、地球連合に所属するすべての人々や思想を劣悪なものとし、排除しようという強烈な選民思想を基盤としている。しかし、ギルトールの超独裁国家となり果てているといったところが実状である。

ギガノスかがくはくぶつかん【ギガノス科学博物館】21世紀の人類にとってのフロンティアである月には、多数の優れた科学者や技師などが集まってきており、そんな彼らの業績を陳列したのが、この博物館である。そして、そのなかでも特に目を引くのが、それらの科学と技術の力の集大成でもあり、今次宇宙大戦においてはじめは工業力の劣っていたギガノス帝国を緒戦において圧倒的優位にたたせた原動力といえる、メタル・アーマーとその原型のメタル・ワーカーの数々。これらは揺りかごのなかから月という異質の世界のなかで、必死に生き抜こうとした者たちの英知の結晶であり、ここはそんな月に生きる人々の誇りと自信の象徴となっている場所なのである。

ギガノスぐんえいせいきどうぐんろくさんさんぶたい【ギガノス軍衛星軌道軍633部隊】地球をめざすアイダホを、大気圏上層で迎撃した部隊。かなり無理な相対位置から出向いたために、アイダホへ攻撃できたのは、軌道が交差する数分間だけであった。(11話)

ギガノスぐんちょうほうぶいん【ギガノス軍諜報部員】ベルッ・シュタインの部下たち。マイヨと会うために京都へとやってきたケーンとリンダを捕らえようとして襲ってくる。気づかれないために手に錫杖を持ち、僧に変装している。(23話)

ギガノスぐんていさつえいせい【ギガノス軍偵察衛星】ギガノス軍が低衛星軌道上に周回させている、地表探査用の偵察衛星。テレビカメラと写真電送システムの両方を備えており、広域偵察から一部の拡大分析用にまで使えるスグレものである。本編中では地上に降りたドラグナー部隊の追跡のために登場した。なお、IR感知用のシステムなども搭載していることから、ひょっとすると本来は資源探査衛星であるものを流用したものであることも考えられる。工業力の弱かったころのギガノスならば、十分にありえることである。

ギガノスぐんほきゅうきち【ギガノス軍補給基地】カムチャツカ半島沖の南東500キロにある基地。アジア進攻作戦の補給部隊として重要な位置を占めている。そのため、近くを通過したD艦隊にメタル・アーマーの奪取とせん滅の命令が下った。結局のところ、ケーンたち3人と陸戦隊は夜襲を決行、みごとに基地を破壊したが、しかし内部にあったシュワルグの奪取には失敗してしまったのである。(21話)

ギガノスぐんマーク【ギガノス軍マーク】頭文字のGをデザイン化したもの。何かというと、大きく使いたがるようである。

ギガノスちきゅうしんこうぐん【ギガノス地球侵攻軍】ギガノス軍地上部隊の総称。総司令官はラインハルト。(11話)

ギガノスのあおきたか【ギガノスの蒼き鷹】ギガノス軍のエースパイロット、マイヨ・プラートのこと。彼の戦いぶりと、愛機のボディーカラーからこのニックネームがついた。しかし、ドラグナーにかかわりあうようになってからは負けが込んでおり、その名もいささか色あせつつある。

きこうコマンド【機甲コマンド】連合軍の地上戦闘用機甲部隊の通称。(19話)

きしゃかいけん【記者会見】アイダホが地球にたどり着いた後、ドラグナーについて行なわれたもの。ケーンはすっかりエースパイロット気取りでマスコミの取材に答えていた。それにしても、秘密兵器を取材させてしまうとは、なかなかいい根性をしているなぁ、連合軍の連中は……。

ギニールしょうい【ギニール少尉】連合軍宇宙戦艦ミンダナオに所属する第1機甲中隊の隊長。悪い意味ではなく、軍人魂をもった人物。軍人は命令があればたとえ負けるとわかっていても出撃しなくてはいけないものだとケーンたちをさとす。マイヨを相手に苦戦するケーンたちを助けるために愛機を特攻させ、壮絶な最期を遂げた。地球に残した妹へと、ケーンたちに人形を託す。

きのどくなぐんそうどの【気の毒な軍曹殿】ケーンたちの教育係に任命されたベンが自分のことを指して、嫌味半分、ジョーダン半分に言ったことば。しかし、彼の後々の苦労を考えるとあながち冗談ともいえなくなってしまった。(3話)

キャバリアー【CABARIER】ドラグナー1専用の強化ユニットで、頭部にかぶる形で使用する。2門の220ミリレールキャノンとレドームのほか、独自の機動用バーニアをもっている。また、後部のトランクルームには各種オプションを入れられるようになっている。ドラグナー1にドラグナー2、3の能力を兼ね備えさせるためのパーツで、これを装着することによってドラグナー1は最強のメタル・アーマーとなる。マイヨの攻撃をかわすため、10話で爆破してしまった。開発コードナンバーXC-00。全高/15・5メートル、動力/DPW-3D型小型核融合炉、出力/43万ポンド、重量/運行自重34・6トン、通常発進重量137・3トン(D-1搭載時)、出力/重量比/1・566、探知装置/重力場感知システムWG3型、イメージセンサーTAH7型、装甲/リアクティブデュアルアーマーゼライトコーティング剤、装甲厚/MAX275ミリ、乗員/ナシ(ドラグナーからのコントロールおよび内蔵コンピュータにより稼働、搭載兵器/D-1&兵装類1体分を内部収納、基本武装/220ミリ、レールキャノン×2(発射速度32発/分、携行弾数120発、弾種はプラズマ弾および徹甲弾と爆裂弾)

きゅうきょくちょうじんあ〜る【究極超人あ〜る】12話で、ドラグナーを無事地球に運んだケーンたちは、アクアポリスの乗組員たちに英雄視された。彼らは艦内食堂のコックたちに豪華な食事を振る舞われることとなる。そのときのコックのなかにいたのが、かのR・田中一郎氏である。やはり1世紀の間、おかァゆーたあきこーみササニシキ、古米外米食えればうまい、おこはもち米、にー本ばあれコシヒカリだよ、人生は〜♪というポリシーを守って、淡々とご飯を炊きつづけていたのであろうか。やはり今度は、イースヨーのナースとしてRにじゅうきゅう号を描いてほしい。「ドラグナー」世界でもっとも歴史を感じさせた一瞬であった。

きゅうせいはいえん【急性肺炎】10話でローズがかかった病気。敵の攻撃にさらされながらの不安な長旅と、両親の乗った船が沈んだという知らせを知ったことによる精神的なショックが引き金になったと思われる。確か劇中では、治療には抗生物質が

必要だといっていたはずなのだが、なぜか彼女は抗生物質なしでいつの間にか全快してしまった。うーむ、女は強い……。いや、おそらくタッブの愛が病をも打ち砕いてしまったと思われる(そんなワケねーだろ!!)。それにしても、艦がやばい状態にあるというのに出撃しなかったタッブはちょっと問題があるような気がする。

きゅうゆき【給油機】 燃料補給用の機体。メタル・アーマー用の無人タイプもあり、プラクティーズ隊のゲルフはEC実験ステーションへ向かう途中で使用していた。(6話)

きょうせいしゅうようじょ【強制収容所】 ギガノス軍宇宙中継基地内にある、捕虜専用の収容所。捕虜収容所で選別され、その際に有益な情報や技術をもたない、あるいは労働力として役に立たないと判断されたものが送り込まれる場所である。ここに送られた捕虜がはたしてどうなるのかは定かではないが、悲惨な毎日が待っているのは誰の目にも明らかだといえる。一説には月に送られて劣悪な条件のもと、基地建設の土木工事に従事させられているという。

ギルトール【GUILTORRE】 ギガノスの優れた技術力の粋を集めた結果といえるメタル・アーマーのことを、ギガノスではギルトール元帥の名前を取ってこう呼んでいた。

ギルトールげんすい【GENERAL G-UILTORRE】 ギガノスの創設者にして、最高権力者。もとは某国の高級将校であった。宇宙時代に蘇ったヒトラーとでもいうべき人物である。複数で飼うと、仲間を食い殺してしまう獰猛なランブルフィッシュを愛玩していることが彼の性格を物語っているといえる。マイヨを高く評価しているが、彼を取り立てる真意は深いものがありそうだ。



グニャグニャぐんそう【グニャグニャ軍曹】 ダイアンに惚れてしまったベンの状態を指してケーンが語ったことば。見かけのわりに、ずいぶんとウブだったベンを端的に表現しているといえよう。(19話)

クラビウス【CRAVIUS】 フンボルトの跡を継いで、ドラグナー追討の命を受けたギガノス軍の宇宙戦艦。マイヨはこれに搭乗して現われた。ドラグナーに撃沈される。

クラフトユニット【CRAFT UNIT】 連合軍で製作されたドラグナー専用の飛行ユニット。本来は宇宙戦闘用につくられたメタル・アーマーを、大気圏内で飛行させるための外部装着型飛行用パーツ。これの完成により、短時間の飛行能力を有していたバイクメタル・アーマーやマリンメタル・アーマーが主戦力であった地球上でも、ドラグナーやファルゲンが活躍できることとなった。音速以上で飛行できるメタル・アーマーはドラグナー以外には存在せず、これの完成によってギガノスのメタル・アーマーに機動力において大きく水を開けた。ドラグナー1~3それぞれが違うものを使用する。連合軍、ギガノス軍のものともデザインは似通っており、翼下に2~4か所のパイロンがあるものが大部分であるのだが、この分野にかけては連合軍のほうが優れた技術をもっている。ドラグナー1用は格闘戦能力に、ドラグナー2用は航続距離に(1、3用の航続距離はそれぞれ5000キロだが、2用のものは1万キロである)、ドラグナー3用は高速性に優れている(他の2機に先行して、必要な戦闘データを収集するため)。また、ドラグナー2のものは、1、3に燃料を補給するシステムをもっている。別名フライトユニット。(15話)



グリーンランドきち【グリーンランド基地】 ギガノス軍の環大西洋およびヨーロッパ方面の拠点。マイヨとプラクティーズの面々が、ドラグナーを追って地球上にやってきたとき、降り立った場所。クルーズピートの発射された所でもある。(15話)

クルーズピート【CRUISE PEAT】 ギガノス軍グリーンランド基地からD艦隊へ発射された長距離巡航魚雷。シュモクザメのような形状をしている。本来は核兵器を装備して使用されるのだが、いまだそのような事態は起こっていない。航続距離はロングレンジブースターを使用することによって数千キロ、最高速度は100ノット以上で大陸間を射程に収める。最大の特徴は対空ミサイルや魚雷などの攻撃兵器を内蔵していることで、これにより障害物を取りのぞいて敵に体当たりをする。無人。(15話)

グルテン【GULTEN】 ギガノス軍404戦域軍所属の中尉。副司令官らしく、バウエルのもとでまじめに働いており、ドラグナーを追ってきたマイヨたちを出迎えたときも、嫌なそぶりなどまるで見せず応対していた、結構善人そうな人物。(17話)

クレイ9000Jクララ【CREY9000J KURARA】 クレイ9000系はドラグナー1の操縦系コンピュータである。サブ入出力方式として対話式が取られている。まったくD兵器にかかわりのないケーンたちをパイロットとして登録してしまったり、やたらと親切に説明をしてくれたりと、非常に融通のきく奴である。ちなみにドラグナー2のものはソニア、ドラグナー3のものはマギーが愛称。

グン・ジェム【GON JEM】 ギガノス軍のアジア方面軍機密守備隊の隊長。階級は大佐。4人の腕ききの部下たちに、それぞれひとつずつ小隊をまかせている。その荒っぽい戦闘は連合軍の兵士たちに恐れられており、彼の部隊と交戦して生き残った者はいないとまで語られており、ヤン中尉率いるドラグーン部隊も完膚なきまでにたたきのめされてしまっている。彼の性格は粗暴で野卑と、戦い方にそのまま見られるものと同じである。一時期、中国沿岸部の連合軍の基地や部隊を潰し回っていたが、命令によりアジア奥地のギガノス軍秘密工場の守備隊の任についていた。しかし、重慶基地でのドラグーン量産化の話を聞きつけて再び連合軍の勢力範囲に攻撃を仕掛けてきた。そのため、ケーンたちのドラグナー・カスタムタイプによるドラグナー遊撃隊と真っ向から戦うこととなった。根っから戦いの好きなグン・ジェムにとっては、ケーンたちはチョット歯ごたえのある相手としか思われていないようである。なお、彼は出撃するとき、両手首に蹄鉄、首にしめなわをつける癖がある。なんのためにつけているか、その理由は誰も知らない。(26話~)



グン・ジェムき【グン・ジェム機】 彼が自分専用機として、アジア奥地の秘密工場で特別に製作させたカムタムメード機。ジェネレータと動力伝達系を従来機より強化して出力に余裕をもたせたうえに、ハンドレールガンも大型で大口径なものにし、さらに左腕に内蔵されている機関砲も装弾数をアップ、それでも足りずにグレネードを両腰に計8発装着させ、背中に青龍刀をしょわせた、バケモノみたいな攻撃力をもったメタル・アーマー。彼の性格と体型を如実に表わした機体であるといえよう。おかげでノーマルのエンジンでは推力不足のために飛行ができず、D-2並みの大型エンジンを搭載した特大のフライトユニットを装備しなければならなくなってしまった。なお、肩に入っているコブラのペイントは、グン・ジェム部隊のトレードマークであり、彼の部下4人の小隊長機にも入っている。(26話~)

けいびへいA・B【警備兵A・B】 竜飛岬基地の警護にあたっていた、ギガノス軍の下級兵士。英語が話せないふりをする若葉ミツとコンニャク問答を続けていたが、結局は隠れていたケーンたちに張り倒されてしまう。それほど、悪人ではないようであった。(22話)

げつめんメタル・アーマーこうじょう【月面メタル・アーマー工場】 ギガノス帝国内部にある。ファルゲンをはじめとするギガノス軍のメタル・アーマーのうち、宇宙軍のものはすべて、地上軍のものも半数以上がここで生産された。たぶん、ドラグナーもここでつくられたと思われる。(17話~)

ゲバイ【GEWEI】 量産型メタル・アーマー。ドラウの後継機で、現在ギガノス軍の主力機となっている。要はザクのようなもの。

ゲルトぐんそう【ゲルト軍曹】 出動したドラグナーと初めて剣を交えたギガノス軍の兵士。巡洋艦フンボルトより、ドラグナーを破壊せよとの命を受けて出撃し、ケーンたちと対決することになる。いわゆるたたき上げの軍人というやつで、これまで2回突撃戦功賞を取っている実力派である。当然この出撃で3度目の受賞を狙っていたのだが、ドラグナーの性能の前に敗れ去った。

ゲルドーラ【GELDOLA】 ギガノス軍のマリン・メタル・アーマーの名称。上下に分離が可能で上部をドーラ、下部をゲルファーと呼ぶ。ドーラのほうはバイク・メタル・アーマーの上部と基本的には同一なもので、短時間の飛行が可能である。また下部のゲルファーは飛べこそしないが、洋上での俊敏さにおいては高速魚雷艇などを凌ぐ性能をもっている。このシステムは対艦・対空戦闘を単体で三次元的に行なうために採用されたもので、特に対艦戦闘に対しては、絶大な戦力となったと思われる。基本兵装はレールキャノン2門、小型ロケット・ランチャー2基、対空ミサイル2基、大型魚雷4本、単装バルカン砲1門である。(15話~)

ゲルフ【GELF】 ギガノス軍の若きエリート部隊、プラクティーズの専用機。他の一般兵士用メタル・アーマーよりも高性能である。しゃれた形のレーザーサーベルと、乙女の肌より鋭敏なれえだあをもっているとか。3機で編隊を組んでいるが、うち2機は対ドラグナー戦用に、大型レー

ルガンを装備したヤクトゲルフと、レーダー、センサー類を装備したレビゲルフへと後に改修されたもの。識別コードナンバー／YFMA-08A、頭頂高／17・6、動力／JTF-7B型超小型核融合炉×1、出力／21万ポンド（ドライ）30万ポンド（CMP）、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×4、CMP時間／25秒（MAX）【回復時間CMP≦5　5秒～CMP＝25　20秒】重量／運行自重65・9トン、最大発進重量95・2トン、出力／重量比／1・103（ドライ）1・576（CMP）、探知装置／イメージセンサーAS5型、装甲／シモールA型パッシブ装甲、装甲厚／MAX225ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装――75ミリハンドレールガンSSX7型（発射速度1800発／分、携行弾数455発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、白兵戦用レーザーサーベル

ゲルフ用フライトユニット（ゲルフマッフ）諸元。全幅／26・1メートル、動力伝達システム／DFGS-C9、出力／25万ポンド（ドライ）38万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時14万ポンドをプラス、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×2、基本重量24・3トン、最大速度／マッハ0・86／SL（海面高度）マッハ0・95（9800フィート）、航続距離／2870ノーチカマイル（5315キロメートル）、搭載兵装――5連ミサイルポッド×2、ハードポイント×4、識別コードナンバー／MAF.FU-08

ケーンのしょうねんじだい【ケーンの少年時代】おおっこれは誰だ！まるでパ○ファ○のケ○ッではないか！（アシダセンセってばオチャメ！）だいぶわんぱくであった。（20話）



ケーンのゆうじんたち【ケーンの友人たち】第1話のセリフのなかにでてきた、アストロノーツアカデミーの友人たち。ケーンたちよりひと足早く地球上に降りて連合軍の義勇軍に志願しているらしい。ジム・ハンターが第9陸上戦域軍に、ヤン・マジソンと、なぜか16話に登場していたビル・ブライアンが空母イースヨーの所属している第7海洋戦域軍に行った、と語っている。（1話）

ケーン・ワカバ【KAINE WAKABA】いわずと知れた「ドラグナー」の主人公。スペースコロニー・アルカードに住んでいた。直情型で、けっこう快男児ぽかったりする。ベン軍曹はケーンのこの荒っぽいが、ストレートで、妙なところでマジな性格が気に入っているらしい。なにしろ、自分の妹をケーンの嫁にやると言いだしてしまったくらいなのだから……。両親は離婚しており、母といっしょに暮らしていた。母はアルカードの入国管理センターに勤めており、父は連合軍の少将である。連合軍運命のいたずらから（お軽い性格からという噂もあるが……）ドラグナー1のパイロットになる。リンダに惚れているのダ。（CV＝菊池正美）

こうこうどげいげきき【高高度迎撃機】衛星軌道軍をも突破し、大気圏突入をするアイダホを迎撃するために地球上より上がってきた戦闘機のこと。外観がわかるほどには接近しなかったが、外装式のロケットブースターを使用して大推力を得、高度2万2000メートルまで急上昇をして宇宙からの飛来物を攻撃する戦闘機ではないかと思われる。（11話）

ごうせいしょく【合成食】軍の戦闘食。政府から、一般市民や軍人に配給されていた。まずい（のであろう、やっぱり……）。チェホフはこれを好まず、ケーンたちとの朝食にはパン、コーヒー、ベーコンといった自然食を出したのである。しかし、考えてみるに、つね日ごろにおいて、われわれは有害な添加物やら何やらをそれこそたくさん摂取しているのである。意識こそしていないものの、合成食というか、モドキ食品も多いのであるからして、それらよりはよっぽどこの合成食のほうが体への悪影響は少ないかもしれない。

ごうちんぶし【轟沈節】地球についたアイダホのクルーが開いたパーティーで、ローズと下士官たちが歌っていた歌。むろん、実際にはこんな歌はない。ちなみに歌詞は「遠く地球を想う時　浮かぶあの娘のあのお尻　ミルキーウェイのきらめきは　甘く切ないあの娘の吐息　夢で抱き寝がしてみたい　いけいけ　どんどん　敵艦　轟沈♪」というものであった。

こがたスペース・シャトル【小型スペース・シャトル】ドラグナーを追って地球へ降りるマイヨとプラクティーズたちが使用。現代のNASAのものとほとんど同じシルエットだが、カナード翼らしき物と大気圏内用のエンジンを搭載して安定性を保持していた。（15話）

こくさいうちゅうじょうやく【国際宇宙条約】ギガノスの巡洋艦フンボルトは、ドラグナーを積んだ連合軍の輸送船アイダホに停船を命じたが、ロイ・ギプソン艦長はこの条約の第12条第2項を盾に命令を無視した。だがギガノスは地球連合の定めた条約は守るに値しないとして、攻撃を加えてきた。

ゴル【GOL】グン・ジェム部隊一の巨漢である。それがため、動作は多少緩慢なのだが、その巨体にものを言わせた、力づくの攻撃によってその欠点を補っている。つまりはよくあるパターンの敵役で、結局はスピードに優れたドラグナー・カスタムタイプに敗れていく。階級は大尉。しかし、この男はどうやって重心を保っているのであろうか？　上半身ばかりが肥大してしまっている。（26話～）

ゴルき【ゴル機】グン・ジェム部隊のゴルが使用しているメタル・アーマー。その巨体に合わせて、重量級のゲバイにフライトユニットを装備させて用いている。もちろん、アジア大陸奥地の秘密工場で大々的に改造を受けており、有重力下でもできる限り俊敏に行動できるようにとジェネレータの換装を受けている。主武装は腰の回りに付けたグレネードとバズーカ砲もどきのバンドレールガンを使用している。このバズーカ砲もときのレールガンは、それこそゴル機にしか振り回せそうもない代物で、従来はマガジンはひとつしか装着できなかったのを、3本一同に組み込めるようにして、3倍の連射が可能なように改造してある。コクピットも大改造だったろう。（27話～）

コロニー【COLONY】「ドラグナー」世界においては、スペースコロニーのことをさす。世界の人口増加による食糧不足、経済活動の発展、資源の消費増大と環境汚染などから、人類が宇宙に永住できる生活圏として構想されている。「ドラグナー」では、1974年にプリンストン大学教授G・オニール博士が提唱した宇宙植民島のアイデアを基にしているらしい。これは月軌道上のラグランジュ点（宇宙空間で運動する3つの天体は一定の相互位置がある。2つの天体の相対位置が定まっている場合、質量が無視できるほど小さな第3の天体の位置が適当な位置にあると、その天体位置は安定であり、その相対的位置は保たれる。この特定無重力地点をいう）に、回転を加えて遠心力による重力を内側の壁面に発生させた円筒状の居住地域を設け、移民するというものである。「ドラグナー」の時代には、すでにコロニーで生まれて育ったコロニーっ子も存在している。

コンテナブロック【CONTAINER BLOCK】アイダホにおける、上部にある3基の円筒形の部分のことを示す。このブロックがあると、アイダホは大気圏突入ができないため、突入時には切り離してしまっていた。（1話～12話）

コンピュータルーム【COMPUTER ROOM】どこの基地や戦艦にもある設備だが、今回は連合軍のノーラッド基地内部にあるものを示す。このものは、連合軍にとっての数少ない対宇宙監視システムのコントロールや全軍のデータ管理を行なっている重要なものである。特に電子情報戦が多大なファクターを占める未来の戦争で、これらのデータを失うことはそのまま敗北へとつながりかねないため、マイヨによって基地内に爆弾がしかけれらたと判明したとき、司令官は真っ先にここと動力センターを探索させていた。（17話）

さ　サ

「さ」は「左」の草体
「サ」は「散」の左上

さいだいせんとうしゅつりょくいじ【最大戦闘出力維持】略称CMP。メタル・アーマーが、そのエネルギーを最大限に開放できる時間のこと。そのメタル・アーマーに搭載されている核融合炉の性能や、自重によって長さは異なる。しかし、これを行なってしまうとエネルギーを一気に消耗してしまうため、一定時間行動不能となってしまう。と、設定書にはあるのだが、画面に登場したことはなく、幻の設定となりつつある。きっと、蒼き流星にでもなってしまうのでヤバイのであろう。「D―まっくす！」と叫ぶのかナ。

さかりのついたねこ【さかりのついた猫】猫ギライのパウエルが、しぶとく抵抗を続ける連合軍を比喩していったことば。（17話）

さむらいガール【SAMURAI GIRL】ケーンを京都でマイヨに接触させるために、ギガノス軍諜報部が使用していた自分たちの暗号名。（23話）

さよならパーティー【さよならパーティー】無事に地球に到着し、ベルンゲンの連合軍地球戦闘軍司令部にたどりついたケーンたちが、リンダたちとの別れを惜しんで企画したパーティー。ところがどこでどうまちがったのか、6人だけの水入らずのパーティーのはずが、アイダホの仲間全員による大パーティーとなってしまう。会場は司令部近くのバイキング砦跡。酒もはいり、大いに盛り上がるパーティーだったが、ギガノスのマスドライバー攻撃により目前の司令部が壊滅、一気に盛り下がった。お別れパーティーとも言う（13話）

CDプレイヤー【CD-PLAYER】音楽ずきのタップはいつも肌身離さずCDプレイヤーを持ち歩いている。音楽なしには生きられないのだろうか。何でも生命の次に大事な物なのだそうである。だが、ギガノスの宇宙中継基地を爆破する際に、時限装置として使われてしまい、壮烈な最期を遂げる。たかだかCDプレイヤーの分際で、ギガノスの基地を破壊できたのだから、多分な名誉といえる。その後、タップは代用品として、より性能のいいものを与えられたようである。

じどうきらい【自動機雷】ギガノス軍

が、いまだ制圧しきれない海上を封鎖するためにバラまいたもの。小型のスクリューをもっており、海上・海中をある程度まで航行できる。信管の方式は搭載されているコンピュータによって、触発・磁気・水圧・時限・遠隔などを自由に選択することができる。イースヨーは、一度これに触れてしまったが、大した被害は受けずにすんだ。(21話)

シマフクロウ【シマフクロウ】連合軍に奪われたドラグナーの情報を得るためにアルカードに潜入していたスパイのコード名。撃たれて瀕死のところをケーンたちに出会い、ドラグナーのディスクを渡す。何としてでも任務を遂行したかったのはわかるが、どこの誰ともわからない少年に、それも最高機密だということまでばらして託してしまったのは、スパイとしてはその資質に問題があるような気がする。



シミュレーター【SIMULATOR】アストロノーツアカデミーにあったもの。画面には4基が登場した。ライトの会話などから推察すると、宇宙船用のものだけではなく、メタル・アーマーなどの操作に近いものもあったようである。(1話)

ジム・オースチン【JIM AUSTIN】ケーンの父親。連合軍の参謀を務めている。アオイとは4年ほど前に生き方が違うとして離婚した。D兵器を一刻も早く見たいと言って視察の名目で空母イースヨーへとやってきたのだが、実はケーンに会いにやってきたのである。だが、ケーンはなかなかそんな父の心を察しようとせず、あくまで母と自分を捨てた存在としてしか見ようとしなかった。ジムはそんなケーンにアオイが生きているかもしれない、と語って去っていく。だが、そんな彼の機が襲われたことを知ったとき、ケーンは父が軍にいることによって家族や平和に生活する人々を守ろうとしていたことを悟ってドラグナーで救援に向かった。



しめなわ【注連縄】お正月などに飾るアレである。いったい、どこに登場しているかというと、出撃するときのグン・ジェム大佐の首にかかっているのだ。きっと縁起かつぎなのだろう。(25話〜)

シモールAがたパッシブそうこう【シモールA型パッシブ装甲】ファルゲンとゲルフにのみ使用されいる、可逆性弾性金属装甲。要はグニャグニャまげても、ほとんど金属疲労が起こらないという、非常に便利な代物である。しかし、精錬方法が複雑なため、コストがかかりすぎ、まだ大量生産化は望めない状態である。

ジャック【JACK】ローズの叔父・マーチンの長男。ローズを姉のように慕っている。アポロキャップがトレードマーク。

しゃんはい【上海】中国沿岸部を制圧している連合軍の海洋への門として、経済とともども重要な位置を占めている都市。重慶へ向かうD艦隊も、ここを通過、長江へ上っていった。ラング・プラート博士とケーンが出会ったのもここである。(25話)

しゃんはいろうさいかん【上海老菜館】上海にある中国料理店。上陸したケーンたちが念願のメシを食いまくっていたが、そこへギガノスのスパイに追われたプラート博士が乱入、眠眠服飾裝苑ともどもメチャクチャになってしまった。(24話)

じゅうけいのしちょう【重慶の市長】重慶までたどり着いたD艦隊の歓迎パーティーに出席していた。でっぷりと太った、ひと目で政治家タイプとわかる50歳くらいの男性。(25話)

しゅうそくはつうしん【収束波通信】ドラグナーの世界では、通信には電波、特に宇宙空間においては超短波から極超短波を使用している。軍用無線では、一応ランダム変調と暗号通信による高速伝達を行なっているが、さらに盗聴への対抗策として照射の幅をできる限り細くして収束波として用いている。6話で、ドラグナーを捕らえた、とEC実験ステーションから月へとこのシステムで伝えられたチェホフの通信を、プラクティーズ隊はレンジ幅ギリギリのところで傍受した。(6話)

じゅうようひみつへいき【重要秘密兵器】もちろんドラグナーのことである。今のところ、どこが重要秘密兵器なのか、他のメタル・アーマーと一線を画す特徴がなんなのかがそれほどドラマに絡んでこないのは残念な限りである。

シュガー【SUGAR】輸送部隊とは別行動をとった、ダイアン、ケーン、リンダの3人が使用していた識別用の暗号。(19話)

シュワルグ【SCHWALG】ギガノス軍のフォルグ・アーマーのなかの、軽戦闘タイプの名称。機動力を主としているため、攻撃力はさほどない。変形が可能で、高速飛行時には脚部を格納する。武装はハンドレールガン1挺、機銃1門と、翼端に対空ミサイルを2基装備している。最大の欠点としては、軽量化のために装甲を薄くしたことで、損傷率がかなり高くなってしまっている。しかし、対戦闘機用メタル・アーマーとして考えるのならば、その機動力は連合軍戦闘機パイロットにとって恐るべきものであろう。(20話〜)

しょうかき【消火器】ケーンたちがプラクティーズ隊を相手に奮闘したときに使用。ナント消火器の泡をメタル・アーマーにひっかけちまったのである。まあ、やってしまうケーンたちもケーンたちだが、プラクティーズもプラクティーズである。ギガノス軍の英才教育も信じられたものではないという感を抱いてしまう人はひとりや2人ではあるまい。

しょうねんたい【少年隊】プラクティーズ隊のこと。ニヤけハンサムなところといい、お坊っちゃま加減といい、言いえて妙とはこのことである。しかし、こういう連中は腹立たしいことに女にはもてるものなのだ。

じょうほうかくらん【情報攪乱】ギガノス軍宇宙中継基地に拿捕されたアイダホとその乗組員たちを助け出すためにケーンたちが取った作戦。絶大なる防御網を誇る基地に潜入するために、ドラグナー3のコンピュータを用いて基地のコンピュータにハッキングしたのだ。しかし、そこで流した偽りの情報が、何と2万800隻の連合軍の大艦隊が侵攻してきたというものなのである。おかげで基地内部には未確認の命令が飛び交うなど、さまざまな大混乱が生じ、ケーンたちの作戦はまんまと成功を収めたのであった。マイヨただひとりが(!!)このたくらみに気づいたが、司令官のモーデルは彼の意見に耳を貸そうとしなかった。ギガノス軍の底力(?)を感じさせてくれるエピソードだった。

じょうりくてい【上陸艇】フンボルトから発進し、アルカードの外壁にじかに接舷してコロニーを強襲した。中に多数の戦闘バイクを搭載している。久々にダイナミックな戦闘法をアニメで見せてくれた。しかし、目的物に取りついて、チューブの中から出撃するその姿は、懐かしのアニメ「氷河民族ガイスラッガー」を彷彿させた(と思うやつははっきりいってもう若くない)。

しょくりょうほぞんそうこ【食糧保存倉庫】アイダホ内部のものを指す。難民たちに食糧・医薬品を回さなかった軍人たちに腹を立てたケーンとタップは、この機会にリンダたちにええカッコをしようと、ここへ忍びこんでいろいろなものを持ち出していった。ちなみに外側の扉のキーナンバーは4126であった。(5話)

じょしりょう【女子寮】アストロノーツアカデミーのものを指す。男子生徒たちはよく風呂をのぞきに行っていたようである。御多分にもれず、ケーンたちもビル・ブライアンといっしょにのぞいていた。(16話)

しれいしょ【指令書】人間をいかようにでも思いのままにできる、とても便利なもの。ケーンたちもこの紙切れ一枚でさんざんな目にあわされつづけてきた。軍隊の非情さの象徴でもある。

ジン【ZIN】グン・ジェム部隊4人衆のひとり。美男子ではあるが、冷たい感じを与える外見どおり、非常に冷酷なキャラクターである。愛機は外から見た限りは、ほとんどノーマルタイプと変わらないシュワルグを使用。階級は中尉である。(27話〜)

しんえいきこうへいだん【親衛機甲兵団】ギルトール親衛隊の正式名称。生え抜きの兵士を集めて結成されたエリート部隊である。ふだんは月に駐留して、いざというときにはギルトールの生命を守ることを第一使命としている。しかし、ドラグナー奪回といった軍の最高機密にかかわる任務や、遂行が困難な高度な任務にもつく。ギガノス軍の一般兵士にとっては憧れの対象である。

ジンき【ジン機】シュワルグをパワーアップさせたもので、外見に極端な変化は見られない。しかし、その計算高そうな性格からして、見えない所を改造して、わざわざノーマルバージョンに見せかけているのではないか、とも思える。だが、ハッタリのような改造をしている他の仲間たちに比べれば、いちばん賢いのかもしれない。(27話〜)

じんるいのさいせい【人類の再生】先に戦争を始めた統一帝国ギガノスが掲げている、今次宇宙大戦を正統化するための宣伝文句。プロパガンダの例にもれず聞こえはいいのだが、結局は選民思想であり、マスドライバーによる大量殺りくを都合よく解釈させるためのものでしかない。(1話〜)

スカンジナビアはんとう【スカンジナビア半島】ノルウェー、スウェーデンなどの国がある地域をいう。地球

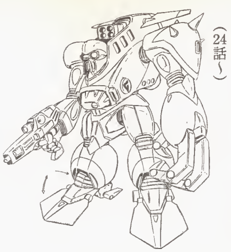
にたどりついたアイダホが着水した地域。戦いに巻き込まれるのを避けるため、マーチン家の人々はここでアルカードからともに避難してきた人々と別れた。連合軍の北欧司令部がある。ケーンらと難民たちは空母アクアポリスに乗り換えて司令部をめざしたが、ギガノスの追撃はここにまで及び、マスドライバーの攻撃を受ける。

すぎたるてがら【すぎたる手柄】ドラグナーを拿捕したチェホフを殺して、手柄を横取りしたプラクティーズの面々が話したことば。チェホフには分不相応な功績だというのである。彼らのおごりが表われているといえよう。（7話）

スパイ【SPY】スカンジナビアの連合軍北欧司令部付近で情報収集をしていた2組の夫婦。ケーンたちをドラグナーのパイロットと見破り、リンダを囮として彼らの殺害をくわだてたが失敗した。

スローインボム【THROWING BOMB】D-1カスタムタイプのオプション兵器。フリスビーのような円盤型をしており、両腕のジョイントに各1個ずつ装着できる。今までのD-1には同様の効果をもつ兵器としてショルダーボムがあった。宇宙よりも地球上のほうが効き目を発揮しそうではある。

ズワイ【ZUWAI】重戦タイプのギガノス軍新鋭メタル・アーマー。大出力の核融合炉を搭載したため、ものすごい怪力のうえ、ホバーによる高速走行が可能となっている。武装は小型ハンドレールガンと背中の4連装ロケット・ランチャーおよび、左手の巨大な爪と、接近戦を主として考慮されている。上海より重慶へと長江を進んでいたD艦隊は、水中からこのズワイ4機の攻撃を受け、空母艦内まで侵入されて、危うく撃沈させられてしまうところであった。（24話～）



せいかんトンネル【青函トンネル】2087年には使用されておらず、立入禁止となっている。ギガノス軍の竜飛岬基地はこれの真上に建設されており、ここからケーンたちに爆弾をしかけられ、破壊された。（22話）

セーフティロック【SAFETY LOCK】メタル・アーマーの操縦桿についているトリガーガードのこと。もちろんこれを外さねばレールガンなどは使用できない。（1話～）

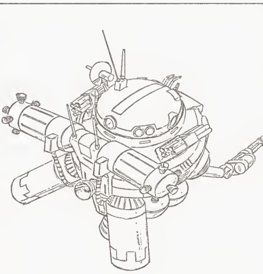
セーラムしょう【セーラム賞】多大な功績をあげた軍人に送られる、連合軍の勲章。ドラグナーを無事に重慶基地まで届けたケーンたちは、そこで除隊してしまえば報奨金の200万ドルとともにこれがもらえるはずであった。だがドラグナーのパイロットとして戦いを続けることを決意した3人は、そんな富も名誉も捨ててしまったのである。（24話）

せんとうデータ【戦闘データ】ドラグナーに搭載されているHAL-900Mk-IIタイプコンピュータは、毎日の戦闘を記録・分析し徐々に進歩していく自己発展型のものである。そのため、その蓄積されたデータをコピーすれば、パイロットの腕前にもよるが、新品のメタル・アーマーとて操縦・運動・戦闘能力ともかなりの上昇を見せるのである。今までメタル・アーマーを保持していなかった連合軍は、ドラグナーの量産化にあたり、このデータを絶対に必要としていた。しかし、D兵器内のこれはパイロットの登録解除を行なうと同時に消滅してしまうため、結局ケーンたちはみずから量産化工場のある重慶まで、パイロットを務めなければならなくなってしまったのである。

せんとうはいち【戦闘配置】第1から第3までに分かれている。第1が直接戦闘時、第2が戦闘配置待機状態、第3が戦闘準備態勢であると思われる。（4話）

せんとうようバイク【戦闘用バイク】ギガノスがアルカードに差し向けた特殊戦闘部隊が使用していた単座式のバイク。とはいってもかなり大型であり、シートはまたがるのではなく腰掛ける方式で、操縦者の体はちょうど飛行機のコクピットのように風防でシールドされている。コロニーの外壁に打ち込まれたチューブから侵入するというなかなかデーハーな登場の仕方をした。タイヤは電磁石になっていて、小型ミサイルや機銃、ガトリング砲などで武装している。

せんとうようポッド【戦闘用ポッド】地球連合軍の宇宙戦艦に配備されているひとり乗りの機動ユニット。マニピュレーターや武装、レドームなどはついているものの、ギガノス軍が開発したメタル・アーマーよりはるかに性能は劣る。ここに両軍の技術力や、宇宙空間での戦闘への認識の差が明らかになっているといえるだろう。



そうきけいかいき【早期警戒機】移動するD艦隊の周囲を偵察していた、連合軍の対空・対潜用の航空機。背部に3次元レーダーを搭載しており、米軍機AWACSのE3Cセントリーによく似たデザインをしている。D艦隊方面へと向かうクルーズピートを発見し、アイランドへ通報したが、あっという間にクルーズピートの対空ミサイルによって撃墜されてしまった。（15話）

ソウル・ジルセット【SOUL JIRSETT】アイダホに乗り込んでいた難民のひとり。おそらくなかでは最長老ではないかと思われる。医師の資格をもっており、肺炎で倒れたローズや、北欧司令部を襲ったマスドライバーによるけが人の手当てなど、さまざまな場面で活躍をしていた。ケーンら一行にとっては、とても大切な存在である。また、身寄りのないいまま旅を続けるケーンやリンダたちの親代わり的な人でもある。妙に存在感のあるオバさんで、きっと若いころはいいオンナだったのに違いない(!?)。ちなみに、独身である。さあ、そこの君、チェックを入れるんなら今のうちだゾ！

そんなきぶん【そんな気分】なんとなくアブナイことばだが、なんのことはない。急性肺炎になったローズの傍らを離れたくないタップが戦闘に行きたくない、として語ったセリフである。（10話）

たタ

「た」は「太」の草体
「タ」は「多」の上半

ダイアン・ランス【DIANE LANCE】「ドラグナー」に登場する3人のヒロインのなかではいちばんアダルトな雰囲気をもった女性。アイダホでケーンたちといっしょに避難してきた。1クールではあまりめだった行動もなかったのだが、実は連合軍の秘密諜報員で、13話では酔ってしまったりもした。D兵器に関係するなんらかの目的をもって行動しているのは間違いないのだが……。ライトが一時チェックを入れていたようだが、気の毒だがどうやら噂ではベン軍曹とくっつくらしい。あの色っぽさはベンにはもったいないのだが、ライトではちょっと役不足かもしれない。NT6月号のキャプションでは、「経験豊富なダイアン姉さん」だとか、「悩みのあるボク、お姉さんに相談しにいらっしゃい♥」だとか書かれているが、やっぱり経験は豊富なんだろうか？　ま、そりゃそうだわなー、あんだけの美人だしなー、そっかそっか、相談しに行きたいなー、イロイロと……なーんて考えていてはイケナイ。（CV＝勝生真沙子）



だいいちじうちゅうたいせん【SPACE WAR I】西暦2084年、月面の都市で独立を宣言した統一帝国ギガノスは、2086年、地球連邦に対して宣戦を布告した。これを第1次宇宙大戦という。ギガノス軍はマスドライバーによる隕石爆撃と、作業用機械から人型ロボットの発展を見せたメタル・アーマーを使い、圧倒的な有利に立った。対する連合軍はみずからの戦略の立ち遅れを痛感し、ギガノス軍の最新兵器であるD兵器を奪取、メタル・アーマーの開発と投入に着手した。と、このようなバックボーンを踏まえて「ドラグナー」は始まったわけだが、はたしていかなる展開を見せるのだろうか!?

だいいちほきゅうきち【第1補給基地】北アメリカのカナダにある、連合軍の補給基地。ノーラッドへと向かうドラグナーはここで弾薬と推進剤の補充を行なおうとしたが、先にやってきて罠を張っていたマイヨのファルゲンの待ち伏せにあい、D1は左腕を全壊、D2も右足を半壊されてしまった。（16話）

だいいちほきゅうじょ【第1補給所】補給所といっても、正式なものではない。ドラグナー輸送オペレーションにあたって、本隊が最初の中継ポイントとして使用するために物資などを集積しておいた場所。結局、ケーンたちはここでマイヨとプラクティーズの奇襲部隊を迎え撃つことになった。（19話）

たいきけんないこうこうどこうそくていさつき【大気圏内高高度高速偵察機】ケーンたちのアストロノーツアカデミー時代の親友、ビル・ブライアンが通信兵として乗っていたギガノス軍の偵察機。複座。アメリカ空軍が保有すると言われるスティルス機、F-19に近いデザインである。武装はおまけみたいなもので、本来は高度3万メートル付近から写真撮影などをするのを主任務とする機体である。（16話）

たいくうミサイル・ランチャー【対空ミサイル・ランチャー】連合軍の艦艇に備えられている、8連装ボックス・シール・タイプの対空ミサイル。例によって、当たってもほとんど意味がない。（14話～）

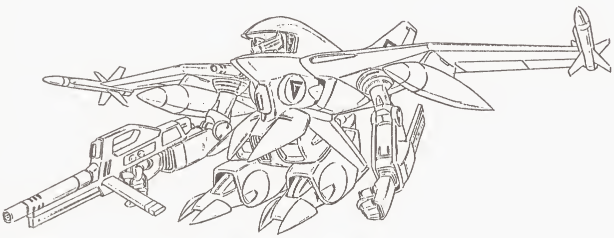
だいさんほうめんぐんだいにぶたいさんとうくうし【第3方面軍第2部隊3等空士】1話でドラグナーを動かしたケーンたちは、まがりなりにも操縦ができたということと、何よりドラグナーに登録されてしまったことから、軍のパイロットとして任命されることとなった。そのときに与えられた階級がこれである。

たいせんプローブ【対潜プローブ】クルーズビートを発見したアクアポリスの早期警戒機が、より多くの資料を得るために海面に投下したもの。外見は現代のものと同じだが、性能は飛躍的に向上している。(15話)

だいななかいようせんいきぐん【第7海洋戦域軍】ノーラッドから量産型ドラグナー工場のある中国の重慶までD兵器を移送させるために登場した連合軍の部隊。新鋭空母イースヨーを中心に構成されており、以前のアクアポリスを中心とする第5海洋戦域軍よりは戦力的に優れている。(21話～24話)

ダイン【DEINS】ギガノス軍の接近・格闘戦用メタル・アーマー。量産型メタル・アーマーのなかでは新しい機種。右目はカメラ・アイが露出しており、これは初期型のゲバイから引き継いだ特徴である。指揮官クラスのパイロットが主に搭乗する。どういうわけか「レイズナー」のゴステロによく似ている。しかし、ダインを見た瞬間、「ウォーズマンの正体はダインだったのか!」と思った人も多いはずだ。

ダウツェン【DAUZEHN】ギガノス軍、地球部隊が使用しているフォルグ・アーマーの一機種。軽戦闘機型のシュワルグとは異なり、重攻撃型と呼称され、機動能力よりも攻撃力や防御力に重点が置かれた設計となっており、要塞攻略戦や対艦戦闘などで真価を発揮する。基本武装は大型ハンドレールガン1挺、左腕に機銃1門、両腰に連装ロケット・ランチャー、両脚に投下用の爆弾を装備している。なお、シュワルグと同じく、こちらも高速飛行時には両脚を内部に格納する。これらの出現と連合軍のドラグナーがクラフトユニットを装備したことから、地球上における空中戦の実態は両軍ともにエスカレートしていった。



ダグラスちゅうい【ダグラス中尉】ドラグナー1の正式パイロット。本来は彼がドラグナー1に搭乗するはずだったのだが、ケーンのほうがパイロットとして先に登録を行なってしまったため、主役メカに乗ってヒーローになる機会を失ってしまった。そのため、現在のところケーンたち3人の兵法教育係として教鞭を振るう一方、実戦にも参加している。10話では、ローズの看病につきっきりのタップの代わりに出撃した。キャバリアーを使った戦法を提案し、みごとマイヨたちの攻撃を退けたところをみると、かなり有能な軍人なのであろう。

だっしゅつポッド【脱出ポッド】この場合は、アルカード内部にセットされていた緊急脱出用の小型宇宙艇を指す。コロニー内の全住人を乗せるだけの数は用意されていたが、いかんせん質量弾の飛来スピードがものすごかったため、数パーセントしか射出には成功しなかったもようである。(1話)

たっぴみさききち【竜飛岬基地】ギガノス軍が津軽海峡を封鎖するために、日本の青森県に設置した、トーチカのような基地。そのため、超大口径の砲台をもっており、付近を航行する連合軍艦船にとっては大きな驚異となっていた。真下を、この時代には使用されなくなった青函トンネルが通っており、ここから祖母の協力を得たケーンたちにより爆破されて全壊してしまった。(22話)



たっぴみさききちきょほう【竜飛岬基地巨砲】ギガノス軍が日本の津軽海峡を封鎖するために設置したもの。超巨大な大砲で、海峡全域をその有効射程内に収めている。ケーンたちD艦隊は、重慶へ向かうにあたり、ここを通過せねばならなかったため破壊工作に向かった。別名、対艦アームストロング砲。(第22話)



たっぴみさききちしれいかん【竜飛岬基地司令官】巨砲でもって津軽海峡を封鎖しているギガノス軍竜飛岬基地の最高責任者のこと。司令室で部下にあれこれ命令しているうちに、ケーンたちの攻撃で基地を破壊されてしまった。(22話)

タップ・オセアノ【TAP OSEANO】アストロノーツアカデミーの生徒。ニューヨークに両親と妹がおり、仕送りをしているという顔に似合わず、けなげなところもある。かといってまじめなタイプかというとそうでもなく、ケーンに負けず劣らず、軽い。いわゆる「気は優しくて力持ち」キャラなのだが、このライトさや、音楽ずきな点など、やはり時代を感じさせる。ローズにチェックを入れている。(CV=大塚芳忠)

ダニー【DANY】マーチン家の次男坊で8歳。「一体3人のどいつがダニーなんじゃ?」というビギナー・ドラグナー・ファンのキミは、ソバカスがある子、と覚えておけばよろしい。

ダミー【DUMMY】ドラグナー輸送作戦に使用された、D兵器のハリボテ。外観はよくつくってあったが、本来あるべき核融合炉の熱反応に似せたものを組み込んでいなかったため、ギガノスの偵察衛星によって、いとも簡単に正体がばれてしまった。この程度のことも考慮しないとは、連合軍も情けないとしかいいようがない。(19話)

ダン・クリューガー【DAN KRUGER】マイヨの配下であるプラクティーズの一員。年齢、階級とも他の2人と同じ19歳で准尉。本人は気を悪くするかもしれないが、実は15話で自分の汚名を返上しようとして戦死するという噂もあった。そうすればとりあえず視聴者の記憶には残るであろうし、ウェルナー、カールに水を開けることができたのに、と思うと残念でならない(とまでいうとさすがに怒るか……)。何しろ美形なのだから、運がよければアニメ雑誌で特集されたり、ファンが増えたりしたかもしれないのに……。(CV=柏倉つとむ)

チェホフ【CHEPHOV】ケーンたちがEC実験ステーションで出会った、ギガノスの軍人。かつての戦いにおいて、上官に責任をなすりつけられた過去をもっている。そのため現在は逃亡中の身であった。船の修理のためにステーションに立ち寄ったのだが、そこでケーンたち一行と遭遇したわけだ。最初はドラグナーを奪って、自分を陥れた上官を見返してやろうとするが、ケーンたちと戦ううちにしだいに彼らと意気投合し、戦士の心得を教え込んだりもした。しかし、ステーションにやってきたマイヨやプラクティーズと、ドラグナー奪回の功をめぐって対立し、あげくのはてには、ギルトールへの反逆罪をでっち上げられて射殺されてしまった。彼の死はケーンたちの怒りに火をつけ、たたき込まれた心得によってプラクティーズを撃退する。

チェホフのきょうくん【チェホフの教訓】チェホフ直伝「生き残る兵士はここが違う」全5項目 其の1「無駄玉は撃たないより始末に悪い。自分の居場所を相手に教えるようなものだ」 其の2「怖さは恥ではない。それがあるから身体が戦闘体勢を整えてくれるのだ。恐れを知らんのは単なるバカだ」 其の3「相手がいつまでも同じ場所にいると思うな。相手の動きを読んで先手を打つのだ」 其の4「周囲の状況を知り、利用できるものはなんでも利用せよ」 其の5「そして何より……生き残ることを考えるのがよい兵士だ!!」 チェホフは、兵士としての体験のなかで育んできた以上のことをケーンたちに教え込んだ。「あしたのジョー」で段平おっさんがジョーに授けた「あしたのためのそのいちっつ!!」を彷彿させる、なかなか盛り上がるエピソードであった。まるでジョーが力石に放ったジャブのように、たちまちこの教えは効果を表わし、プラクティーズとの戦闘に生かされることになった。しかし、それがいわばチェホフのとむらい合戦であったのはなんとも皮肉な事実であるとしかいいようがない。チェホフとわずかの間ではあるが、ともに過ごしたことによって、ケーンたちはひとまわり大きく成長したようである。なお、近日チェホフの教訓は「そして……生き残った」というタイトルで出版される予定……は、まったくない。



チェホフのゆそうかん【チェホフの輸送艦】彼の逃亡生活の足として使用されていた艦。プラクティーズは、ドラグナーを奪回した後輸送に利用しようとしていたが、そんなに世の中うまくことは運ばないものである。代わりにケーンたちの足となって、彼らをギガノスの中継基地へと導いた。ギガノスの船舶に乗っていたことが、基地への潜入が成功した大きな要因になっているであろうことを考えると、チェホフにはもっと感謝すべきである。また、中継基地を爆破するのに使用したのもこの艦に積んであった爆弾である。まあ、なんで基地をふっ飛ばせるほどの爆弾を積んでいたのかは今イチ謎ではあるが……。

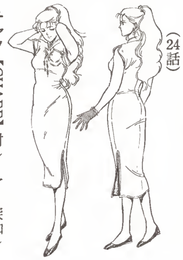
チェリーブロッサム【CHERRY BLOSSOM】ケーンとマイヨの会談を提案してきたギガノス軍諜報部と連合軍の間で交わされていた会話中の暗号。連合軍のことを指している。松田聖子の歌ではない。（23話～）

ちきゅうきどうじょううちゅうようさい【地球軌道上宇宙要塞】地球の軌道上に位置するギガノス軍の移動要塞。月面の本国、宇宙中継基地に次ぐ、ギガノスの宇宙圏における拠点であるといえるだろう。全長3760メートルを誇り、3つの艦隊を統合している。宇宙中継基地を突破されたギガノス軍は、アイダホの大気圏突入を何がなんでも阻止すべく、この基地を最後の砦として攻撃を仕掛けていた。アイダホはこれを相手に、連合軍の援軍なしに戦わなくてはならなかった。

ちきゅうれんごうぐん【地球連合軍】地球上の多数の国家が参加して設立された地球連合に所属する軍隊。ロッキー山脈の麓、ノーラッドに総司令部をもつ（しかし南北アメリカはギガノス軍の侵攻がすすんでいた）。西暦2084年、月面の都市ギガノスが地球連合政府からの独立を宣言、宣戦を布告してきたことから、交戦状態に陥る。しかし、月面開発のために発展した人型機動兵器、メタル・アーマーの投入、宇宙空間における物資運搬用に設置されたマスドライバーを使った質量爆弾攻撃、月の豊富な資源に支えられたギガノスに対して、旧態然たる兵器と戦略しかもたない連合軍は劣勢を強いられている。その現状を打ち砕くための起爆剤となるのがドラグナーである。さすがに海軍戦力などはギガノス軍を上回るようだが、現段階ではいかんせん抵抗を続けるのがやっとという状態である。しかし、物語後半に突入すると、メタル・アーマーの大量生産などにより、勢力を盛り返していくようだ。

ちきゅうれんごうぐんせんじゅつうちゅうせんとうぐんだん【地球連合軍戦術宇宙戦闘軍団】連合軍宇宙艦隊の正式名称。しかし、26話現在では、ほぼ完全な壊滅状態であり、名前だけの存在となってしまっている。

チャイナドレス【CHINA DRESS】プラート博士がリンダと再会するときの手みやげにしようとして、上海の眠眠服飾装苑にて買ったもの。彼は長年リンダと会っていなかったため、昔の妻のスリーサイズと同じサイズのものを買い求めていた。彼女にピッタリでよかったよかった。（24話）



チャフ【CHAFF】対レーダー探知システム用の二次兵器。アルミはくなどの電波攪乱物質の細片を散布することによって敵のレーダーや電波式のアクティブ・ホーミング・ミサイルの目を一時的にではあるが使用不能の状態にさせる効力をもつ。ドラグナーの世界ではガンダムワールドにおけるミノフスキー粒子のような物質はないため、戦場ではかなりの有効性を示すと思われる。しかし、それにもかかわらず、一度もまともに使用されたことがないのはなぜであろうか。

ちゅうかまんじゅう【中華まんじゅう】いつの時代になっても、食べ物はあまり変化しないようである。リンダとプラート博士の好物。時に博士は、いつもこれをムシャムシャやっていた。ほんとうは小包子（シャオパオズ）と言うんだよ！（25話～26話）

ちょうこがたかくゆうごうエンジン【超小型核融合エンジン】メタル・アーマーはこれを動力源とすることで、膨大なパワーを有することが可能となった。というよりも、メタル・アーマーのために開発されたというほうが正確なのかもしれない。それまでのメタル・ワーカーは核電池による走行システムと、化学燃料によるバーニアスラスターによって移動手段を得ていたわけで、兵器として使用するためには能力不足はいなめず、ギガノス科学陣が総力を挙げてつくり出したのである。ただ、このエンジンは燃料の補給は少なくてすむものの、運用に当たっては常時アイドリング・パワーを維持していなければならず、一度メンテナンスに入ってしまうと再びスタンバイさせるためには多大な時間を必要とすること、また破壊されたときには放射能汚染された遮蔽物質が巻き散らされてしまうことなどの欠点がある。しかし、それでも、その強力なパワー源としての魅力は軍人にとって捨てがたく、汚染のことなどまるで考慮されていない。それは連合軍とて、同じである。

ちょうしょく【朝食】チェホフと一時休戦をしたケーンたち3人が彼にお世話になったもの。ベーコン、目玉焼き、コーヒー、パンなどを急ごしらえのバーナーと鉄板で調理していた。合成タンパクによる宇宙食が嫌いなチェホフが、みずからクーラーバッグに入れて持ってきていたのである。ケーンたちにとっても久方ぶりのまともな食事だったのだが、ほとんど食べないうちに、やってきたプラクティーズ隊によって踏みつけられてしまった。（7話）



ディスク【DISK】ディスケットのこと。ここではドラグナーのデータディスクをさす。当然光ディスクであろうが、磁気ディスクだったりするとコワイ。ケーン、タップ、ライトの3人は街なかでスパイから偶然入手する。その後、ギガノス軍のオートバイ部隊に追い込まれた彼らはドラグナーに乗り込み、パイロットとして登録されてしまう。パイロットが一度登録されてしまうと他の人間の操縦はドラグナーから拒否されてしまうため、ケーンたちはパイロットとして戦わざるを得なくなってしまった。その後地球で彼らの登録を解除しようとするが、ギガノスの攻撃によって登録装置の解除プログラムはオシャカになってしまった。ケーンたちには気の毒だが、主人公クラスの人間がやたらとメカを乗り換えたり、他の人間が主役メカに乗ったりするのはドラマの盛り上がりに水を差しかねないため、このパイロット登録システムはなかなかスグレ物である。

ディスク・レコーダー【DISK RECORDER】ビル・ブライアンに、上官のホルツ少尉がすべて話してしまっていることを納得させる手段として会話の録音を聞かせたときに、ケーンたちが使用した。なぜかタップのコンパクトCDではなかった。きっと彼のは再生専用なのであろう。しかし、これは早く製品化してほしい。私もほしい。（16話）

ていてつ【蹄鉄】しめなわと同じく、グン・ジェムが着けているもの。やはり縁起をかついでいるためのようである。（25話～）

Dへいき【D-WEAPON】ギガノスの最新兵器であるメタル・アーマー、ドラグナーのこと。D-1～D-3およびその補給物資、そしてD-1用のバックアップシステムであるキャバリアーで構成されている。装甲や武装は異なるが、基本的構造は3機とも同じである。後に、クラフトユニットをはじめとする各種オプションが連合軍によって製作される。また、この3機を参考にした連合軍初のメタル・アーマー（量産型ドラグナー）や、カスタムタイプドラグナーも製作される。

てりゅうだん【手榴弾】本来歩兵が使うものだが、メタル・アーマーにも同様の武器が存在する。ドラグナー1の場合、両肩にそれぞれ1個ずつマウントされている。敵のメタル・アーマーが密集形態を取っていると きなど、1発で3～4機に同時に大きなダメージを与えることができる。ライトが知っていたのに、かんじんのパイロットのケーンはドラグナー1に手榴弾があることすら知らなかった。まったく困ったものである。名称はショルダー・ボム。

でんしロック【電子ロック】ケーンたちは、無断で重要機密であるドラグナーを動かしたために、アイダホの中で監禁される。アルカードが敵の攻撃を受けたことを知り、彼らは脱出を試みるのだが、そのときタップが安全ピンで開けようとしたのが電子ロックである。3人は無事脱出してドラグナーに乗り込むことができたのだが、ロックを解除したのは実はリンダだった。おいおい、いくらメカに強いからって、安全ピンで電子ロックが開くかって!!

とういつていこくギガノス【統一帝国ギガノス】ギガノスの正式名称。別に怪しい宗教団体のことではない。もっともかなり怪しい連中の集まりではある。

どうりょくセンター【動力センター】基地などの動力供給を一手に負っている設備。ドラグナーの時代においては、すでに核融合炉、それも超コンパクトなものが開発されているため、一度稼動させると、ほとんど10年単位のオーダーで無補給で活動できるようになっている。ノーラッドへ潜入したマイヨとダンは、ここを3番目の爆破目標としていたが失敗してしまった。（17話）

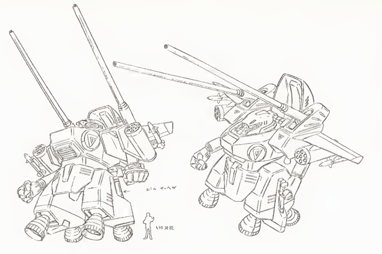
とくべつてあて【特別手当】ドラグナーのパイロットにならざるを得なくなったケーンたちに与えられるという。のではあるが、一度も実際に出たためしはないような気がする。ケーニーいわく「軍は嘘をつかん！」ということなのだが……。

どさまぎ【どさまぎ】最初に「どさまぎ」というセリフを聞いたときはいったいなんのことだろう？　と思ったが、タップいわく「どさくさにまぎれて」のことだそうである。わざ

わざセリフで説明してくれてはいるのだが、単にそれだけの話で、落ちていない。自分でふっといて、自分で落ちを説明すんじゃねえっての！

ドナウがたしえんくうぼ【ドナウ型支援空母】アイダホの護衛艦隊を構成する戦艦の一タイプ。具体的な艦名は不明だった。ちなみにもう一方の護衛艦のタイプはアマゾン型という。地球連合軍では、空母のタイプ名に、河川の名称をつけるのが習慣になっているらしい。するとやはり、石神井川タイプ空母とか、荒川放水路タイプ空母なんかも存在するのだろうか……。

ドーラ【DOLLA】ギガノス軍の大気圏内用メタル・アーマー。ゲルファーやガンツァーと合体して使用される。それというのも、脚をもっていないために空中でしか使用できず、さらに、ペイロードが少なく長時間の飛行ができないので局地戦専用となっているからである。しかし逆にいえば、空中と地・海上の二面攻撃を可能とするので、便利といえば便利ではある。(14話〜)



ドラウ【DREU】ギガノス軍が開発したメタル・アーマーのなかでも最も初期の型である。専用の武装やシールドはもっていない。また、まだ頭部は本体から完全に独立したユニットにはなっておらず、人型になる過渡期の機体であるといえる。

どらぐな【怒羅愚那】ドラグナーの中国語のあて字。たしかにもっともらしい雰囲気は出ているといえる。無事に中国へ到着したケーンたちを歓迎する横断幕などに書かれていた。ちなみに現在、香港で発売されているアニメ誌「A-CLUB」での「機甲戦記ドラグナー」は「機甲戰記威龍」と表記されていた。こりゃ、カッコエエ！(25話〜26話)

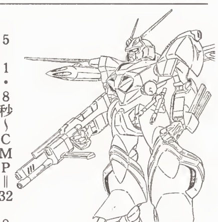
ドラグナーしゅうのうコンテナ【ドラグナー収納コンテナ】ドラグナーを1機ずつと武器・補給品一式を納めていたコンテナ。簡単な整備くらいなら内部でできそうである。ちなみにアイダホを大気圏突入させるときには、直前まで艦外で作業していた人々を内部に入れて、単独で突入するという離れ業をやってのけていた。(1話〜)

ドラグナー1【DRAGONAR-1】ケーン・ワカバが搭乗する最新鋭のメタル・アーマー。ギガノス製である。それまでのメタル・アーマーとは一線を画す性能をもっている。主な武器はレールガン、レーザーソード、そして肩部ユニットにマウントされた手榴弾である。また、接近戦用にアザルトナイフをもつ。接近戦用のD-1、後方支援用のD-2、電子戦用のD-3、さらにD-1に他の2機の性能を兼ね備えさせるためのキャバリアーを用途に応じて運用することにより、さまざまな状況に応じた作戦行動を取ることができる。開発コードナンバーXD-01。頭頂高／17・6メートル、動力／EPW-2D型超小型核融合炉×2、出力／21万ポンド(ドライ)33・8万ポンド(CMP)、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／37秒(MAX)【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP=37 14秒】CMP→最大戦闘出力維持、重量／運行自重61・5トン、最大発進重量91・6トン、出力・重量比／1・146(ドライ)1・834(CMP)、探知装置／イメージセンサーTAS1型、装甲／マルチプルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX205ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装／75ミリハンドレールガンLPS9型(発射速度1800発／分、携行弾数は作戦に応じて変更、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、マルチディスチャージャー(LPS9型プラズマグレネード×2発、銃身下部に取り付けた装置。スモーク、チャフ、フレアーなども発射可能)、白兵戦用レーザーソード、アザルトナイフ、ハイブリッドシールド、対MA用手榴弾ほか

D-1用フライトユニット(リフター1)諸元。識別コードナンバー／XDFU-01、全幅／25・6メートル、動力伝達システム／DFGS-AFN、出力／21万ポンド(ドライ)33・6万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時15万ポンドをプラス、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×4、基本重量／19・7トン、搭載兵装——5連デュアルミサイルポッド×2、ハードポイント×2(ペイロード総量13・2トン)

ドラグナー1カスタムタイプ【DRAGONAR-1 CUSTOM TYPE】量産型のドラグーンよりも性能が劣ってしまい、ギガノスの新型メタル・アーマーと対抗できなくなりはじめたドラグナーを、新たに改造して武装などを強化したもの。基本的に白兵戦タイプであることには変わりないが、レールガンやレーザーソード、推進システムなどは数十%のパワーアップをしており、向かうところ敵なしの強さを誇るようになった。具体的な改造点としては、レールガンの冷却システムをパワーアップさせ、飛距離・破壊力ともに増したことやレーザーソードを左腰に2本装備させたこと、さらに機体とバインダーの装甲を厚くし、防御力の向上を計ったなどが挙げられる。しかし、やはりドラグナーの活躍すべき場所は地上ではなく、増設されたバーニアや小型融合炉の性能向上などの成果が出るのは、連合軍が再び宇宙へ戦力を展開させたときになるだろうことは十分に予想される。改造は中国の重慶基地で、ドラグナー自身の設計者であるラング・プラート博士の指揮によって行なわれた。(25話〜)

開発コードナンバー／XD-01SR、頭頂高／17・6メートル、動力／FPW-4M型超小型核融合炉×2、出力／24万ポンド(ドライ)39・5万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時9・5万ポンドをプラス、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×16、最大速度マッハ0・98／SL(海面高度)マッハ1・64(3万2000フィート)、航続距離2460ノーチカルマイル(4556キロメートル)、CMP時間／32秒(MAX)【回復時間CMP≦5 1・8秒〜CMP=32 8秒】重量／運行自重72・2トン、最大発進重量121・6トン、出力／重量比／0・987(ドライ)2・015(CMP+A／B)、探知装置／イメージセンサーTAS15型、重力場感知システムWG3S型、装甲／トリプルハードニス型(ヘビーコーティング、装甲厚／MAX155ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装——55・6ミリハンドレールガンLPS32型(発射速度2200発／分、携行弾数1600発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、マルチディスチャージャー(携行弾数5発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾)、6連デュアルミサイルポッド×2、白兵戦用レーザーソード×2、白兵戦用アザルトナイフ×2、スーパーハイブリッドシールド、対メタル・アーマー用手榴弾、スローインボム、2連25ミリ機関砲×2(1500発／分、携行弾数800発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、ハードポイント×2(ペイロード総量18トン)



ドラグナー3【DRAGONAR-3】電子戦用のメタル・アーマーで、巨大なレドームが特徴。頭部と胸部にはレーダーと各種センサーを搭載している。武装や装甲は比較的軽い。ライト・ニューマンが搭乗する。開発コードナンバーXD-03。頭頂高／18・2メートル、動力／FPW-2F型、超小型核融合炉×2、出力／19・2万ポンド(ドライ)30・0万ポンド(CMP)、メーンノズル×4、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／12秒(MAX)【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP=12 9秒】重量／運行自重44・5トン、最大発進重量82・3トン(重量増加分のほとんどがプロペラント剤)、出力・重量比／1・166(ドライ)2・186(CMP)、探知装置／重力場感知システムWG11S型、イメージセンサーTAS3SR型、装甲／マルチプルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX112ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装／50ミリハンドレールガンLPS3型(発射速度2400発／分、携行弾数320発)

D-3用フライトユニット(リフター3)諸元。識別コードナンバー／XDFU-03、全幅／25・6メートル、動力伝達システム／DFGS-AFN、出力／19・2万ポンド(ドライ)36万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時8・2万ポンドをプラス、メーンノズル×3、姿勢制御ノズル×2、基本重量／17・2トン、最大速度／マッハ0・95／SL(海面高度)マッハ1・31(3万6000フィート)、航続距離2700ノーチカルマイル(5001キロメートル)、搭載兵装——デュアルミサイル or 対レーダーミサイル×2、ハードポイント×2(ペイロード総量8・7トン)

ドラグナー2【DRAGONAR-2】長距離支援用のメタル・アーマー。背部に280ミリレールキャノンと2連装自動砲を装備しており火力は極めて大きいが、その分動きは制限される。開発コードナンバーXD-02。頭頂高／16・8メートル、動力／FPW-4D型・超小型核融合炉×2、出力／28・8万ポンド(ドライ)43・2万ポンド(CMP)、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／57秒(MAX)【回復時間CMP≦5 5秒〜CMP=57 29秒】重量／運行自重110・2トン、最大発進重量172・9トン、出力・重力比／0・833(ドライ)1・249(CMP)、探知装置／重力場感知システムWG9、イメージセンサーTAS3型、装甲／マルチフルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX450ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装——88ミリハンドレールガン、LPS7型(発射速度1300発／分、携行弾数540発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、マルチディスチャージャー、LPS7型プラズマグレネード×2発、280ミリレールキャノン×2(発射速度20発毎分、携行弾数120発)、75ミリ2連装自動砲×2(発射速度130発／分、携行弾数40発)、2連25ミリ機関砲×2(発射速度1500発／分)

D-2用フライトユニット(リフター2)諸元。識別コードナンバー／XDFU-02、全幅／30・2メートル、動力伝達システム／DFGS-AWN、出力／28・8万ポンド(ドライ)43・2万ポンド(CMP)、アフターバーナー

使用時8・6万トンをプラス、メーンノズル（PW-F403型ターボファン）×2、基本重量／27・3トン、最大速度／マッハ0・94／SL（海面高度）マッハ1・08（1万6000フィート）、航続距離／5700ノーチカマイル（1万0557キロメートル）、搭載兵装——10連デュアルミサイルポッド×2、ハードポイント×2（ペイロード総量16・7トン）

ドラグナー2カスタムタイプ【DRAGONAR-2 CUSTOM TYPE】ドラグナー1といっしょに、中国の重慶で改造された。主な変更点は、ジェネレータの性能アップ、肩の大型レールキャノンの冷却システムの向上による破壊力、連射能力のアップ（これがため砲身の外観が太くなった）、および照準システムの改良などである。なお、両肩にあったバルカン砲は、今までのクラフトユニットを装着すると使用が不可能になってしまっていたために、背部に1門のみの装備となった。（25話～）

開発コードナンバー／XD-02SR、頭頂高／16・8メートル、動力／FPW-4DM型超小型核融合炉×2、出力／32・4万ポンド（ドライ）42・9万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時12万ポンドをプラス、メーンノズル×8、姿勢制御ノズル×14、最大速度マッハ0・90／SL（海面高度）マッハ1・32（3万2000フィート）、航続距離／5850ノーチカマイル（1万0836キロメートル）、CMP時間／52秒（MAX）【回復時間CMP≦5 2秒～CMP=52 26秒】重量／運行自重132・5トン、最大発進重量189・9トン、出力・重量比／0・853（ドライ）1・445（CMP+A／B）、探知装置／イメージセンサーTAS12型、重力場感知システムWG9型、装甲／トリプルハードニス型ヘビーコーティング、装甲厚／MAX475ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装——640ミリレールキャノンBM06型（発射速度180発／分、携行弾数240発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾）、88ミリハンドレールガンLPS33型（発射速度1450発／分、携行弾数660発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー（携行弾数3発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾）、75ミリ2連装自動砲（発射速度130発／分、携行弾数260発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、10連デュアルミサイルポッド×2、2連ヘビーデュアルミサイル、白兵戦用アザルトナイフ×2、2連25ミリ機関砲×2（発射速度1500発／分、携行弾数800発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、ハードポイント×2（ペイロード総量27トン）

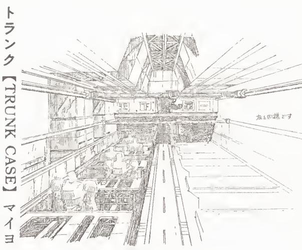


ドラグナーゆそうオペレーション【ドラグナー輸送オペレーション】北米大陸内部にあるノーラッドから、太平洋岸のバンクーバーまで、D兵器3体を陸路で輸送するために行なわれた作戦。本隊のほかにドラグナーのハリボテを輸送するダミー部隊が2隊、別行動をとり、ギガノスの目をごまかし、同時にギガノス空挺部隊をせん滅しようと考えて試みられたものであった。しかし、マイヨとパウエルによって本隊を見破られてしまい、逆に奇襲をかけられてしまったが、ドラグナーに新たに装備されたフライトユニットを使用した連係プレイによって、ケーンたちはなんとかピンチを脱した。（19話）

ドラッグ・シュート【DRAG SHUTE】連合軍が広く使用している戦闘機はSTOLタイプではあるが、やはりかなり長めの滑走路を必要とせねばならないため、メタル・アーマーと比較すると多分に軍用性が低い。ましてや制空権はほとんどギガノス軍に握られているわけで、滑走路に着陸できない場合も考慮しなければならない。これらの欠点を少しでも補おうと、連合軍の戦闘機のほとんどには着陸時用のドラッグ・シュートが装備されているのである。まァ気休めといえなくもないのではあるが……。

ドラグーン【DRAGOON】⇩量産型ドラグナー。竜騎兵の意。

ドラグーンせいぞうこうじょう【ドラグーン製造工場】中国の重慶基地にある、連合軍のメタル・アーマー量産工場。総指揮をラング・プラート博士がとり、ドラグーンの生産やドラグナーのパワーアップなどを行なった。26話の時点では、連合軍にとって唯一の量産工場である。（26話～）



トランク【TRUNK CASE】マイヨとダンが変装してノーラッド基地に潜入したときに携帯していたもの。二重底で下に多量の時限爆弾を隠してあるうえに、超小型センサーや情報端末用のコンピュータとしても使えるデラックスなもの。きっとほかにも催涙ガスが噴き出したり、絞殺用ワイヤーやナイフ、50枚の金貨も仕込まれているに違いない。ギガノスも妙なところに凝っているものである。（17話）

どんがめのまごども【鈍亀の孫ども】ギガノス軍が地球軍の戦闘用ポッドのことをあざ笑って呼んでいたことば。機動性に優れたメタル・アーマーのパイロットからみれば戦闘用ポッドなど、トロくてしかたがないのであろう。よく言ったものだ。（4話～）

な ナ

「な」は「奈」の草体
「ナ」は「奈」の最初の二画

なんぶせんせん【南部戦線】左遷されたマイヨの、次なる戦地。南太平洋に広く拡大してしまった戦線のこと。両軍首脳部とも、あまり重要な地域とは考えておらず、そのため戦闘回数・規模ともに小競りあい程度のものしか行なわれていない。つまり、それだけ昇進の見込みもない、ということであり、マイヨと彼のファルゲンにとっては、屈辱的な場所なのである。（19話～）

なんみんしゅうようじょ【難民収容所】マスドライバーによる攻撃などで大打撃を受けた地球各所に設けられている、一般市民の一時収容施設。アイダホの地球降下後、ケーンたちと別れたリンダやローズたちは、ノルウェー基地近辺のこれにとどまっていた。

にじゅうごメガのシーターは【25メガのシーター波】アイダホの大気圏突入時に、3つの輸送用タンクのうち2つをダミーにし、ひとつに難民を乗せたコンテナを入れておき、これを切り離して突入させようとした。この作戦はうまくいったかのように思えたが、タンクの外装が配線が切れて外れなくなってしまった。そこでドラグナー3から25メガのシーター波を出して爆発ボルトを作動させた。

にひゃくまんドル【200万ドル】中国の重慶基地まで、無事にドラグナーを運んできたケーンたち3人に与えられるはずだった報奨金の額。もちろんUSドルである。現代から100年後ということで、物価もだいぶ異なるであろうが、極端な無駄遣いをしなければ一年食える金額である。除隊するつもりだったタップは、ケーンとライトからもこの金を借りてショービジネスを始めたがっていたが、結局パイロットとして軍に残ることになったため、オシャカになってしまった。（24話）

にゅうこくかんりセクション【入国管理セクション】一般的に国境などを出入国する者や物資のチェックを行なうところ。本編ではコロニー・アルカードのセクションが登場した。アルカードは一応、中立の立場をとっていたため、領空内での戦闘行偽の監視などもすべてここで行なっていた。しかしギガノスの戦闘攻撃兵器に対抗するだけの設備自体がアルカードにはないため、現実的にはなにもできないに等しかった。本来はコロニーにおけるこの管理セクションの役割は、検疫などが主任務であるのだから、やむを得ないといえよう。ケーンの母、アオイ・ワカバはここの管理官のひとりであり、アイダホを追撃してきたクラビウスが接近してきたとき、丁度勤務についていた。（1話）

にんかんとくれいほうひゃくにじょう【任官特例法102条】ケーンたちに適用された「軍人の臨時採用」法。ものすごく乱暴ないい方をしてしまえば、召集令状のようなものだろうか。ドラグナーのパイロットとして登録されたケーンたちを、最高機密に触れてしまったものとして、また、貴重な戦力であるドラグナーを稼動できる人物として、軍としてはただの民間人としては扱えなくなったわけだ。これによって彼らは、地球連合軍戦術宇宙軍の指揮下に入り、第3方面軍第2部隊3等空士という階級を得た。彼らの軍役は、ドラグナーのパイロット登録装置が解除されるまで続くことになる。当初は地球に降りしだいで退役できる予定であったが、マスドライバーの攻撃により解除機構がおシャカになってしまい、結局彼らは連合軍総司令部があるノーラッドまで軍人として務めることになる。しかし、ケーンたちはパイロットとしての登録が解除された後も、戦いの意義を知り、みずからの意思によって参戦していく。

にんしきカード【認識カード】連合軍情報部員であったダイアンが、自分の身分を明かすときに取り出した。軍のコンピュータ端末を操作するときにも使用している。（17話）

にんしきばんごう【認識番号】ドラグナーのパイロットを固定登録するためのもの。ケーンは単純明快に123456 7にした。タップはキャッシュカードのナンバーを入力したそうである。

ネイビー・タイムス【NAVY TIMES】アイランド艦内の床屋に置いてあった軍の広報雑誌。ケーンたちはそのなかのギガノス軍の写真にビル・ブライアンを見つけた。（16話）

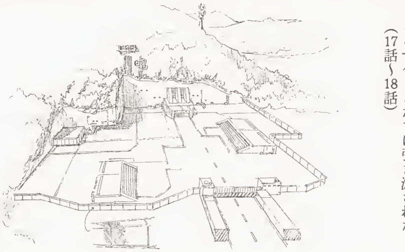
ねつはんのう【熱反応】いわずとしれた輻射熱を主とした温度変化反応。ギガノスの偵察衛星は、これを探知するための赤外線スキャナーも搭載しており、そのためにダミーのドラグナー輸送部隊は正体を見破られたりした。（19話）

ネルソンがわ【ネルソン河】北米大陸内部にあるノーラッドへ向かったアクアポリスをはじめとするD艦隊が通過した河。連合軍の拠点であるノ

ーラッドを潰すために、たび重なるマスドライバーの爆撃を受けており、流れも現在とはまるで変わってしまった。(16話)

ノーバンしょうい【ノーバン少尉】 重巡洋艦アマゾンの将校。5話での戦いにおける指揮官を務める。

ノーラッド【NORAD】 北米防空司令部のこと。北米のシャイアン山の地下深くにある。対宇宙監視用に建設されたものであり、現代ではアメリカ軍がICBMおよび衛星の早期警戒に使用しているが、ドラグナー世界(2087年)ではその機能を生かして地球連合軍の総司令部とされた。ケーンたちD艦隊はスカンジナビアの基地が破壊された後、ここへ向かいパイロットの登録解除を行なおうとした。数少ない連合軍の宇宙監視基地のため、守りは非常に堅い。ドラグナー用のクラフトユニットもここでケーンたちに引き渡された。(17話~18話)



ノーラッド内せいびこうじょう【ノーラッド内整備工場】 中国の重慶とまではいかないが、かなりの能力をもっており、ドラグナー用のクラフトユニットはここで生産された。ライン が完成すれば、かなりの量産型ドラグナーが生産されることになろう。(17話)

は ハ

「は」は「波」の草体
「ハ」は「八」の変体

バイク・メタル・アーマー【BIKE METAL ARMOR】 ギガノス軍が有重力下で使用している、局地戦および地域制圧用の可変・分離可能なメタル・アーマー。名称のとおり巨大なオートバイの形状をしている。上部と下部に分離でき、上部のみ単体で短時間の飛行をする。今のところこのタイプのものはガンドーラ1種類である。(14話~)

パイロットスーツ【PILOT SUIT】 メタル・アーマーや戦闘ポッドなどの操縦者が使用している宇宙服。耐Gスーツを兼ねているため、大気圏内戦闘においても有効なスーツである。性能的には連合軍のものも、ギガノス軍のものも大差はない。(1話~)

パイロットとうろくそうち【パイロット登録装置】 機密の保持と機体の強奪、悪用などを防ぐための、パイロットを特定の人間に限定する機能。メーンコンピュータに認識番号と氏名、声紋を登録すればOK。ただし、一度登録してしまうと、そのプロテクトは堅く、解除するのは極めて困難である。おそらく、よほど大容量のコンピュータ施設のある基地にでも行かないとそれは不可能であろう。地球上の地球連合軍のうちでそれができるのは、北欧司令部、ノーラッドの総司令部、重慶基地くらいしかない。ところで、ロボットのパイロットメモリー機構といえば、真っ先に思い出すのはジャイアントロボのそれであろう。ジャイアントロボは、電子頭脳(!!)に最初に声を吹き込んだものの命令にしか従わないように設計されていた。もうひとつ、こっちはちとマイナーだがレッドバロン。このロボットは、最初に操縦桿を握った者の指紋を記憶し、それ以外の人間が動かそうとしてもウンともスンともいわない。しかし、極めつけはグレンダイザーで、デュークフリード以外の人間がある一定範囲よりも近づくと自動排除してしまうのだ。逆に、実に賢いロボットとしては大鉄人17が存在する。17は、南三郎少年のいうことしか聞かない(三郎のかぶっているヘルメットで、意思を伝え合うことができる)が、それは17が彼を信じるに足る人間だと「判断」し、「信頼」しているからである。従って三郎少年のことばにすら従わない場合がままある。それは17自身になんらかの考えがあるからなのである。いわば、究極の自己判断能力(もはやこれは「人格」とすらいっていい)をもったロボットである。

ハウゼンかんちょう【ハウゼン艦長】 巡洋艦フンボルトの艦長。お話の冒頭に出てきたというだけで、その後何の活躍もしなかったが、とりあえず視聴者に名前を覚えてもらえた。「ガンダム」におけるジーンやデニムのような存在であろう。

パーキンス【PERKINCE】 ギルトール親衛隊の隊長。かなり権威をかさにきるタイプで、典型的なイヤラシ中間管理職。こういう奴は必ずといっていいほど、ドラマのなかで悲惨な死に方をするものである。マイヨとは折り合いが悪いのだが、それもうなずける。

バージニア【VIRGINIA】 アイダホの護衛艦隊を構成するアマゾン型戦闘空母。アイダホ、ミンダナオ、そしてこのバージニアと、地球連合軍では艦の名前に地名をつけるならわしがあるらしい。

パジャマ【PYJAMAS】 急性肺炎で倒れたローズが着ていた。実は21話の絵コンテ時で彼女が着ていたネグリジェに比べると、ずっとおとなしいデザインであった。あたりまえか…。なお、色はピンク。(11話)

はちまき【ハチマキ】 2話でケーンが出撃するときにしていた白いハチマキ。ケーンがおでこを負傷して出血したため日の丸ハチマキになってしまった。アノ予告編を見て、アブネー番組だと思った人もいたとか……。

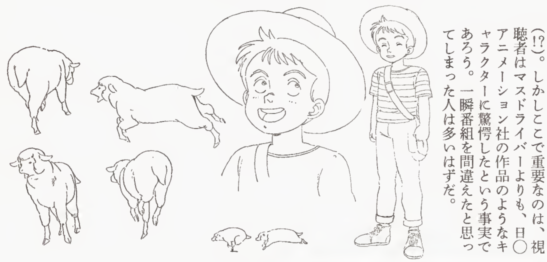
バーボン【BOURBON】 パウエル司令官の好物。数年ぶりに教え子であるマイヨがやってきたときには再会を祝って〃とびっきり〃のものを引っぱり出していた。とはいっても最前線のこと、ジャック=ダニエルとまでは望むべくもないであろう。(17話)

バルカン・ファランクス【VULCAN FALANCS】 空母アクアポリスの各所に装備されている対空砲座。リモート・コントロール・タイプで、直接内部に人間は入っていない。給弾は上部のハッチより行なう。単装。(13話~)

ハル・コールマン【HALL CALLMAN】 連合軍の第3陸上戦域軍63 3航空軍団に所属する。階級は中尉。マイヨといっしょにノーラッドへ潜入するときにダンが用いていた名前である。やはり本物は捕虜となって収容所にでも送られてしまっていると思われる。(17話)

Bへいき【B兵器】 一部マニアの間で恐れ崇拝されている究極のロボット兵器。正式名称バリグナー。要するに大張版ドラグナーのこと。オープニングフィルムにのみ登場している。

ひつじかいのしょうねん【羊飼いの少年】 「ドラグナー」冒頭の説明のシーンで、マスドライバーの直撃を人類史上初めて受けたうらやましい人(!?)。しかしここで重要なのは、視聴者はマスドライバーよりも、日◯アニメーション社の作品のようなキャラクターに驚愕したという事実であろう。一瞬番組を間違えたと思ってしまった人は多いはずだ。



ひなんみんのしょうじょ【避難民の少女】 全壊した連合軍北欧司令部の近くに住んでいた少女。離れ離れになってしまった母親を捜して、ひとりで歩いていた。カワイイ。7~8歳ぐらい。(14話)



ビール【BEER】 チェホフとの戦いにおいて、ケーンたちが使用した武器(!?)。無重力ブロックに浮かんでいた缶ビールを見つけたケーンは、リングプルを抜いてチェホフに浴びせかけ、目潰しに使った。続けて、段ボールの箱ごと投げつけたのはちょっとあんまりじゃないかという気もする。さしもの歴戦の勇者チェホフもビールには手痛い打撃を受けてしまった。



ビル・ブライアン【BILL BRIAN】 ケーンたち3人とはアストロノーツアカデミー時代に親友であった。秀才タイプで一見、気が弱そうである。ひと足早く地球上の実家へ帰ってきていたが、その3日目に付近一帯をギガノスに占領されてしまい、家族と自分の生命を守るために徴兵に応じ、ギガノス軍偵察部隊通信班に属していた。しかし、偶然からD艦隊に捕まりケーンたちと再会する。旧交をあたためながらも、素直に質疑に応じれば解放されるようにする、と言うケーンのことばに、戦争はそんなに甘くはない、と語って拒否して脱走するビル。だがマイヨの罠によってケーンのD-1がピンチとな

ったとき、彼は思わずランチャーでファルゲンを撃つ。だが、友を救うためとはいえ、自軍を撃ってしまったことに呆然となったところをマイヨによって殺されてしまう。このビルの死はケーンたちに戦争への憎しみを認識させることになった。(16話)



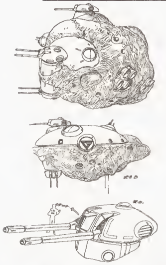
ファルゲン【FALGUEN】 マイヨ・プラート専用メタル・アーマー。マイヨがその操縦桿を握ったとき、ドラグナーをも圧倒する戦闘能力を示す。装甲はシモール A型パッシブ装甲といい、可逆性弾性金属によって装甲されている。硬質ゴムに近い金属で特にファルゲンの腰の部分には特徴が表われている(両脚の動きによって腰部の装甲が広がる)。背中には3連のマルチディスチャージャーを2基装備する。

識別コードナンバー/XFMA-09、頭頂高/19・9メートル、動力/JTF-7C型超小型核融合炉×1、出力/22万ポンド(ドライ) 35万ポンド(CMP)、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×8、CMP時間/36秒(MAX)【回復時間CMP≦5 3秒〜CMP=36 1・5秒】重量/運行自重66・1トン、最大発進重量95・6トン、出力/重量比/1・151(ドライ) 1・831(CMP)、探知装置/イメージセンサーASV2型、重量場感知システムGVS5型、装甲/シモールA型パッシング装甲、装甲厚/MAX225ミリ、乗員/パイロット1名、基本武装――75ミリハンドレールガンSSX9型(発射速度200発/分、携行弾数630発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、マルチディスチャージャー(SSX9型用プラズマグレネード×2発)、白兵戦用レーザーソード×2、3連マルチディスチャージャー×2(通常はロケット弾だが、スモーク、チャフ、フレアーなども発射可能)

ファルゲン用フライトユニット(ファルゲンマッフ)諸元。全幅/26・5メートル、動力伝達システム/DFGS-C7、出力/22万ポンド(ドライ) 35万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時13万ポンドをプラス、メーンノズル×6、基本重量/23・7トン、最大速度/マッハ0・85/SL(海面高度) マッハ0・98(9800フィート)、航続距離2680ノーチカマイル(4964キロメートル)、搭載兵装――デュアルミサイル×6、3連マルチディスチャージャー×2、ハードポイント×4(ペイロード総量18・5トン)、識別コードナンバー/MAFFU-09

フォルグ・アーマー【FORGE ARM-OR】 新型メタル・アーマー。ギガノス軍が飛行戦闘用として開発した。そのため大気圏内での作戦が主任務となる。今までのメタル・アーマーにクラフトユニットを装着させたものは、汎用性においては優れているが単価が高すぎるため、大量生産ができなかった。その点、このタイプは用途を限定したぶんだけ安価に製作できるため、かなりの機体が生産されることとなった。しかし、いかんせん能力的にはいま一歩のしろものであり、連合軍のドラグーンの性能と比較すると、総合的には劣ってしまっていた。なお、このフォルグ・アーマーには軽戦闘型のシュワルグと、重攻撃型のダウツェンがある。

ふゆうほうだい【浮遊砲台】 ギガノスの宇宙中継基地の防衛システムのひとつ。小惑星に見せかけてつくられた有人の砲台で、基地の周りを取り囲むようにして設置されている。ベースが小惑星や月から採出した資源の屑なので、極めて安価であり、かつ砲台だと見破られにくいという一石二鳥のシステムである。遠距離用、近距離用の2種類の砲を装備している。また、バーニアスラスターをもち、単独での移動も可能。小惑星をそのまま使ったようなものと、上半分を切り落としてトーチカをかぶせたようなものとの2つのタイプがある。全長は30メートル。



フライトユニット【FLIGHT UNIT】
⇩クラフトユニット

プラクティーズ【PRACTIES】 ギガノス軍の若き3人のエリートパイロット……のはずなのだが、画面を見ている限りではとてもそうは思えない。ただし、エリート意識は異常なほど強い。マイヨの部下で、ゲルフを駆る。



フレアーだん【フレアー弾】 赤外線パッシブ・ホーミング方式のミサイルをかわすために使用される、高熱発生弾。マグネシウムやリンの化合物などが用いられている。マルチディスチャージャーからも射出できる。マルチチャフと同じく、現代の戦闘兵器にも装備されている。

ブレスレット【BRACELET】 5話で出撃するケーンに、リンダがお守りとして手渡したもの。彼女がいうところによると「安物」なのだが、実は何か彼女にとってとても大切な品らしい。もちろんケーンのこと、そんなことはまったく気づかずにいるのだが……。おそらく、親の形見とか、兄からもらったものといった感じではないだろうか? 捕虜収容所で、ケーンがこれをもっていることを知ったマイヨはリンダを激しく叱責する。



プロペラントタンク【PROPELLANT TANK】 無人となったEC実験ステーションに残されていたもの。中の燃料は数十年ほうっておかれていたが、一応まだ使える状態だったためチェホフの輸送艦やドラグナーは、これによって補給を受けていた。(6話)

フンボルト【HUMBOLDT】 ドラグナーの機密の漏洩を阻止するため、輸送艦アイダホを追ってきたギガノスの巡洋艦。

ヘッドクォーター【HEADQUARTER】 司令部のこと。マスドライバーから射出された質量弾の接近を知ったアルカードは、ギガノスのことと連絡をとり弾のコースを変えさせようとしたがだめであった。(1話)

ベティ【BETTY】 ローズの叔父・マーチンの末娘。5歳。おシャマな感じがなかなか将来を予感させて楽しみではある。しかし、こういっては何だが、「ガンダム」のカツ、レツ、キッカほど存在感がなかったのはちと寂しい。



ベルツ・シュタイン【BELTS SHUTAIN】 ギガノス軍統合参謀本部情報第3課に所属している人物。階級は少佐。かつてのマイヨの部下たちが月面のギガノス本国で反乱を進めていることから、彼が首謀者ではないかと内偵をしていた。しかし、そうではないことを知り、逆にマイヨに反乱者たちをなだめよ、という指令を伝える。マイヨはそのむねを承諾するが、秘密裏にケーンと会わせよ、という条件をつける。その条件をのんだベルツはケーンを京都に呼び出し、2人を面会させた。だが、そのことすら利用し、ケーンを捕えようとしたために彼はマイヨの逆鱗に触れてしまう。(23話)

ベルンゲンこう【ベルンゲン港】 スカンジナビア半島にある港。連合軍北欧司令部の近くのため、海洋戦力としてはかなりの規模を有している。アイダホの乗員・難民とドラグナーを回収したアクアポリスを含む連合軍第5海洋戦域軍もここへ向かった。(12話〜14話)

ベルンゲンちきゅうれんごうぐんちきゅうせんとうぐんしれいぶ【ベルンゲン地球連合軍地球戦闘軍司令部】 スカンジナビア半島にある地球連合軍の地球戦闘軍を総監する司令部。アイダホ乗組員とD兵器を収容した空母アクアポリスがここをめざしていた。ケーンたち3人はこのベルンゲンでドラグナーのパイロット登録を解除されるはずだったが、マスドライバーの直撃を受けて司令部は壊滅してしまう。(第13・14話)

ベンぐんそう【ベン軍曹】 フルネームはベン・ルーニー。急きょ連合軍兵士にされたケーンたちの教育係に任命された鬼軍曹である。ケーンの髪を切ったり、アノ性格の3人に兵士としての訓練を施したりと、むさい容貌のわりにはなかなかまめな性格である。戦いに関することには極めて厳しいが、性格自体は豪放磊落で、決して悪い人間ではなく、話せる男である。ローズの看病のために出撃しようとしないタップのため、ソウルに頼んで彼の偽の診断書をつくらせたりもしている。彼の任務は、北欧司令部でケーンたちのパイロット登録が解除され、彼らの軍役が終了する時点で終わる予定だったが、ケーンたちとの腐れ縁は大西洋まで続いてしまった。これからもまた続くのだゾ、きっと……。なお、ケーンたちはドラグナーのパイロットに任命されたため准尉に昇進したが、ベンは軍曹のままだった。階級の上では立場が逆転したものの、3人の親父、あるいは兄貴的な存在であることに変わりはない。(CV=島香裕)

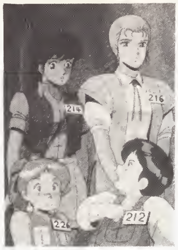


ぼうちょうはん【防諜班】 対潜入工作員などを相手とする部隊。ノーラッドへ潜入したマイヨとダンを追いつめようとしていたが、失敗をした。(17話)

ほくべいせんせん【北米戦線】 連合軍の司令部であるノーラッドと、そこを落とそうとするアラスカのギガノ

ス軍404戦域軍が展開させている戦線の呼称。ながらくこう着状態であったが、ドラグーンを得てからは連合軍の反攻が始まり、ギガノス軍は徐々に押されていった。(17話)

ほりょしゅうようじょ【捕虜収容所】 捕虜を暫定的に収容しておくための施設。捕虜はここで選別され、役に立たないと判断されたものはさらに強制収容所へと送られてしまう。まさか集団ガス室送りだとか、人体実験などということはまさかないだろう。アイダホの難民たちは宇宙中継基地の収容所に送り込まれるが、選別が行なわれる前にケーンたちが救出したため、全員無事だった。また、リンダはここの一室でマイヨと再会している。



ホルツ【HOLTS】 ギガノス軍の兵士。階級は少尉。偵察部隊に属し、ビルを従えて高高度高速偵察機に乗っていたところをD-2によって撃墜され、捕虜となった。偉そうなことを言うわりにはナサケナイ人物だった。脱走したときに警備兵に撃たれ、大西洋のサメの餌となった。(16話)

ホロベツ【HOROBETU】 アイダホの随行艦。フンボルトのミサイル攻撃により撃沈する。

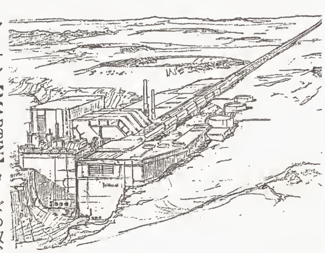
ポール・カミング【PAUL COMMI-NG】 転属により地球連合軍戦術宇宙戦闘軍団第3宇宙艦隊からノーラッドへ向かっていた少佐。しかし、その途中でマイヨたちによって捕らえられてしまった気の毒な人物。マイヨはこの男に変装してノーラッドへ潜入、破壊工作を行なおうとした。だが、偶然リンダと出会ってしまったことからダイアンに不審な人物と見抜かれてしまい、目的なかばにして脱出せざるを得なくされてしまった。ちなみに本物のほうは制服をハギ取られて下着姿にされたうえに、収容所にでも送られてしまったようである。きっと大殺界だったに違いあるまい。どー考えてもヒサンな運命の人である。(17話)

まマ

「ま」は「末」の草体
「マ」は「末」「万」の二画

マイヨ・プラート【MEIO PLATO】 ギガノス軍親衛隊の若きエース。その驚異的なメタル・アーマーの操縦テクニックと、言動の精悍さから〝ギガノスの蒼き鷹〟の異名を取る。彼の思想は強烈な能力至上主義であり、地球連合のもとにある体制を破壊して、ギガノスによる規律ある統制(支配)が行なわれるべきだと思っている。その意味では彼ほどギガノスに合った人間はいないだろう。かつて、ギルトールの片腕といわれた父、ラング・プラートが裏切り者である負い目と、彼自身が父の取った行動を許すことができなかったため、率先してギガノスの理想をめざすべく行動している。ギルトール元帥の信頼も厚い(もっともそれはギルトールが彼の利用価値を十分わきまえてのことでもある)。ドラグナー追討の任を受けるが、思わぬ苦戦を強いられる。ギガノスでクーデターが起こるが、このとき彼はラング・プラートの息子という理由により、反ギルトール勢力によってかつぎ上げられ、しだいにギガノスを己の手中に収めようという野心を抱くようになる。妹リンダ・プラートがいるが、彼女はマイヨの考え方に反発し、彼のもとを離れた。偶然にも捕虜収容所でリンダと再会をするが、2人の溝は深まるばかりだった。シスコンである。(CV=小杉十郎太)

マスドライバー【MASS DRIVER】 本来は、月から採出した宇宙開発の資源を(簡単にいってしまえば金属や砂利など)、リニアカタパルト(電磁力によって物質を加速し、射出する装置)によって安価に運搬しようというシステムだった。ギガノスはこれを一種の質量爆弾として使用した。つまり、加速されて莫大な破壊力をもった隕石を、地球の都市や連合政府の拠点などにぶつけたわけである。効果は抜群、核兵器のような環境汚染の心配は無用、弾丸の原料は月からただで供給できるなど、宇宙時代ならではの合理的、かつ恐ろしい兵器である。



マーチン【MARTIN】 ローズの叔父で、妻と3人の子持ちである。両親が行方不明になってしまったローズの親代わりとして、アイダホでの旅をしてきた。地球にたどり着いた後は、戦火に巻き込まれるのを恐れて、ノルウェーで他の難民たちとは行動を別にする。妻の名はオードリー。

マリン・メタル・アーマー【MARI-NE METAL ARMOR】 海洋戦闘用にギガノス軍が使用しているもの。現在までに登場しているのはゲルフアー一機種のみである。バイク・メタル・アーマーとは非常に似通った構造をしており、こちらも機体が上下に分離できるようになっている。(15話〜)

マルチディスチャージャー【MULTI DISCHARGER】 メタル・アーマーのもつレールガンの下部に装着して使用できるサブ・ウェポン。グレネード、チャフ、フレアー弾、スモーク(煙幕)など多種類のものをセレクトできる…といったとっても便利なものなのに、いまだ本編中ではまともに使用された形跡はない。

みあげたヘアースタイル【見上げたヘアースタイル】 いわずと知れた、あのケーンのヘアースタイルのことである。ださい。はっきりいって、今どきリーゼントなんて、いったい何を考えていたのだろうか、ケーンは……。これまたお笑いもののサングラスがまっすますイモっぽさを悲しいまでに演出してしまっているが、一部女性ファンには母性本能をくすぐる…と愛でられている。

ミサイルしゃ【ミサイル車】 連合軍が使用している、6連装対空ミサイルを装備した戦闘車両。8輪走行タイプで、ミサイルはボックス・シールタイプ。これは補充のしやすさと、ミサイルの耐用年数アップのためからである。(18話)

みなみまちぶぎょうしょ【南町奉行所】 大貫健一、大張正己の所属する作画スタジオの名前。一風変わったスタジオ名にふさわしい個性的なメンバーがそろっている。「マシンロボぶっちぎりハッカーズ」のキャラデザインの鶴山修、「ドラグナー世界のメカニック戦史」での描き下ろしイラストを毎回手がけている西井正典、OVA「妖刀伝」で初監督の山崎理、動画のクリンナップならおまかせ!の佐々間清明、常時出張中の古川佳正。以上が'87年6月現在の総メンバーである。

ミルク【MILK】 戦いに次ぐ戦いを強いられたアイダホは、しだいに物資の不足に悩まされることになった。そのシワ寄せをもっとも直接的に受けたのが難民たちであった。赤ん坊がいるにもかかわらず、ミルクさえ配給にならないのを見たケーンたちは、無断で保存倉庫から食料品や治療道具を持ち出して、難民たちに分け与えた。これによって、今イチこじれつつあったケーンとリンダの仲は、また復活した。のはいいのだが、いつ地球に着くか、あるいは補給が受けられるかわからないのに勝手に食料を持ち出してしまって、後で不足したらどうするつもりだったのだろうか?……軽率な行動である。

ミン【MIN】 グン・ジェム部隊の4人の小隊長のひとり。階級は大尉である。けっこうカワイイ女の子なのだが、その性格はやはりというより、当然のごとく残忍窮まりない。なお、愛機はダインを改造、チューンナップさせたものである。(27話〜)

ミンき【ミン機】 グン・ジェム部隊のミン専用機のこと。基本的にはダインにフライトユニットを装備させたものであるが、やはりギガノス軍アジア機密工場で大規模な改造を受け、パワーアップさせている。変更点としては、動力系統の容量アップとハンドレールガンの換装はいうに及ばず、さらにグレネードをもたせたうえ、新たに両腕内側に飛び出し式のチェーンソーを仕込んでいる。しかし、それでも全体的にゴツいイメージになるのを嫌ったのは、女性であるがゆえと思われる。(27話〜)

ミンダナオ【MINDANAO】 4コマアニパロ漫画家のことではない。地球連合軍宇宙艦隊の旗艦を務める大型戦艦。全長約400メートル。本編では、アイダホの護衛艦隊の旗艦として3話より登場した。アイダホを死守するために全力を尽くしたが、マイヨとプラクティーズの攻撃の前に、5話で撃沈。艦長はホイットマン大尉である。

むらさきのやろう【紫の野郎】 ケーンたちが、さんざん嫌な思いをさせてくれるマイヨをこう呼んでいる。確かに、あの全身ド紫のファルゲンを見つづけていれば、こうなるであろう。(5話〜)

めいよのふしょう【名誉の負傷】 ケーンとタップがマイヨの拷問によって受けた傷のことを指して、アイダホの乗員たちが感謝の意を込めて語ったことば。イタソーである。(10話)

メタル・アーマー【METAL ARMO-R】 ギガノス軍が開発した人型の機動兵器。これの導入により、ギガノス軍の戦力は連合軍に対して、有利なものとなっている。宇宙での開発用機械が発展したものである。現在ギガノス軍に正式採用されているものは、量産機としては初期型のドラウ、一般兵士用のゲバイ、隊長や格闘戦用に使われるダインが、スペシャル機としてはマイヨ専用機のファルゲン、プラクティーズ用のゲルフがある。

メタル・アーマーだいいちごうき【メタル・アーマー第1号機】 形式番号XAMA-01。名称はダヌルという。このタイプを改良していくことによって、後にゲバイが登場する。まだ、この1号機にはメタル・ワーカーとしての名残も強くあるが、初めて小型核融合炉を搭載することに成功して比較にならないほどの強力なパワーを備えた。さらに腕をジョイント部より交換することで、ロケット・ランチャーなど数種の攻撃用兵器を装着できるようになり、すでに工業用機械の域を出たと言い切れる性能

をもつに至った。ドラグナーやファルゲンと比べれば、それはあまりに貧弱なものではあるが、メタル・アーマーの名称を冠されても決しておかしくはないものなのである。ロールアウトは2080年1月。2機のみの生産にとどまった。2087年、この記念すべき1号機はギガノス科学博物館に展示されている。

メタル・ワーカー【METAL WORKER】 月開発用に開発された工作機械。作業用のマニピュレーターや、月の荒れた大地に対応するためのランディングギアなどを装備したところから、後にこれがメタル・アーマーへと発展していく。本誌「ドラグナー世界のメカニック戦史」参照のこと。

メーンディッシュ【MAIN DISH】 3隊のドラグナー輸送部隊のうち、ケーンたち本体を指していた暗号。(19話)

モーデル【MORDEL】 ギガノス宇宙中継基地の司令官。ケーンが「お祭り」と呼んだ大集会で、演説をぶっていた男がこいつである。その演説内容を要約すると「地球は腐敗と退廃に満ちている。もはや奴らに地球を任せておいてはならない。われわれこそが真理であり、人類の代表となるべき存在である」というようなことを言いたいらしい。ご立派な意見である。しかし、どうやら達者なのは口だけだったらしく、ライトがコンピュータを攪乱させて流した偽の情報にはたやすく引っかかって、マイヨの忠告には耳を貸そうともしなかった。さらに、「敵を倒すためなら多少の犠牲は仕方あるまい」と、ドラグナーと戦っているマイヨのファルゲンにまで砲撃を加えたりと、まったくもってご立派な限りである。

やヤ

「や」は「也」の草体
「ヤ」は「也」の略体

ヤクト・ゲルフ【YACHT GELF】 ドラグナーの特徴である、3機がそれぞれ異なった長所をもつ(白兵戦用、長距離支援用、電子戦用)というフォーメーション攻撃に悩まされつづけてきたギガノス軍が、対抗して月面工場で製作しているゲルフを発展させた新型メタル・アーマー。火力に重点を置いたタイプであるため、ドラグナーでいえばD-2にあたる働きをする。ちなみにD-3の役目を受けもつものをレビ・ゲルフと呼び、同時に開発を進めている。(17話〜)

ヤム【YAMMU】 連合軍量産型メタル・アーマー、ドラグーンのパイロット。階級は少佐。勝ち気でなにかというと正規の軍人でなかったケーンたちとドラグナーを馬鹿にしていた。5人の部下をもっており、このヤムをはじめとする6人が連合軍最初の正式メタル・アーマー小隊を構成した。しかしグン・ジェム率いるギガノスのズワイ部隊と交戦したとき、部下は全滅。彼の乗るドラグーンも大破してしまい、その鼻っ柱を折られてしまった。(25話〜)



よんまるさんかいようせんいきぐん【403海洋戦域軍】 左遷されたマイヨがとばされた、南太平洋海域軍。はっきり言って最前線である。(23話)

よんまるよんせんいきぐんきち【404戦域軍基地】 ギガノス軍の北アメリカ方面軍の拠点。守りの堅い連合軍の北米防空司令部を眼前にしているだけあって、ここもかなりの戦力を有している。司令官は元マイヨの教官であったパウエル大佐。(17話〜19話)

らラ

「ら」は「良」の草体
「ラ」は「良」の上部

ライト・ニューマン【LIGHT NEWMAN】 主役の3人組のなかのひとりで、彼らのなかでは最も冷静かつ知的なイメージがある。コンピュータに通じており、そのためドラグナー3に搭乗する。一応貴族の家の生まれであり、それが性格や立ち居振る舞いにも表われているのだろうか。アクアポリスの艦長・ゲドマンは彼の祖父であるバーモント卿と知り合いで、彼にその事実を尋ねるのだが、なぜかライトはことばを濁らせてしまう。あまり家族のことを話したがらないことからみても、彼は家族や自分の生まれについて何か抱えているものがありそうだ。その反動でアストロノーツアカデミーに入学したり、ケーンたちお軽い仲間とつき合うようになったのかもしれない。ケーンと同じく、最初はリンダにひとめ惚れをするが、ダイアンを気にかけているようすもわずかにする。しかし、そうするときっと彼は失恋してしまうのだゾ。カワイソー!

ラジコンたいせんへリ【ラジコン対潜ヘリ】 向かってくるクルーズビートを撃つためにD艦隊から発進した、魚雷4本を装備する対潜攻撃用の無人ヘリコプター。しかし、しょせんは消耗兵器であり、ほとんど何もせぬままクルーズビートから発射された対空ミサイルによって撃墜された。

ラーメンやのおやじ【ラーメン屋の親父】 京都までやってきたケーンとリンダをマイヨの元まで連れていくために登場した、ギガノス軍の連絡員。見た目はただのとぼけたおっさんだが、ナルトの裏に指示を書くなど、変なところに気を回す不可思議な人物である。しかしいったい何を使ってナルトの裏に字を書いたのだろう……。(23話〜)



ラング・プラート【LANGUE PLATO】 元ギガノス軍のメタル・アーマー開発主任。リンダとマイヨの父親である。ギガノスの建国にあたっては、ギルトールにかなりの協力をしたようであったが、戦闘開始後はマスドライバーの無差別爆撃などに反対、死んだと見せかけ、みずから設計・開発したドラグナー3体とともに地球連合軍へ単身亡命を決行した。しかし、彼の心にわだかまっていたのは、月に置き去りにしてきた、妻の忘れ形見でもあるマイヨとリンダのことであった。だが、ギガノスこそが正義と信じるマイヨが、彼の元へやってくるわけもなく、せめてリンダだけでもと思い、ドラグナーを月より奪取する際、ともに連れてきてほしいと連合軍情報部に依頼、なんとか再会を果たしたのだった。と同時にいっしょにやってきたケーンたちドラグナーのパイロットとも出会い、彼らの能力と心を見抜き、ドラグナーを3人のために改造したのである。

みずからまいた戦争の種を刈り取るために連合軍の重慶基地でドラグーンの開発にあたるなど、苦悩する人間をイメージさせるが、見た目にはそんなことを感じさせない中華マンジュウの好きな、ただの明るいジイサンである。なお、ファルゲンは彼の息子であるマイヨのためにつくり上げた、当時最新鋭のメタル・アーマーである。(24話〜)

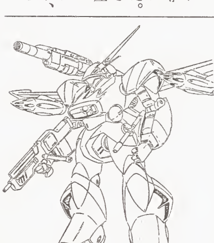


リフター【LIFTER】 D兵器用フライトユニット。それぞれにリフター1、2、3と呼ばれる。(19話〜)

りょうあんじ【龍安寺】 現実に京都に建っている寺。石庭が有名である。マイヨから呼び出しを受けたケーンとリンダは、ここで彼と会見をした。(23話)

りょうさんがたドラグナー【量産型ドラグナー】 連合軍がギガノスから奪い取ったD兵器をもとにラング・プラート博士の協力を得て製造された。D-1、2、3の長所をミックスさせた性能をもつが、しょせんは量産品の悲しさで、それ相応の性能しかない。しかし、それでも旧ドラグナーを凌ぐ運動性と火力を有しており、対ギガノス戦にはかなり有効であろうと思われる。シルエットはD-1とよく似ているが、量産にあたり各部を簡略化している。基本武装はハンドレールガン1挺(マルチディスチャージャーはなし)、大型ショルダーレールガン1門、双方向レーザーソード1振となっており、その肩にサイド・アームスをもつ。もちろん大気圏内戦闘タイプにはパイロンを2か所もつクラフトユニットが標準装着されている。すなわち、オールユーズタイプの設計で、あくまで戦線に大量投入されてこそ、役にたつといった代物である。工業力の勝っている連合軍らしい発想といえよう。正式名称はドラグーン。(25話〜)

開発コードナンバー/MBD-1A、頭頂高/17・3メートル、動力/IHI301型超小型核融合炉、出力/28万ポンド(ドライ)34万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時8万をプラス、メーンノズル×3、姿勢制御ノズル×17、最大速度/マッハ0・98/SL(海面高度)マッハ1・47(3万2000フィート)航続距離/2920ノーチカルマイル(5408キロメートル)、CMP時間/46秒(MAX)【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP=46 12秒】、運行自重/79・2トン、最大発進重量/116・8トン、出力・重量比/1・199(ドライ)1・798(CMP+A/B)、探知装置/イメージセンサーTAS14型、重力場感知システムWG3S型、装甲/トリプルハードニス型へビーコーティング、装甲厚/MAX250ミリ、乗員/パイロット1名、基本武装──460ミリレールキャノンKGX-9型(発射速度240発/分、携行弾数120発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾)、55・6ミリハンドレールガンLPS22型(発射速度2200発/分、携行弾数810発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、10連デュアルミサイルポッド×2、白兵戦用レーザーソード、ハードポイント×2(ペイロッド総量17・5トン)



りょしゅう【旅愁】アイダホの乗組員が開いたパーティーでケーンが歌いだした曲。視聴者はのけぞった。惜別の思いを駆り立てるいいシーンであったが、その直後にはマスドライバーの攻撃があって、雰囲気もぶち壊しになってしまった。

りんけん【臨検】アルカードへと向かう輸送船アイダホを停めて、ギガノス軍の戦艦フンボルトが行なおうとしていたこと。要は強制的な船内捜査のことである。（1話）

リンダ・プラート【LINDA PLATO】アイダホに乗っていた難民のひとりだった。実はギガノスの蒼き鷹ことマイヨ・プラートの実の妹である。とても16歳とは思えない大人っぽさ（もっともそれが災いし今イチ爆発的な人気が得られないのだといら噂もあり、もったいないところ）と憂いを秘めた瞳の持ち主で、ケーンは一発で彼女に夢中になる。いわば過去を背負った女、というわけで、ケーンたちに対して当初はかたくなな拒否の態度を取るが、次第に打ちとけていく。アイダホによる逃避行の最中にとらわれたギガノス宇宙中継基地でマイヨと再会するが、冷酷かつ選民思想の塊である兄との溝は深まるだけであった。地球連合軍総司令部のあるノーラッドにドラグナーを運ぶ任に就いたケーンとは一度別れ別れになるが、ラング・プラートの意志により軍の命をうけた秘密諜報員ダイアンによって後を追うように彼女もローズらとともにノーラッドへと向かう。そして再びケーンたちと行動をともにする。（CV＝藤井佳代子）



リンダのははおや【リンダの母親】当然マイヨの母親でもある人物。今のところセリフのなかのみでの登場しかしていないが、そのことばによると2人がまた幼いころに、仕事にばかり熱中するラング・プラートに愛想をつかしてひとりで地球へ行ってしまったらしい。マイヨはことばのうえでは彼女を嫌っていたが、本心はどうなのであろうか。父が死んだと信じていたリンダは当初、月を脱出して彼女の元へ行くつもりだったようである。（13話）

レーザーソード【LASER SWORD】メタル・アーマーが主に白兵戦に使用する巨大なレーザートーチ。剣のようにして使う。ドラグナー1のものは、腰の両側に1本ずつマウントされており、これはつなげてなぎなたのようにしても使用できる。極めて効果的な武器ではあるが、逆にうまく使いこなすのにはパイロットの高度な熟練が必要となる。

レッドチーム【RED TEAM】アイダホの護衛をしていた、連合軍第3宇宙艦隊所属の戦闘用ポッドにおける小隊の名称。隊長であるレッドリーダーにはケーンに娘への人形を託したギニール少尉があたっていた。（4話）

レドーム【RE-DOME】レーダードームの略称。D-3の頭部はこれである。（1話〜）

レビ・ゲルフ【LEVI GELF】ヤクト・ゲルフと同時製作されている、ギガノス軍の新型メタル・アーマー。エリントおよびコミント能力を重要視した、電子戦用のD-3に対抗する機体といえる。はたして、ラング・プラート博士に寝返られてしまった状態で、残っているギガノスの技師たちがどこまでドラグナーに迫る性能の機体をつくるのか、見ものである。なお、このレビ・ゲルフとヤクト・ゲルフは、ドラグナーと同じように他の白兵戦タイプのファルゲンなどのメタル・アーマーと編隊を組んで使用する。（17話〜）

レールガン【RAIL GUN】蓄積された電気エネルギーを、瞬間的に放電したときに生じる電磁力によって砲弾を加速する兵器。ひらたくいえば電磁砲のことである。その原理は、2本のレールの間を砲弾が滑走すると、そこに電流回路がつくられ、別に蓄えられた電気エネルギーを一斉に放電すると回路に大電流が流れ、2本のレールの間に強力な磁界が発生し、砲弾を通る電流と磁界の間に垂直方向に力が生じて砲弾が発射されるというものである。これをメタル・アーマー用の兵器としたものがハンドレールガンだ。また、スペアマガジンをドラグナー1は腕に1本ずつ携帯している。1本あたり200以上の弾丸を収めているのだが、弾丸の種類は徹甲弾（先端に硬質金属をかぶせ、敵の装甲を貫通させる弾）と爆裂弾（内部に爆薬を詰め込み、目的物の表面ないし内部で破裂する弾）を用途によって使いわける。なお、レールガンは現在、SDIの迎撃兵器のひとつである運動エネルギー兵器として研究が進められており、アメリカでは質量450ムグラの弾体を秒速4キロで発射することに成功している。

れんごうぐんじょうほうぶ【連合軍情報部】ダイアンの所属している部署。連合軍における内諜・外諜の分野を一手に引き受けている。そのためか、かなり強い権限を付与されており、アイダホでのD兵器の秘密輸送などについても、別の形で行動を進めるなどしていたのだった。ダイアンが難民を装ってアイダホに搭乗していたのもそのためで、彼女はD兵器輸送の確認とリンダを無事にラング・プラート博士の元まで送りとどけるべく指令を受けて行動していたのである。なおコードナンバーは30205。（17話〜）

れんごうぐんせいしきハンドミサイル・ランチャー【連合軍制式ハンドミサイル・ランチャー】ビルが危機に陥ったケーンのD-1を救うために使用。（16話）

れんごうぐんだいごかいようせんいきぐん【連合軍第5海洋戦域軍】アイランドをはじめとするD艦隊の正式名称。最初登場したときは空母1、フリゲート艦2、ピケット艦2、という陣容であったが、何度か増減があった。後にクルーズビートによってフリゲート艦シェフィールドは沈められてしまった。たった5隻の護衛艦で空母を守ろうというのだからスゴイものである。ギガノスに沈めてください、と言っているようなものだ。もっとも逆に被害を1隻ですませたD兵器の性能とケーンたちの腕をほめるべきなのかもしれない。

れんごうぐんほくおうしれいぶ【連合軍北欧司令部】別名、連合軍地球戦闘司令部。スカンジナビア半島のノルウェーあたりにあった。当初、ケーンたちはここでパイロットの登録解除を行なう予定であったが、基地自体がマスドライバーの直撃を受けて完全に破壊されてしまい、目的を果たせなかった。（13話〜14話）

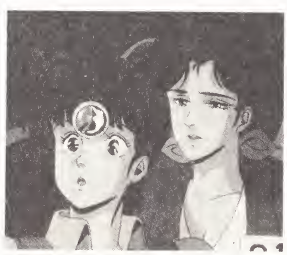
れんごうぐんマーク【連合軍マーク】地球連合軍の基地や艦艇などにつけられているマーク。ベンツのマークを上下逆にしたようなものをオリーブの葉が下から囲んでいる。

れんそうしきレールガン【連装式レールガン】バルカン砲のような多銃身のレールガンを2基並べたもの。D-2が宇宙で使用していた。（10話〜）

ロイ・ギブソン【ROY GIBSON】アイダホの艦長。階級は中佐である。ドラグナーを月から地球へと運ぶ大任を果たす。これが軍人としての最後の任務となる。この仕事の後、彼は退役した。ドラグナーの運搬に関しては、敵ギガノスの攻撃が最大の障害であったことはもちろんであるが、よりによって素人であるケーンたちがいきなりドラグナーのパイロットになってしまったことも、予想だにしなかっただけに、大きな悩みの種だったに違いない（無理もない話だ）。もし彼が胃かいようででも入院したとしたら、それはケーンたちのせいも、絶対にある。だが、お別れパーティーの席でケーンに「お前は将軍の器だ」と言ったりしたことから察するに、悪い感情はもっていなかったようだ。まあ、「出来の悪い子ほどかわいい」といったところだろうか……。



ローズ・パテントン【ROSE PATTENTON】アイダホに難民として乗り込んでいた少女。タップを兄のように慕っている。一時はアイダホを降りていたが、17話でリンダ、ダイアンにつれられケーンたちと再会、その後も行動をともにしている。（CV＝平松晶子）



わ
ワ

「わ」は「和」の草体
「ワ」は「和」のつくり
一説、輪の符号「口」

わかばミツ【若葉ミツ】アオイ・ワカバの母親。つまりケーンの祖母。純粋な日本人で青森県に住んでいる。年齢はそれ相応としか言いようがない。占領軍であるギガノスを憎んでおり、一時はドラグナーでやってきた孫のケーンを敵とまちがえたりもする。ナギナタを振り回したりと、年齢を感じさせないところもあり、ケーンたちのギガノス軍竜飛岬要塞破壊作戦に手を貸したりした。（22話）



Broadcast List ①〜㉖

話数	タイトル	シナリオ	演出	絵コンテ	作画監督（メカ作監）
1	炎の日	五武冬史	篠幸裕	横山祐一朗	遠藤裕一
2	廃墟の死闘	星山博之	鹿島典夫 日高政光	鹿島典夫	中村旭良 山田きさらか
3	ギガノスの蒼き鷹	松崎健一	福田満夫	谷田部勝義	重田亜津史
4	男たちの戦場	五武冬史	浜津守	浜津守	服部憲知
5	誓いの出撃	星山博之	棚沢隆	高松信司	松本清
6	戦士への試練	松崎健一	篠幸裕	菊池一仁	遠藤裕一
7	さらばチェホフ	五武冬史	日高政光	山崎和男	中村旭良
8	捕虜奪回作戦（前編）	星山博之	福田満夫	鹿島典夫	山田きさらか
9	捕虜奪回作戦（後編）	平野靖士	棚沢隆	川瀬敏文	松本清
10	体あたりの防戦	星山博之	杉島邦久	高松信司	服部憲知
11	熱望の大地	松崎健一	篠幸裕	滝沢敏文	遠藤裕一
12	それぞれの帰還	平野靖士	福田満夫	ふくだみつお	山田きさらか （内田順久）
13	マスドライバー発射指令	五武冬史	日高政光	菊池一仁	中村旭良
14	新たなる旅立ち	星山博之	杉島邦久	杉島邦久	服部憲知
15	D（ドラグナー）艦隊危機一髪	松崎健一	棚沢隆	井内秀治	大森英敏

予告編ナレーション

●第1話予告

西暦2087年、宇宙は熱い炎に包まれた。軍事独裁政権ギガノスが、地球諸国へ戦いを開始したのである。いきなり、何だっていうんだよォ！　ボクたちBランクの青少年。ナンだぁ？　まぁまぁまぁ／つべこべいわずに逃げるんだよォ！　機甲戦記ドラグナー、ウォオオオォ〜〜〜!!近場に見参！

●第2話予告

まったくケーンの無鉄砲にはアキレるなァ。あのまま突っ込んでたら、コロニーごと吹き飛ばされてたぜ。オレなんかチビッちまったもんね。汚えなァ。ジョーダンだよォ。で、ケーンまだ寝てんのか？　あんだけハデに立ち回りゃ疲れるわな。おふくろぉ今から行くぜ！　ギガノスのあほタレどもブッ叩いてやるゥ！　これだァ。奴はマジだぜェ。次回、機甲戦記ドラグナー「廃墟の死闘」！　おめェ、寝てたんじゃねぇの!?

●第3話予告

こんなのアリかよォ〜！　たかが紙切れ一枚でヒモ付きだぜェ。あたしにも自分の人生設計ってあったんだけどねェ。それより、とんでもねぇ敵艦がご登場あそばすんだと。ギガノスもしつこいね、人間あきらめが肝心なのによ。新手ってどんなヤツだ？　それゃまぁ見てのお楽しみ。次回、機甲戦記ドラグナー「ギガノスの蒼き鷹」！　バーロー！　男は顔じゃない！

●第4話予告

ぜ〜ったい忘れねぇからな！　あの野郎！　ド紫なんかで気取りやがって！　わかった、わかった、わかったって！　けどねェ、やっぱ多少はテクニックとか、そういうモンも必要なんじゃないのォ？　ねぇオセアノ三等空士。一に根性、二に根性！　次回、機甲戦記ドラグナー「男たちの戦場」！　男の気持ちは男じゃなくっちゃァ、あーッ。なんか危ねぇなァ……。

●第5話予告

なぁケーン、そう落ち込むなって。そーいうこと。ツラいのはわかるがな。けどよォ……。そこで踏んばるのが男ってモンじゃねぇのかァ。リンダ女史が言ってたぜ、背中に陰りをもつ人って、意外と頼れる人なのねって。オレの背中、陰り、ある？　ああ、まっ黒。次回、機甲戦記ドラグナー「誓いの出撃」！　立ち直りだけは早いんだよね、オタクのばやい。

●第6話予告

なぁどうなるんだよ、オレたち。わかんねぇよ、そんなこと！　推進剤、弾薬、ほとんどスッカラカンだし……。でもよォ、生きてるだけオレたち、運が強いのかもなァ。ジョーダンじゃないよォ！　腕だよ、腕！　腕といやァ、今度出てくるムッさいオッサン、凄腕らしいぜェ。次回、機甲戦記ドラグナー「戦士への試練」！　試練ねェ……アイダホへ戻りたいよォ！　アイダホじゃなくリンダにだろう。ピンポーン！

●第7話予告

きょうはなかなかリキが入っていたねェ、ケーン君。まったく、やってくれるよあのオッサン。まぁいい線いってたんじゃないの？　これからが問題だねェ……どうやってあそこをおん出るか。うまくいかないのが、お話のセオリーだったりして……。次回、機甲戦記ドラグナー「さらばチェホフ」！　さよならだけが人生か。アレ？　やけに浸ってますねェ。オレはいつだってこうよ。

●第8話予告

あったまに来たぜ！　まったくゥ。あのチャラチャラしたおもちゃの兵隊どもめ！　プラクティーズの面々だと。なんだか知らねぇが、まぁトッチャンの敵は討てたってわけだ。いい教官だったのになァ……。そうだ、リンダ！　いや、アイダホは敵にとっ捕まっちまったっていうじゃないか！　次回、機甲戦記ドラグナー「捕虜奪回作戦・前編」！　リンダ、待ってろ、これから助けに行くからなァ！　おお、燃え上がっちゃってェ。

●第9話予告

さあ〜て、なんとか潜り込めたけど、これからが問題だぜ。まぁ首尾よくいきゃいいんだけどねェ……。案ずるなかれ、子羊たちよ。このライト・ニューマンさまが後にひかえておますの忘れてません？　ヘイヘイ、お代官さま！　コンピュータさばきのほう、頼んまっせ。なんたって頼りはオタクだけなんすから。ウンウン。次回、機甲戦記ドラグナー「捕虜奪回作戦・後編」！　ブタもおだてりゃ木に登る！っと。

●第10話予告

あーっ気に入らねェ、気に入らねェったら、気に入らねェ！　うーん？　ひょっとして、あの蒼き鷹とかいうキザな奴のこと？　ああ、思い出すのもムカッ腹が立つぜ！　あーっ、気に入らねェ！　それ、ジェラシーってやつとちゃう？　わかります？　次回、機甲戦記ドラグナー「体あたりの防戦」！　リンダちゃんはオレのものだ！　誰にも渡さねぇぞ！　彼女がイヤだと言ったら？　エッエッ、ケーンの負け。

機甲戦記ドラグナー

企画	サンライズ
原案	矢立肇
シリーズ構成	五武冬史
音楽	渡辺俊幸
キャラクターデザイン	大貫健一
メカデザイン	大河原邦彦
美術	中村光毅
	岡田有章
音響	藤野貞義
撮影	酒井幸徳
監督	神田武幸
プロデューサー	神谷寿一(NAGOYAテレビ)
	稲垣光繁(創通エージェンシー)
	吉井孝幸(サンライズ)
制作	NAGOYAテレビ
	創通エージェンシー
	サンライズ
コスチュームデザイン協力	鈴木雅久
色彩設定	前とも子
	山崎恭子(補佐)
編集	布施由美子(井上編集室)
音響制作	千田啓子
効果	依田安文
調整	依田安文
録音	整音スタジオ
現像	東京現像所
広報制作	村田光
制作デスク	富田民幸
	古沢文邦(補)
文芸設定	鎌田秀美
設定制作	井上幸一
	松永良和
OPアニメーション	大張正己

16	補給基地の罠	星山博之	篠幸裕	篠幸裕	遠藤裕一
17	ノーラッド破壊工作	五武冬史	福田満夫	ふくだみつお	八幡正
18	奇襲の蒼き鷹	松崎健一	杉島邦久	杉島邦久	山田きさらか(内田順久)
19	飛行兵器D[ドラグナー]	星山博之	日高政光	滝沢敏文	中村旭良
20	洋上の再会	奇数和十八	篠幸裕	篠幸裕	服部憲知
21	敵MA奪取作戦	鎌田秀美	井内秀治	関田修	大森英敏
22	ギガノス要塞破壊命令	平野靖士	福田満夫	ふくだみつお	遠藤裕一
23	対決マイヨ・プラート	五部冬史	杉島邦久	谷田部勝義	八幡正
24	上海大逃走	奇数和十八	日高政光	井内秀治	山田きさらか(内田順久)
25	D[ディー]兵器改造計画	松崎健一	篠幸裕	篠幸裕	中村旭良
26	目印は青龍刀(仮)	星山博之	谷田部勝義	関田修	服部憲知

●第11話予告

さぁて、いよいよ秒読み開始だぜ! 10時間後には大地を踏めるってわけだ。でも敵さん、このままスンナリ通しちゃくれねぇだろうな。ああ、まず死に物狂いでくるだろうな。次回、機甲戦記ドラグナー「熱望の大地」! あり!? ゴキゲンなおったようね、タップ。最後の正念場だ、気張って行こうぜェ! 鳴いたカラスが、もう笑った。

●第12話予告

どうにか、たどり着けたな。それにしてもよく揺れるナァ……。ウッ、オレ気持ち悪い……。ウ〜。おい、よせよタップ。司令部に着いたらオレたち、お役御免になるんだな。でもリンダたちどうするんだろう。人それぞれさ。またギガノスのあほタレメカが、邪魔しやがんだろうな! 次回、機甲戦記ドラグナー「それぞれの帰還」! 来るなら来てみろ……オッウッ! 大丈夫かね、こちらさん。

●第13話予告

いよいよオレたちはドラグナーともお別れだなァ。リンダちゃんともお別れかァ……。シメっぽい話はなしにしようぜ! パーッと行こう、パーッと! あれ、うかれてんの? おたく。オレはなァー、オレは…クゥウゥ… 察してやれよ、ケーン、次回、機甲戦記ドラグナー「マスドライバー発射指令」! テレビの前の君たち、オレたちとともに青春しようではないか。さぁ、夕日に向かって!

●第14話予告

なんだ、なんだ、なんだァ! 何が起こったんだよォ! 落ち着けよ、ケーン。司令部が直撃くらったらしい。なにぃー!? パーティーのオチにしちゃあ、敵さん気の利いたことやってくれたぜ。オレたちの登録解除はどうなるんだよォ! 次回、機甲戦記ドラグナー「新たなる旅立ち」! チョットぉ、新たなるってリンダちゃんは!? リンダもローズもダイアンさんともお別れだ! へ!? これからのオレたちの旅路には、青春はないんだァ!

●第15話予告

俺たちもとうとう准尉殿さ! それも最低のな……。エッ!? あ——っ連合軍将校となったからには、この戦局にかんがみ……。ちょっとォ! うう〜ん、将校となったからには、給料も、いっそうあがり……。それがホンネか……! 次回、機甲戦記ドラグナー「ドラグナー艦隊危機一髪」! ま——った、あのムラサキ色のキザ野郎が登場……か、しつっこい野郎だぜ——ッ! ぬわ〜〜っと——の糸じゃあ、あるまいし!!

●第16話予告

人が死ぬから戦争と言うのかねェ。戦争だから人が死ぬんだろ! 誰も死なない戦争ってないモンかなァ……。ムリムリ!あのギガノスのキザヤローがいる限り! 紫色のあいつかァ! あのダンナ、近ごろ負けが込んでるからなァ…。また必死に打って出てくるぜ。次回、機甲戦記ドラグナー「補給基地の罠」! やってやろうじゃない!ドカーンと!! うらやましぃねェ、オタクのそういう思考回路。エッ!?ヤッ、どーも。

●第17話予告

さーて、いよいよノーラッドに到着か。犠牲も多かったが……義理は果たせたってわけだぜ。リンダちゃんに会いたいよォ! なんだ!?その唐突さは。ローズも今ごろどうしていることやら……。へっ2人でムナシイ妄想ブッこいてろォ。次回、機甲戦記ドラグナー「ノーラッド破壊工作」! なにィー!またあの紫のキザヤローのおでましかよォ。ダイアンさァ〜ン! あのねェ……。

●第18話予告

ガーン!!なんてもんじゃなかったぜ、きょうのショックは。あのリンダが奴の妹だなんてなァ……。だからなんだっつうんだよォ!敵の回し者だとでも言いてぇのかよォ! 落ち着けよケーン。オレはただ、このことを胸に秘めてたリンダがかわいそうだと思ってさァ……。ああ、つらかったろうに……。なんかねぇのか!落ちこんでるリンダを、こうパァッと明るくするようななんかよォ! 次回、機甲戦記ドラグナー「奇襲の蒼き鷹」!

●第19話予告

なぁ、聞いたか。リンダの兄き、どうやら前線送りになるらしいぞ。ほんとうにィ!ヤッこさん、とうとうオレたちをあきらめたか。なんでも南部戦線の激戦地らしい。イイざまだゼイ!どこでも行って、おっ死ねばいいんだァ! おいケーン、言い過ぎだぞ。次回、機甲戦記ドラグナー「飛行兵器D」! もう向かうところ敵なしだゼェイ! と、いつも申しておるケーン君です。

●第20話予告

ケーンのおやじさんが!?この空母に立ち寄るってさ。よかったなケーン。何年ぶりだおやじさんと会うの。冗談じゃねぇ、アイツの目的はオレに会いに来るんじゃねぇんだよ! エッ!? ケーン…。アイツは秘密兵器ドラグナーの性能を視察に来るだけなんだヨオ。次回、機甲戦記ドラグナー「洋上の再会」! オレは嫌だからな、絶対会ってやるもんか!なんかいわくありそうね。

NEWTYPE 100% COLLECTION 6

METAL ARMOR DRAGONAR SPECIAL EDITION

ART WORKS

表紙＝大張正己　ドラグナーⅠ型機カスタムタイプ

原画＝大貫健一➡P9、P12、P14、P15、P16、P18、P20、P21、P23、P30、P31、P32、P33、P34、P35、P42、P79 大張正己➡P11、P13、P17、P20、P24、P25、P75　小曽根正美➡P18ローズ、P21、P43　鶴山修➡P15　合田弘章➡P16プラクティーズ、P22、P23、P26、P27、P28、P29、P45　西井正典➡P27ファルゲン、P44、P46、P47、P48、P49、P50 仲盛文➡P19、P42　佐野浩敏➡P4、P5、P38　羽原信義➡P31、P33、P35デザイン画、P37　内田順久➡P36　貞本義行➡P36　塩山紀生➡P37　山田高裕➡P38　宇佐見皓一➡P38 小林誠➡P39　金森賢二➡P39　近衛真守➡P40　ただかゆう➡P40　伊藤浩二➡P40 西島克彦➡P41　重田亜津史➡P41　大森英敏➡P42　城前龍治➡P43　松尾慎➡P44 庵野秀明➡P45　彩色＝中山久美子

THANKS

サンライズ サンライズ7スタ・6スタ 企画室・飯塚正夫 南町奉行所 中山久美子

ニュータイプ100%コレクション⑥

機甲戦記ドラグナー

昭和62年8月20日発行

発行人・角川春樹　編集人・井川浩

発行所・〒102東京都千代田区富士見2-13-3　角川書店　ニュータイプ編集部

印刷・大日本印刷株式会社

 雑誌コード・07010—8／20

NEWTYPE 100% COLLECTION

ぜったい!

本命ドラグナー

機甲戦記ドラグナー・ニュータイプバージョン

角川書店

雑誌07010-8/20

ニュータイプ別冊100%コレクション⑥ 機甲戦記ドラグナー 昭和62年8月20日発行
発行人・角川春樹 編集人・井川浩 〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 ニュータイプ編集部☎03-265-1620

大日本印刷株式会社印刷

定価980円 角川書店